

看護学専攻専門科目教育要項

Nursing Science, Syllabus of the Special Subjects

2021年度

2021–2022 Prospectus

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

School of Health Care Sciences, Faculty of Medicine,
Tokyo Medical and Dental University

医学部保健衛生学科

《医学部保健衛生学科》

●教育理念

本学科は、看護学、検査技術学の2つの専門領域における知識・技術を教授することにとどまらず、豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた医療人としての感性を有し、学際的視野にたち、自ら問題を提起し、これを解決できる能力を備えた医療人を養成します。

●教育目標

〈看護学専攻〉

高度先進化する科学技術の基礎理解力を持ち、高齢化社会における保健医療・福祉等のさまざまな職種と連携して、専門職としての役割を果たす人間性豊かな人材を育成する。

〈検査技術学専攻〉

先端医療技術の進展に対応しうる学際的視野と研究能力を有する資質の高い人材および医学、保健医療における検査技術の発展とその教育・指導に従事する人材を育成する。

●求める学生像

〈看護学専攻〉

1. 看護学・保健医療福祉に深い関心がある
2. 豊かな感性と優れたコミュニケーション能力を有する
3. 論理的思考力、問題解決能力を備えている
4. 倫理的感受性と探究心に富む

〈検査技術学専攻〉

1. 医学・保健医療に深い関心を有し、患者・要介護者や社会に対する奉仕的精神、責任感、倫理観を有する
2. 豊かな人間性をもち、観察力、論理的思考力、問題解決力、総合判断力を備えている
3. 繙続的に自己啓発し、探求心が旺盛である

◆ディプロマ・ポリシー

医学部保健衛生学科では、全学共通科目、専門科目における講義・演習・実習を通して、学年ごとに設定された進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に、それぞれ学士(看護学)、学士（保健学）の学位を授与する。

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

物事を多面的に捉えられる幅広い教養を身に付け、看護学または検査技術学の基礎から応用に至る高い専門知識と技術を修得している。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

多様な背景を持つ人々の主体性や価値観を理解し、豊かな感性を持って個々を尊重した関係を築くことができる医療人としての人間性が形成されている。

3. 問題提起・解決能力の修得

社会情勢の影響あるいは業務の特性によって時々刻々と変化する臨床現場の中で、問題を的確に見出し解決に向かわせる柔軟な理解力・洞察力・行動力が養われている。

4. 自己学習能力・創造性の形成

看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストを目指して学習を継続する自己学習能力を身に付け、大学院あるいは職場において診療・教育・研究・開発活動を進展させていくことができる創造性が形成されている。

5. 国際性の形成

国際情勢に关心を示し、看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストとして国際貢献に関与できる基礎学力が養われている。

卒業時到達目標は、他の医療専門職等とのチームワーク、保健医療に関わる倫理観、広く社会を捉える国際性、基盤となる高い専門性およびそれを追求する研究的姿勢を併せて養うことが重要と考える。保健衛生学科の学習を通して、保健医療の実践の場のみならず、教育・研究の場においても、人々の健康的な生活に貢献し、看護学・検査技術学の発展に寄与できる医療人に成長することが期待される。

◆カリキュラム・ポリシー

〈看護学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、全学共通科目、専門科目を系統的、段階的に学習できるように配し、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

1. 幅広い教養と豊かな人間性と倫理観を涵養するために、一般教育とリベラルアーツを融合した共通教育には、学科・専攻横断的な自由選択科目を配置し、価値観の多様化する現代において看護と関連づけながら学びを深められるよう、看護に関する専門教育科目、医療と人間について学ぶ教養科目を有機的に配置する。
2. 自ら問題を提起し、解決する能力を備えた、看護学の実践、教育、研究者としての基礎を培い、自己の知識や技術の向上を常に目指す研究的姿勢を身につけるために、討論、グループワーク、多職種連携教育、ラーニングマネジメントシステムやシミュレーション・ラボを活用して科目を展開するとともに、論理的思考能力、リテラシー能力、批判的思考、統合的思考、論理的思考の向上を目指して、少人数制の卒業研究ならびに統合的実践科目を配置する。
3. 看護師および保健師としての知識・技術・態度を修得し、将来リーダーを担う資質を培うために、看護の科学的根拠となる知識からより専門性の高い各看護学の分野の科目へ、看護の対象を個人、家族、集団、地域、組織へと広げ、看護研究、看護管理へと学習を拡大していくよう科目を配置する。

4. 多職種との連携を図りながら看護の専門性を発揮できる基礎的能力の獲得を目指して、学習段階に応じた臨地実習科目をすべての学年に配置する。
5. 国際的に活躍でき、医療の国際化に対応できる人材を育成することを目指して、4年間を通じて学習できるよう語学と国際的な看護に関する科目を配置する。

〈検査技術学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、検査技術学専攻の教育目的を踏まえた教育目標の達成を見据え、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

1. 臨床検査技師国家試験に必要な科目を含めて、全学共通科目および専門科目を4年間で系統的、段階的に学習できるよう配置する。
2. 臨地実習、インターンシップ、他学科・他専攻との共通科目等により、チーム医療の一翼として活躍できる臨床検査技師に必要な実践的知識、技術、態度、コミュニケーション能力を修得させる。
3. 国際化、情報化に対応して、英語と情報リテラシー科目は4年間に渡って継続的に学習できるように配置する。
4. 本学大学院医歯学総合研究科、生体材料工学研究所、難治疾患研究所、医学部附属病院、医歯学研究支援センター等の全学的協力および四大学連合複合領域コースの活用により、広い分野にわたる選択科目を開講するとともに、卒業研究等により大学院教育との連携を図る。

お知らせ

2021 年度は、新型コロナ
ウイルス感染症に伴い、授
業日程は、適宜変更となり
ます。

最新のものは、WebClass、
及びキャンパス教育支援シ
ステムより、ご確認ください。

目 次

2021年度授業計画表<<看護学専攻>>	1
保健師国家試験受験資格取得に必要な科目的履修について	2
【第1学年】	
2021年度時間割(看護学専攻:第1学年)	3
012005A 解剖学	4
012012A 微生物学	11
012090 国際保健福祉A	13
012003 基礎看護学 I	15
012001 基礎看護学実習 I	17
012002 看護心理学	19
012004 看護の統合と実践 I	22
	24
【第2学年】	
2021年度時間割(看護学専攻:第2学年)	26
012007 生理学	27
012008 生化学	35
012009 薬理学 I	37
012010 薬理学 II	41
012011 病理学	43
012013 栄養学	45
012014 病態学	47
012015A Global Nursing Communication I	49
012016 専門基礎合同演習	52
012017 医療情報学	55
012018 保健医療福祉制度論	56
014001 AI 実践演習	58
012081 Learning Medical English	61
012086 実践看護英語 I	63
012082 国際保健福祉B	64
012019 基礎看護学 II	66
012020 基礎看護学 III	68
012021 基礎看護学演習 I	71
012022 基礎看護学演習 II	74
012023 基礎看護学実習 II	79
012024 成人看護学 I	83
012025 成人看護学 II	87
012026 精神看護学	89
012002 看護心理学	91
012027 小児看護学 I	94
012028 小児看護学演習 I	96
012089 地域保健看護学 I	98
012029 在宅看護学 I	100
	102
【第3学年】	
2021年度時間割(看護学専攻:第3学年)	104
012031 疫学	105
012032A Global Nursing Communication II	113
012033 卒業論文 I	115
012081 Learning Medical English	118
012087 実践看護英語 II	121
012083 国際保健福祉C	122
012034 成人看護学 III	124
012035 成人看護学演習	126
012036 成人看護学実習	128
012037 地域精神看護学	130
012038 精神看護学演習	134
012039 精神看護学実習	137
012040 小児看護学 II	140
012041 小児看護学演習 II	143
012042 小児看護学実習	145
012043 母性看護学 I	147
012044 母性看護学 II	150
012045 母性看護学 III	153
012046 母性看護学演習	155
012047 母性看護学実習	157
012048 老年看護学	161
012049 老年看護学演習	166
012050 リハビリテーション看護学	169
012051 老年看護学実習	171
012053 地域保健看護学 II	173
012054 在宅看護学 II	177
012055 在宅看護学演習	179
012056 在宅看護学実習	182
	185

【第4学年】	
2021年度時間割(看護学専攻:第4学年)	189
012058 保健統計学	190
012059A 國際保健看護学	196
012060 産業保健学	198
012061 健康教育学演習	201
012062 卒業論文II	204
014001 AI 実践演習	206
012081 Learning Medical English	209
012088 実践看護英語III	211
012084 國際保健福祉D	212
012077 地域保健看護学III	214
012078 地域保健看護学演習	216
012079 地域保健看護学実習	218
012067A 緩和ケア看護学I	220
012067B 緩和ケア看護学II	229
012068 看護の統合と実践II	231
012070 看護の統合と実践実習	233
012091 総合実習I	235
012092 総合実習II	238
	239
【学生周知事項】	241
学生周知事項	242
台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置(湯島地区)	245
諸様式	246
【講義室一覧】	261
講義室一覧	262
【参考】	263
東京医科歯科大学学則	264
東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ	278
東京医科歯科大学医学部履修規則・進級要件、履修規則内規	288
保健衛生学科(看護学専攻)教育課程	357
東京医科歯科大学医学部試験規則、試験規則内規	362
東京医科歯科大学医学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項	366
国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱要項	368
看護学専攻第3学年における臨地実習履修要件	370
医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項	371
医学部保健衛生学科レポート書式(見本)	373

2021年度授業計画表《看護学専攻》

第 2 学 年		第 3 学 年		第 4 学 年	
区分	週数	区分	週数	区分	週数
前期授業 ・補講	1~4週 2021年 4月 5日(月)~7月 9日(金)	前期授業 ・補講	1~4週 2021年 4月 5日(月)~7月 9日(金)	前期授業 ・補講	1~2週 2021年 4月 5日(月)~6月 21日(月)
前期試験	3週 2021年 7月 12日(月)~7月 26日(月)	前期試験	2週 2021年 7月 8日(木)~7月 16日(金)	前期試験	1週 2021年 6月 22日(火)~6月 25日(金)
夏季休業	2021年 7月 27日(火)~9月 1日(水)	夏季休業	2021年 7月 26日(月)~9月 10日(金)	夏季休業	2021年 7月 26日(月)~9月 3日(金)
後期授業	1~7週 2021年 9月 2日(木)~12月 24日(金)	後期授業	1~5週 2021年 9月 13日(月)~12月 24日(金)	後期授業	1~6週 2021年 9月 6日(月)~12月 24日(金)
冬季休業	2021年 12月 27日(月) ~2022年 1月 3日(月)	冬季休業	2021年 12月 27日(月) ~2022年 1月 3日(月)	冬季休業	2021年 12月 27日(月) ~2022年 1月 3日(月)
後期授業	1週 2022年 1月 4日(火)~1月 7日(金)	後期授業	6週 2022年 1月 4日(火)~2月 10日(木)	後期授業	3週 2022年 1月 4日(火)~1月 21日(金)
後期試験	2週 2022年 1月 11日(火)~1月 21日(金)	後期試験	後期試験	後期試験	後期試験
補講・再試 期間	2週 2022年 1月 24日(月)~2月 4日(金)	補講・再試 期間	補講・再試 期間	補講・再試 期間	補講・再試 期間
春季休業	2022年 2月 7日(月)~	春季休業	2022年 2月 14日(月)~	春季休業	2022年 1月 24日(月)~

【行事】

- 2021年 4月 5日(月) 入学式
- 2021年 4月 8日(木) ガイダンス(2学年)
- 2021年 5月 8日(土) 【未定】 体育祭
- ※オープンキャンパス開催未定
- 2021年10月12日(火) 創立記念日
- 2021年10月16日(土)~17日(日) お茶の水祭
- 2021年10月28日(木) 解剖体追悼式 N2, MTT2 (築地本願寺)
- 2022年 3月25日(金) 卒業式

保健師国家試験受験資格取得に必要な科目の履修について

(看護学専攻教育課程)

- 看護学専攻では、平成 28 年度入学者からは、保健師国家試験受験資格取得に必要な科目の履修を、選択制にすることといたしました。
- このことにより、保健師の資格取得を希望する学生は、所定の科目を履修し、その単位を修得した場合に、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できることとなります。

参照：保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

看護師国家試験受験資格と保健師国家試験受験資格取得を選択する場合と、
看護師国家試験受験資格取得の場合の科目

保健師を選択する者		
科目	単位	区分
①地域保健看護学Ⅲ	2	選択科目
②地域保健看護学演習	1	選択科目
③地域保健看護学実習	3	選択科目
④国際保健看護学	2	必修科目
⑤緩和ケア看護学 I	1	必修科目

保健師を選択しない者		
科目	単位	区分
⑥総合実習 I	2	選択科目
⑦総合実習 II	1	選択科目
④国際保健看護学	2	必修科目
⑤緩和ケア看護学 I	1	必修科目
⑧緩和ケア看護学 II※	1	選択科目
⑨リハビリテーション看護学※	1	選択科目
⑩看護心理学	※	選択科目

※は 3 科目の中から 1 科目選択

7単位

第1学年

2021年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

(前期)

	8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
3/29 月															
30 火															
31 水															
4/1 木															
2 金															
4/5 月	※学部入学式														
6 火	四種抗体検査(湯島・保健管理センター)														
7 水	オリエンテーション・専攻別ガイド / 情報システム説明会(湯島・情報検索室(M&Dタワー4階))														
8 木	教養部オリエンテーション・ガイド														
9 金															
4/12 月															
13 火							基礎看護学 I (1) 同期型 (zoom)			基礎看護学 I (2) 同期型 (zoom)			ユニフォーム 等購入ガイダンス 同期型 (zoom)		
14 水															
15 木															
16 金															
4/16(金)18時～(zoom) [自]国際保健福祉Aオリエンテーション															
4/19 月															
20 火							基礎看護学 I (3) 同期型 (zoom)			基礎看護学 I (4) 同期型 (zoom)					
21 水															
22 木															
23 金															
4/26 月															
27 火							基礎看護学 I (5) 同期型 (zoom)			基礎看護学 I (6) 同期型 (zoom)					
28 水															
29 木	昭和の日														
30 金															
5/3 月	憲法記念日														
4 火	みどりの日														
5 水	こどもの日														
6 木															
7 金															

2021年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

	8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
5/10 月															
11 火								基礎看護学 I (7) <small>(zoom)</small>	同期型		基礎看護学 I (8) <small>(zoom)</small>	同期型			
12 水															
13 木															
14 金															
5/17 月															
18 火	健康診断(予定)							基礎看護学実習 I (1) <small>(zoom)</small>	同期型						
19 水															
20 木															
21 金															
5/24 月															
25 火															
26 水															
27 木															
28 金															
5/31 月															
6/1 火															
2 水															
3 木															
4 金															
6/7 月															
8 火															
9 水															
10 木															
11 金															
6/14 月															
15 火															
16 水															
17 木															
18 金															
6/21 月															
22 火															
23 水															
24 木															
25 金															
6/28 月															
29 火															
30 水															
7/1 木															
2 金															
7/5 月															
6 火															
7 水															
8 木															
9 金															

2021年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

	8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
8/16 月		基礎看護学実習 I (2～5)						登校(面接授業)	講義室 1 実習室						
17 火		基礎看護学実習 I (6～10)									登校(面接授業)	講義室 1 実習室			
18 水		基礎看護学実習 I (11～15)									登校(面接授業)	講義室 1 実習室			
19 木		基礎看護学実習 I (16～19)						登校(面接授業)	講義室 1 実習室						
20 金		基礎看護学実習 I (20～23)						登校(面接授業)	講義室 1 実習室						

2021年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

(後期)

	8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等		
9/13 月																	
14 火																	
15 水																	
16 木																	
17 金																	
9/20 月	敬老の日	8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等	
21 火																	
22 水																	
23 木	秋分の日																
24 金																	
9/27 月		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等	
28 火	微生物学(1)	同期型 (zoom)		解剖学(1)	同期型 (zoom)		解剖学(2)	同期型 (zoom)		解剖学(3)	同期型 (zoom)	[選]看護心理学	同期型 (zoom)				
29 水																	
30 木																	
10/1 金																	
10/4 月		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等	
5 火	微生物学(2)	同期型 (zoom)		解剖学(4)	同期型 (zoom)		解剖学(5)	同期型 (zoom)		解剖学(6)	同期型 (zoom)	[選]看護心理学	同期型 (zoom)				
6 水																	
7 木																	
8 金																	
10/11 月		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等	
12 火	創立記念行事																
13 水																	
14 木																	
15 金																	
10/18 月		8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等	
19 火	微生物学(3)	同期型 (zoom)		解剖学(7)	同期型 (zoom)		解剖学(8)	同期型 (zoom)		解剖学(9)	同期型 (zoom)	[選]看護心理学	同期型 (zoom)				
20 水																	
21 木																	
22 金																	

2021年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

	8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
10/25 月															
26 火	微生物学(4) <small>同期型 (zoom)</small>	解剖学(10) <small>同期型 (zoom)</small>		解剖学(11) <small>同期型 (zoom)</small>		解剖学(12) <small>同期型 (zoom)</small>		[選]看護心理学 <small>同期型 (zoom)</small>							
27 水															
28 木															
29 金															
11/1 月															
2 火	微生物学(5) <small>同期型 (zoom)</small>	解剖学(13) <small>同期型 (zoom)</small>		解剖学(14) <small>同期型 (zoom)</small>		解剖学(15) <small>同期型 (zoom)</small>		[選]看護心理学 <small>同期型 (zoom)</small>							
3 水	文化の日														
4 木															
5 金															
11/8 月															
9 火	微生物学(6) <small>同期型 (zoom)</small>	解剖学(16) <small>同期型 (zoom)</small>		解剖学(17) <small>同期型 (zoom)</small>		解剖学(18) <small>同期型 (zoom)</small>		[選]看護心理学 <small>同期型 (zoom)</small>							
10 水															
11 木															
12 金															
11/15 月															
16 火	微生物学(7) <small>同期型 (zoom)</small>	解剖学(19) <small>同期型 (zoom)</small>		解剖学(20) <small>同期型 (zoom)</small>		解剖学(21) <small>同期型 (zoom)</small>		[選]看護心理学 <small>同期型 (zoom)</small>							
17 水															
18 木															
19 金															
11/22 月															
23 火	勤労感謝の日														
24 水															
25 木															
26 金															
11/29 月															
30 火	微生物学(8) <small>同期型 (zoom)</small>	解剖学(22) <small>同期型 (zoom)</small>		解剖学(23) <small>同期型 (zoom)</small>		解剖学(24) <small>同期型 (zoom)</small>		[選]看護心理学 <small>同期型 (zoom)</small>							
12/1 水															
2 木															
3 金															

2021年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

	8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
12/6 月															
								看護の統合と実践 I (1) 同期型 (zoom)			看護の統合と実践 I (2) 同期型 (zoom)				
12/13 火								看護の統合と実践 I (3) 同期型 (zoom)			看護の統合と実践 I (4) 同期型 (zoom)				
12/14 水															
12/15 木															
12/16 金															
12/20 月															
								看護の統合と実践 I (5) 同期型 (zoom)			看護の統合と実践 I (6) 同期型 (zoom)			看護の統合と実践 I (7) 同期型 (zoom)	
12/21 火															
12/22 水															
12/23 木															
12/24 金															
1/3 月															
								看護の統合と実践 I (8) 同期型 (zoom)			看護の統合と実践 I (9) 同期型 (zoom)			看護の統合と実践 I (10) 同期型 (zoom)	
1/4 火															
1/5 水															
1/6 木															
1/7 金															
1/10 月															
1/11 火								看護の統合と実践 I (11) 同期型 (zoom)			看護の統合と実践 I (12) 同期型 (zoom)			看護の統合と実践 I (13) 同期型 (zoom)	
1/12 水															
1/13 木															
1/14 金															
1/17 月															
								看護の統合と実践 I (14) 同期型 (zoom)			看護の統合と実践 I (15) 同期型 (zoom)			看護の統合と実践 I (16) 同期型 (zoom)	
1/18 火															
1/19 水															
1/20 木															
1/21 金															

2021年度専門科目時間割(看護学専攻:第1学年)

	8:50～10:20	授業形態	講義室等	10:30～12:00	授業形態	講義室等	12:50～14:20	授業形態	講義室等	14:30～16:00	授業形態	講義室等	16:20～17:50	授業形態	講義室等
1/24 月															
25 火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
26 水															
27 木															
28 金															
1/31 月															
2/1 火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
2 水															
3 木															
4 金															
2/7 月															
8 火	定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)			定期試験候補日(湯島)		
9 水															
10 木															
11 金	建国記念の日														

時間割番号	012005A				
科目名	解剖学			科目ID	MN-130500-L
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]				
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名: Anatomy					
【科目責任者】星治					
主な講義場所					
Zoom 講義					
授業の目的、概要等					
解剖学は正常ながらだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で、医学の最も基礎的な領域である。					
授業の到達目標					
からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について、基本的な構造を理解することを目標とする。さらに、看護学を学ぶためにあたって必要な内容を講義するだけでなく、実物観察により理解を深めることも重視する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容
1	9/28	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	解剖学総論 I	解剖学とは何か、人体の構成単位、器官と系統、
2	9/28	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	解剖学総論 II	細胞と組織、人体の方向用語
3	9/28	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	骨格系 I	骨組織、骨の発生、骨の連結、頭蓋
4	10/5	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	骨格系 II	脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格
5	10/5	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	筋系 I	筋の形態と構造、頭部の筋
6	10/5	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	筋系 II	胸腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋
7	10/19	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	呼吸器系 I	鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭
8	10/19	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	呼吸器系 II	気管、気管支、肺
9	10/19	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	循環器系 I	心臓の構造、刺激伝導系
10	10/26	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	循環器系 II	肺循環と体循環、動脈系、静脈系、リンパ系
11	10/26	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	循環器系 III	血管の構造
12	10/26	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	発生学	発生学:ヒトの発生、受精から出生までのあらまし
13	11/2	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	泌尿器系 I	腎臓
14	11/2	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	神経系 I	神経系の構成
15	11/2	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	神経系 II	中枢神経系・末梢神経系
16	11/9	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	泌尿器系 II	尿管、膀胱、尿道
17	11/9	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	生殖器系(男性、女性)	精巣と精巣上体、精管など、卵巣、卵管、子宮など
18	11/9	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	内分泌系	内分泌器官
19	11/16	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	消化器系 I	消化管の基本構造、口腔、咽頭、食道、胃
20	11/16	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	消化器系 II	小腸、大腸
21	11/16	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	感覚器系 I	眼球とその付属器
22	11/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	感覚器系 II	平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚
23	11/30	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	消化器系 III	肝臓、胆嚢、脾臓
24	11/30	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)		
授業内容					
人体を各系統に分け、それらを構成する各器官の形態と構造について講義し、基礎的な人体解剖学の概念を修得できるように努める。一部演習も行う。					
成績評価の方法					
小テストの成績(10%)、学期末筆記試験の成績(90%)により総合的に評価する。一部、英文による出題もある。					

準備学習等についての具体的な指示

指定の教科書を事前に読み込むこと。特に、講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。

教科書

解剖学／秋田恵一, 星治 著,秋田, 恵一, 1962-,星, 治,:医歯薬出版, 2019

参考書

藤田恒夫:入門人体解剖学 南江堂

牛木辰男:入門組織学 南江堂

他科目との関連

人体の様々な病態を理解するためには、からだの構造の基本的な知識が必要である。このため、解剖学は他の多くの科目と関連している。特に、生理学、病理学、病態学とは密接な関連がある。

履修上の注意事項

時間数が限られているので、予習、復習することが必要である。

連絡先(メールアドレス)

星 治:hoshi.ap.s@tmd.ac.jp

藤代 瞳:fujishiro.ap.s@tmd.ac.jp

オフィスアワー

星 治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。

湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012012A				
科目名	微生物学			科目ID	MN-130600-L
担当教員	斎藤 良一[SAITO RYOICHI]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名:Medical microbiology					
【科目責任者】斎藤 良一					
主な講義場所					
オンライン講義により行う。					
授業の目的、概要等	感染症の原因である微生物および微生物とその宿主(特に人間)との相互関係に関する学問である医学微生物学について学ぶ。また人間をとりまく環境中の微生物についても学習する。				
授業の到達目標	学生はこの講義を通して医学微生物学の基礎的知識を修得できる。				
1)微生物の構造や細菌の代謝、遺伝、微生物の消毒、滅菌方法について説明できる。					
2)微生物の病原因子や宿主の感染防御機構、感染症治療と予防・感染制御について説明できる。					
3)医学微生物学の領域で問題となる主な病原微生物(細菌、真菌、ウイルス、寄生虫)とそれらが関わる感染症について説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容
1	9/28	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(1)	微生物学の概念と歴史、微生物細胞の形態と構造
2	10/5	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(2)	微生物の分類・命名、細菌の代謝、細菌の培養
3	10/19	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(3)	細菌の増殖・生残・死滅、滅菌と消毒
4	10/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(4)	微生物の遺伝、環境と微生物
5	11/2	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	微生物と免疫	免疫、微生物の病原因子、宿主の感染に対する抵抗性
6	11/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感染症学総論(1)	主な病原微生物(ウイルス)と感染症
7	11/16	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感染症学総論(2)	主な病原微生物(細菌と真菌)と感染症
8	11/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感染制御、化学療法	化学療法、感染症の予防とコントロール
授業方法					
同期型講義:WebClass で事前配布した資料をもとに講義し、質疑応答やグループ討論を行う。					
非同期型講義:WebClass で配布された資料を視聴後、提示された課題を期限内に提出する。					
授業内容					
医学微生物学全般(細菌学、ウイルス学、真菌学、免疫学)にわたる基礎的な事項について講義を行う。感染症に関してもその概略を述べる。一部で先進的な微生物検査について概説する。					
成績評価の方法					
定期試験成績(85 点)、課題内容(10 点)および授業態度(5 点)により総括的評価(100 点満点)を行う。定期試験は多肢選択問題で構成され、基本的な専門用語を英語で示す問題も一部に含まれる。					
成績評価の基準					
「成績評価の方法」に示した項目の合計が 60 点以上の場合を合格とする。					
準備学習等についての具体的な指示					
講義前に事前配布資料で予習し、関連する内容は教科書でも学習すること。					
試験の受験資格					
本学の試験規則を満たす者。但し、出席管理は以下のように行う。					
同期型講義:zoom のアクセス時間と講義中に行う小テストや質疑応答等により判断する。講義開始 30 分以上経過後のアクセスは欠席とみなす。					
非同期型講義:動画視聴後に提示された課題を期限内に提出した場合、出席とする。					
教科書					
微生物学／吉田眞一,他 [著]:医学書院, 2018					

参考書

イラストでわかる微生物学超入門：病原微生物の感染のしくみ／齋藤光正著、齋藤、光正、南山堂、2018

他科目との関連

免疫学、生化学、病理学、公衆衛生学などの科目と密接な関係を持っている。

履修上の注意事項

微生物学の範囲は広く講義時間数は限られているので、毎回出席することが大切である。また講義内容の復習や講義で詳しく触れなかつた事項も自主学習し、単元ごとに知識の定着を図って欲しい。講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。

連絡先(メールアドレス)

齋藤 良一 r-saito.mi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

齋藤 良一 随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	012090													
科目名	国際保健福祉 A				科目 ID	MN-190700-Z								
担当教員	緒方 泰子[OGATA YASUKO]													
開講時期	2021 年度通年	対象年次	1	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名 : Global Health and welfare A														
【科目責任者】看護学専攻主任 緒方泰子														
主な講義場所														
海外短期研修プログラム 研修機関先 ・ セイナヨキ応用科学大(フィンランド共和国) ・ ラオス保健科学大学(ラオス人民民主共和国) ・ ワシントン州(米国) 等														
授業の目的、概要等														
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。														
授業の到達目標														
1)研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。 2)1)で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。 2)海外研修報告会において、1)で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	4/16	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	緒方 泰子	質問は適宜受け付け る。							
2	10/13	16:20-17:50	その他	国際保健福祉	海外研修報告会	緒方 泰子	日時は未定である。 海外研修を通じた体験学習を行う。							
授業方法														
事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加(プレゼンテーションの実施等) オリエンテーションは Zoom で行う。														
今年度の詳細は未定である。10月以降に海外渡航の許可がおり次第、プログラムを調整する。														
授業内容														
諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等														
成績評価の方法														
・ 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況 ・ 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況 ・ 研修報告会における発表状況 ・ 研修報告書														
成績評価の基準														
事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5段階評価とする。														
準備学習等についての具体的な指示														
・ 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること ・ グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験すること														

- ・ 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること
- ・ 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。

参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。

海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

今年度の詳細は未定である。詳細についてはオリエンテーションで説明する。

他科目との関連

国際保健福祉 B, 国際保健福祉 C, 国際保健福祉 D, 国際保健看護学

履修上の注意事項

- ・ 4月に開催される合同オリエンテーションに参加すること
- ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと
- ・ Global Communication Workshop (GCW)へ参加していることが必須である
- ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと
- ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い

- ・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること
保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他
- ・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
- ・ 2020 年度の授業評価を踏まえ、2021 年度は、状況が許す限り海外での研修が実現するよう調整する。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子 yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館19階

オフィスアワー

緒方 泰子オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012003									
科目名	基礎看護学 I			科目ID	MN-130200-L					
担当教員	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO, MORIOKA Noriko]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名: Fundamental Nursing I										
【科目責任者】柏木 聖代										
主な講義場所 遠隔授業(同期型)もしくは 保健衛生学講義室2(3号館8階)、講義室4(3号館7階)										
授業の目的、概要等 基礎看護学では看護学専門科目に共通する知識と技術を学ぶ。基礎看護学 I は、看護学概論として、看護の本質となる「看護」「健康」「人間」「環境」の概念を理解し、看護の機能と役割、対象の全人的理解のための基礎的知識を養う。										
授業の到達目標										
1回 看護学を学ぶための個々の目標を明確にできる。家族の看護と専門職者の看護の違いを弁別できる。 2回 看護の定義が説明できる。看護の対象と目的および看護の独自の機能を説明できる。 3回 看護の歴史の概要が説明できる。ナイチンゲールの看護覚え書が生まれた背景を説明できる。日本の看護の歴史と近代看護に影響を与えた諸外国の看護の歴史を説明できる。 4回 看護の法的位置づけが説明できる。看護実践の特徴を説明できる。 5回 看護理論とは何かを説明できる。看護実践の基盤となる教養科目を関連付けられる。看護理論と背景、理論を分類できる。 6回 生命倫理と看護師の倫理綱領について説明できる。専門家と専門職業人の違いを弁別できる。社会から期待される看護の活動について説明できる。 7回 看護技術とは何かを説明できる。看護技術の構成要素を列举できる。看護技術の種類を説明できる。 8回 保健医療チームの中での看護の役割と連携について説明できる。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	4/13	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション	看護と看護学	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子				
2	4/13	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	看護の概念	看護の概念と対象理解	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子				
3	4/20	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	看護の歴史的変遷	看護の歴史と今後の展開	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子				
4	4/20	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	看護の機能と役割	法的位置づけと看護実践の特徴	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子				
5	4/27	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	看護理論	看護の諸理論	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子				
6	4/27	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	看護倫理	倫理と専門職としての看護	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子				
7	5/11	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	看護技術	看護技術の定義、看護技術の定義と構成する要素と内容	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子				
8	5/11	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	保健医療の概念	保健医療の概念と看護活動・看護の実践の場	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子				
授業方法 授業内容は学びの進度によって変更する場合がある。 ディスカッションを交えて進めていくため、積極的に参加すること。										
成績評価の方法 1.出席状況・参加状況(40%) :出席回数だけでなく、授業内での発言やアクティブラーニングへの参加態度を含めて評価する。 2.ミニレポート(20%) :授業内容の理解状況を評価する。特別な理由なく提出期限を過ぎた場合は未提出とする。										

3.最終レポート(40%)：示された課題について、授業内で示した知識の羅列ではなく、学習内容を元に考察した自身の考えを系統立てて具体的に記述すること。特別な理由なく提出期限を過ぎた場合は未提出とする。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す項目の成績の合計により評価を行う。授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とし、それを上回る場合には加点される。提出物は、提出期限が守られ、かつ、授業中に示す基準を守っているかどうかが評価基準となる。なお、合格した場合、リアクションペーパーでの重要な質問や指摘があった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

到達目標や授業明細の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業にのぞむことが求められる。該当範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。毎回講義後に関連したミニレポートを書いてもらうので、理解できなかった事柄はテキストだけでなく、様々な文献等を活用して自分で調べ、解決しておくこと。調べても解決できなかった事は、何がわからなかったのかを明確にして、ミニレポートに記載すること。

試験の受験資格

本科目では期末筆記試験は実施しない。

教科書

看護学原論改訂第2版：看護の本質的理解と創造性を育むために／高橋照子 編：南江堂, 2016

看護の基本となるもの／ヴァージニア・ヘンダーソン 著,湯槻ます, 小玉香津子 訳：日本看護協会出版会, 2016

看護覚え書：看護であること看護でないこと／フロレンス・ナイチンゲール [著],湯槻ます, 薄井坦子, 小玉香津子, 田村真, 小南吉彦 訳Nightingale, Florence, 1820-1910,湯槻 ます, 1904-1991,薄井, 坦子, 1932-,小玉, 香津子, 1936-,:現代社, 2011

参考書

看護倫理：よい看護・よい看護師への道しるべ／小西恵美子 編集,小西, 恵美子, 1939-,: 南江堂, 2014

ケアの本質：生きることの意味／ミルトン・メイヤロフ 著,田村真 訳,向野宣之 訳ミルトン・メイヤロフ,田村真,向野宣之,:ゆみる出版, 2008

オレム看護論：看護実践における基本概念／ドロセア・Eオレム 著,小野寺杜紀 訳,Orem, Dorothea Elizabeth, 1914-2007,小野寺, 杜紀,:医学書院, 2005

看護論：初心者から達人へ／パトリシア・ベナー 著；井部俊子 監訳；井部俊子 [ほか]訳パトリシア・ベナー,井部, 俊子,井部, 俊子,:医学書院, 2005

その他テーマに関連した参考図書を隨時紹介

他科目との関連

看護学の独自性や看護の専門機能を理解するために、学習の基礎となる教養の自然科学系、社会学系の科目、特に人間科学、社会学、心理学、哲学などの学習が望ましい。

履修上の注意事項

看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために、柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験、社会体験を踏まえ、幅広い分野の書物に触れ、社会情勢にも関心を持つことが望ましい。講義中にスクリーンの撮影をすることを禁止する。講義資料や動画などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。質問がある場合には、他学生の理解の支援にもなるので、積極的に授業中もしくはミニレポートを活用して積極的に行うことが望ましい。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代: kashiwagi.fnl@tmd.ac.jp 3号館 18階看護ケア技術開発学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012001													
科目名	基礎看護学実習 I				科目ID	MN-170100-E								
担当教員	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO, MORIOKA Noriko]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Easily Exposure Practice														
【科目責任者】柏木聖代														
主な講義場所														
遠隔授業(同期型)もしくは 保健衛生学講義室1(3号館18階)、看護実習室1・2・3・4(3号館17階)、医学部附属病院														
授業の目的、概要等														
専門科目の学習初期段階に、看護活動の実際を見ることや、入院患者と直接関わることを通して、看護の機能と役割を理解する。また、専門知識の少ない時期に医療の場に触れることで、患者と同じように生活者としての視点から、患者の療養環境の実際を知る。 さらに、実習を通して学習者としての課題を明確化し、今後の学習への動機づけとする。														
授業の到達目標														
1)大学病院の機能を説明できる。 2)医学部、および歯学部附属病院の理念と病院組織の概要を説明できる。 3)看護部の理念と基本方針を説明できる。 4)病院の機能と構造上の特徴を関係づけることができる。 5)療養環境としての病棟・病室環境の測定をし、入院患者の療養環境の特徴を考察できる。 6)看護師と共に行動しながら看護活動の場を見学し、看護活動の場と看護の実際について討議できる。 7)生活者としての視点から、健康障害を持った人の特徴を具体的に述べることができる。 8)専門職の役割や、多職種との連携を説明できる。 9)学生間で体験を共有し、討議できる。 10)臨床場面における看護学学習者としての姿勢や態度を示すことができる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	5/18	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	基礎看護学実習 I	実習オリエンテーション	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:グループワーク、討論							
2-5	8/16	08:50-16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4, 保健衛生学科講義室1	基礎看護学実習 I	詳細については実習要項参照	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照							
6-10	8/17	08:50-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4, 保健衛生学科講義室1	基礎看護学実習 I	詳細については実習要項参照	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照							
11-15	8/18	08:50-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4, 保健衛生学科講義室1	基礎看護学実習 I	詳細については実習要項参照	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参照							
16-19	8/19	08:50-16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3,	基礎看護学実習 I	詳細については実習要項参照	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出							

			看護学実習室 4, 保健衛生学科講義室 1				物については実習要項参考
20-23	8/20	08:50-16:00	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4, 保健衛生学科講義室 1	基礎看護学実習 I	詳細については実習要項参考	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習記録などの提出物については実習要項参考

授業方法

〔実習期間〕

5月19日(火)

8月17日(月)~21日(金)

授業内容

5月にオリエンテーション、8月に5日間の実習を行う。

詳細については、後日配布する実習要項に提示する。

成績評価の方法

基礎看護学実習 I の評価は、以下 2 つの項目により行われる。実習への出席は評価を行うための最低条件であるため、成績評価には加味しない。

1)実習記録:最終的に提出する実習記録の内容を考慮して評価する。

2)実習態度および参加状況:実習中やグループワーク、質疑応答での活発な発言などの積極的な参加態度や、身だしなみや時間厳守、約束事を守っているかなどの実習態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下 2 つの項目で、総合的に評価する。

1)実習記録

実習記録が提出期限までに、実習要項に書かれた正しい方法で提出されていた場合に評価を行う。

記録物は散体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。また実習記録は感想文や実習中に行ったことの経時記録を求めてはいない。そのため、学んだ内容について、自身で感じたことや考えたことを具体的に記載した内容を評価する。

2)実習態度および参加状況

基礎看護学実習 I では積極的な参加が求められる。そのため、グループワークへの積極的な参加や質疑応答などで活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。また看護を学ぶ学習者としての態度を示すことも実習目標であるため、身だしなみを整える、時間厳守する、約束事を守るなどを行えている場合にも加点する。

準備学習等についての具体的な指示

基礎看護学 I の講義内容を復習の上、実習に臨むこと。また、学んだ知識を基に、実習病院における病院の機能や組織の概要、看護部の理念、目標、組織、看護体制、看護制度などについて事前に調べておく。

試験の受験資格

本科目では試験を実施しない。成績評価を行うためには、すべての実習日程に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも実習期間の 3/4 以上の出席が必要である。1 日の実習時間のうち、3/4 以上の時間を参加することで出席とする。また遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2 回で 1 日の欠席とみなす。

詳細は実習要項参照。

他科目との関連

基礎看護学実習 I では、附属病院看護部長に病院の理念や機能、看護部の理念や看護体制などの実際について講義を受けたり、医療現場において患者や看護師、他職種の医療者を生活者の視点から体験をしたり、学びを深める。そのため、実習以前に行われる「基礎看護学 I」と密接な関係にある。また本科目での体験した内容から形成された患者像や看護観は、2 年生の「基礎看護学 II」、「基礎看護学 III」、「基礎看護学演習 I」において看護を必要とする対象への看護や看護技術について学ぶための礎になる。多くのことを生活者の視点から見聞し、感じるとともに、考えた内容を記録やディスカッションにより深めることが重要となる。

履修上の注意事項

- 1)実習要項を良く熟読し、実習に参加すること。
- 2)時間厳守し、実習生にふさわしい態度を持ち、身だしなみを整えて実習に臨むこと。
- 3)実習の場は医療の場のため、態度・言葉遣いなどにも注意すること。

※その他詳細は実習要項を参照すること

備考

- 1)実習中に得た患者の情報は、絶対に電子メールやWebサイト、SNSなどでインターネット上に発信しない。
- 2)SNSを通じて患者から連絡があった場合はすぐに返信せずに、担当教員へ報告し対応の指示を受ける。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代: kashiwagi.fnl@tmd.ac.jp 3号館 18階看護ケア技術開発学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012002									
科目名	看護心理学			科目ID	MN-290100-L					
担当教員	川上 明希, 田中 真琴, 高野 歩, 栗林 一人, 山崎 智子[KAWAKAMI Aki, TANAKA Makoto, TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto, YAMAZAKI TOMOKO]									
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1~2	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名:Nursing psychology 【科目責任者】川上 明希										
主な講義場所 遠隔授業(同期型)										
授業の目的、概要等 心の健康と精神的援助の全容を概観し、看護実践における心理学的な知識、技術を築くため、心のしくみと働きについて理解を深める。自分自身の心と身体を通して心身の健康およびストレスマネジメントについて学修し、精神的な健康をめぐる援助について視野を広げる。体験記や体験の語りから対象への共感性を高め、対象の心理を理解しながら行う支援についての基本的な考え方を身につける。										
授業の到達目標 1回目:心のしくみと健康、癒し、ライフサイクルと心の発達、心とからだの相互作用について理解を深めることができる。 2回目:呼吸法や瞑想法を実際に体験することにより、ストレス対処の方法について理解を深めることができる。 3回目:病気や障害をもたらす心の働きや心理状態の評価方法、ストレス対処方法などについて理解を深めることができる。 4回目:グループワーク及び課題発表をとおして自己の心理状況の分析や心の不調を覚えた時の対処、自己の癒しについて考えることができる。 5~7回目:病気という体験やトラウマについて、当事者やその家族・支援者から体験談を聴き、語り合うことによって、当事者や家族の気持ちに寄り添い共感できる感性を培い、またセルフ・ヘルプグループやピアサポートの実際について知ることができ、病気の回復との関連について考えることができる。 8回目:グループワーク及び課題発表をとおして他者への心の健康の維持と支援について理解を深めることができ、これまでの講義から看護心理学について考えることができる										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	9/28	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	心の働き	ガイダンス 心の働きとしくみ、ライフサイクルと心の発達、心とからだの相互作用	田中 真琴, 川上 明希				
2	10/5	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	ストレスマネジメント、心の健康への支援	代替療法と統合医療、マインドフルネスの概念、リラクセーション技法(呼吸法、ストレス低減法)	高野 歩, 栗林 一人				
3	10/19	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	心の健康・身体の健康	病気や障害のもたらす心の働きと理論、心の健康と身体の健康、心理的ストレスの発生、ストレスとコーピング、心理状態の評価方法、第4回課題発表に関する説明	田中 真琴, 川上 明希				
4	10/26	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	自己の癒し	課題に関するグループワーク及び発表	田中 真琴, 川上 明希				
5	11/2	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	体験としての病(1)	がんに罹患した人々とその家族への支援	山崎 智子				
6	11/9	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	体験としての病(2)	病気という体験① 病気を抱えること、「いのち」、セルフ・ヘルプグループ	井上 千恵美 田中 真琴, 川上 明希				
7	11/16	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	体験としての病(3)	病気という体験② がん患者とその家族を中心に、病気の受容、病と共に生きるということ	濱谷 裕, 田中 真琴, 川上 明希				
8	11/30	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	他者への癒し	課題に関するグループワーク及び発表 授業のまとめ	田中 真琴, 川上 明希				
授業方法 講義、演習										

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

出席・授業への参加状況、グループワークへの参加状況・発表内容、リフレクティブレポート、課題レポートにより評価する。

成績評価の基準

60 点以上であること。

準備学習等についての具体的な指示

患者や家族など援助の必要な対象者の闘病記や手記などを読む、体験談を聞く等対象者の心理に关心をよせることを心がける。

対象の苦痛や苦悩等の体験を理解して支援する姿勢をもって臨んで欲しい。

自分自身の心と身体を学習素材とした体験学習を通じて、自己の内面に生じてくる反応に気づき、“やさしく”受け入れてみることを糸口にして、看護職、医療職に求められる姿勢を築いて欲しい。

参考書

精神看護学／宮本眞巳編集代表,宮本、眞巳,日本精神科看護技術協会:中央法規出版, 2006

「異和感」と援助者アイデンティティ／宮本眞巳著,宮本、眞巳,:日本看護協会出版会, 1995

セルフケアを援助する／宮本眞巳 著,宮本、眞巳, 1947-,:日本看護協会出版会, 1996

生涯人間発達論：人間への深い理解と愛情を育むために／服部祥子著,服部、祥子,:医学書院, 2020

ストレスの心理学：認知的評価と対処の研究／リチャード・S. ラザルス, スーザン・フォルクマン著,Lazarus, Richard S.,Folkman, Susan,本明、寛,春木、豊織田、正美,:実務教育出版, 1991

アイデンティティとライフサイクル／エリク・H・エリクソン著；西平直, 中島由恵訳Erikson, Erik H. (Erik Homberger),西平, 直,中島, 由恵,:誠信書房, 2011

EQ : こころの知能指数／ダニエル・ゴールマン [著]; 土屋京子訳Goleman, Daniel,土屋、京子,:講談社, 1998

子どもと家族とまわりの世界／D. W. ウィニコット著,猪股丈二／訳Winnicott, Donald:星和書店, 1985

子どもはなぜあそぶの：続・ウィニコット博士の育児講義／D.W.ウィニコット著；猪股丈二訳Winnicott, D. W. (Donald Woods),猪股、丈二,:星和書店, 1986

* 講義中にも提示する

他科目との関連

基礎看護学、精神看護学、精神看護学演習と関連する。

履修上の注意事項

WebClass の看護心理学のコースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先(メールアドレス)

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3号館17F

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3号館19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012004																		
科目名	看護の統合と実践 I				科目ID	MN-130300-L													
担当教員	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO, NOGUCHI Ayako]																		
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2														
実務経験のある教員による授業	該当する																		
英文名 : Integration of Acquaintance for Nursing Practice I																			
【科目責任者】佐々木 吉子																			
主な講義場所																			
Zoom による同期型授業(ネットワーク接続の問題のため、自宅からの参加ができない学生が接続するための講義室については必要に応じ連絡する)																			
授業の目的・概要等																			
本科目では、学生自らが看護専門職に必要とされる知識・技術・態度について考え、看護観を育み、短期的、長期的な自身の学修およびキャリアプランを検討することを目的とする。そのため、ロールモデルとなりうる、多様な領域で活躍する看護職や協働する他職種から、実践経験やキャリアパスについて講義を受けるとともに、その内容に基づいて学生主体の積極的なディスカッションを行う。また、研究を通してよりよい実践していくことの意義を理解し、そのための基盤となる知識や技術を身につける。そのため、素朴な疑問を研究的視点から捉える姿勢や、情報検索の方法を学び、看護やその関連領域に関する情報を収集・統合する能力を養い、自身のキャリアプランについて考察する。																			
授業の到達目標																			
1) 多様な看護職・医療職としての実践例やキャリアパスを知り、看護の仕事の責務と発展性について考え、ディスカッションで積極的に意見を述べるとともに、自身の考えを記述することができる。																			
2) 看護実践および看護学の発展のために必要な情報の検索・統合の方法を身につけ、研究的視点から問い合わせ立て、目的に応じた情報収集を行い、得られた情報について学生間でのディスカッションを通じ、知見をまとめて発表することができる。																			
3) 専門職として質の高い看護実践を行うために必要な知識・技術・態度について考え、看護とは何かを探求することができ、自身のキャリアプランについてレポートにまとめることができる。																			
授業計画																			
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考												
1	12/7	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション 看護職の多様性と可能性、キャリアパス 看護と研究①:看護実践とエビデンス(EBNとNBN)	看護職の多様性と可能性、キャリアパス 看護と研究①:看護実践とエビデンス(EBNとNBN)	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子													
2	12/7	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	看護学における資料・文献の探し方①	看護学における資料・文献の探し方①～医中誌	濵川 穂積													
3	12/14	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	看護学における資料・文献の探し方②	看護学における資料・文献の探し方②～PubMed	濵川 穂積													
4	12/14	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	看護と研究②	看護と研究②:医療・看護に関する課題の探究 (クリニックルクエスチョンからリサーチエスチョンへ)	今津 陽子													
5-6	12/21	12:50-16:00	遠隔授業 (同期型)	看護職のキャリアパス①	看護職のキャリアパス①:看護師・助産師・保健師	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子													
7	12/21	16:10-17:40	遠隔授業 (同期型)	看護と研究③	看護と研究③:文献の読み方とまとめ方	野口 綾子													
8	1/4	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	看護職とキャリアパス②	看護職とキャリアパス②:スペシャリストと看護管理者	木下 佳子													
9	1/4	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	看護職とキャリアパス③	看護職とキャリアパス③:看護政策者	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子													

10	1/4	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	看護と研究④	看護と研究④:情報の統合とプレゼンテーションの仕方	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子	
11	1/11	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	多様な場所で活躍する看護職①	多様な場所で活躍する看護職 ①:訪問看護ステーション		
12	1/11	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	多様な場所で活躍する看護職②	多様な場所で活躍する看護職 ②:国際機関	田中 雅彦	
13	1/11	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	看護と研究⑤	看護と研究⑤:発表準備	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子	
14	1/18	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	米国の看護学生・看護師のキャリア	米国の看護学生・看護師のキャリア	JANELLE RENEE MOROSS	(注 英語による講義)
15-16	1/18	14:30-17:50	遠隔授業 (同期型)	看護と研究⑥	看護と研究⑥:「医療・看護における課題」プレゼンテーションとディスカッション	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子	

授業方法

講義、文献検索、グループディスカッション、プレゼンテーション

授業内容

別紙、授業明細の通り

成績評価の方法

事前課題(20%)、レスポンスシート(20%)、参加姿勢(10%)、プレゼンテーション(10%)、最終レポート(40%)により評価する予定である。

提出物は原則的に WebClass のみで受け付ける。締め切りは以下とする。

事前課題:前回講義日翌日の 13:00

レスポンスシート:講義日翌日の 13:00

レポート:2022 年 2 月 1 日(火)13:00

レポート課題は以下を予定する。適切なタイトルをつけ、適切に文献を引用し、レポートとしての体裁を整えること。

本授業で学んだことを踏まえて、現時点で、自身が考える自身のキャリアについて記述せよ。必ず1件以上の文献を引用し、引用した文献の出典を明記すること(インターネットからの情報は、URL と閲覧日を記載する)。(1200 字程度)

準備学習等についての具体的な指示

一部の単元では準備学習を必要とする。事前に連絡を行うため、確認すること。第 15・16 回のグループワークの発表については、別途指示する。

試験の受験資格

2/3 以上の授業への出席

教科書

授業について必要な書籍等があれば連絡する。

他科目との関連

「看護の統合と実践」は、他の看護の専門分野と密接なかかわりを持つ。今回学んだ内容は、今後学習予定の看護学の各科目と、将来的に関連付けしていくことが望ましい。

履修上の注意事項

内容・日時・場所については変更が生じるので教務係や担当教員からの連絡を確認すること。 第 2, 3 回の文献検索演習では、インターネットに接続された PC を必要とするため、必ず持参すること。

連絡先(メールアドレス)

佐々木 吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp

今津 陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

佐々木 吉子:平日 AM.9:30-PM.5:30 3 号館 19 階 災害・クリティカルケア看護学分野教授室

今津 陽子:平日 AM.10:00-PM.5:00 3 号館 18 階 災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

第2学年

2021年度時間割(看護学専攻:第2学年)

(前期)

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
3/29 月															
30 火															
31 水															
4/1 木															
2 金															
①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/5 月	合同入試式10:35～ (集合時間・場所は別途連絡)						移動時間			【合】生化学(1) 同期型 (zoom)			【合】生化学(2) 同期型 (zoom)		
6 火	医療人間学概論(1)(法) <small>医療人間学概論(1)(倫理)</small>														
7 水				【合】病理学(1) 同期型 (zoom)			Global Nursing Communication I (1)	同期型 (zoom)							
8 木	【合】病理学(2) 同期型 (zoom)												オリエンテーション 登校(面接授業)	1	
9 金	【自】実践看護英語 I (1) 同期型 (zoom)		【合】生化学(3) 同期型 (zoom)		基礎看護学 II (1) 同期型 (zoom)		基礎看護学 II (2) 同期型 (zoom)								
②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/12 月	【合】病理学(3) 同期型 (zoom)		【合】生化学(4) 同期型 (zoom)				・2年生交流ミーティング(仮)13:30～14:30 ・抗体検査14:30～16:00 (保健管理センター)								
13 火	医療人間学概論(2)(法) <small>医療人間学概論(2)(倫理)</small>	同期型 (zoom)		医療人間学概論(2)(倫理)	同期型 (zoom)		地域保健看護学 I (1) 同期型 (zoom)		地域保健看護学 I (2) 同期型 (zoom)						
14 水	【自】実践看護英語 I (2) 同期型 (zoom)		【合】病理学(4) 同期型 (zoom)		Global Nursing Communication I (2)	同期型 (zoom)					【合】生化学(5) 同期型 (zoom)				
15 木							基礎看護学 II (3) 同期型 (zoom)		基礎看護学演習 I (1) 同期型 (zoom)		基礎看護学演習 I (2) 同期型 (zoom)		基礎看護学演習 I (3) 同期型 (zoom)		
16 金	【合】生化学(6) 同期型 (zoom)		成人看護学 I (1) 同期型 (zoom)		基礎看護学 II (4) 同期型 (zoom)										
	4/16(金)18時～(zoom)														[自]国際保健福祉Bオリエンテーション(自由参加)
③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/19 月	【合】病理学(5) 同期型 (zoom)		【合】生化学(7) 同期型 (zoom)		【合】生化学(8) 同期型 (zoom)										
20 火	医療人間学概論(3)(法) <small>医療人間学概論(3)(倫理)</small>	同期型 (zoom)	医療人間学概論(3)(倫理)	同期型 (zoom)	地域保健看護学 I (3) 同期型 (zoom)			地域保健看護学 I (4) 同期型 (zoom)							
21 水	【自】実践看護英語 I (3) 同期型 (zoom)		【合】病理学(6) 同期型 (zoom)		Global Nursing Communication I (3)	同期型 (zoom)									
22 木	【合】生理学(1) 同期型 (zoom)		移動時間				基礎看護学演習 I (3) 登校(面接授業)	基礎看護学演習 I (4) 登校(面接授業)	基礎看護学演習 I (5) 登校(面接授業)	基礎看護学演習 I (6) 登校(面接授業)	基礎看護学演習 I (7) 同期型 (zoom)				
23 金	【合】生化学(9) 同期型 (zoom)		成人看護学 I (2) 同期型 (zoom)		基礎看護学演習 I (6) 同期型 (zoom)		基礎看護学演習 I (7) 同期型 (zoom)								
④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/26 月	【合】生理学(2) 同期型 (zoom)		【合同】病態学(1) 同期型 (zoom)		【合】生化学(10) 同期型 (zoom)		【合】生化学(11) 同期型 (zoom)								
27 火	医療人間学概論(4)(法) <small>医療人間学概論(4)(倫理)</small>	同期型 (zoom)	医療人間学概論(4)(倫理)	同期型 (zoom)											
28 水	【合】生化学(12) 同期型 (zoom)		【合】生化学(13) 同期型 (zoom)		Global Nursing Communication I (4)	同期型 (zoom)		【合】病理学(7) 同期型 (zoom)							
29 木	昭和の日														
30 金	【合】生化学(14) 同期型 (zoom)		成人看護学 I (3) 同期型 (zoom)		Global Nursing Communication I (5)	同期型 (zoom)									

2021年度時間割(看護学専攻:第2学年)

	⑤	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
5/3	月	憲法記念日														
4	火	みどりの日														
5	水	こどもの日														
6	木	【合】生理学(3) 同期型 (zoom)		【合】生理学(4) 同期型 (zoom)		基礎看護学III(1) 同期型 (zoom)		基礎看護学III(2) 同期型 (zoom)								
7	金	【合】生化学(15) 同期型 (zoom)		成人看護学 I (4) 同期型 (zoom)		基礎看護学 II (5) 同期型 (zoom)		基礎看護学 II (6) 同期型 (zoom)		(自)実践看護英語 I (4) 同期型 (zoom)						
⑥	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室	
5/10	月	【合】生理学(5) 同期型 (zoom)		移動時間			基礎看護学演習 I (8) 登校(面接授業) 実習室1・3	基礎看護学演習 I (9) 登校(面接授業) 実習室1・3								
11	火	医療人間学概論(5)(法医学) 同期型 (zoom)		医療人間学概論(5)(倫理) 同期型 (zoom)		地域保健看護学 I (5) 同期型 (zoom)		地域保健看護学 I (6) 同期型 (zoom)								
12	水	(自)実践看護英語 I (5) 同期型 (zoom)		【合】病理学(8) 同期型 (zoom)		Global Nursing Communication I (6) 同期型 (zoom)						(自)実践看護英語 I (6) 同期型 (zoom)				
13	木	【合】生理学(6) 同期型 (zoom)				成人看護学 I (5) 同期型 (zoom)		成人看護学 I (6) 同期型 (zoom)								
14	金			移動時間		基礎看護学演習 I (11) 登校(面接授業) 実習室1・2・3	基礎看護学演習 I (12) 登校(面接授業) 実習室1・2・3	基礎看護学演習 I (13) 登校(面接授業) 実習室1・2・3								
⑦	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室	
5/17	月	【合】生理学(7) 同期型 (zoom)		【合同】病態学(2) 非同期型 (webclass)		【合同】病態学(3) 非同期型 (webclass)										
18	火	医療人間学概論(6)(法医学) 同期型 (zoom)		医療人間学概論(6)(倫理) 同期型 (zoom)		専門基礎合同演習(1) 同期型 (zoom)		専門基礎合同演習(2) 同期型 (zoom)			専門基礎合同演習(3) 同期型 (zoom)					
19	水	(自)実践看護英語 I (7) 同期型 (zoom)		病態学(4) 非同期型 (webclass)		Global Nursing Communication I (7) 同期型 (zoom)										
20	木					基礎看護学 III (3) 同期型 (zoom)		基礎看護学 III (4) 同期型 (zoom)			基礎看護学 III (5) 同期型 (zoom)					
21	金			成人看護学 I (7) 同期型 (zoom)		小児看護学 I (1) 同期型 (zoom)		小児看護学 I (2) 同期型 (zoom)								
⑧	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室	
5/24	月	【合】生理学(8) 同期型 (zoom)		【合】生理学(9) 同期型 (zoom)		【合同】病態学(5) 非同期型 (webclass)		【合同】病態学(6) 同期型 (zoom)		基礎看護学 II (7) 同期型 (zoom)						
25	火	医療人間学概論(7)(法医学) 同期型 (zoom)		医療人間学概論(7)(倫理) 同期型 (zoom)		地域保健看護学 I (7) 同期型 (zoom)		地域保健看護学 I (8) 同期型 (zoom)								
26	水	(自)実践看護英語 I (8) 同期型 (zoom)		病態学(6) 非同期型 (webclass)		Global Nursing Communication I (8) 同期型 (zoom)										
27	木	【合】生理学(10) 同期型 (zoom)														
28	金	成人看護学 I (8) 同期型 (zoom)		移動時間		基礎看護学演習 I (14) 登校(面接授業) 実習室1・2・3	基礎看護学演習 I (15) 登校(面接授業) 実習室1・2・3	基礎看護学演習 I (16) 登校(面接授業)/ 非同期型 (webclass)								
⑨	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室	
5/31	月	【合】生理学(11) 同期型 (zoom)		【合同】病態学(7) 非同期型 (webclass)		【合同】病態学(8) 非同期型 (webclass)										
6/1	火	医療人間学概論(8)(法医学) 同期型 (zoom)		医療人間学概論(8)(倫理) 同期型 (zoom)		専門基礎合同演習(4) 同期型 (zoom)		専門基礎合同演習(5) 同期型 (zoom)			専門基礎合同演習(6) 同期型 (zoom)					
2	水	(自)実践看護英語 I (9) 同期型 (zoom)		病態学(9) 非同期型 (webclass)		Global Nursing Communication I (9) 同期型 (zoom)										
3	木	【合】生理学(12) 同期型 (zoom)				基礎看護学 II (8) 同期型 (zoom)		基礎看護学演習 I (17) 同期型 (zoom)			基礎看護学演習 I (18) 同期型 (zoom)					
4	金			成人看護学 I (9) 同期型 (zoom)		小児看護学 I (3) 同期型 (zoom)		小児看護学 I (4) 同期型 (zoom)			小児看護学 I (5) 同期型 (zoom)					
⑩	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室	
6/7	月			【合同】病態学(10) 非同期型 (webclass)		病態学(11) 非同期型 (webclass)										
8	火					専門基礎合同演習(7) 同期型 (zoom)		専門基礎合同演習(8) 同期型 (zoom)			専門基礎合同演習(9) 同期型 (zoom)					
9	水	(自)実践看護英語 I (10) 同期型 (zoom)		病態学(12) 同期型 (zoom)		Global Nursing Communication I (10) 同期型 (zoom)										
10	木	【合】生理学(13) 同期型 (zoom)		【合】生理学(14) 同期型 (zoom)												
11	金	成人看護学 I (10) 同期型 (zoom)		成人看護学 I (11) 同期型 (zoom)		小児看護学 I (6) 同期型 (zoom)		小児看護学 I (7) 同期型 (zoom)			小児看護学 I (8) 同期型 (zoom)					

2021年度時間割(看護学専攻:第2学年)

	⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/21	月	病態学(17)	非同期型 (webclass)		【合同】病態学(18)	非同期型 (webclass)		専門基礎合同演習(13)	登校(面接授業)	7F実習室	専門基礎合同演習(14)	登校(面接授業)	7F実習室	専門基礎合同演習(15)	登校(面接授業)	7F実習室
	22	火			移動時間			専門基礎合同演習(16)	登校(面接授業)	7F実習室	専門基礎合同演習(17)	登校(面接授業)	7F実習室	専門基礎合同演習(18)	登校(面接授業)	7F実習室
	23	水			病態学(19)	同期型 (zoom)		Global Nursing Communication I (12)	同期型 (zoom)							
	24	木						基礎看護学III(7)	同期型 (zoom)		基礎看護学III(8)	同期型 (zoom)		基礎看護学III(9)	同期型 (zoom)	
	25	金	成人看護学 I (13)	同期型 (zoom)		移動時間		基礎看護学演習 I (21)	登校(面接授業)	実習室1・2・3	基礎看護学演習 I (22)	登校(面接授業)	実習室1・2・3	基礎看護学演習 I (23)	登校(面接授業)	実習室1・2・3

	⑩	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
6/28	月	病態学(20)	非同期型 (webclass)		病態学(21)	非同期型 (webclass)								成人看護学 I (14)	同期型 (zoom)	
29	火	【合】生理学(16)	同期型 (zoom)		【合】生理学(17)	同期型 (zoom)										
30	水			【合】生理学(18)	同期型 (zoom)		Global Nursing Communication I (13)	同期型 (zoom)								
7/1	木	【合同】病態学(22)	非同期型 (webclass)		【合同】病態学(23)	同期型 (zoom)		基礎看護学演習 I (24)	同期型 (zoom)		基礎看護学演習 I (25)	同期型 (zoom)				
2	金	成人看護学 I (15)	同期型 (zoom)		移動時間		基礎看護学実習 II (1)	登校(面接授業)	講義室4 実習室1,2,3	基礎看護学演習 I (26)	登校(面接授業)	実習室1,2,3	基礎看護学演習 I (27)	登校(面接授業)	実習室1-2-3	

	④	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
7/5	月	【合】生理学(19)	同期型 (zoom)		【合】生理学(20)	同期型 (zoom)										
6	火	【合】生理学(21)	同期型 (zoom)		【合】生理学(22)	同期型 (zoom)										
7	水	【合同】病態学(24)	非同期型 (webclass)		Global Nursing Communication I (14)	同期型 (zoom)		Global Nursing Communication I (15)	同期型 (zoom)							
8	木	【合】生理学(23)	同期型 (zoom)		移動時間			専門基礎合同演習(19)	登校(面接授業)	7F実習室	専門基礎合同演習(20)	登校(面接授業)	7F実習室	専門基礎合同演習(21)	登校(面接授業)	7F実習室
9	金				移動時間			基礎看護学演習 I (28)	登校(面接授業)	実習室1~4	基礎看護学演習 I (29)	登校(面接授業)	実習室1~4	基礎看護学演習 I (30)	登校(面接授業)	実習室1~4

2021年度時間割(看護学専攻:第2学年)

③																			
7/26	月	前期定期試験																	
27	火																		
28	水																		
29	木																		
30	金																		

夏季休業 7/27(火)～

オープンキャンパス(予定)

2021年度時間割(看護学専攻:第2学年)

(後期)

	①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
8/30	月															
31	火															
9/1	水															
2	木	基礎看護学実習 II (2～11)												登校(面接授業)	講義室4、実習室1	
3	金	基礎看護学実習 II (2～11)												登校(面接授業)	講義室4、実習室1	

	②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/6	月													登校(面接授業)	講義室4、実習室1	
7	火													登校(面接授業)	講義室4、実習室1	
8	水	基礎看護学実習 II (12～36)												登校(面接授業)	講義室4、実習室1	
9	木	基礎看護学実習 II (12～36)												登校(面接授業)	講義室4、実習室1	
10	金	基礎看護学実習 II (12～36)												登校(面接授業)	講義室4、実習室1	

	③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/13	月	基礎看護学実習 II (37,38)				登校(面接授業)	講義室4、実習室1									
14	火	基礎看護学実習 II (39～41)												登校(面接授業)	講義室4、実習室1	
15	水	基礎看護学実習 II (42～45)												登校(面接授業)	講義室4、実習室1	
16	木															
17	金															

	④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/20	月	敬老の日														
21	火															
22	水															
23	木	秋分の日														
24	金															

	⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/27	月				在宅看護学 I (1)	同期型 (zoom)			病態学(25)							
28	火				医療人間学セミナー I 法 字(1)		医療人間学セミナー I 法 字(2)		小児看護学演習 I (1)	同期型 (zoom)		小児看護学演習 I (2)	同期型 (zoom)	(選) 看護心理学 (zoom)	同期型 (zoom)	
29	水															
30	木	栄養学(1)	同期型 (zoom)		病態学(26)	非同期型 (webclass)		精神看護学(1)	非同期型 (webclass)		精神看護学(2)	同期型 (zoom)		(自)AI 実践演習 (zoom)	同期型 (zoom)	
10/1	金	成人看護学 II (1)	同期型 (zoom)		成人看護学 II (2)	同期型 (zoom)		保健医療福祉制度論(1)	同期型 (zoom)		保健医療福祉制度論(2)	同期型 (zoom)				

	⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/4	月				在宅看護学 I (2)	同期型 (zoom)		病態学(27)	同期型 (zoom)							
5	火				医療人間学セミナー I 法 字(3)		医療人間学セミナー I 法 字(4)		小児看護学演習 I (3)	同期型 (zoom)		小児看護学演習 I (4)	同期型 (zoom)	(選) 看護心理学 (zoom)	同期型 (zoom)	
6	水															
7	木	病態学(29)	非同期型 (webclass)		病態学(30)	非同期型 (webclass)		精神看護学(3)	同期型 (zoom)		精神看護学(4)	同期型 (zoom)		(自)AI 実践演習 (zoom)	同期型 (zoom)	
8	金	成人看護学 II (3)	同期型 (zoom)		成人看護学 II (4)	同期型 (zoom)		保健医療福祉制度論(3)	非同期型 (webclass)		保健医療福祉制度論(4)	非同期型 (webclass)				

2021年度時間割(看護学専攻:第2学年)

	⑦	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
10/11	月															
12	火	創立記念行事														
13	水	薬理学 I (1) <small>(zoom)</small>	同期型		薬理学 I (2) <small>(zoom)</small>	同期型								海外研修報告会		
14	木	栄養学(2) <small>(zoom)</small>	同期型				病態学(31) <small>(webclass)</small>	非同期型	精神看護学(5) <small>(zoom)</small>	同期型		精神看護学(6) <small>(zoom)</small>	同期型			
15	金	成人看護学 II(5) <small>(zoom)</small>	同期型		成人看護学 II(6) <small>(zoom)</small>	同期型	保健医療福祉制度論(5) <small>(zoom)</small>	同期型	保健医療福祉制度論(6) <small>(zoom)</small>	同期型						
10/18	月	⑧ 8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
19	火	医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>		在宅看護学 I (3) <small>(zoom)</small>	同期型		病態学(32) <small>(zoom)</small>	同期型							
20	水	医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>		医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>		小児看護学演習 I (5) <small>(zoom)</small>	同期型		小児看護学演習 I (6) <small>(zoom)</small>	同期型	[選] 看護心理学 <small>(zoom)</small>	同期型		
21	木															
22	金	成人看護学 II(7) <small>(zoom)</small>	同期型		成人看護学 II(8) <small>(zoom)</small>	同期型							(自)AI 実践演習 <small>(zoom)</small>	同期型		
10/25	月	⑨ 8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
26	火	医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>		在宅看護学 I (4) <small>(zoom)</small>	同期型		病態学(33) <small>(zoom)</small>	同期型							
27	水	医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>		医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー I 倫 <small>(理学)</small>		小児看護学演習 I (7) <small>(zoom)</small>	同期型		小児看護学演習 I (8) <small>(zoom)</small>	同期型	[選] 看護心理学 <small>(zoom)</small>	同期型		
28	木	解剖体追悼式(予定・時間未定)														
29	金	栄養学(4) <small>(zoom)</small>	同期型		病態学(34) <small>(webclass)</small>	非同期型		基礎看護学演習 II(1) <small>(zoom)</small>	同期型		基礎看護学演習 II(2) <small>(zoom)</small>	同期型				
11/1	月	⑩ 8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
2	火	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>		在宅看護学 I (5) <small>(zoom)</small>	同期型										
3	水	文化の日														
4	木															
5	金	栄養学(5) <small>(zoom)</small>	同期型		病態学(35) <small>(zoom)</small>	同期型		精神看護学(9) <small>(zoom)</small>	同期型		精神看護学(10) <small>(zoom)</small>	同期型	(自)AI 実践演習 <small>(zoom)</small>	同期型		
11/8	月	⑪ 8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
9	火	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>		在宅看護学 I (6) <small>(zoom)</small>	同期型		基礎看護学演習 II(5) <small>(zoom)</small>	同期型		基礎看護学演習 II(6) <small>(zoom)</small>	同期型				
10	水	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>		医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>		医療情報学(1) <small>(webclass)</small>	非同期型		医療情報学(2) <small>(webclass)</small>	非同期型	[選] 看護心理学 <small>(zoom)</small>	同期型		
11	木	栄養学(6) <small>(zoom)</small>	同期型		薬理学 I (7) <small>(zoom)</small>	同期型		医療情報学(3) <small>(webclass)</small>	非同期型		医療情報学(4) <small>(webclass)</small>	非同期型				
12	金	成人看護学 II(10) <small>(zoom)</small>	同期型		成人看護学 II(11) <small>(zoom)</small>	同期型		保健医療福祉制度論(13) <small>(zoom)</small>	同期型		保健医療福祉制度論(14) <small>(zoom)</small>	同期型				
11/15	月	⑫ 8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
16	火	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>		在宅看護学 I (7) <small>(zoom)</small>	同期型		病態学(36) <small>(zoom)</small>	同期型							
17	水	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>		医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>	医療人間学セミナー II 倫 <small>(理学)</small>		小児看護学演習 I (11) <small>(zoom)</small>	同期型		小児看護学演習 I (12) <small>(zoom)</small>	同期型	[選] 看護心理学 <small>(zoom)</small>	同期型		
18	木															
19	金	医療情報学(5) <small>(webclass)</small>	非同期型		医療情報学(6) <small>(webclass)</small>	非同期型		保健医療福祉制度論(15) <small>(zoom)</small>	同期型		保健医療福祉制度論(16) <small>(zoom)</small>	同期型				

2021年度時間割(看護学専攻:第2学年)

⑩	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
11/22 月				在宅看護学 I (8) <small>(zoom)</small>	同期型										
23 火	勤労感謝の日														
24 水	薬理学 II (3) <small>(zoom)</small>	同期型		薬理学 II (4) <small>(zoom)</small>	同期型										
25 木	成人看護学 II (12) <small>(zoom)</small>	同期型										(自)AI 実践演習 <small>(zoom)</small>	同期型		
26 金	成人看護学 II (13) <small>(zoom)</small>	同期型		移動時間			基礎看護学演習 II (7) <small>登校(面接授業)</small>	実習室1・2・3	基礎看護学演習 II (8) <small>登校(面接授業)</small>	実習室1・2・3	基礎看護学演習 II (9) <small>登校(面接授業)</small>	実習室1・2・3	基礎看護学演習 II (9) <small>登校(面接授業)</small>	実習室1・2・3	
⑩	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
11/29 月				病態学(37) <small>(webclass)</small>	非同期型		病態学(38) <small>(webclass)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>		小児看護学演習 I (13) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>				
30 火	医療人間学セミナー II 法 <small>(倫理学)</small>	医療人間学セミナー II 倫 <small>(倫理学)</small>		医療人間学セミナー II 法 <small>(倫理学)</small>	医療人間学セミナー II 倫 <small>(倫理学)</small>		小児看護学演習 I (14) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>		小児看護学演習 I (15) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>	[選]看護心理学 <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>		
12/1 水	医療情報学(7) <small>(webclass)</small>	非同期型		医療情報学(8) <small>(webclass)</small>	非同期型 <small>(webclass)</small>										
2 木				移動時間			基礎看護学演習 II (10) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>		基礎看護学演習 II (11) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>		基礎看護学実習 II (46) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>	
3 金				病態学(39) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>		栄養学(7) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>					(B) Learning MedicalEnglish(4) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>	
⑩	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
12/6 月							【未定】薬害講演			【未定】薬害講演					
7 火				移動時間			基礎看護学演習 II (12) <small>登校(面接授業)</small>	実習室1・2・3	基礎看護学演習 II (13) <small>登校(面接授業)</small>	実習室1・2・3					
8 水	卒業研究発表会			卒業研究発表会			卒業研究発表会			卒業研究発表会			卒業研究発表会		
9 木	栄養学(8) <small>(zoom)</small>	同期型					精神看護学(15) <small>(webclass)</small>	非同期型		精神看護学(16) <small>(webclass)</small>	非同期型 <small>(webclass)</small>		(自)AI 実践演習 <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>	
10 金	成人看護学 II (14) <small>(zoom)</small>	同期型		成人看護学 II (15) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>		移動時間		基礎看護学演習 II (14) <small>登校(面接授業)</small>	実習室1・2・3	基礎看護学演習 II (15) <small>登校(面接授業)</small>	実習室1・2・3	基礎看護学演習 II (15) <small>登校(面接授業)</small>	実習室1・2・3	
⑩	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
12/13 月				病態学(40) <small>(zoom)</small>	同期型										
14 火															
15 水	薬理学 II (5) <small>(zoom)</small>	同期型		薬理学 II (6) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>								(B) Learning MedicalEnglish(5) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>	
16 木													(自)AI 実践演習 <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>	
17 金															
⑩	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
12/20 月													(B) Learning MedicalEnglish(6) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>	
21 火															
22 水	薬理学 II (7) <small>(zoom)</small>	同期型		薬理学 II (8) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>								(B) Learning MedicalEnglish(6) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>	
23 木															
24 金															
冬季休業 12/27(月)～															
①	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
1/3 月															
4 火															
5 水													(B) Learning MedicalEnglish(7) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>	
6 木													(B) Learning Medical English(7) <small>(zoom)</small>	同期型 <small>(zoom)</small>	
7 金															

2021年度時間割(看護学専攻:第2学年)

①													
1/10	月	成人の日											
11	火	後期定期試験											
12	水	後期定期試験											
13	木	後期定期試験											
14	金	後期定期試験											
②													
1/17	月	後期定期試験											
18	火	後期定期試験											
19	水	後期定期試験											
20	木	後期定期試験											
21	金	後期定期試験											
③													
1/24	月	補講・再試											
25	火	補講・再試											
26	水	補講・再試											
27	木	補講・再試											
28	金	補講・再試											
④													
1/31	月	補講・再試											
2/1	火	補講・再試											
2	水	補講・再試											
3	木	補講・再試											
4	金	補講・再試											

春季休業 2/7(月)~

時間割番号	012007									
科目名	生理学			科目ID	MN-230300-L					
担当教員	星 治, 藤代 瞳[HOSHI OSAMU, FUJISHIRO Hitomi]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	3					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名: Physiology										
【科目責任者】星治										
授業の目的、概要等										
生理学は人体の各構成要素の機能がどのようなメカニズムで発現し、全体として統合されているかを追求する学問である。										
授業の到達目標										
人体の各構成要素の機能の基本的事項を、解剖学の知識を基盤に理解することを目標とする。正常な人体の機能を理解することは、疾患による人体の機能の変化を理解する上でも、看護学を修得する上でも重要なことである。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	4/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	総論	生理学の概念、意義	星 治				
2	4/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	体液	体液とその調節	星 治				
3	5/6	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	血液と生体防御1	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星 治				
4	5/6	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	血液と生体防御2	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星 治				
5	5/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	循環の生理(1)	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星 治				
6	5/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	循環の生理(2)	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星 治				
7	5/17	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	呼吸の生理	呼吸器の機能、呼吸の調節、呼吸器系の検査	星 治				
8	5/24	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	消化と吸收	消化液のその作用、栄養吸収と水分吸収、腸管運動、肝臓のはたらき	星 治				
9	5/24	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	体温調節	体温、熱の産生、放熱、発汗のしくみ	星 治				
10	5/27	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	内分泌の機能(1)	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治				
11	5/31	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	内分泌の機能(2)	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治				
12	6/3	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	尿の生成と排泄(1)	腎臓の機能と尿の排泄	藤代 瞳				
13	6/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	尿の生成と排泄(2)	腎臓の機能と尿の排泄	藤代 瞳				
14	6/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	栄養と代謝(1)	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	藤代 瞳				
15	6/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	筋肉の機能	筋肉の分類とその機能 骨格筋収縮のしくみ	星 治				
16	6/29	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	栄養と代謝(2)	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	藤代 瞳				
17	6/29	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	生殖機能(1)	男性生殖機能(精子形成)	藤代 瞳				
18	6/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	生殖機能(2)	女性生殖機能(排卵、受精、着床)、妊娠と分娩	藤代 瞳				
19	7/5	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	神経、シナプス	神経生理の基礎、活動電位、神経線維の種類、興奮の伝達、シナプス	星 治				
20	7/5	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	神経系の機能(1)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治				
21	7/6	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	神経系の機能(2)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治				
22	7/6	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	感覚の生理(1)	感覚の一般的性質、視覚	星 治				
23	7/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感覚の生理(2)	聴覚、平衡感覚、味覚	星 治				

授業内容

生体の機能は基本的機能と高次機能に大別される。基本的機能は動物と植物の両者に共通に認められる機能で、呼吸、血液循環、消化と吸收、代謝、排泄、内分泌等の生体の維持に関する機能がこれに属する。一方、高次機能は動物において発達、特殊化した機能を意味し、運動、神経、感覚等がこれに属する。これらの生体の機能について順次、要点を講義する。また、一部演習も行う。

成績評価の方法

小テストの成績(10%)、学期末筆記試験の成績(90%)により総合的に評価する。一部、英文による出題もある。

準備学習等についての具体的な指示

指定の教科書を事前に読むこと。特に、講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。

教科書

シンプル生理学(改訂第8版)／貴邑 富久子 著・文・その他根来 英雄 著・文・その他貴邑 富久子、根来 英雄、南江堂、2021-03-26

参考書

本郷利憲、廣重力、豊田順一、熊田衛 編集:標準生理学、医学書院

他科目との関連

人体の構造を理解した上で、それらのさまざまな機能を理解するのが生理学である。生理学は、解剖学と表裏一体をなすとともに、薬理学、生化学、栄養学、病態学等と密接な関係がある

履修上の注意事項

時間数が限られているため、講義に関連した領域について自習することが必要である。

連絡先(メールアドレス)

星 治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp

藤代 瞳:fujishiro.aps@tmd.ac.jp

オフィスアワー

星 治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。

湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012008					
科目名	生化学				科目ID	MN-230400-L
担当教員	鈴木 喜晴[SUZUKI NOBUHARU]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	2	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名 : Biochemistry						
【科目責任者】鈴木喜晴						
主な講義場所						
zoom による遠隔授業(同期型)						
授業の目的、概要等	<p>生化学は生体に関するあらゆる学問の基礎と言っても過言ではない。長い歴史の過程で数多くの関連知見が得られ、現在も目覚ましい科学技術の発展と共に、生化学は進歩し続けている。本講義では、特に生体高分子の構造、反応、機能に着目し、細胞や組織、個体レベルでの生命現象の理解を深めることを目的とする。また、様々な生化学に関わる最新の基礎研究にも触れ、当該研究分野の現状を学ぶ。さらに、英語による解説ビデオ等から、当該分野における国際的な重要性についても理解を深める。アクティブラーニングとして、各章の終わりに演習問題を行い習得度を確認する。</p>					
授業の到達目標	<p>国家試験に対応できる基礎知識の習得をする。さらに関連分野での基礎研究や臨床研究に応用できる実践的な知識も身につける。</p>					
各章での具体的な目標は以下の通りである。						
1章:細胞の構造と構成要素について理解する。生化学における化学、物理学、遺伝学、進化論の基礎を理解する。						
2章:水の分子レベルでの性質と機能を学ぶ。						
3章:アミノ酸の種類と性質を理解し整理する。タンパク質の一次構造を学ぶ。						
4章:タンパク質の二次構造、三次構造、四次構造を理解する。						
5章:タンパク質の相互作用とその評価方法を学ぶ。						
6章:触媒としての酵素の機能をエネルギー論や基質特異性から学ぶ。						
7章:糖質の構造と機能を理解する。糖質の同定法や機能解析法を学ぶ。						
8章:核酸の構造と機能を理解する。核酸の同定法や機能解析法(PCRなど)を学ぶ。						
9章:脂質の構造と機能を理解する。脂質の同定法や機能解析法を学ぶ。						
10章:高エネルギーリン酸化合物や生物学的酸化還元反応を担う分子について学ぶ。						
11章:解糖、糖新生、ペントースリン酸経路の仕組みを学ぶ。						
12章:解糖と糖新生の協調的調節機構を学ぶ。グリコーゲンの代謝(分解と合成)の仕組みを理解する。						
13章:クエン酸回路の仕組みを学ぶ。						
14章:脂質の異化(過酸化反応)を理解する。						
15章:アミノ酸の異化について学ぶ。						
16章:ミトコンドリアでの電子伝達経路の仕組みを学ぶ。						
17章:脂肪酸の生合成経路を理解する。						
18章:アミノ酸やアミノ酸派生体、スクレオチドの生合成経路を学ぶ。						
19章:各種ホルモンの分泌器官、性質、作用を整理・理解する。						
20章:遺伝子、染色体、ゲノムの構造を学ぶ。						
21章: DNA の複製、修復、組換えの仕組みを学ぶ。						
22章: RNA の種類と合成経路、機能を整理・理解する。						
23章:タンパク質の合成経路の仕組みを学ぶ。						
24章:遺伝子発現調節の概要と詳細を理解する。						

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/5	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション／1 章 生化学の基礎	本講義についての説明／1 章 細胞の基礎; 化学の基礎; 遺伝学の基礎; 進化論の基礎	鈴木 喜晴	アクティブラーニング: 各章の内容 解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する

2	4/5	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	2章 水／3章 アミノ酸、ペプチドおよびタンパク質	2章 水系における弱い相互作用:水、弱酸、弱塩基のイオン化;生物系のpH変化に対する緩衝作用;反応物としての水;生物の水環境への適合性／3章 アミノ酸;ペプチドとタンパク質;タンパク質研究法;タンパク質の構造 一次構造	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後にzoomまたはWebClassにて演習問題に回答する
3	4/9	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	4章 タンパク質の三次元構造／5章 タンパク質の機能	4章 タンパク質構造の概念;タンパク質の二次構造;タンパク質の三次構造と四次構造;タンパク質の変性とフォールディング／5章 リガンドに対するタンパク質の可逆的結合;タンパク質とリガンドの間の相補的相互作用	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後にzoomまたはWebClassにて演習問題に回答する
4	4/12	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	6章 酵素	6章 酵素の発見;酵素の作用機構;酵素反応速度論による作用機構の研究;酵素反応の例;調節酵素	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後にzoomまたはWebClassにて演習問題に回答する
5	4/14	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	7章 糖質と糖鎖生物学／8章 ヌクレオチドと核酸	7章 単糖と二糖;多糖;複合糖質:プロテオグリカン、糖タンパク質、スフィンゴ糖脂質;情報分子としての糖質:シガーコード;糖質研究／8章 基本事項;核酸の構造;核酸の化学;ヌクレオチドの他の機能	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後にzoomまたはWebClassにて演習問題に回答する
6	4/16	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	9章 脂質	9章 貯蔵脂質;膜に存在する構造脂質;シグナル分子、補因子および色素としての脂質;脂質研究	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後にzoomまたはWebClassにて演習問題に回答する
7	4/19	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	10章 生体エネルギー論と生化学反応のタイプ／11章 解糖、糖新生およびペントースリン酸経路	10章 ホスホリル基転移とATP;生物学的な酸化還元反応／11章 解糖:解糖への供給経路;嫌気的条件下でのピルビン酸代謝運命:発酵;糖新生;グルコース酸化のペントースリン酸経路	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後にzoomまたはWebClassにて演習問題に回答する
8	4/19	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	12章 代謝調節の原理	12章 解糖と糖新生の協調的調節;動物におけるグリコーゲン代謝;グリコーゲンの合成と分解の協調的調節	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後にzoomまたはWebClassにて演習問題に回答する
9	4/23	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	13章 クエン酸回路／14章 脂肪酸の異化	13章 アセチルCoA(活性酢酸)の生成;クエン酸回路の反応;クエン酸回路の調節／14章 脂肪の消化、動員および運動;脂肪酸の酸化;ケトン体	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後にzoomまたはWebClassにて演習問題に回答する

10	4/26	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	15 章 アミノ酸の酸化と尿素の生成	15 章 アミノ酸の代謝運命;窒素排泄と尿素回路;アミノ酸の分解経路	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
11	4/26	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	16 章 酸化的リン酸化	16 章 ミトコンドリアにおける呼吸鎖;ATP 合成;酸化的リン酸化の調節;ミトコンドリア遺伝子:その起源と変異の影響	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
12	4/28	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	17 章 脂質の生合成／18 章 アミノ酸、ヌクレオチドおよび関連分子の生合成	17 章 脂肪酸とエイコサノイドの生合成;トリアルギリセロールの生合成;膜リン脂質の生合成;コレステロール、ステロイド、イソブレノイドの生合成／18 章 アミノ酸の生合成;アミノ酸に由来する分子:ヌクレオチドの生合成と分解	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
13	4/28	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	19 章 哺乳類の代謝のホルモンによる調節と統合／20 章 遺伝子と染色体	19 章 ホルモン:多様な機能のための多様な構造;インスリンと糖尿病／20 章 染色体の成分:DNA のスーパーコイル形成;染色体の構造	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
14	4/30	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	21 章 DNA 代謝／22 章 RNA 代謝	21 章 DNA 複製;DNA 修復;DNA 組換え／22 章 RNA の DNA 依存的合成;RNA プロセシング;RNA 依存的な RNA と DNA の合成	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する
15	5/7	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	23 章 タンパク質代謝／24 章 遺伝子発現調節	23 章 遺伝暗号;タンパク質合成;タンパク質のターゲティングと分解／24 章 遺伝子発現調節の原理;真核生物における遺伝子発現調節	鈴木 喜晴	アクティブラーニング:各章の内容解説後に zoom または WebClass にて演習問題に回答する

授業方法

同期授業:講義スライドや資料、ビデオを用いて解説しながら進める。本講義は主に参考書1、2「レーニンジャーの新生化学(上、下)」に沿って「授業の到達目標」の下に進めて行く。アクティブラーニングとして、各章の終わりに演習問題を行い理解度を確認する。その他講義内容に応じて、口頭での設問や考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。

授業内容

授業スケジュールを参照

成績評価の方法

合計回数の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

章末演習問題:3 問中 2 問以上正解で 1 点 × 21 章[初日(4 月 5 日)の講義分は適用しない]=21 点

出席点:出席 1 回で 0.6 点 × 15=9 点

期末筆記試験(本試験):70 点

合計:100 点

* 期末試験後、平均点、最高点、最低点を考慮して、点数配分に多少の変更があり得る。

成績評価の基準

上記の「成績評価の方法」に従い、60 点以上で合格とする。60 点未満の場合、再試験(筆記試験)を行い、60 点以上で合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

毎回講義の前に WebClass から講義資料をダウンロードし、参考書等も利用して準備学習を行うこと。本講義は主に参考書1、2「レーニンジャーの新生化学(上、下)」に沿って「授業の到達目標」の下に進めて行くが、各自の学習目的(例:国家試験対策等)、レベルに合わせて、自主学習用の参考書を各自で選択すること。

また、本科目は、高校や教養部の生物・化学の内容をある程度修得していることを前提とした専門科目である。生化学をより専門とする検査技術学専攻との合同科目であることも理解して頂く必要がある。そのため、その修得度に達していない受講者は、自主的に学習し、講義内容を理解できるよう努力する必要がある。

試験の受験資格

前期末に筆記試験を行う。試験の受験資格は、同期型講義(zoom)の合計回数の3分の2以上の出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ず科目責任者にメールで連絡し、理由を説明すること。連絡の無い遅刻や早退は出席回数を0.5回とする。勘案すべき事情があり、受験資格の出席数が足りない場合は、その旨科目責任者にメールで連絡すること。

参考書

レーニンジャーの新生化学：生化学と分子生物学の基本原理[上]／レーニンジャー、ネルソン、コックス [著]川崎敏祐 監修中山和久 編集Lehninger, Albert L,Nelson, David Lee, 1942-,Cox, Michael M,川崎, 敏祐, 1941-,中山, 和久, 1959-,:廣川書店, 2019

レーニンジャーの新生化学：生化学と分子生物学の基本原理[下]／レーニンジャー、ネルソン、コックス [著]川崎敏祐 監修中山和久 編集Lehninger, Albert L,Nelson, David Lee, 1942-,Cox, Michael M,川崎, 敏祐, 1941-,中山, 和久, 1959-,:廣川書店, 2019

他科目との関連

分子生物学、細胞生物学、生理学、遺伝学、栄養化学などと関連する。

履修上の注意事項

講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

章末演習問題を設けることで、アクティブラーニングと講義の予習を促す点を前年度より改善している。

連絡先(メールアドレス)

鈴木 喜晴:nsuzbb@tmnd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木 喜晴オフィスアワーは特に定めない 3号館16階

時間割番号	012009																	
科目名	薬理学 I				科目ID	MN-230500-L												
担当教員	永田 将司 緒方 泰子[NAGATA MASASHI, OGATA YASUKO]																	
開講時期	2021 年度後期	対象年次		2	単位数	1												
実務経験のある教員による授業	該当する																	
英文名: Pharmacology I																		
【科目責任者】看護学専攻主任 緒方 泰子																		
授業の目的、概要等																		
薬理学は、化学物質(薬物)と生体(個体～分子レベルを含む)との間で起こる選択的な相互作用を研究する学問である。どの視点から相互作用を考えるかによって、以下の 2 つに分けられる。①薬力学: 薬物が生体に及ぼす生化学的・生理学的作用(薬理作用)を調べる。②薬物動態学: 生体が薬物の吸収や分布・代謝、排泄に及ぼす影響を調べる。これらについて深い知識を有することは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。																		
授業の到達目標																		
1~3回目: 薬物とは何かについて説明できる。薬物の使用目的について説明できる。薬物の体内での動きについて説明できる。																		
4回目: 代表的な感染症治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。																		
5回目: 代用的な抗がん薬を列挙し、作用機構を説明できる。																		
6回目: 代表的な免疫治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。																		
7回目: 代表的な抗アレルギー・抗炎症薬を列挙し、作用機構を説明できる。																		
8回目: 末梢での神経活動に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。																		
授業計画																		
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考											
1	10/13	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	薬理学を学ぶにあたって、薬理学の基礎知識 (1)	薬理学とは何か、薬による病気の治療、薬が作用するしくみ	永田 将司												
2	10/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	薬理学の基礎知識(2)	薬の体内挙動	永田 将司												
3	10/20	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	薬理学の基礎知識(3)・看護業務に必要な薬の知識	薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と危険性、薬と法律、薬に関する単位、処方せん、添付文書	永田 将司												
4	10/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	抗感染症薬	感染症治療に関する基礎事項、抗感染症薬各論、特殊な感染症の治療薬、感染症の治療における問題点	永田 将司												
5	10/27	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	抗がん薬	がん治療に関する基礎事項、抗がん薬各論	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて小テストを行う											
6	10/27	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	免疫治療薬	免疫系の基礎知識、免疫抑制薬、免疫増強薬・予防接種薬	永田 将司												
7	11/10	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	抗アレルギー・抗炎症薬	抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬、炎症と抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風・高尿酸血症治療薬、片頭痛治療薬	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて小テストを行う											
8	11/10	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	末梢での神経活動に作用する薬物	神経系による情報伝達、自律神経系作用薬、交感神経作用薬、副交感神経作用薬、筋弛緩薬・局所麻酔薬	永田 将司												

授業方法

Zoom を用いたオンライン形式(同期型)で行う。

講義は教科書に沿って進めるので、必ず教科書を持参すること。

また、アクティブラーニングを取り入れ、5、7回目の講義冒頭に Webclass を用いて課題演習(小テスト)を行う。講義中に解説を行いフィードバックする。

成績評価の方法

薬理学 I と II を総合して、授業中に行う小テスト(20 点)、筆記試験(80 点)および出欠状況に基づき評価する。なお、筆記試験問題の一部は英語で出題する。

成績評価の基準

S(90 点以上)、A(89–80 点)、B(79–70 点)、C(69–60 点)、D(59 点以下)の 5 段階で評価を行う。

本試験で D の場合、再試験を行う。再試験でも D となった場合は次年度再履修が必要である。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学・生理学・病理学をよく復習しておくこと。

試験の受験資格

薬理学 I (8 回)と II (8 回)をまとめて一つの試験を行う。

全 16 回中 12 回以上出席したものに受験資格を認める。

講義は Zoom を用いたオンライン形式で行うため、最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする。

教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進 3／吉岡 充弘／泉 剛／井関 健／横式 尚司／菅原 満：医学書院, 2018

備考

2020 年度の授業評価では特に改善が必要な点はなかったが、引き続き、アクティブラーニングを取り入れた能動的な学習ができる授業を行う。

連絡先(メールアドレス)

永田 将司:mna-mpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

永田 将司オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること

時間割番号	012010													
科目名	薬理学Ⅱ				科目ID	MN-230600-L								
担当教員	永田 将司 緒方 泰子[NAGATA MASASHI, OGATA YASUKO]													
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名: Pharmacology II														
【科目責任者】看護学専攻主任 緒方 泰子														
授業の目的、概要等														
薬理学は、化学物質(薬物)と生体(個体～分子レベルを含む)との間で起こる選択的な相互作用を研究する学問である。どの視点から相互作用を考えるかによって、以下の 2 つに分けられる。①薬力学: 薬物が生体に及ぼす生化学的・生理学的作用(薬理作用)を調べる。②薬物動態学: 生体が薬物の吸収や分布・代謝、排泄に及ぼす影響を調べる。これらについて深い知識を有することは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。														
授業の到達目標														
1~2 回目: 中枢神経系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。 3~4 回目: 心臓・血管系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。 5 回目: 呼吸器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。 6 回目: 消化器・生殖器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。 7 回目: 物質代謝に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。代表的な皮膚科用薬・眼科用薬を列挙し、作用機構を説明できる。漢方薬と西洋薬の違いや、漢方薬の副作用について説明できる。代表的な消毒薬を列挙し、その特徴を説明できる。 8 回目: 新薬開発までの道のりを説明できる。日本国内で発生した代表的な薬害事例を説明できる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	11/17	08:50~10:20	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系に作用する薬物(1)	中枢神経系のはたらきと薬物、全身麻醉薬、催眠薬・抗不安薬	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて小テストを行う							
2	11/17	10:30~12:00	遠隔授業 (同期型)	中枢神経系に作用する薬物(2)	抗精神病薬、気分障害治療薬、パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬	永田 将司								
3	11/24	08:50~10:20	遠隔授業 (同期型)	心臓・血管系に作用する薬物(1)	抗高血圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて小テストを行う							
4	11/24	10:30~12:00	遠隔授業 (同期型)	心臓・血管系に作用する薬物(2)	抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬、血液に作用する薬物	永田 将司								
5	12/15	08:50~10:20	遠隔授業 (同期型)	呼吸器系に作用する薬物	呼吸器系に作用する薬物	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて小テストを行う							
6	12/15	10:30~12:00	遠隔授業 (同期型)	消化器・生殖器系に作用する薬物	消化器系に作用する薬物、生殖器・泌尿器系に作用する薬物	永田 将司								
7	12/22	08:50~10:20	遠隔授業 (同期型)	物質代謝に作用する薬物、皮膚科用薬・眼科用薬、漢方薬、消毒薬	ホルモンとホルモン拮抗薬、治療薬としてのビタミン、皮膚に使用する薬物、眼科用薬、漢方医学の基礎知識、漢方薬各論 消毒薬とは、消毒薬の種類と応用、消毒薬の適応	永田 将司	講義冒頭に Webclass を用いて小テストを行う							
8	12/22	10:30~12:00	遠隔授業 (同期型)	臨床薬理学	医薬品の開発、副作用と薬害	永田 将司								

授業方法

Zoom を用いたオンライン形式(同期型)で行う。

講義は教科書に沿って進めるので、必ず教科書を持参すること。

また、アクティブラーニングを取り入れ、1、3、5、7 回目の講義冒頭に Webclass を用いて課題演習(小テスト)を行う。講義中に解説を行いフィードバックする。

成績評価の方法

薬理学 I と II を総合して、授業中に行う小テスト、筆記試験および出欠状況に基づき評価する。なお、筆記試験問題の一部は英語で出題する。

成績評価の基準

S(90 点以上)、A(89–80 点)、B(79–70 点)、C(69–60 点)、D(59 点以下)の 5 段階で評価を行う。

本試験で D の場合、再試験を行う。再試験でも D となった場合は次年度再履修が必要である。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学・生理学・病理学をよく復習しておくこと。

試験の受験資格

薬理学 I (8 回)と II (8 回)をまとめて一つの試験を行う。

全 16 回中 12 回以上出席したものに受験資格を認める。

講義は Zoom を用いたオンライン形式で行うため、最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする。

教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進 3／吉岡 充弘／泉 剛／井関 健／横式 尚司／菅原 満：医学書院, 2018

備考

2020 年度の授業評価では特に改善が必要な点はなかったが、質問等には随時対応し、能動的に学習できるよう工夫する。

連絡先(メールアドレス)

永田 将司:mna-mpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

永田 将司:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること

時間割番号	012011													
科目名	病理学				科目ID	MN-230700-L								
担当教員	沢辺 元司, 副島 友莉恵[SAWABE MOTOJI, SOEJIMA YURIE]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Pathology														
【科目責任者】沢辺 元司														
授業の目的、概要等														
病理学とは疾病の本態を解析、解明するにあたり必要な学問であり、基礎と臨床との両者にまたがった医学・医療の基本となる分野である。本講義では、病理学総論として疾病病変の基礎を理解し、臨床応用への基盤を作成していただきたい。														
授業の到達目標														
到達目標は、以下のようのことである。														
・病理学では、疾病病変の共通の変化、病態の本質、その病因を系統的に把握し説明できる。														
・病理学の学習を通して疾病の本態を理解し、医学・医療の基本的知識・思考を習得することを目標とする。														
・教科書の基本的用語に併記してある英語を読み書きできる。														
第1回: 病気の原因(病因)と疾患の関係を理解する。														
ストレスに対する細胞反応・細胞障害・細胞死、組織の治癒・再生、主な代謝障害を理解する。														
第2回: 全身、局所の様々な循環障害を理解する。														
第3回: 様々な炎症のメカニズム、感染症による炎症を理解する。														
第4回: 免疫現象、アレルギーのメカニズムを理解する。														
第5・6回: 悪性腫瘍の本態と病態、代表的な悪性腫瘍について理解する。														
第7回: 老化、先天異常、放射線による障害と細胞変化について理解する。														
第8回: 本邦における子宮頸癌についての現状を理解し意見を論じる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	4/7	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	病理学・病因 論・進行性病 変ほか	病理学序論・病因・ 進行性病変・退行性 病変・代謝障害	沢辺 元司, 副島 友莉恵	①webclassで事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表							
2	4/8	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	循環障害	循環障害	沢辺 元司, 副島 友莉恵	①webclassで事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表							
3	4/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	炎症・感染症	炎症・感染症	沢辺 元司, 副島 友莉恵	①webclassで事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表							
4	4/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	免疫	免疫	沢辺 元司, 副島 友莉恵	①webclassで事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表							
5	4/19	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	腫瘍病理総 論	腫瘍病理総論	沢辺 元司, 副島 友莉恵	①webclassで事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表							
6	4/21	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	腫瘍病理各 論	腫瘍病理各論	沢辺 元司, 副島 友莉恵	①webclassで事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表							
7	4/28	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	老化・先天異 常・放射線病 理学	老化・先天異常・放 射線病理学	沢辺 元司, 副島 友莉恵	①webclassで事前学習動画を閲覧 ②授業開始時に webclass で多肢選択式問題に回答 ③事前配布課題を班でスライドにまとめ発表							
8	5/12	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	子宮頸癌講 演	子宮頸癌の動向	渡部 享宏, 沢辺 元司	グループ討論をし意見を発表する							

授業方法

- すべて同期授業を行う。
- ・事前学習として、webclass の指定された動画を各自閲覧しておく。
 - ・授業開始時に事前学習内容の確認テストを webclass で実施する。
 - ・事前配布した課題について学習し、zoom でグループごとに討論し、Google スライドにまとめて発表する。
 - ・質疑応答を行う。

本講義は検査技術学専攻との合同講義である。

授業内容

授業スケジュールに各回の内容は示してある。

成績評価の方法

病理学の評価は、確認テストならびに筆記試験(前期定期試験)によって行う。

1) 確認テスト

毎回授業の開始時に行う。

2) 筆記試験(前期定期試験)

定期試験の約 10%に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

評価は確認テスト(20%)、筆記試験(80%)とし、60%以上を合格とする。また、この点数を本科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学で基本的な体の形態と構造を学習済みのものとして扱う。

試験の受験資格

2/3(6回)以上の出席。出欠の確認は、webclass の事前学習動画視聴記録および確認テスト、同期授業(zoom)では講義の最初から最後まで参加している記録により行う。

特別な事情で授業に参加できない場合は、授業前に科目責任者または保健衛生教務係にメールで連絡をすること。緊急の場合には電話でもよいがその後メールすること。連絡ができないような特別な場合にはその限りではない。以上の十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

スタンダード病理学／沢辺元司、長坂徹郎編沢辺、元司、長坂、徹郎、大西、俊造、梶原、博毅、神山、隆一、文光堂、2015

参考書

Robbins basic pathology／Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster ; artist, James A. Perkins,Kumar, Vinay,Abbas, Abul K.,Aster, Jon C.,Perkins, James A.,Robbins, Stanley L (Stanley Leonard), Elsevier, 2018

メディックメディア社の「病気が見える」シリーズはビジュアルであり、病態の理解に役立つので推薦する。

他科目との関連

病理学は医学・医療の基本となる分野であり、解剖学、生理学といった基礎的な科目から臨床的な科目とも密接に関連している。

履修上の注意事項

講義画面の撮影は禁止する。講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

昨年度のアンケートよりの改善点

アクティブラーニングを多く取り入れ、質問の受け付けと対応法を周知する。

参照ホームページ

授業で用いた資料の多くは webclass で公開するので自学自習に役立てること。

連絡先(メールアドレス)

沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370

副島 友莉恵:soejima.mp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

沢辺 元司:オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること

湯島キャンパス 3号館 16 階

副島 友莉恵:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

3号館 16 階 生体検査系助教室

時間割番号	012013									
科目名	栄養学			科目ID	MN-230900-L					
担当教員	山崎 智子, 腰本 さおり[YAMAZAKI TOMOKO, KOSHIMOTO SAORI]									
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名: Nutritional Sciences 【科目責任者】山崎 智子										
授業の目的、概要等 栄養学の基礎を学ぶことを目的とする。健康増進、疾病予防に寄与する栄養素の役割を理解し、エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を学ぶ。また、妊娠や発育、加齢などの変化に応じたライフステージ栄養管理の考え方を習得し、糖尿病、腎臓病など病態の特徴に基づいた適切な栄養管理の重要性を理解する。さらには、現代社会における食糧や栄養の問題点に着目し、健康増進・疾病予防の観点から、問題解決のための洞察力を養う。										
授業の到達目標 1回目:炭水化物・タンパク質・脂質の代謝と生理的意義を説明できる 2回目:ビタミン・ミネラルの過剰症と欠乏症について説明できる 3回目:国民健康・栄養調査からみた、現代社会における食生活の問題に対応し、必要な政策を創ることができる 4回目:成長や加齢の発達段階に応じた栄養状態について理解し、栄養相談の場面をシミュレートできる 5回目:糖尿病、腎臓病、脂質異常症、嚥下機能低下における栄養療法を理解し、適切な対応ができる 6回目:高尿酸血症、膀胱炎、褥瘡、肝硬変、心不全における栄養療法を理解し、適切な対応ができる 7回目:「日本人の食事摂取基準」と実際の食事内容を比較し、栄養バランスを分析・評価できる 8回目:栄養ケアにおける多職種との連携およびチーム医療の必要性を理解できる										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	9/30	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	基礎栄養(1)	炭水化物・タンパク質・脂質の消化吸収と関連する食品	腰本 さおり				
2	10/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	基礎栄養(2)	ビタミン・ミネラルの過剰症と欠乏症および関連する食品	腰本 さおり				
3	10/18	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	公衆栄養	国民健康・栄養調査からみた我が国の現状	腰本 さおり				
4	10/29	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	ライフステージ 栄養	幼児期、成長期、成人期、妊娠期、老年期のライフステージに応じた栄養管理の必要性	腰本 さおり				
5	11/5	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	病態栄養(1)	糖尿病、腎臓病、脂質異常症、嚥下機能低下の食事療法の基本と治療食の特徴	腰本 さおり				
6	11/11	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	病態栄養(2)	高尿酸血症、膀胱炎、褥瘡、肝硬変、心不全腎の食事療法の基本と治療食の特徴	腰本 さおり				
7	12/3	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	日本人の食事 摂取基準	「日本人の食事摂取基準 2020」を用いた栄養バランスの評価	腰本 さおり				
8	12/9	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	栄養ケアとチー ム医療	食・栄養に関連したチーム医療の必要性	腰本 さおり				
授業方法 Zoom での同期授業を実施する。 ブレイクアウトルームを利用したグループディスカッションによりアクティブラーニングを実施する。										
授業内容 栄養素の消化・吸収の機序を復習した後、糖尿病、腎臓病、脂質異常症、高血圧症等に対する栄養療法と治療食の特徴を学習する。また、出生からエンドオブライフまでの成長段階に応じた食形態の変化を理解する。実際に、自分の食事を栄養価計算し、食事摂取基準値と比較することにより栄養バランスを分析・評価する手法を習得する。さらに、人生の食の意味についてグループディスカッションを行うことにより、食生活の多様性や食と QOL の関連性を考察する。										
成績評価の方法 1)定期試験:6割(一部には英語の問題を含める)→試験が 60 点だった場合、6 割×60 点=36 点 2)課題レポート:2割→評価が C(60 点)だった場合、2 割×60 点=12 点 3)平常点:2割(出席とグループディスカッションへの参加度)→全出席で 2 割満点=20 点										

成績評価の基準

- 1)定期試験:選択式問題、記述問題から、栄養素の生理機能および栄養療法の理解度を評価。満点なら 60 点
- 2)課題レポート:論文形式「背景」「目的」「結果」「考察」「結論」になっていること。食事の栄養価計算が正確で将来起こりうる疾病との関連や改善点について考察されていること、さらに社会的背景(社会経済や生活環境)など視野を広げて現代社会における食生活が考察されていることを評価。満点なら 20 点
- 3)平常点:グループディスカッションで積極的に意見交換し発表するチーム力を評価。満点なら 20 点

成績は上記3つの合計点で評価する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・炭水化物、タンパク質、脂質の代謝に関する消化酵素やホルモンについて理解し、ビタミンやミネラルの過剰症・欠乏症について復習しておくこと。
- ・患者さんが食事や栄養のことで、どのような悩みを抱えているのか考え、さらに、食を取り巻く社会的背景や世界の食糧事情にも関心を持つて臨むこと。
- ・自分の食事の栄養価計算を行うため、毎日の食生活の問題点を振り返っておくこと。
- ・ブレイクアウトルームのディスカッションでは、積極的に発言しコミュニケーション能力を高めること。

試験の受験資格

1. 2/3 以上の出席 (出席:Zoom で最初から最期までのログが確認できた場合)
2. Webclass に出席票(リフレクションペーパー)が提出されていること

参考書

栄養学 - 人体の構造と機能 3 系統看護学講座 専門基礎分野 (第13版)／中村, 丁次 1948-,: 医学書院, 2020

臨床栄養学 ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち 4 (第5版)／關戸啓子編關戸 啓子,: メディカ出版, 2020

エッセンシャル臨床栄養学 (第8版)／佐藤和人, 本間健, 小松龍史編佐藤, 和人, 本間, 健, 小松, 龍史,: 医歯薬出版, 2016

糖尿病食事療法のための食品交換表 第 7 版／日本糖尿病学会編著, 日本糖尿病学会,: 文光堂, 2013

日本食品成分表2021 - 栄養計算ソフト・電子版付 (ハ訂)／医歯薬出版／編, 医歯薬出版, 医歯薬出版: 医歯薬出版, 2021-02

日本人の食事摂取基準 2020 版／伊藤貞嘉, 佐々木敏 監修, 伊藤, 貞嘉, 1954-, 佐々木, 敏 1957-,: 第一出版, 2020

他科目との関連

生理学, 生化学の知識を応用するものであり, それらの知識を整理しておく必要がある。また、栄養状態は治療や予後に影響を及ぼす要因であり、本講義にとどまらず、各病態を学ぶ際にも食事摂取や栄養の吸収状態を把握し、発展させて学ぶ必要がある。

備考

課題レポートの質問等については、メールで対応する。

連絡先(メールアドレス)

山崎 智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp

オフィスアワー

山崎 智子:mail もしくは電話で事前に連絡のこと 3号館 18階がんエンドオブライフケア看護学准教授室

時間割番号	012014							
科目名	病態学			科目ID	MN-231000-L			
担当教員	田中 真琴[TANAKA Makoto]							
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2	単位数	5			
実務経験のある教員による授業	該当する							
英文名 :Clinical Medicine								
【科目責任者】田中 真琴								
主な講義場所								
Zoom 講義								
授業の目的、概要等								
看護学では様々な健康障害をもつ人々に対する看護支援の方法を習得する。それを実現するためには、そのような健康障害をもたらす病態・疾病についての基礎知識を有することが必須である。病態学では、主として成人期における臓器・器官別の様々な病態について、その発症機序と症候・診断・治療の概要を学ぶ。成人期に照準を合わせたこの病態学の基礎知識は、異なる発達段階にある人々の病態を学ぶ上でも基本となるものである。								
授業の到達目標								
講義は内科学的、外科学的立場から、保健衛生学科教官の他、内科系、外科系関連教員により行われる。それらの講義を通じて医学分化の趨勢に触れるとともに、器官系統別に主要な病態について内科学的、外科学的視点を統合して発症機序と症候に対する理解を深め、患者の身体を統合的に把握する上での看護の役割の重要性を理解する。								
講義時間が少ないため自学実習により理解を確実にする態度を身に付けることが重要である。その経験を通して、他の発達段階にある場合の病態を理解する基盤とともに、臨地実習において講義を受けていない疾患の患者を受け持つ場合にも対応できるようにする。								
授業計画								
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員		
1	4/26	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	オリエンテーション 内科疾患総論1	・病態学の考え方と看護における意義 ・内科学の概要および内科的診断・治療の基本的考え方	角 勇樹 田中 真琴		
2	5/17	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	内科疾患総論2	・病態学の考え方と看護における意義 ・内科学の概要および内科的診断・治療の基本的考え方	角 勇樹		
3	5/17	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	外科学総論	外科学総論	岩田 乃理子		
4	5/19	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	呼吸器内科①	・呼吸器疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	角 勇樹		
5	5/24	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	耳鼻咽喉科学分野	・耳鼻咽喉科領域疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	堤 剛		
6	5/26	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	呼吸器内科②	・呼吸器疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	角 勇樹		
7	5/31	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	乳房疾患総論	・乳房疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	中川 剛士		
8	5/31	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	代謝疾患総論	・内分泌疾・代謝疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	小宮 力		
9	6/2	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	麻酔科①	・手術麻酔	内田 篤治郎		
10	6/7	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	形成外科疾患総論	形成・美容外科総論	森 弘樹		
11	6/7	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	呼吸器外科	・肺疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	藤原 直之		
12	6/9	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	消化器内科(肝胆膵)	・消化器疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	柿沼 晴		
13	6/14	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	整形外科疾患総論	・四肢骨・関節疾患、外傷、脊椎疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	王 耀東		

14	6/14	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	消化器疾患総論	・消化器疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	大島 茂
15	6/16	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	放射線診断	・放射線による画像診断の意義と方法	立石 宇貴秀
16	6/18	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	婦人科疾患総論	・婦人科疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	平光 史朗
17	6/21	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	循環器内科①	・循環器疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	笹野 哲郎
18	6/21	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	眼科疾患総論	・眼球疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	五十嵐 多恵
19	6/23	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	まとめ		田中 真琴
20	6/28	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	循環器内科②	・循環器疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	笹野 哲郎
21	6/28	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	腎疾患総論	・腎疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	須佐 純一郎
22	7/1	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	腎臓内科・透析療法	透析療法	賴 建光
23	7/1	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	アレルギー疾患総論		
24	7/7	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	皮膚科疾患総論	・皮膚疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	宇賀神 つかさ
25	9/27	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	泌尿器科	・男性生殖器と尿路疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	内田 裕将
26	9/30	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	血管外科	・血管疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	工藤 敏文
27	10/4	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	食道外科	・食道疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	齋藤 賢将
28	10/6	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	胃外科	・胃疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	
29	10/7	08:50-10:20	遠隔授業(非同期型)	神経内科①	・神経系疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	赤座 実穂
30	10/7	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	神経内科②		赤座 実穂
31	10/14	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	大腸肛門外科	・下部消化管疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	岩田 乃理子
32	10/18	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	膠原病内科	・膠原病の病態と症候・機序、診断法と治療	保田 晋助
33	10/25	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	麻酔②	・ペインクリニック	大畠 めぐみ
34	10/29	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	放射線治療	・放射線による治療の意義と方法	小島 未央
35	11/4	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	脳神経外科		唐鎌 淳
36	11/15	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	心臓血管外科	・心臓疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	水野 友裕
37	11/29	10:30-12:00	遠隔授業(非同期型)	頭頸部外科	・中枢神経系疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	朝蔭 孝宏
38	11/29	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	血液内科	・血液疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	山本 正英
39	12/3	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	肝胆膵外科	・肝・胆・膵疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	小野 宏晃
40	12/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	まとめ	まとめ	田中 真琴

授業方法

(注)予定担当者は昨年度実績であり、講師の異動や救急業務に伴い講師名および講義日の変更が生じる場合がある。

授業内容

- (1) 内科的診断・治療の基本的考え方について理解する。
- (2) 内科的治療を要する主要疾患について、器官系統別の自然経過、病態、検査・診断および治療の概要を理解する。

- (3) 外科的治療を要する疾患について、共通する病態および基本的処置・管理について理解する。
(4) 外科的治療を要する疾患について、器官系統別の自然経過、病態、検査・診断、手術・治療、および術前・術後管理の概要を理解する。

成績評価の方法

前期・後期に筆記試験により評価する。

各講師より出題されるので、全ての総合知識が要求される（内科・外科各100問以上出題）。

小テストの成績等も加味する。

成績評価の基準

出席率・小テスト・授業の参加 30%、試験結果 70%

準備学習等についての具体的な指示

教科書・参考書の該当箇所について予習をして臨むこと。

教科書

看護のための臨床病態学 第4版／浅野嘉延 吉山直樹編 浅野 嘉延吉山 直樹：南山堂、2020

参考書
病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図／井上智子、窪田哲郎編 井上 智子,窪田, 哲郎: 医学書院, 2020
臨床外科看護総論 第11版／矢永勝彦, 高橋則子編 ; 矢永勝彦 [ほか] 執筆, 矢永 勝彦, 高橋 則子, 芦塚 修一, 石田 祐一, 衛藤 謙: 医学書院, 2017
標準外科学 第15版／坂井義治, 田邊稔, 池田徳彦編集 北野, 正剛, 田邊 稔(外科学), 池田, 徳彦, 坂井, 義治: 医学書院, 2019

他科目との関連

看護の対象となる人々の疾患や障害を理解するためには、解剖学、生理学、病理学の知識を基盤にして病態を理解する必要がある。病態学では、単なる知識の集積にとどまらず、これら専門基礎科目で学習した事柄を関連づけて考えることが重要である。

履修上の注意事項

教科書・参考書の該当箇所について予習をして臨むこと。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00～PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012015A													
科目名	Global Nursing Communication I				科目ID	MN-211200-L								
担当教員	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS[KONDO AKIKO, JANELLE RENEE MOROSS]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Global Nursing Communication I														
【科目責任者】近藤暁子														
主な講義場所														
遠隔授業(同期型) Zoom ID/Passcode はクラスによって違います。(WebClass 参照)														
授業の目的、概要等														
授業の目的、概要等														
時事の英語ニュース記事を読解し、英語で意見を述べられるようなディスカッション能力を養う。														
学生の英語運用能力(TOEFL スコア)により 3 クラス作成し、少人数制で行う。ネイティブの英語教員が概念を紹介し、小グループでのディスカッションに参加する。														
ネイティブの英語教員による英語の授業により英語力のみならず異文化感受性能力の変化を向上させる。														
授業の到達目標														
広く時事の英語ニュースを理解し、英語で自分の意見を述べることができる(グループにより難易度を付ける)。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	4/7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)		Intro and Parts of the Body (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行う)							
2	4/14	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)		Ophthalmology/ Eye Exam (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行う)							
3	4/21	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)		Cardiology/ ECG (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行う)							
4	4/28	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)		Pulmonary/Spirometry (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行う)							
5	4/30	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)		Gastroenterology/ Upper GI (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行う)							
6	5/12	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)		Endocrinology/ Blood glucose (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行う)							
7	5/19	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)		Urology/ Urinalysis (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行う)							

8	5/26	13:00–14:30	遠隔授業 (同期型)		Neurology/ EEG (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行 う)
9	6/2	13:00–14:30	遠隔授業 (同期型)		Psychology/ Depression (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行 う)
10	6/9	13:00–14:30	遠隔授業 (同期型)		Musculoskeletal System/ Osteoporosis (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行 う)
11	6/16	13:00–14:30	遠隔授業 (同期型)		Immune System/ Vaccinations (WebClass に 資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行 う)
12	6/23	13:00–14:30	遠隔授業 (同期型)		Integumentary System/ Atopic Dermatitis (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行 う)
13	6/30	13:00–14:30	遠隔授業 (同期型)		Reproductive System/ Prenatal Care (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	小テスト (WebClass で行 う)
14	7/7	10:30–12:00	遠隔授業 (同期型)		Nutrition/ Longevity (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	
15	7/7	13:00–14:30	遠隔授業 (同期型)	期末テス ト Oral examinati on	口頭試問と作文 (WebClass に説明がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	
16	7/21	13:00–14:30	遠隔授業 (同期型)	TOEFL 受 験		近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	
17	7/21	14:40–16:10	遠隔授業 (同期型)	TOEFL 受 験		近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子	

授業方法

前週の復習、小テスト(WebClass)、事前学習の確認、ディスカッション、ロールプレイ

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

Vocabulary test

Class participation

Final exam: oral and essay

TOEFL

成績評価の基準

Vocabulary test: 20%

Class participation: 30%

Final exam: oral and essay: 35%

TOEFL: 15%

準備学習等についての具体的な指示

毎回課題の事前学習をして質問に対する答え考え、その内容及び講義資料を持参すること。ロールプレイの準備もしてくること。

試験の受験資格

口頭試問と作文、後期の最後のレッスンに行います。

教科書

WebClass 参照

履修上の注意事項

事前学習は必ず実施してくること。指定された記事を読んでディスカッションの準備をして授業に参加する。講義の最初に WebClass 上で単語テストを行うので事前学習する。小テストは授業開始時の 10 分間で行う。受験は 1 回のみであり、遅刻厳禁。5 分前には ZOOM にログインすること。ネイティブの英語教員による英語の授業により異文化感受性能力を向上させることを目標とするため、授業の初回及び最終日に異文化感受性能力に関する調査を実施するが、その回答内容は成績とは無関係である。

備考

昨年度のアンケートコメントをもとに、3 段階のズームクラスを開催します。インストラクターは学生により多くの注意を向けることができ、グループとペアの練習パートナーはズームによって自動化され、毎週変更されます。

連絡先(メールアドレス)

近藤 晓子:akondo.ind@tmd.ac.jp

JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 晓子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

JANELLE RENEE MOROSS:毎週金曜日 PM 12:00-14:00 1 号館—4 階 教授室

時間割番号	012016											
科目名	専門基礎合同演習				科目ID	MN-251300-S						
担当教員	伊藤 南[ITO MINAMI]											
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1							
実務経験のある教員による授業	該当する											
英文名:Practice of Medical Sciences												
【科目責任者】伊藤 南												
主な講義場所 保健衛生学実習室3(3号館7階)												
授業の目的、概要等 本学科の特徴をいかすべく、平成 11 年度から発足した大綱化カリキュラムに必修科目として組み入れられた新科目で、看護学専攻の専門基礎科目についての実習を統合し、専門基礎合同演習として 8 回の実習を行う。												
授業の到達目標 専門基礎科目の解剖学、生理学、生化学、薬理学、病理学、微生物学の各担当科目について演習を行い、専門基礎科目を学んでいく上で基礎となる幅広い知識や技術を習得する。												
授業計画												
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員						
1-3	5/18	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	生化学	核酸の化学(DNA の抽出と精製)	鈴木 喜晴						
4-6	6/1	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	解剖学	骨学実習	星 治、藤代 瞳						
7-9	6/8	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	解剖学	解剖体実習見学	星 治、藤代 瞳						
10-12	6/15	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	生理学	心電図	藤代 瞳						
13-15	6/21	13:00-17:50	保健衛生学実習室	細菌学	細菌の染色	齋藤 良一、太田 悠介						
16-18	6/22	13:00-17:50	保健衛生学実習室	細菌学	細菌の培養	齋藤 良一、太田 悠介						
19-21	7/8	13:00-17:50	保健衛生学実習室	病理学	病理解剖体肉眼観察	副島 友莉恵、沢辺 元司						
成績評価の方法 各演習科目において、試験、提出レポート、標本スケッチ等により、担当教員が個々に成績評価をおこなった後、生体検査科学専攻主任が総合的に判定をおこなう。												
準備学習等についての具体的な指示 随時、各担当教員より指示する。												
教科書 特に指定しない。												
他科目との関連 基礎ならびに専門の看護学に関する全ての科目に関連している。												
履修上の注意事項 全演習の出席を原則とする。演習に関しての詳細は各担当教員に確認すること。 実習は白衣着用のこと。												
連絡先(メールアドレス) 伊藤 南:minami.bse@tmd.ac.jp、												
オフィスアワー 伊藤 南:毎週月曜日 PM.1:00-PM.5:00 3号棟16階 生体機能支援システム学・教授室または研究室 事前にメール等で連絡してもらえば随时対応します。												

時間割番号	012017																	
科目名	医療情報学				科目ID	MN-231400-L												
担当教員	緒方 泰子, 本間 達[OGATA YASUKO, HOMMA SATORU]																	
開講時期	2021 年度後期	対象年次		2	単位数	1												
実務経験のある教員による授業	該当する																	
英文名: Medical Informatics																		
【科目責任者】看護学専攻主任 緒方 泰子																		
授業の目的、概要等																		
看護学分野における医療情報の関わりを中心に、基礎的なアプリケーションソフトの実習から、オペレーティングシステムとネットワークの基礎知識、電子カルテを中心とする情報セキュリティの対策、およびICTの利用による遠隔医療や最先端の医学情報の検索まで、講義と実習を行なう。																		
授業の到達目標																		
総合的には、医療情報を正確かつ迅速に扱うために必要なコンピュータの基礎知識の修得と、これを活用してアプリケーションソフトなどを使いこなす基礎能力の修得を目標とする。																		
各回の目標は以下の通りである。																		
第1-2回 コンピュータのOSとアプリケーションについて基本的知識を習得し、実践できる。																		
第3-4回 コンピュータネットワークについて基本的知識を習得し、実践できる。																		
第5-6回 データの保護についてについて基本的知識を習得し、実践できる。																		
第7-8回 ITCにおける個人情報の保護について基本的知識を習得し、実践できる。																		
授業計画																		
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考											
1	11/9	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	医療情報学概論	医療情報学の基礎を学ぶ。	本間 達	WebClass等を用い、アクティブラーニングを行う。ビデオで学習した内容について、各自で課題を行い提出する。											
2	11/9	14:40-16:10	遠隔授業 (非同期型)	情報リテラシー 実習1	アプリケーションソフトの基礎的な操作実習を行う。	本間 達	WebClass等を用い、アクティブラーニングを行う。ビデオで学習した内容について、各自で課題を行い提出する。											
3	11/10	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	コンピュータネットワークの基礎	ICTの基本であるコンピュータネットワークの基本構成について学ぶ	本間 達	WebClass等を用い、アクティブラーニングを行う。ビデオで学習した内容について、各自で課題を行い提出する。											
4	11/10	14:40-16:10	遠隔授業 (非同期型)	情報リテラシー 実習2	ネットワーク操作技術についての操作実習を行なう。	本間 達	WebClass等を用い、アクティブラーニングを行う。ビデオで学習した内容について、各自で課題を行い提出する。											
5	11/19	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	医療ネットワーク への接続	電子カルテなど医療従事者として患者情報を取り扱う際の法的な制限とこれに基づくアクセス制限などの必要性を学ぶ。また、ICTを応用した遠隔医療などの最新技術についても紹介する。	本間 達	WebClass等を用い、アクティブラーニングを行う。ビデオで学習した内容について、各自で課題を行い提出する。											
6	11/19	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	情報リテラシー 実習4	医療文献を実際に検索する実習を行う。	本間 達	WebClass等を用い、アクティブラーニングを行う。ビデオで学習した内容について、各自で課題を行い提出する。											

7	12/1	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	医療情報の保護	様々なウイルスやマルウェアなどにより、ネットワークに接続したコンピュータから情報が漏洩する危険性がある。この危険性とともに、これらを防止するための様々な基本的技術について学ぶ。	本間 達	WebClass 等を用い、アクティブラーニングを行う。ビデオで学習した内容について、各自で課題を行い提出する。
8	12/1	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	情報リテラシー 実習 3	ファイアウォールやセキュリティソフトの設定方法やウイルス検出時の対処方法などにかんする操作実習を行う。	本間 達	WebClass 等を用い、アクティブラーニングを行う。ビデオで学習した内容について、各自で課題を行い提出する。

授業方法

非同期の遠隔講義によって行う。

アクティブラーニングとして、ビデオ中で示したやり方に従って、各自で課題をこなす。

課題内容はビデオの最後と配布資料で提示する。

授業内容

看護の現場などにおいて必要とされる ICT の活用を初めとする情報学の基礎を学ぶ。

成績評価の方法

1.筆記試験、2.各回の課題、3.出席状況 について総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

レポート作成や Web ページ閲覧・e-mail などのために、日常的に使用しているコンピュータや携帯電話などの情報端末について説明書を精読しておくことが望ましい。

また、参考書として紹介した本などを含め、情報科学に関連する成書により関連知識を予習しておくこと。

試験の受験資格

大学の規定に従う

参考書

ナースのための遠隔情報管理システム：ネットワークを利用した看護と福祉／若松秀俊 著：真興交易医書出版部, 2007

看護情報学 第3版／中山 和弘 著：医学書院, 2021-01-12

他科目との関連

情報科学(1年)、保健統計学(4年)などと関連が深い。

履修上の注意事項

講義内容の復習となるので、レポートを必ず作成し提出すること。

備考

情報検索室(M&D タワー4階)は基本的に開放されている。本講義により学んだことをレポート作成等にただちに反映するのが望ましい。

2020年度の授業評価では特に改善が必要な点はなかったが、引き続きアクティブラーニングを用いて能動的に学習できるよう工夫する。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館19階

本間 達:hommtec@tmd.ac.jp

オフィスアワー

緒方 泰子オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012018													
科目名	保健医療福祉制度論			科目ID	MN-231500-L									
担当教員	森田 久美子[MORITA KUMIKO]													
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	2									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Health and welfare System														
【科目責任者】森田久美子														
主な講義場所														
遠隔授業(同期型)														
授業の目的、概要等														
保健医療福祉制度は、関連する制度も含めると「社会保障制度」になる。社会保障とは、5 つの社会保険(年金・医療・介護・雇用・労災)、福祉(児童・障害者・高齢者・女性などの社会的弱者対象)、生活保護、公衆衛生、医療体制と、大変幅広い分野からなる多種多様で複雑難解な制度である。しかし知識がないと申請できないという根本的な問題を抱えるため、社会保障教育が重要となる。														
日本は世界一の超少子高齢社会になり、家族・地域の支えあい機能も低下して、個人の努力範囲を超える人生のリスクは高まっている。さらに世界大不況の影響で生活は不安定になり、雇用保険、生活保護などの受給者も増加している。老後や失業に備えて貧困を予防する社会保険加入が重要となるが、非正規社員の増加により社会保険のあり方も見直しを迫られている。														
家族に代わる社会支援の割合が増しているが、長寿化で支援を受ける人が増加し、少子化で税金・社会保険料を負担して社会保障を支える現役世代は減少するという、財源的に厳しい時代に入った。このような受給バランスが崩れた社会において、社会保障制度を安定維持するには、あらゆる年齢の国民が健康寿命を意識し、生涯安定した収入を得ながら自立した生活ができる社会支援が必要になっている。														
社会保障制度は、国民の人生・生活を安定させることで社会を安定・発展させる、車の両輪の役割を持っている。経済発展と社会保障教育で自立した国民を増やし、利用者のモラルを高めながら社会保障制度をより効果的に実施する「良い循環」をもたらす施策が求められる。														
授業の到達目標														
保健医療福祉に携わる専門職の対象は「人」であり、傷病・要介護・障害・失業・貧困など様々な複合リスクとニーズを抱えている。それを的確に把握して、尊厳も大切にしながら信頼関係を築き、多様な社会サービスにつなげることで、利用者主体の自立を支援する重要な職種である。またチーム医療の時代に入り、他の医療職や福祉職・ボランティアとの連携も重要になっており、地域福祉も含めた社会保障制度の知識とコミュニケーション能力が求められる。														
ネットワークの中で、社会的弱者の実態把握、必要な自立支援を検討することにより総合的・効果的な支援ができる医療職を目指す。														
<各回の到達目標>														
1, 2回目: 健康と公衆衛生の重要性について理解し、説明できる。														
3, 4回目: 児童福祉、障害者福祉制度について説明できる。														
5, 6回目: 高齢者福祉制度、生活保護等の低所得者対策について説明できる。														
7, 8回目: 公的介護保険制度について説明できる。														
9, 10回目: 公的医療保険制度について説明できる。														
11, 12回目: 公的年金制度について説明できる。														
13, 14回目: 雇用保険、労災について説明できる。														
15, 16回目: 海外の社会保障制度等についてディスカッションし、我が国と比較してのメリット・デメリットを説明できる。														

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/1	13:00-16:10	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	保健医療福祉制度論	「総論・健康と公衆衛生」社会・家族の変化、人口動態、人口静態、超少子高齢化の現状と社会保障の重要性・今後の課題、感染対策、地球環境の保護 他	森田 久美子	グループ討論、グループおよび個人の課題の提出
3	10/8	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	保健医療福祉制度論	「児童福祉制度・障害者福祉制度」児童福祉の歴史、少子化対策、保育所・学童保育の整備、社会的養護の種類、児童虐待、1人親家族の支援、障害者の自立支援サービ	青木 利江子	個人の課題の提出

					スの種類と利用負担、共生社会の実現、就労支援、各優遇制度 他		
4	10/8	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	保健医療福祉制度論	「公的年金制度」障害年金・遺族年金・老齢年金、公的年金の課題、各種年金基金他	青木 利江子	個人の課題の提出
5-6	10/15	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)、遠隔授業(非同期型)	保健医療福祉制度論	「高齢者福祉制度」介護保険以外の生活支援、入所施設の種類、自治体独自の制度、虐待の現状、他	森田 久美子	グループ討論、グループおよび個人の課題の提出
7	10/20	13:00-14:30	遠隔授業(非同期型)	保健医療福祉制度論	「公的医療保険制度・医療体制の整備」日本の医療保険の特徴、歴史、職業別の健康保険制度、保険料と国庫負担、高額療養費制度、診療報酬、長寿医療制度、傷病・出産手当、医療体制、過剰病床問題。	青木 利江子	個人の課題の提出
8	10/20	14:40-16:10	遠隔授業(非同期型)	保健医療福祉制度論	「災害時の保健医療福祉・まとめ」災害時に必要な対応、居住地域の災害対策、災害要配慮者対策など、グループディスカッションすることで、日本の制度を見直す視点にする。	青木 利江子	個人の課題の提出
9-10	10/27	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)、遠隔授業(非同期型)	保健医療福祉制度論	児童福祉制度、障害者福祉制度、年金制度についてディスカッション	青木 利江子、森田 久美子	グループ討論、グループおよび個人の課題の提出
11-12	11/12	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)、遠隔授業(非同期型)	保健医療福祉制度論	医療保険制度、災害時の保健医療福祉についてディスカッション	青木 利江子、森田 久美子	グループ討論、グループおよび個人の課題の提出
13-14	11/17	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)、遠隔授業(非同期型)	保健医療福祉制度論	「公的介護保険制度」介護保険の目的・仕組・現状、制度改正の変遷、介護認定、介護予防・介護給付の違い、介護の専門職種、保険料の地域格差、利用負担、低所得者の負担軽減、高額介護サービス費、介護報酬他	森田 久美子	グループ討論、グループおよび個人の課題の提出
15-16	11/19	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)、遠隔授業(非同期型)	保健医療福祉制度論	「雇用保険・労災」雇用状況、労働力・失業率の動向、雇用保険のしくみ、業務災害補償制度、労災保険の対象者・保険料、労災の認定基準 他	森田 久美子	グループ討論、グループおよび個人の課題の提出

授業方法

・非同期授業

指示された講義資料・参考資料を閲覧し、指示にあるように課題に回答する。また、WebClass にあるアクションペーパーに毎回記入して提出すること。質問が記入されている場合には個別もしくは全体に対して返答をする。

・同期授業

ZOOM にて実施する。講義では、適宜ブレイクアウトルームに分かれてグループでディスカッションを行う。ディスカッションをもとに内容をまとめ、グループごとに発表をしてもらうので積極的に参加すること。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

学期末定期試験 70%、討論課題 10%、講義後レポート 20%などにより評価する。なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。なお、アクションペーパーでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

保健医療福祉制度に関するニュース、新聞記事などには必ず目を通し、最新の情報を得るように努めること。

試験の受験資格

同期型の授業に2/3以上出席し、かつ講義に関連する課題を全て提出したものに定期試験の受験資格を与える。

なお、特別に勘案すべき事情があり指示を達成できない場合には、その事情とともに締切期日が過ぎる前に科目責任者にメールで連絡すること。なお、緊急の場合には電話で連絡しても良いが、その後メールすること。連絡ができないような特別な事情がある場合にはその限りではない。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどで対応することとする。

参考書

国民衛生の動向、国民の福祉の動向、保険と年金の動向、厚生労働白書、

厚生統計要覧、社会保障年鑑など

その他 厚生労働省・文部科学省・内閣府のホームページ、制度ごとの情報冊子・リーフレット

他科目との関連

地域保健看護学、地域精神看護学、老年看護学、保健統計学、看護管理学・看護経済論などの分野と一部内容が重複するが、各制度の全体像を体系的に把握して整理しておくことが医療職として重要である。

履修上の注意事項

保健医療福祉制度は頻繁に改正されるため、常に最新情報を収集できるよう関心を持ち続け、幅広い相談に乗れる医療専門職をめざす。就職後の自分の人生にも役立つ。

備考

・2020年度からの改善点

講義資料は予習ができるように事前に配布することとする。

連絡先(メールアドレス)

森田 久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

森田 久美子:10:00-17:00 3号館 15階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	014001										
科目名	AI 実践演習				科目ID						
担当教員	角 勇樹[SUMI YUKI]										
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2~4		単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する										
【科目責任者】角 勇樹											
AI 実践演習											
主な講義場所											
ZOOM による同期および非同期を基本とする。演習内容の理解のため少人数での対面指導もありえる。											
授業の目的、概要等											
研究や就職のため、AI、python の基本を学び、実践に使えるようになる。											
授業の到達目標											
AI、python の基本を学び、自分でプログラミングできるようになる。											
授業計画											
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考				
1	9/30	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	IDE(Integrated Development Environment、統合開発環境) の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角 勇樹	電卓の作成				
2	10/7	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	DE(Integrated Development Environment、統合開発環境) の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角 勇樹	電卓の作成				
3	10/21	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	画像の扱い方	PIL の使い方	角 勇樹	画像 viewer の作成				
4	11/4	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	行列、表の扱い方	panda を使い Excel とデータのやりとり、numpy の使い方	角 勇樹	Excel 処理自動化				
5	11/11	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	グラフの作り方	matplotlib の使い方	角 勇樹	グラフ作成				
6	11/25	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	AI その 1	NN(neural network)、Deep learning(深層学習)、Fully Connected Layer(全結合層)、Backpropagation(逆誤差伝搬)、誤差関数、データ拡張、k 分割交差検証	角 勇樹	MNIST 実行				
7	12/9	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	AI その 2	畳み込み(convolution neural network)、Max pooling	角 勇樹	MNIST 実行				
8	12/16	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	AI その 3	過学習、Dropout、Batch normalization、残差ネットワーク (Residual network)、転移学習	角 勇樹	Imagenet で転移学習した Xception を実行し物体認識				
授業方法											
ZOOM による同期および非同期演習を基本とする。演習内容の理解のため少人数での対面指導もありえる。											
授業内容											
AI、python の基本を学び、自分でプログラミングを行う。											
成績評価の方法											
演習の参加、演習課題の提出											
成績評価の基準											
演習の参加率、演習課題の提出内容											
準備学習等についての具体的な指示											
「医療と AI・ビッグデータ入門」(選択科目もあり)を受講していることが望ましい。具体的には個人のコンピューターで Anaconda が実行できるレベルが望ましい。											

試験の受験資格

演習なので参加している事が必要である。

参考書

授業にて指示する。Webclass などにも up する。

他科目との関連

「医療と AI・ビッグデータ入門」の次のレベル

連絡先(メールアドレス)

角 勇樹:yumi.pulm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

角 勇樹:毎週 月~金 曜日 AM.9:00~PM.17:00 3号館 16階 呼吸器神経系解析学教授室

(来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	012081													
科目名	Learning Medical English			科目ID	MN-492500-L									
担当教員	沢辺 元司[SAWABE MOTOJI]													
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2~4	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
Learning Medical English														
【科目責任者】沢辺 元司														
授業の目的、概要等														
現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は世界を舞台にして、活躍することが期待されている。そのためには、単なる英語の会話能力や一般的なプレゼン能力やディスカッション能力だけでなく、医学英語を熟知する必要がある。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。														
授業の到達目標														
本科目の到達目標は解剖、病理、生理、症候学や様々な分野の医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員								
1	12/3	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第2章 心血管疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
2	12/15	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第3章 呼吸器疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
3	12/20	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第4章 神経疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
4	12/20	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第5章 胃腸疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
5	12/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第6・7章 筋肉骨格疾患、血液疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
6	12/22	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第8・9章 免疫疾患、内分泌疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
7	1/5	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第10・11章 腎疾患、皮膚疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
8	1/5	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第12章 生殖器疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
授業方法														
zoom による講義形式(同期型)														
成績評価の方法														
講義参加状況、小試験の成績、課題の準備状況、最終試験の成績を総合的に判断する														
準備学習等についての具体的な指示														
毎回、授業前に、教科書の章を和文翻訳し予習すること。また授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。														
教科書														
Pathophysiology Made Incredibly Visual (Incredibly Easy! Series®)／Capriotti T.: Lippincott Williams & Wilkins, 2016 上記教科書の Kindle 版は内容が少し異なるので、印刷版を購入してください。 講義に間に合わない場合は図書館から図書を借用してコピーして一時的に使用して下さい														
参考書 特に指定しない。														
他科目との関連														
解剖学、病理学、生理学および他の英語関連の科目と関連する。														
履修上の注意事項														
3回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。本科目で用いる教科書(約5,000円)はビジュアルで平易な英語を用いて書かれている。楽しみながら学習しましょう。														
参照ホームページ 教科書のリンクです														
連絡先(メールアドレス)														
沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370														
オフィスアワー														
沢辺 元司:オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること 湯島キャンパス 3号館 16 階														

時間割番号	012086													
科目名	実践看護英語 I				科目ID	MN-292800-L								
担当教員	近藤 晓子[KONDO AKIKO]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
実践看護英語I														
【科目責任者】近藤暁子														
主な講義場所														
ZOOM														
授業の目的、概要等														
異文化や看護、健康に関連する概念について英語で学ぶ。様々な文化についての記事を読み、米国の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。オンライン学習システムを使用して米国の学生と交流する。日本の文化を理解し、日本文化以外を持つ対象に説明したり、ディスカッションや共同プロジェクトの課題を実施する。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。														
授業の到達目標														
1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得 テーマとして取り上げた「レジリエンスの概念と健康について」理解し、看護への応用について考察できる。日本文化について理解を深め、説明できる。														
2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成 文化の異なるワシントン大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点について類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。														
3. 問題提起・解決能力の修得 ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。														
4. 自己学習能力・創造性の形成 ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。レジリエンスの概念を看護実践にどのように取り入れるか自分の意見を述べることができる。														
5. 国際性の形成 ワシントン大学の学生及び留学生と建設的なディスカッションおよび共同作業をすることで、英語でのコミュニケーションに慣れ、躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	4/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Introduction & Orientation 新津先生の米国での活動(RN, NPについて)の講演 課題:Padlet: Introduction	近藤 晓子, 新津 晃右								
2	4/14	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	International students' presentation about their culture	近藤 晓子	ディスカッショーン							
3	4/21	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Students' presentation about Japanese culture	近藤 晓子	プレゼンテーション							
4	5/7	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Nursing in Literature	Jonathan Corliss	ディスカッショーン							
5	5/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Religion & Spirituality ワシントン大学の学生とbreakout room でのディスカッション	近藤 晓子, 新津 晃右	ディスカッショーン							
6	5/12	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Nursing in Film	Jonathan Corliss	ディスカッショーン							
7	5/19	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Culture and Resilience ワシントン大学の学生とbreakout room でのディスカッション	近藤 晓子, 新津 晃右	ディスカッショーン							
8	5/26	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Final project presentation1 ワシントン大学の学生との共同プロジェクトの発表	近藤 晓子, 新津 晃右	プレゼンテーション							

9	6/2	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Final project presentation2 ワシントン大学の学生 との共同プロジェクトの発表	近藤 晓子, 新津 晃右	プレゼンテーション
10	6/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Nursing and health systems in Hong Kong	近藤 晓子, VICO Chiang	

授業方法

- 1) 講義と演習すべて英語で実施する。すべて ZOOM 同期型で行う。
- 2) ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする(2-4,6 回目)。
- 3) 香港の教員の講義およびディスカッションを行う(10 コマ)
- 4) 5 コマはワシントン大学の Collaborative Online International Learning (COIL) と共同で行う(1, 5, 7-9 回目)。そのうちの 4 コマはワシントン大学の学生と ZOOM で中継して共有し、指定されたテーマでディスカッションし、最終共同プロジェクトの準備を行う(5, 7 回目)。最後の 2 コマはワシントン大学の学生と共同ホームページプロジェクトの発表を行う(8-9 回目)。

授業内容

スケジュール参照

成績評価の方法

全般的参加度:40%、自文化プレゼンテーション:10%、COIL 参加度:30%、Final project : 30%

- 1) 参加度:授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められない。
- 2) 自文化プレゼンテーション:日本の文化の 1 つを取り上げ、英語でプレゼンテーションする。評価は留学生およびクラスメート全員で行う。
- 3) COIL 参加度:Padlet、ワシントン大学の学生とのコミュニケーションについて、ワシントン大学の学生・教員から評価を得る。
- 4) ワシントン大学の学生と共同ホームページプロジェクトの自分が担当した部分についてワードにまとめて提出する。看護への応用への考察を含めること。(提出期限:6 月 9 日 17 時)

成績評価の基準

出席日数が 3 分の 2 以上あることを前提とした上で、上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed/Margaret M. Andrews & Joyceen S. Boyle:LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書

Margaret M. Andrews, Joyceen S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer

他科目との関連

国際保健看護学

履修上の注意事項

履修要件:TOEFL450 点以上

備考

ワシントン大学の学生とより深い交流を行うため、Break out room でディスカッションする時間を取り、final project も一緒に行う。

連絡先(メールアドレス)

近藤 晓子:akondo.ind@tmu.ac.jp

オフィスアワー

近藤 晓子オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

時間割番号	012082													
科目名	国際保健福祉 B				科目 ID	MN-292700-Z								
担当教員	緒方 泰子[OGATA YASUKO]													
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名 : Global Health and welfare B														
【科目責任者】看護学専攻主任 緒方泰子														
主な講義場所														
海外短期研修プログラム 研修機関先 ・ セイナヨキ応用科学大(フィンランド共和国) ・ ラオス保健科学大学(ラオス人民民主共和国) ・ ワシントン州(米国) 等														
授業の目的、概要等														
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。														
授業の到達目標														
1)研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。 2)1)で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。 2)海外研修報告会において、1)で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	4/16	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国 の医療施設・保健福祉施設・教育機 関における見学・講義・実習等)	緒方 泰子	質問は適宜受け付ける。							
2	10/13	16:20-17:50	未定	国際保健福祉	海外研修報告会	緒方 泰子	日時は未定である。 海外研 修を通じた体験学習を行う。							
授業方法														
事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加(プレゼンテーションの実施等) オリエンテーションは Zoom で行う。 今年度の詳細は未定である。10 月以降に海外渡航の許可がおりプログラムが決定し次第の派遣となる。														
授業内容														
諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワー ク・プレゼンテーション・ディスカッション等														
成績評価の方法														
・ 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況 ・ 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況 ・ 研修報告会における発表状況 ・ 研修報告書														
成績評価の基準														
事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医 療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。														
準備学習等についての具体的な指示														
・ 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること ・ グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験 すること ・ 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること ・ 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること														

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。

参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。

海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

今年度の詳細は未定である。

他科目との関連

国際保健福祉 B, 国際保健福祉 C, 国際保健福祉 D, 国際保健看護学

履修上の注意事項

- ・ 4月に開催される合同オリエンテーションに参加すること
- ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと
- ・ Global Communication Workshop (GCW)へ参加していることが必須である
- ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと
- ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い

- ・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること
保健衛生学科 海外研修ガイドンスでの発表、オープンキャンパス 他
 - ・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
- ・ 2020 年度の授業評価を踏まえ、2021 年度は、状況が許す限り海外での研修が実現するよう調整する。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館 19階

オフィスアワー

緒方 泰子オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012019													
科目名	基礎看護学Ⅱ			科目ID	MN-231600-L									
担当教員	柏木 聖代 大河原 知嘉子、森岡 典子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO, MORIOKA Noriko]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Fundamental Nursing II														
【科目責任者】柏木聖代														
主な講義場所														
遠隔授業(同期型)もしくは 保健衛生学講義室4(3号館7階)および看護実習室1・2・3・4(3号館17階)														
授業の目的、概要等														
基礎看護学Ⅱでは、「人間の生活と看護」で学んだ看護の主要概念をもとに、専門職者としての科学的根拠に基づいた看護実践能力を形成するための基盤となる知識を身につけることを目的とする。看護の役割として「日常生活援助」と「診療の補助業務」があるが、本科目では主に日常生活援助を中心に、看護技術の科学的根拠となる基本的な知識についての学びを深める。														
そのためには、人体の構造と機能を理解したうえで、看護の受け手である対象を理解する必要がある。加えて、看護の役割を理解し、看護技術を行う上で必要な情報を観察し、得た情報からアセスメントするための知識も必要である。看護活動には知識を習得するだけではなく、その知識に基づく思考が必須である。看護を提供する上での基盤となる「安全」「安楽」「自立」に基づき援助について考え、学ぶために、教科書にあるように基本的な知識は事前学習により学習し、徹底して論理的に考える習慣を普段から身につけておくことが必要となる。														
授業の到達目標														
ここで示される達成目標は、あくまでも試験に合格するレベルである。日常生活援助を中心に、専門職者として提供する看護技術の科学的根拠となる基本的な知識を習得し、知識に基づき思考できるようになることを目指す。														
本科目に共通する到達目標は、看護援助の意義と対象の生活との関連について説明できること、必要な情報からのアセスメントや看護上の問題、対象のニーズについて「安全」「安楽」「自立」に基づき具体的に述べられることである。														
具体的な到達目標は以下の通りである。														
1回目:環境・衛生の意義と生活への関連について理解したうえで、入院患者に適した病床環境について説明できる。														
2回目:人体の構造と機能を理解したうえで、生命維持の徵候を客観的に観察し、正確な情報を収集する方法を説明できる。														
3回目:入院患者の運動の意義や身体各部の構造に合わせた運動への援助方法を説明できる。医療事故の現状、患者の権利と責務について理解し、看護師としての役割を説明ができる。														
4回目:身体の機能的・効率的な活用の仕方について人間工学の視点から説明ができる。														
5回目:入院患者の衣服の意義や清潔に保つための援助方法を説明できる。														
6回目:身体の清潔の意義や身体各部の構造と機能に基づいた清潔への援助方法を説明できる。														
7回目:感染予防, Infection Control の実際を学び、科学的根拠に基づいた感染防御方法について説明できる。														
8回目:入院患者における食事の意義と栄養補給、健康について説明ができる。														
9回目:看護活動に必要な全身の系統的な観察方法とアセスメント方法を説明できる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	4/9	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	環境	オリエンテーション 入院患者に適した病床環境と看護援助について学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代 大河原 知嘉子 森岡 典子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照							
2	4/9	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	身体の観察 I	生命維持の兆候な客観的な情報収集について学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照							
3	4/15	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	運動・安全	運動の意義を踏まえ、運動の援助が必要な対象への看護について学ぶ。 医療事故の現	柏木 聖代 大河原 知嘉子 森岡 典子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートにつ							

					状、患者の権利と責務を踏まえ、看護援助における安全や安楽を確保について概説する。WebClass に資料がある。		いては WebClass を参照
4	4/16	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	看護と人間工学	身体の機能的・効率的な活用の仕方の基盤となる知識を人間工学的に学習し、看護ケアの中で活用する方法を学ぶ。WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子	講師: 斎藤真先生 アクティブラーニング: 小グループディスカッション、アクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
5	5/7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	衣生活	衣服を清潔にする意義を踏まえ、衣生活の援助が必要な対象への看護について学ぶ。WebClass に資料がある。	柏木 聖代、大河原 知嘉子、森岡 典子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、アクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
6	5/7	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	身体の清潔	身体を清潔にする意義を踏まえ、身体の構造と機能に基づく清潔への看護援助を学ぶ。WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、アクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
7	5/24	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	感染看護	感染予防、Infection Control の実際と看護援助における感染防御策について学ぶ。WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、アクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
8	6/3	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	食生活	食生活の意義と栄養補給を踏まえ食生活の援助が必要な対象への看護について学ぶ。WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、アクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
9	6/17	13:00-14:30	保健衛生 学科講義 室4、 看護学実習室1、 看護学実習室2、 看護学実習室3	身体の観察Ⅱ	看護援助に必要な情報を系統的に得るための主観的・客観的情報の収集とアセスメントについて学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子、前田 耕助	講師: 前田耕助先生 アクティブラーニング: 小グループディスカッション、アクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照

授業方法

授業は以下のように行う。

- 1) 講義前には当該講義内容に関して、教科書を用いて事前レポートを回答・提出するなど、事前学習をして臨むことが必須である。
- 2) 講義中には小グループやペアによるディスカッションなどのアクティブラーニングを交えて進めていく。そのため、学生自身が教科書や事前学習で得た基本的知識をもとに思考し、主体的に講義に臨むことが必要である。講義は、看護援助の意義、健康障害のある人に対する援助と看護の役割、援助を行うのに必要な情報とアセスメントを中心に行う。講義全体を通して、知識をもとに患者や看護師の「安全・安楽・自立」に基づき考えるだけでなく、考えた内容を他者に説明できるようにしておくこと。講義に必要な資料は講義前に WebClass にアップするため、隨時確認する
- 3) 講義終了後には、講義中に考えたことや当該講義内容について、自身の考えを問うような事後レポートを課す。講義内容を振り返るだけでなく、看護援助の目的や根拠について論理的に考えることが必要な内容となる。
- 4) 本科目の内容は連動して行われる「基礎看護学演習 I」と密接に関連付けられている。講義中に考え、討議した内容が統合して行われる演習の基礎となる。
- 5) レポートは WebClass にアップされ、WebClass 上での提出となる。時間を過ぎるとアクセスできなくなるため、ゆとりをもって取り組み、提出すること。提出期限を過ぎたレポートは基本的に評価しない。提出・評価を希望する場合にはまず教員にメールで連絡を取り、遅延理由などを説明し、提出許可を得ること。遅れて提出をされたレポートは減点となる。

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。

4月に Webclass で配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

基礎看護学Ⅱの評価は、以下 3 つの項目により行われる。出席は評価を行うための最低条件であるため、成績評価には加味しない。

1)筆記試験：講義全般の日常生活援助について知識を問う試験を行う。なお試験問題の約 20%に英語の問題を出題するため、教科書や講義資料に英語併記してある基本的な用語を学習しておくこと。

2)事前・事後レポート：事前レポートはこれまでの経験の振り返りや、教科書から基本的な知識を学ばなければ回答できない内容を課す。事後レポートは講義内容を振り返り、自身の考えを問う内容を課す。講義中のアクティブラーニングで問う内容と連動しているため、話し合った内容から自身の考えを深め回答することが求められる。

3)参加態度および参加状況：講義中のアクティブラーニング、質疑応答での活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下 3 つの項目で行い、各項目の成績の合計により評価を行う。1、2、3 の項目の評価は、それぞれ 75%、20%、5%とする。

1)筆記試験

講義の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

2)事前・事後レポート

事前・事後レポートは提出期限までに、オリエンテーションで示した方法で提出された場合に評価を行う。

レポートは敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。問われたことに対して、教科書にあるような一般的な内容を記述するのではなく、自分で感じたことや考えたことを具体的に記載した内容を評価し加点する。

期限を過ぎてレポートを提出した場合には減点するため、提出期限を厳守すること。

2)参加態度および参加状況

基礎看護学Ⅱでは積極的な参加が求められる。そのため、グループワークへの積極的な参加や質疑応答などで活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。

準備学習等についての具体的な指示

1)各講義内容を確認し、当該範囲の教科書や資料を基に事前学習をして講義に臨むこと。

2)各講義に必要な配布資料がある場合は、事前に WebClass にアップするため、各自で確認しダウンロードしておくこと。

3)各講義の事前・事後レポートは期間を設けて WebClass にアップする。各自でダウンロードし、指示された方法で提出すること。

※詳細はオリエンテーションで示す。

試験の受験資格

本科目の試験を受験するためには、全ての講義に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも全体の 2/3 以上の出席を必要とする。

教科書

基礎看護技術：看護過程のなかで技術を理解する／香春知永、齋藤やよい 編集香春、知永、齋藤、やよい、1958-；南江堂、2018

看護技術プラクティス／竹尾恵子監修、竹尾、恵子、学研メディカル秀潤社、2019

参考書

テーマに関連した参考図書を随時紹介する。

他科目との関連

本科目と「基礎看護学演習Ⅰ」、「基礎看護学演習Ⅱ」、「基礎看護学Ⅲ」、「基礎看護学実習Ⅱ」は密接に関係しており、それぞれの科目で学んだ知識や技術を応用して考えることが必要となる。1 年次に学んだ「基礎看護学Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅰ」の他に、学習の基礎となる教養の自然科学系、社会学系の科目、特に人間科学、社会学、心理学、哲学などでの学びや体験を振り返り、本科目で応用することが必要となる。

履修上の注意事項

看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために、柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験、社会体験を踏まえ、幅広い分野の書物に触れ、社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代: kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階看護ケア技術開発学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012020													
科目名	基礎看護学Ⅲ			科目 ID	MN-231700-L									
担当教員	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO, MORIOKA Noriko]													
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名: Fundamental NursingⅢ														
【科目責任者】柏木聖代														
主な講義場所 遠隔授業(同期型)もしくは 保健衛生学講義室4(3号館7階)														
授業の目的、概要等 看護は、健康問題に対する人間の反応を的確に捉え、その人にとってよりよい反応を導き出すよう援助する働きである。本科目では、根拠に基づいた看護を実践するための方法論の1つである、看護過程の概念と展開方法を学ぶ。 1)看護過程のステップを理解する。 2)看護実践における看護過程の展開方法を理解する。 3)ビデオ事例を通じた看護過程展開の実際を理解する。 4)実際の患者事例を通じた看護過程展開の実際を理解する。														
授業の到達目標 本科目では、病気をもつ人の健康課題に取り組み、援助する過程における知識を学生が獲得することが目標である。具体的には、看護実践における看護者の姿勢を理解し、看護の対象者の健康に関する情報を、既習の知識に基づいて批判的に解釈し、看護の対象者の健康について全体論的な視点から説明する。そして、看護の対象者の健康に資するための看護援助を説明できるようになることをを目指す。 1回 看護過程の役割と定義を説明できる。 2回 看護過程の構成要素を説明できる。看護観察について主観的情報と客観的情報が区別できる。 3回 アセスメントとは何かを説明できる。動画を見ながらアセスメントを実践できる。情報統合のやり方と関連図のルールを説明できる。 4回 看護問題とは何かを説明できる。NANDA-I の看護診断名の読み方がわかる。 5回 看護問題を PES 方式で表現することができる。期待される成果表現のルールを7つ言える。3つの援助計画を説明を受けながら立てられる。 6回 主観的・客観的情情報を臨床推論パターンを使って解釈できる。 7~9回 事例の看護問題を抽出できる。事例の看護目標を設定できる。事例の援助計画を立案できる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	5/6	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	看護過程の定義	看護過程とは何か、背景と特徴 看護過程と問題解決方法(POS) との関係	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: グループワーク							
2	5/6	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	看護過程の構成要素 (1)主観的・客観的情報、アセスメント	看護過程の構成要素-看護の観察における主観的情報と客観的情報、アセスメント	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: グループワーク、課題あり							
3	5/20	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	看護過程の構成要素 (2)アセスメント、統合	看護過程の構成要素-分析、アセスメント、統合 グループワーク	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: グループワーク、課題あり							
4	5/20	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	看護過程の構成要素 (3)問題抽出、看護診断	看護過程の構成要素-問題抽出と看護診断	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: グループワーク、課題あり							
5	5/20	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	看護過程の構成要素 (4)実施・評価	看護過程の構成要素-目標(成果)と計画立案、実施、記録(目的と種類)、問題の達成評価	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: グループワーク、課題あり							

6	6/18	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	臨床推論	主観的・客観的情報の推論パターンを使った解釈	柏木 聖代、 森岡 典子、 大河原 知嘉子 西村 礼子	講師:西村礼子 アクティブラーニング:グループワーク、討論 WebClassでの反転授業(事前課題、講義前テスト・クイズあり)
7	6/24	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	事例による看護過程の展開(1)	事例による看護過程グループワーク	柏木 聖代、 森岡 典子、 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:グループワーク、課題あり
8	6/24	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	事例による看護過程の展開(2)	事例による看護過程グループワーク	柏木 聖代、 森岡 典子、 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:グループワーク、課題あり
9	6/24	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	事例による看護過程の展開(3)	事例による看護過程グループワーク	柏木 聖代、 森岡 典子、 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:グループワーク、課題あり

授業方法

- 1)授業には、授業明細に示された範囲について、事前に教科書や関連書籍等にて自己学習予習をしてから臨むことが必要である。事前課題としてレポートや動画視聴を課す場合もあるので、Webclass をよく確認すること。
- 2)講義: 講義は事前課題の内容理解を前提とした上で、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass に挙げておくことで活用すること。講義内では学生の理解を深めるため、グループワーク等のアクティブラーニングを取り入れるので、積極的に参加すること。
- 3)授業終了後、授業で行った課題を回収し、次の授業でフィードバックを行う。

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。

4月に Webclass で配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

次の項目で総合的に評価を行う。

- 1)出席状況、参加状況: 出席回数だけでなく、授業内の発言やアクティブラーニングへの参加態度を含めて評価する。
- 2)課題レポートの提出状況・内容。特別な理由なく提出期限を過ぎた場合は未提出とする。

成績評価の基準

出席状況 10%、講義参加態度 30%、課題レポート 60% の配分で評価する。

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。小テストは、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とし、それを上回る場合には加点される。提出物は、提出期限が守られ、かつ、授業中に示す基準を守っているかどうかが評価基準となる。

準備学習等についての具体的な指示

- 1)講義日程を確認し、当該範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。
- 2)事例による演習は、個人での看護展開をもとにグループワークで進めるため、指定日までに各自で看護展開を行うこと。

試験の受験資格 本科目では試験は実施しない。

教科書

基礎看護技術：看護過程のなかで技術を理解する／香春知永、齋藤やよい 編集香春、知永、齋藤、やよい、1958-；南江堂、2018

参考書

NANDA-I看護診断：定義と分類／T.ヘザー・ハーデマン、上鶴重美 原書編集上鶴重美 訳Herdman, T. Heather, 上鶴、重美、1961-；医学書院、2018

参考資料を配付

その他テーマに関連した参考図書を随時紹介

他科目との関連

既習の専門知識と技術を看護実践の一連のプロセスの中に活かせるよう、これまで学習したすべての看護専門科目をよく理解しておくこと。

履修上の注意事項

講義中にスクリーンの撮影をすることを禁止する。講義資料や動画などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。講義と事例による演習を並行して行う。受け持ち患者の看護体験をもとに、個々の看護過程を振り返る。あらゆる看護実践の基盤となる思考プロセスの学習であり、グループワークに積極的に参加することで、理解を深めること。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代: kashiwagi.fnl@tmd.ac.jp 3号館18階看護ケア技術開発学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012021													
科目名	基礎看護学演習 I			科目 ID	MN-251800-S									
担当教員	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO, MORIOKA Noriko]			対象年次	2									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	2									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英語名: Seminar of Fundamental Nursing I														
【科目責任者】柏木聖代														
主な講義場所														
遠隔授業(同期型)もしくは 保健衛生学講義室4(3号館7階)および看護実習室1・2・3・4(3号館17階)ほか														
授業の目的、概要等														
基礎看護学演習 I では、「基礎看護学 I」で学んだ看護の主要概念や、「基礎看護学 II」で学んだ看護援助の知識をもとに、専門職者としての科学的根拠に基づいた看護実践能力を形成するための基礎となる知識と技術を身につけることを目的とする。本科目では主に日常生活援助を中心に、対象の基本的ニーズを充足するための科学的根拠に基づく看護技術についての学びを深める。														
看護技術は、看護実践の場で看護の提供者(看護者)と受け手(対象)との相互作用によって、個別性のある看護援助となる。そのため演習中には学生相互に看護者と対象の役割を取りながら、具体的な看護技術を習得する。本科目では看護技術を単なる手順として学ぶことを目的としていない。看護技術を行う目的、その方法を取る科学的根拠をもとに、対象の個別性に応じた看護援助の基盤を形成することを重視している。そのためには、既習の知識をもとに、看護を提供する上での基盤となる「安全」「安楽」「自立」に基づき看護技術を実践するため、教科書にあるような基本的知識は事前学習により学習して臨むことが必須である。														
授業の到達目標														
ここで示される達成目標は、あくまでも試験に合格するレベルである。日常生活援助を中心に、専門職者として個別性に応じた科学的根拠に基づく看護技術の基礎を形成することを目指す。														
本科目に共通する到達目標は、看護技術を行う目的を具体的に述べられる、必要な情報からのアセスメントや看護上の問題、対象のニーズについて「安全」「安楽」「自立」に基づき具体的に述べられる、目的に適した物品や方法を選択し、準備・実践できることである。加えて、科学的根拠を追及する姿勢を養い、知識を活用して考えながら行動するための基本的な技能と態度を身に着けることである。														
具体的な到達目標は以下の通りである。														
1-2回目:身体各部の構造に合わせた安全・安楽な方法で体位変換し、安楽な体位に整えることができる。														
3回目:病床環境の整備方法を説明できる。清潔なクローズドベッドを作成できる。														
4・5回目:生命の兆候を客観的に観察する方法を説明できる。正しい方法で呼吸、体温、血圧、脈拍を測定できる。														
6-7回目:看護技術としてのコミュニケーション方法をシミュレートできる。														
8-10回目:清潔・不潔の概念に基づき、臥床患者の寝衣およびシーツ交換を安全・安楽に実施できる。														
11-13回目:身体各部の構造に合わせた安全・安楽な方法で移送・移動の援助を実施できる。														
14-15回目:身体各部位の構造・機能に基づいた手足浴・洗髪を実施できる。														
16回目:患者情報に沿って適切な手技で血圧測定を実施できる。														
17-18回目:食事の意義を理解し、適切な方法で食事介助を実施できる。														
19-20回目:フィジカルアセスメントの手技を学び、胸腹部のフィジカルアセスメントを実施できる。														
21-23回目:身体各部位の構造・機能に基づいた清拭・陰部洗浄を実施できる。羞恥心に配慮して安全・安楽な床上排泄の援助を実施できる。														
24-25回目:スタンダードプロコーションに則った適切な個人防護具の着脱のタイミングについて討論できる。														
26-27回目:前期を通じて学んだ看護技術についてグループワークをすることができる。														
28-30回目:前期を通して学んだ看護技術を目的に応じた適切な方法を用いて実施できる。														

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/15	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	体位変換	安楽な体位の保持と体位変換の基本を、ボディメカニクスに基づき学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照

2	4/15	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	良肢位	安楽な体位の保持と体位変換の基本を、ボディメカニクスに基づき学ぶ。WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
3	4/22	13:00-14:30	看護学実習室 1、看護学実習室 2、看護学実習室 3	ベッドメーキング・環境整備	病床環境を整えるための方法とベッドメーキングの方法を実践する。WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子、後藤 孝子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
4-5	4/22	14:40-17:50	看護学実習室 1、看護学実習室 2、看護学実習室 3	バイタルサイン測定	生命の徵候を客観的に観察し、情報を収集する方法として、呼吸・体温・血圧・脈拍測定の方法を実践する。加えて測定値の示す意味とその変動条件について学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子、後藤 孝子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
6-7	4/23	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	看護とコミュニケーション I	コミュニケーションの理論と看護技術としてのコミュニケーション方法を学ぶ。WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
8-9	5/10	13:00-16:10	看護学実習室 1、看護学実習室 3	寝衣交換	床上臥床の患者への安全・安楽な衣服着脱の援助方法を実践する。WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
10	5/10	16:20-17:50	看護学実習室 1、看護学実習室 3	シーツ交換	床上臥床の患者への適切なシーツ交換の方法を学び、実践する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
11-13	5/14	13:00-17:50	看護学実習室 1、看護学実習室 2、看護学実習室 3	移乗・移送	安全・安楽に対象を移乗・移送する方法を、ボディメカニクスに基づき実践する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子、後藤 孝子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
14	5/28	13:00-14:30	看護学実習室 1、看護学実習室 2、看護学実習室 3	清潔ケア(手・足浴)	床上臥床患者へ安全・安楽に手足浴を実施する方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子、後藤 孝子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
15	5/28	14:40-16:10	看護学実習室 1、看護学実習室 2、看護学実習室 3	清潔ケア(洗髪)	床上臥床患者へ安全・安楽に洗髪を実施する方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代、森岡 典子、大河原 知嘉子、後藤 孝子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照

16	5/28	16:20-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 遠隔授業(非同期型)	技術試験Ⅰ	習得した看護技術の到達レベルを評価する。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子, 後藤 孝子	指定された方法で血圧測定を動画撮影し、保存すること。詳細はオリエンテーションで説明する。
17	6/3	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	食事介助	対象の自立度に応じた食事の準備、食事介助方法を学ぶ。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
18	6/3	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	口腔ケア	対象の自立度に応じた口腔の清潔を保持する方法を学ぶ。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
19-20	6/15	08:50-12:00		チーム医療導入	M3D3N2MT2を対象とした患者中心の医療を考えるワークショップを行える。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子	
21-22	6/17	14:40-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3	フィジカルアセスメント	看護活動に必要なフィジカルアセスメント方法と基本的な手技を学ぶ。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子 前田 耕助	講師:前田耕助先生 アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
23-24	6/25	13:00-16:10	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3	清潔ケア(全身清拭・陰部洗浄)	床上臥床患者へ安全・安楽に清拭・陰部洗浄を実施する方法を学ぶ。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子, 後藤 孝子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
25	6/25	16:20-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3	清潔ケア(おむつ交換・床上排泄)	床上臥床患者へ安全・安楽かつ、羞恥心に配慮した床上排泄の援助を学ぶ。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子, 後藤 孝子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
26-27	7/1	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	感染グループワーク	スタンダードプリコーションに則った個人防護具の着脱のタイミングについて討議する。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
28-29	7/2	14:40-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3	グループワーク	前期を通じて学んだ看護技術について、グループワークを行う。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子	アクティブラーニング:演習、小グループディスカッション 事前・事後レポートについては WebClass を参照
30-32	7/9	13:00-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	技術試験Ⅱ	習得した看護技術の到達レベルを評価する。 WebClassに資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子, 後藤 孝子	

授業方法

授業は以下のように行う。詳細は「基礎看護学Ⅱ」でのオリエンテーションで示す。

1) 演習前には当該演習内容に関して、教科書や資料を用いて事前レポートを回答・提出するなど、事前学習をして臨むことが必須である。

2) 演習は小グループ単位に分かれて進める。そのため、各学生が教科書や事前学習で得た基本的知識をもとに思考し、主体的に臨むことが必要である。演習中はデモンストレーションを行わない。物品準備し、実施に適した環境と患者を整え、実践し原状復帰するまでをそれぞれの事前準備に沿って行う。事前準備を行わずに演習に臨むと他学生の学習の妨げになるため、必ず十分な準備の下参加すること。演習に必要な資料は演習前にWebClassにアップするため、隨時確認する。

また、演習時は必ずユニフォームと実習靴を着用し、身だしなみを整えること。開始前に身だしなみの確認を行う。演習に使用する物品には各自が自宅から持参する物品もあるため、WebClassにアップする演習スケジュールを事前に確認し準備すること。

3) 演習終了後には、演習中に考えたことや当該演習内容について、自身の考えを問うような事後レポートを課す。演習内容を振り返るだけでなく、看護援助の目的や根拠、安全・安楽・自立の原則に基づいて実施内容を論理的に振り返ることが必要な内容となる。

4) 本科目の内容は連動して行われる「基礎看護学Ⅰ」と密接に関連付けられている。講義中に考え、討議した内容が本科目の基盤となる。

5) レポートはWebClassにアップされ、WebClass上の提出となる。時間を過ぎるとアクセスできなくなるため、ゆとりをもって取り組み、提出すること。提出期限を過ぎたレポートは基本的には評価しない。提出・評価を希望する場合にはまず教員にメールで連絡を取り、遅延理由などを説明し、提出許可を得ること。遅れて提出されたレポートは減点となる。

6) 本科目の時間内にすべての看護技術の到達目標を達成することは難しい。演習時間内にできなかった項目や繰り返しの演習を必要とする項目に関しては、空き時間を使って積極的に自主練習することにより、目標達成を目指す。

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。

4月にWebclassで配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

以下3つの項目により行われる。出席は評価を行うための最低条件であるため、成績評価には加味しない。

1) 技術試験：習得した看護技術の到達レベルを問う技術試験を行う。技術試験では示された患者情報を基に、適切な物品と方法を選択して、看護技術を実施する。技術試験Ⅰの血圧測定については、非同期型で実施する。詳細はオリエンテーションで説明する。

2) 事前・事後レポート：事前レポートはこれまでの経験の振り返りや、教科書から基本的な知識を学ばなければ回答できない内容など事前学習を促す内容を課す。事後レポートは演習内容を振り返り、自身の考えを問う内容を課す。演習内容を振り返るだけでなく、看護援助の目的や根拠、安全・安楽・自立の原則に基づいて実施内容を論理的に振り返ることが必要な内容となる。

3) 参加態度および参加状況：演習への準備状況、身だしなみ、演習中、質疑応答などでの活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下3項目で行い、総合的に評価する。

1) 技術試験

患者情報に沿って実施した看護技術が到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。到達目標を達成するためには、繰り返しの自主練習による習得を必要とする。

2) 事前・事後レポート

事前・事後レポートは提出期限までに、オリエンテーションで示した正しい方法で提出された場合に評価を行う。

レポートは敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。問われたことに対して、教科書にあるような一般的な内容を記述するのではなく、自分で感じたことや考えたことを具体的に記載した内容を評価し加点する。

期限を過ぎてレポートを提出した場合には減点するため、提出期限を厳守すること。

2) 参加態度および参加状況

基礎看護学演習Ⅰでは、学生自身が目的に応じたその時に最適な援助方法を、学生同士の話し合いと実践をしながら組み立てる必要がある。そのため、演習への積極的な参加や活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。

準備学習等についての具体的な指示

1) 各演習内容を確認し、当該範囲の教科書や資料、動画を基に事前学習をして臨むこと。

2) 各演習に必要な配布資料がある場合は、事前にWebClassにアップするため、各自で確認しダウンロードしておくこと。

3) 各演習の事前・事後レポートは期間を設けてWebClassにアップする。各自でダウンロードし、指示された方法で提出すること。

※詳細はオリエンテーションで示す。

試験の受験資格

本科目の試験を受験するためには、全ての講義に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも全体の 2/3 以上の出席を必要とする。

教科書

基礎看護技術：看護過程のなかで技術を理解する／香春知永、齋藤やよい 編集：南江堂、2018

看護技術プラクティス／竹尾恵子監修、竹尾 恵子、学研メディカル秀潤社、2019

参考書

テーマに関連した参考図書を随時紹介する。

他科目との関連

本科目と基礎看護学Ⅱ・Ⅲ、基礎看護学演習Ⅱ、基礎看護学実習Ⅱ、解剖学、生理学、薬理学、微生物学、生化学、栄養学などは密接に関係しており、それぞれの科目で学んだ知識や技術を応用して考えることが必要となる。 1 年次に学んだ基礎看護学Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰなどでの学びや体験を振り返り、本科目で応用することが必要となる。 また、本科目はこれから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基礎となる。

履修上の注意事項

看護学の基礎となる理論や概念を踏まえ科学的根拠に基づく看護技術を学ぶため、柔軟な思考力と考えたことを演習で実践する力が必要となる、これまでの学習経験や生活体験、社会体験を踏まえ、幅広い分野の書物や研究論文に触れ、社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代: kashiwagi.fnl@tmd.ac.jp 3号館 18階看護ケア技術開発学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代: オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012022													
科目名	基礎看護学演習Ⅱ			科目ID	MN-251900-S									
担当教員	柏木 聖代 大河原 知嘉子 森岡 典子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO, MORIOKA Noriko]													
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名: Seminar of Fundamental Nursing II														
【科目責任者】柏木聖代														
主な講義場所														
遠隔授業(同期型)もしくは 保健衛生学講義室4(3号館7階)および看護実習室1・2・3・4(3号館17階)ほか														
授業の目的、概要等														
基礎看護学演習Ⅱでは、基礎看護学Ⅰで学んだ看護の主要概念や、既習の基礎看護学Ⅱ・基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、基礎看護学Ⅲで学んだ知識や技術をもとに、専門職者としての科学的根拠に基づいた看護実践能力を形成するための基礎となる知識と技術を身につけることを目的とする。本科目では主に診療の補助を中心に、対象の基本的ニーズを充足するための科学的根拠に基づく看護技術について、シミュレーターを用いて学びを深める。														
看護技術は、看護実践の場で看護の提供者(看護師)と受け手(対象)との相互作用によって、個別性のある看護援助となる。そのため演習中には学生相互に看護師と対象の役割を取りながら、具体的な看護技術を習得する。本科目では看護技術を単なる手順として学ぶことを目的としていない。看護技術を行う目的、その方法を取る科学的根拠をもとに、対象の個別性に応じた看護援助の基盤を形成することを重視している。そのためには、既習の知識をもとに、看護を提供する上での基礎となる「安全」「安楽」「自立」に基づき看護技術を実践するため、教科書にあるような基本的知識は事前学習により学習して臨むことが必須である。														
授業の到達目標														
ここで示される達成目標は、あくまでも試験に合格するレベルである。診療の補助を中心に、専門職者として個別性に応じた科学的根拠に基づく看護技術の基盤を形成することを目指す。														
本科目に共通する到達目標は、看護技術を行う目的を具体的に述べられる、必要な情報からのアセスメントや看護上の問題、対象のニーズについて「安全」「安楽」「自立」に基づき具体的に述べられる、目的に適した物品や方法を選択し、準備・実践できることである。加えて、科学的根拠を追及する姿勢を養い、知識を活用して考えながら行動するための基本的な技能と態度を身に着けることである。														
具体的な到達目標は以下の通りである。														
1回目: 排泄の意義を踏まえて、排泄における看護の役割と援助方法を説明できる。														
2回目: 死を迎える対象を呼び周囲の人々への理解を深め、看護の役割を説明できる。														
3回目: 減菌手袋の装着、減菌物の取り扱いの方法を学び、実践できる。														
4回目: 排泄に関するアセスメントに基づき、羞恥心に配慮して安全・安楽に一時的導尿をシミュレートできる。														
5-6回目: 安楽を促す看護技術としてのリラクセーション技法を実施できる。														
7回目: 薬物療法における看護の役割について説明できる。														
8-9回目: 安全で確実な与薬を実施する方法をシミュレートできる。														
10回目: 検査における看護師の役割を説明できる。														
11回目: 患者および療養環境における安全について、討論できる。														
12-13回目: 検査時の看護師の役割を踏まえて、静脈からの採血をシミュレートできる。														
14-15回目: 基盤看護学実習Ⅱで計画した看護援助を実施し、評価できる。														

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/29	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	排泄	排泄の援助が必要な対象への看護を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代 森岡 典子 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー事前・事後レポートについては WebClass を参照
2	10/29	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	グリーフケア	生命の徵候を客観的に観察し、情報を収集する方法として、呼吸・体温・血圧・脈拍測	柏木 聖代 大河原 知嘉子 森岡 典子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー

					定の方法を実践する。加えて測定値の示す意味とその変動条件について学ぶ。WebClass に資料がある。		事前・事後レポートについては WebClass を参照
3	11/5	13:00-14:30	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	無菌操作	滅菌手袋の装着、滅菌物の取り扱いの方法を学び、実践する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
4	11/5	14:40-16:10	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	導尿	無菌操作を踏まえて、モデルを用いて一時的導尿を実践する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
5-6	11/8	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	リラクセーション・タッピング	安楽を促す看護技術としてのリラクセーション技法やタッピングを学ぶ。 WebClass に資料がある。	柳 奈津子, 柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
7	11/26	13:00-14:30	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	与薬	薬剤適用の特徴を踏まえて、与薬法における看護の役割と援助方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
8	11/26	14:40-16:10	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	注射法	安全・安楽に留意してモデルを用いて筋肉内注射を実践する。 無菌操作を踏まえた与薬準備・実施方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
9	11/26	16:20-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	口腔内与薬	各種与薬方法の特徴を理解し、適切な口腔内与薬方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
10	12/2	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	検査	検査における看護師の役割と援助方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
11	12/2	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	安全 GW	患者および療養環境における安全について、グループワークとディベートを行う。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照
12-13	12/7	13:00-16:10	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	採血	採血における看護師の役割を踏まえ、モデルを用いて静脈血採血を実践する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 森岡 典子, 大河原 知嘉子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー 事前・事後レポートについては WebClass を参照

14-15	12/10	14:40-17:50	看護学実習室1、 看護学実習室2、 看護学実習室3	看護技術 GW	「基礎看護学実習Ⅱ」で計画した看護技術を学生同士で実践・評価する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代 大河原 知嘉子、 森岡 典子	アクティブラーニング: 小グループディスカッション、リアクションペーパー事前・事後レポートについては WebClass を参照
-------	-------	-------------	---------------------------------	------------	--	----------------------------	---

授業方法

授業は以下のように行う。詳細は「基礎看護学Ⅱ」でのオリエンテーションで示す。

- 1) 演習前には当該演習内容に関して、教科書や資料を用いて事前レポートを回答・提出するなど、事前学習をして臨むことが必須である。
- 2) 演習は小グループ単位に分かれて進める。そのため、各学生が教科書や事前学習で得た基本的知識をもとに思考し、主体的に臨むことが必要である。演習中はデモンストレーションを行わない。物品準備し、実施に適した環境と患者を整え、実践し原状復帰するまでをそれぞれの事前準備に沿って行う。事前準備を行わずに演習に臨むと他学生の学習の妨げになるため、必ず十分な準備の下参加すること。演習に必要な資料は演習前に WebClass にアップするため、隨時確認する。一部演習では事前にアップする動画を視聴し、演習までに小テストを合格する必要がある。
- 3) 演習時は必ずユニフォームと実習靴を着用し、身だしなみを整えること。開始前に身だしなみの確認を行う。演習に使用する物品には各自が自宅から持参する物品もあるため、WebClass にアップする演習スケジュールを事前に確認し準備すること。
- 4) 演習終了後には、演習中に考えたことや当該演習内容について、自身の考えを問うような事後レポートを課す。演習内容を振り返るだけでなく、看護援助の目的や根拠、安全・安楽・自立の原則に基づいて実施内容を論理的に振り返ることが必要な内容となる。
- 5) レポートは WebClass にアップされ、WebClass 上での提出となる。時間を過ぎるとアクセスできなくなるため、ゆとりをもって取り組み、提出すること。提出期限を過ぎたレポートは基本的には評価しない。提出・評価を希望する場合にはまず教員にメールで連絡を取り、遅延理由などを説明し、提出許可を得ること。遅れて提出されたレポートは減点となる。
- 6) 本科目の時間内にすべての看護技術の到達目標を達成することは難しい。演習時間内にできなかった項目や繰り返しの演習を必要とする項目に関しては、空き時間を使って積極的に自主練習することにより、目標達成を目指す。ただし、危険度の高い採血や注射などの自己演習は許可できない。

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。

基礎看護学Ⅱのオリエンテーションで配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

以下3つの項目により行われる。出席は評価を行うための最低条件であるため、成績評価には加味しない。

- 1) 筆記試験: 2年生の基礎看護学で学んだ内容について知識を問う試験を行う。なお試験問題の約20%に英語の問題を出題するため、教科書や講義資料に英語併記してある基本的な用語を学習しておくこと。
- 2) 事前・事後レポート: 事前レポートはこれまでの経験の振り返りや、教科書から基本的な知識を学ばなければ回答できない内容を課す。事後レポートは講義・演習内容を振り返り、自身の考えを問う内容を課す。講義では、講義中のアクティブラーニングで問う内容と連動しているため、話し合った内容から自身の考えを深め回答することが求められる。演習では演習内容を振り返るだけでなく、看護援助の目的や根拠、安全・安楽・自立の原則に基づいて実施内容を論理的に振り返ることが必要な内容となる。
- 3) 参加態度および参加状況: 講義中のアクティブラーニング、演習への準備状況、身だしなみ、質疑応答での活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下3つの項目で行い、各項目の成績の合計により評価を行う。1、2、3の項目の評価は、それぞれ75%、20%、5%とする。

1) 筆記試験

講義の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

2) 事前・事後レポート

事前・事後レポートは提出期限までに、オリエンテーションで示した方法で提出された場合に評価を行う。

レポートは敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。問われたことに対して、教科書にあるような一般的な内容を記述するのではなく、自身で感じたことや考えたことを具体的に記載した内容を評価し加点する。

期限を過ぎてレポートを提出した場合には減点するため、提出期限を厳守すること。

2) 参加態度および参加状況

学生自身が目的に応じたその時に最適な援助方法を、学生同士の話し合いと実践をしながら組み立てる必要があり、積極的な参加が求められる。そのため、演習やグループワークへの積極的な参加や、質疑応答などで活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加

点する。

準備学習等についての具体的な指示

- 1)各演習内容を確認し、当該範囲の教科書や資料、動画を基に事前学習をして臨むこと。
 - 2)各演習に必要な配布資料がある場合は、事前にWebClassにアップするため、各自で確認しダウンロードしておくこと。
 - 3)各演習の事前・事後レポートは期間を設けてWebClassにアップする。各自でダウンロードし、指示された方法で提出すること。
- ※詳細はオリエンテーションで示す。

試験の受験資格

本科目の試験を受験するためには、全ての講義に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも全体の2／3以上の出席を必要とする。

教科書

基礎看護技術：看護過程のなかで技術を理解する／香春知永、齋藤やよい 編集香春、知永、齋藤、やよい、1958-;南江堂、2018
看護技術プラクティス／竹尾恵子監修、竹尾、恵子、学研メディカル秀潤社、2019

参考書

テーマに関連した参考図書を随時紹介する。

他科目との関連

本科目は「基礎看護学Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅰ」、「基礎看護学Ⅱ」、「基礎看護学Ⅲ」、「基礎看護学演習Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅱ」で学んだ知識や技術を応用して考えることが必要となる。既習の解剖学、生理学、薬理学などの基礎科目や、1年次に学んだ専門科目も密接に関連しているため、それらの学びを振り返っておくこと。また、本科目は、これから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基礎となる。

履修上の注意事項

看護学の基礎となる理論や概念を踏まえ科学的根拠に基づく看護技術を学ぶため、柔軟な思考力と考えたことを演習で実践する力が必要となる、これまでの学習経験や生活体験、社会体験を踏まえ、幅広い分野の書物や研究論文に触れ、社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代: kashiwagi.fnl.s@tmd.ac.jp 3号館 18階看護ケア技術開発学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012023													
科目名	基礎看護学実習Ⅱ			科目ID	MN-272000-E									
担当教員	柏木 聖代, 大河原 知嘉子, 森岡 典子[KASHIWAGI Masayo, OKAWARA CHIKAKO, MORIOKA Noriko]													
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	2									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Practice of Fundamental Nursing II														
【科目責任者】柏木聖代														
主な講義場所														
保健衛生学講義室4(3号館7階)、看護実習室1・2・3・4(3号館17階)、医学部附属病院 もしくは遠隔授業(同期型)														
授業の目的、概要等														
既習の知識・技術を統合し、対象の個別性を考慮した看護を実践するための方法を学ぶ。さらに、看護の実践を通して、看護の責務と態度について考える機会とする。														
この実習は、看護に共通する方法や技術を学習することを目的とし、続いて行われる領域別看護実習へ展開させる基礎となる。														
授業の到達目標														
1)病院の機能、医療の場で働く専門職やその他の職種の役割と看護の連携について説明できる。 2)受け持ち患者の日常生活援助を中心とした看護過程を展開し、基本的な看護技術を実践できる。 (1)看護師が対象をどのような視点でとらえているのか説明できる。 (2)対象の個別性を重視した看護の方法を実践できる。 (3)対象のニーズを捉え、基本的な看護技術を実践できる。 3)臨床場面における看護師としての姿勢、態度を模倣できる。 (1)事故を予防し暗線を促進する責任を説明できる。 (2)感染防止の実際を討論できる。 (3)生命の尊厳とプライバシー保護の方法と重要性を説明できる。 4)学生としての適切な態度・行動を実践できる。 (1)患者・家族との適切なコミュニケーションをとることができる。 (2)看護チームとの連携をはかることができる。 (3)他者からの評価を受け入れ、次の行動に活かすことができる。 (4)カンファレンスに積極的に参加することができる。 (5)適切な言葉遣いを実践できる。 (6)清潔感があり、身だしなみが整えることができる。 (7)記録が適切であり、期限内に提出することができる。 (8)収集した医療看護情報を、適切な時期に報告・伝達することができる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	7/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護 学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:グループワーク、討論							
2-3	9/2	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	基礎看護 学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参照							
4	9/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護 学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	江龍 伸子, 柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参							

5-6	9/2	14:40-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	基礎看護 学実習 II	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参
7-11	9/3	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	基礎看護 学実習 II	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参
12-16	9/6	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護 学実習 II	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参
17-21	9/7	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護 学実習 II	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参
22-26	9/8	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	基礎看護 学実習 II	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参
27-31	9/9	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護 学実習 II	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参
32-36	9/10	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護 学実習 II	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参
37-38	9/13	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	基礎看護 学実習 II	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参
39-41	9/14	08:50-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	基礎看護 学実習 II	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参
42-43	9/15	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護 学実習 II	詳細は実習要項参照	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参
44-45	9/15	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1	基礎看護 学実習 II	受け持ち患者の看護 過程(グループワー ク)	柏木 聖代 大河原 知嘉子, 森岡 典子	アクティブラーニング:実習 グループワーク、討論、実習 記録などの提出物について は実習要項参

46	12/2	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	基礎看護学実習Ⅱ	実習記録、看護過程の振り返り	柏木 聖代 大河原 知嘉子 森岡 典子	アクティブラーニング:グループワーク、討論
----	------	-------------	-----------	----------	----------------	---------------------------	-----------------------

授業方法

〔実習対象〕 基礎看護学Ⅰ、基礎看護学Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰの単位を修得した者

〔実習期間〕 7月2日(金)

9月2日(木)～9月15日(水)

12月2日(木)

詳細はについては実習要項参照。

授業内容 詳細については、後日配布する実習要項に提示する。

成績評価の方法

- 1) 単位認定は、実習期間3/4以上の出席をもって行う。
- 2) 実習時間の60%以上の時間を参加することで出席とする。
- 3) 遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2回で1日の欠席とみなす。

成績評価の基準

成績評価は、以下3つの項目で、総合的に評価する。各評価項目の詳細については、実習要項参照。

1) 実習記録

実習記録が提出期限までに、実習要項に書かれた正しい方法で提出させていた場合に評価を行う。

記録物は敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。また実習記録は感想文や実施した看護援助の列挙を求めてはいない。そのため、実習中に実施した内容や実地指導者からの助言などから学んだことや、自分で感じたことや考えたことを具体的に記載した内容を評価する。

2) 病棟での実践

病棟での看護実践について、目的に応じた物品や援助方法を選択できているか、実地指導者や指導教員からのアドバイスを次の看護援助に活かしているなどを評価する。

3) 実習態度および参加状況

基礎看護学実習Ⅱでは積極的な参加が求められる。そのため、実習やグループワークへの積極的な参加や質疑応答などで活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。また看護を学ぶ学習者としての態度を示すことも実習目標であるため、身だしなみを整える、時間厳守する、約束事を守るなどを行っている場合にも加点する。

準備学習等についての具体的な指示

- 1) 基礎看護学実習の実習要項を読み、基礎看護学実習Ⅱの目的・目標を理解し、自身の目標を立てること。
- 2) 基礎看護学Ⅱおよび基礎看護学演習Ⅰで学習した看護および看護技術、基礎看護学Ⅲで学習した看護過程について、復習をすること。
- 3) 夏休み期間中の看護学実習室の使用を認める(要申請)ので、各自で十分に練習を行うこと。

試験の受験資格

この実習に参加できる学生は、基礎看護学Ⅰ、基礎看護学Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰの単位を修得した者に限る。

本科目では試験を実施しない。成績評価を行うためには、すべての実習日程に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも実習期間の3/4以上の出席が必要である。1日の実習時間のうち、3/4以上の時間を参加することで出席とする。また遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2回で1日の欠席とみなす。

詳細は実習要項参照。

他科目との関連

これまでに学んだ基礎看護学等の知識・技術を実際の医療場面に活用し発展させる実習であるため、これまで学んだ内容と密接な関係にある。特に基礎看護学Ⅰ、基礎看護学演習Ⅰでの知識や技術、基礎看護学Ⅱでの看護過程に関する知識は、実習を行う上で必ず必要となるため、十分に振り返っておくこと。

履修上の注意事項

- 1) 実習記録およびメモ類の取り扱いに留意し、看護者としての倫理的配慮を遵守して、守秘義務を果たすこと。
- 2) 態度・身だしなみ・言葉遣いなど、学ぶ者としての基本的な事項を遵守すること。

備考

1) 実習中に得た患者の情報は、絶対に電子メールやWebサイト、SNSなどでインターネット上に発信しない。

2) SNSを通じて患者から連絡があった場合はすぐに返信せずに、担当教員へ報告し対応の指示を受ける。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代: kashiwagi.fnlsl@tmd.ac.jp 3号館 18階看護ケア技術開発学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012024									
科目名	成人看護学 I			科目ID	MN-232100-L					
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 佐々木 吉子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO, SASAKI YOSHIKO]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	2					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名:Adult Health Nursing I 【科目責任者】田中 真琴										
主な講義場所 Zoom 講義										
授業の目的、概要等 成人看護学は、Ⅰ～Ⅲで構成している。そのうち、Ⅰは成人期にある人々の特徴を理解し、外科的治療および内科的治療を必要とする患者の急性期から回復期、および慢性期にいたる疾病段階にある人々に対して必要な看護の原則について講義、グループワーク、課題発表を通して学ぶ。これを通して、健康障害のある患者の看護を身体系統別に理解する上での基礎的知識を養う。										
授業の到達目標 ・成人期にある人々の特徴を理解できる。 ・成人期の健康問題とその影響、必要な看護ケアを理解できる。 ・外科的・内科的治療を必要とする患者の看護ケアを理解できる。 ・回復期、慢性期、退院に関する看護ケアを理解できる。 1～2回目：成人期の特徴と健康問題を理解できる。 3～5回目：慢性病患者の特徴と看護について理解できる。 6回目：手術を受ける患者の心身の特徴と看護について理解できる。 7回目：手術看護の役割を理解できる。 8～9回目：術後の心身の変化と看護について理解できる。 10回目：救急医療システムと看護の役割について理解できる。 11,14回目：がん患者の治療と特徴、看護について理解できる。 12回目：災害サイクルと看護の役割について理解できる。 13,15回目：退院調整活動に関して理解できる。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	4/16	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	成人看護学概論(1)	オリエンテーション・成人期の特徴と成人各期の理解	田中 真琴				
2	4/23	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	成人看護学概論(2)	成人の健康問題と健康生活を促す看護	田中 真琴				
3	4/30	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	慢性病患者の看護(1)	慢性病の動向、慢性病患者の特徴の理解	田中 真琴				
4	5/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	慢性病患者の看護(2)	慢性病患者の生活支援方法とQOLについて	田中 真琴				
5	5/13	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	慢性病患者の看護(3)	患者理解とセルフマネージメントを支える看護	田中 真琴				
6	5/13	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	手術患者の看護(1) (総論・術前の看護)	手術を受ける患者の心身の特徴と術前における看護の実際	川上 明希				
7	5/21	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	手術患者の看護(2) (術中の看護)	手術室看護師の役割と看護の実際	川上 明希				
8	5/28	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	手術患者の看護(3) (術後の看護①)	術後急性期における看護(観察、全人的アセスメント、合併症予防、回復促進のためのケアについて)	川本 祐子				
9	6/4	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	手術患者の看護(4) (術後の看護②)	術後回復期における看護(後障害への適応に向けた看護の役割と家族支援について)	川本 祐子				
10	6/11	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	救急看護	本邦における救急医療システムと看護の役割	佐々木 吉子				
11	6/11	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	がん看護(1)	がん患者を取り巻く諸問題と看護の展望	田中 真琴				
12	6/14	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	退院支援(1)	退院調整活動の理解	川上 明希				

13	6/25	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	がん看護(2)	がんの治療の特徴(特に化学療法と放射線療法)と治療の伴うさまざまな問題、看護支援について	川上 明希
14	6/28	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	終末期看護		藤原 紀子
15	7/2	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	退院支援(2)	退院調整活動の実際	川上 明希

成績評価の方法

授業への出席・参加状況および学期末筆記試験、課題レポートにより評価する。

なお、筆記試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

授業への出席・参加状況および学期末筆記試験、課題レポートにより評価する。

なお、筆記試験の一部に英語の問題を出題する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に教科書等に目を通し、事前課題がある場合は提出すること。

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論(第15版)／小松浩子他:医学書院, 2018

臨床外科看護総論(第11版)／矢永勝彦, 高橋則子 編:医学書院, 2017

参考書

周手術期看護論(第3版)／雄西智恵美, 秋元典子 編集: ヌーヴェルヒロカワ, 2014

周術期の臨床判断を磨く：手術侵襲と生体反応から導く看護／鎌倉やよい, 深田順子 著:医学書院, 2008

術中/術後の生体反応と急性期看護／竹内登美子編著,竹内, 登美子:医歯薬出版, 2019

テーマによる参考図書の紹介

履修上の注意事項

解剖・生理学、病態学を習得のこと。

備考

その他

授業日程、内容は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3号館19F

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3号館17F

川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3号館19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00～PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012025													
科目名	成人看護学Ⅱ			科目ID	MN-232200-L									
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]													
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	2									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Adult Health Nursing II														
【科目責任者】田中 真琴														
主な講義場所														
Zoom 講義														
授業の目的、概要等														
既習の病態学および成人看護学Ⅰをもとに、身体系統別の健康障害を有する成人期にある人々を理解し、それらの人々に対しての具体的な看護支援方法を、講義、事例検討、討論等を通して学ぶ。														
授業の到達目標														
アセスメント、一般的看護問題とその成因および看護活動が理解できる。														
1~2回目:脳神経系に障害のある患者の看護について理解できる。														
3~4回目:呼吸器系に障害のある患者の看護について理解できる。														
5~6回目:循環器系に障害のある患者の看護について理解できる。														
7回目:泌尿器系に障害のある患者の看護について理解できる。														
8回目:女性生殖器系に障害のある患者の看護について理解できる。														
9回目:運動器系に障害のある患者の看護について理解できる。														
10回目:膠原病・難病患者の看護について理解できる。														
11回目:感覚器系に障害のある患者の看護について理解できる。														
12~13回目:消化器系に障害のある患者の看護について理解できる。														
14回目:腎疾患患者の看護について理解できる。														
15回目:内分泌・代謝系に障害のある患者の看護について理解できる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員								
1	10/1	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	脳神経系障害患者の看護(1)		田中 真琴								
2	10/1	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	脳神経系障害患者の看護(2)		田中 真琴								
3	10/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	呼吸器系障害患者の看護(1)	「基礎編」	矢富 有見子								
4	10/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	呼吸器系障害患者の看護(2)	「実践編」	矢富 有見子								
5	10/15	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	循環器系障害患者の看護(1)	「急性期看護」	梅田 亜矢								
6	10/15	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	循環器系障害患者の看護(2)	「回復期・慢性期看護」	梅田 亜矢								
7	10/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	泌尿器系障害患者の看護		川上 明希								
8	10/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	女性生殖器系障害患者の看護		川本 祐子								
9	10/25	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	腎障害患者の看護		田中 真琴								
10	11/12	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	膠原病・難病患者の看護		鵜沢 久美子								
11	11/12	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	運動器疾患患者の看護		植田 満美子								
12	11/25	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	内分泌・代謝系障害患者の看護		田中 真琴								
13	11/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	感覚器障害患者の看護(1)		花出 正美								
14	12/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	消化器系障害患者の看護(2)	「肝胆膵編」	田中 真琴								
15	12/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	消化器系障害患者の看護(1)	「管腔臓器編」	田中 真琴								
成績評価の方法														
授業への出席・参加状況および学期末筆記試験、課題レポートにより評価する。														
なお、筆記試験の一部に英語の問題を出題する。														
準備学習等についての具体的な指示														
事前に参考図書に目を通し、事前課題がある場合は提出すること。														

参考書

病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図／井上智子, 窪田哲朗編,井上, 智子,窪田, 哲朗,: 医学書院, 2020

エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図／山本則子編集,山本, 則子,阿部, 俊子,: 中央法規出版, 2014

臨床病態学：看護のための／浅野嘉延, 吉山直樹編,浅野, 嘉延吉山, 直樹: 南山堂, 2020

成人看護学総論／小松浩子【ほか】著,小松, 浩子,: 医学書院, 2018

臨床外科看護総論／矢永勝彦, 高橋則子編 ; 矢永勝彦【ほか】執筆,矢永, 勝彦,高橋, 則子,芦塚, 修一,石田, 祐一,衛藤, 謙,: 医学書院, 2017

テーマによる参考図書の紹介

他科目との関連

前期での成人看護学 I (概論)および解剖・生理学, 病態学の授業資料や教科書等を参照し、内容をよく理解しておくこと。

履修上の注意事項

解剖学, 生理学, 病態学, 薬理学との知識を統合させながら、講義内容の理解に努めること。

備考

その他

授業日程、内容は変更することがある。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3号館 19F

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3号館 17F

川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00～PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012026							
科目名	精神看護学			科目ID	MN-232300-L			
担当教員	高野 歩, 栗林 一人[TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto]							
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	2			
実務経験のある教員による授業	該当する							
英文名:Psychiatric Nursing								
【科目責任者】高野 歩								
主な講義場所								
第 1、15、16 回:Webclass 上での動画講義(非同期型)								
第 2~14 回:Zoom 講義(同期型)								
授業の目的、概要等								
精神看護実践の前提となる、精神疾患の病態、精神科診断学、治療学等の精神医学の基礎知識を習得する。司法精神医療等、精神医療の関連領域における治療の理論や方法について理解する。精神医療・精神保健福祉における法律、制度、施策に関する知識を習得し、わが国における課題について考察する。これらの内容を看護学の視点から再考し、看護職の役割や看護援助への活用について考察する。								
授業の到達目標								
・精神疾患の症状や治療法、精神保健福祉政策に関する基礎知識を身につける。								
・心理社会的療法や家族支援の方法に関する基礎知識を身につける。								
・リカバリーを促進する支援・看護とは何か説明できる。								
1~9・14 回目:精神的な機能の障害を精神医学的な疾患論、障害学、診断学に基づいて評価する方法について説明できる。また、薬物療法、心理社会的療法、精神科リハビリテーションの理論や方法について説明できる。								
10 回目:司法精神医学における精神疾患の評価と精神鑑定について学び、司法精神医療の制度や治療について説明できる。								
11・12 回目:精神医療と精神科看護の歴史について理解を深め、わが国の精神保健福祉をめぐる法律、制度、施策の実際や課題について説明できる。								
13 回目:リエゾン精神看護について学び、精神看護専門看護師の役割やリエゾンチーム医療の活動内容について説明できる。								
15・16 回目:心理社会的療法、家族支援の理論や方法、ストレングスモデルやリカバリーの考え方に基づいた支援・看護について説明できる。また、精神保健医療チームにおける看護職の役割や看護援助の方法について説明できる。								

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/30	13:00~14:30	遠隔授業 (非同期型)	精神障害の分類、疫学	精神疾患の診断分類、障害学に基づく理解、精神障害の疫学、精神医療・精神保健福祉の概要	高野 歩, 栗林 一人	確認テスト、リフレクティブレポートの提出
2	9/30	14:40~16:10	遠隔授業 (同期型)	器質性精神病の診断と治療	意識障害・せん妄による精神症状、健忘その他の認知障害、身体疾患による精神症状、診断、治療	竹内 崇 高野 歩 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
3	10/7	13:00~14:30	遠隔授業 (同期型)	統合失調症の診断と治療	統合失調症、妄想性障害の症状、診断、治療	田村 起紘 高野 歩 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
4	10/7	14:40~16:10	遠隔授業 (同期型)	気分障害の診断と治療	うつ状態と躁状態、気分障害の症状、診断、治療	塩飽 裕紀 高野 歩 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
5	10/14	14:40~16:10	遠隔授業 (同期型)	神経症性障害、ストレス関連性障害、身体表現性障害およびパーソナリティ障害の診断と治療	神経症性障害の概念、不安障害、强迫性障害、解離性転換性障害、身体表現性障害／パーソナリティ障害の症状、診断、治療	松本 有紀子 高野 歩 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
6	10/14	16:20~17:50	遠隔授業 (同期型)	小児期に発症する行動・情緒障害の診断と治療	発達障害・素行障害の症状、診断、治療、支援の方法	三木 崇弘 高野 歩 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出

7	10/21	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	生物学的精神医学の到達点	脳科学から見た今後の精神医学、治療への応用	高橋 英彦、 高野 歩、 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
8	10/21	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	物質関連障害および嗜癖性障害群の診断と治療	物質使用障害、ギャンブル障害、ゲーム障害の症状、診断、治療	治徳 大介、 高野 歩、 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
9	11/4	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	精神科の薬物療法	向精神薬の薬理作用と副作用	田村 趙紘 高野 歩、 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
10	11/4	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	司法精神医学・看護	精神障害に起因する司法的問題、精神疾患の評価と精神鑑定の概要、司法精神医療の制度と治療	岡田 幸之、 高野 歩、 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
11	11/11	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	精神医療と精神科看護の歴史	精神医療および精神科看護の歴史、精神障害者的人権とアドボカシー	長沼 洋一、 高野 歩、 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
12	11/11	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	精神保健福祉をめぐる法律、制度、施策	精神保健福祉法と関連法規の概要、精神保健福祉法と入院制度、精神保健福祉施策の現状と課題	長沼 洋一、 高野 歩、 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
13	11/18	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	リエゾン精神医学・看護	リエゾン精神医学・看護の概要、身体疾患患者における精神的な問題と介入、リエゾン精神看護専門看護師の役割	松岡 裕美 高野 歩、 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
14	11/18	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	てんかんの診断と治療	てんかん発作の病態と診断、治療、てんかん性精神障害に対する介入	稻次 基希、 高野 歩、 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
15	12/9	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	心理社会的療法と看護(1)	心理社会的療法(心理教育、認知行動療法、SSTなど)の理論と方法	高野 歩、 栗林 一人	確認テスト、リフレクティブレポートの提出
16	12/9	14:40-16:10	遠隔授業 (非同期型)	心理社会的療法と看護(2)	家族支援の理論と方法、セルフケアモデルの理論と看護、ストレンゲスモデルの理論と活用、リカバリー指向の支援・看護	高野 歩、 栗林 一人	確認テスト、リフレクティブレポートの提出

授業方法

授業は以下の方法で行う。

1.講義：講義は、Webclass 上での動画講義(非同期型)もしくは Zoom によるオンライン講義(同期型)とする。各回の中で重要なこと、看護実践に必要な応用的内容を中心に行う。講義資料は、講義前にWebclass にて配布するので、各自手元に用意すること。

2.授業中のグループワーク：実践的な内容について、グループワークを行うことがある。

3.授業中の小テスト：講義内容に関連した知識の確認を小テスト形式(Zoom の投票機能)で行うことがある。

4.確認テスト：Webclass 上での動画講義受講後、Webclass 上で確認テストを実施する。

5.リフレクティブレポート：各回の授業終了後、授業で学んだことや感想、質問等を WebClass の指定の場所に提出すること。質問に対しては、次回の授業で説明するか、WebClass にて回答を掲示する。

授業中、教員と学生との間でのディスカッション、グループワーク、小テストにより、アクティブラーニングを実施する。

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

次の 3 つの方法により評価する。

1.筆記試験(60%)：授業で学習した重要な事項について選択式問題形式で出題する。授業で取り上げた内容に関する過去の看護師国家試験問題についても、出題範囲に含まれる。筆記試験の成績は、例えば筆記試験(100 点満点)の結果が 70 点である場合、その得点の

60%である、 $60\% \times 70$ 点= 42 点が成績となる。

2.授業への参加状況(20%)：出席、確認テスト、グループワーク参加状況、授業中の質問等により総合的に評価する。精神看護学の成績の 20%を授業への参加状況により評価する。

3.リフレクティブレポート(20%)：レポート提出状況、レポートの内容により評価する。精神看護学の成績の 20%をリフレクティブレポートにより評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100点満点中60点以上を合格とする。なお、授業中およびリフレクティブレポートでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

教科書の該当箇所について予習をして臨むこと。既習の関連する他科目（主に薬理学）の授業を復習しておくこと。

試験の受験資格

授業の出席(2/3 以上とする。WebClass 上での動画講義受講状況および確認テスト、また Zoom ログイン状況から講義を最初から最後まで参加していることを確認する)、リフレクティブレポートの提出(2/3 以上)を必要とする。

教科書

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2017

参考書

授業内で適宜提示する。

他科目との関連

地域精神看護学、精神看護学演習、精神看護学実習と関連する。

履修上の注意事項

WebClass の精神看護学のコースに適宜資料をアップするので参照すること。講義中にスクリーンの撮影をするのを禁止する。

備考

臨床現場での具体的な事例を提示しつつ、学生の理解を促進できるように授業を構成する。

連絡先(メールアドレス)

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp

栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3号館 18階精神保健看護学分野研究室 2)。

栗林 一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3号館 15階精神保健看護学研究室)

時間割番号	012002									
科目名	看護心理学			科目ID	MN-290100-L					
担当教員	川上 明希, 田中 真琴, 高野 歩, 栗林 一人, 山崎 智子[KAWAKAMI Aki, TANAKA Makoto, TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto, YAMAZAKI TOMOKO]									
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1~2	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名:Nursing psychology 【科目責任者】川上 明希										
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)										
授業の目的、概要等 心の健康と精神的援助の全容を概観し、看護実践における心理学的な知識、技術を築くため、心のしくみと働きについて理解を深める。自分自身の心と身体を通して心身の健康およびストレスマネジメントについて学修し、精神的な健康をめぐる援助について視野を広げる。体験記や体験の語りから対象への共感性を高め、対象の心理を理解しながら行う支援についての基本的な考え方を身につける。										
授業の到達目標 1回目:心のしくみと健康、癒し、ライフサイクルと心の発達、心とからだの相互作用について理解を深めることができる。 2回目:呼吸法や瞑想法を実際に体験することにより、ストレス対処の方法について理解を深めることができる。 3回目:病気や障害をもたらす心の働きや心理状態の評価方法、ストレス対処方法などについて理解を深めることができる。 4回目:グループワーク及び課題発表をおして自己の心理状況の分析や心の不調を覚えた時の対処、自己の癒しについて考えることができる。 5~7回目:病気という体験やトラウマについて、当事者やその家族・支援者から体験談を聴き、語り合うことによって、当事者や家族の気持ちに寄り添い共感できる感性を培い、またセルフ・ヘルプグループやピアサポートの実際について知ることができ、病気の回復との関連について考えることができる。 8回目:グループワーク及び課題発表をおして他者への心の健康の維持と支援について理解を深めることができ、これまでの講義から看護心理学について考えることができる										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	9/28	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	心の働き	ガイダンス 心の働きとしくみ、ライフサイクルと心の発達、心とからだの相互作用	田中 真琴, 川上 明希				
2	10/5	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	ストレスマネジメント、心の健康への支援	代替療法と統合医療、マインドフルネスの概念、リラクセーション技法(呼吸法、ストレス低減法)	高野 歩, 栗林 一人				
3	10/19	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	心の健康・身体の健康	病気や障害のもたらす心の働きと理論、心の健康と身体の健康、心理的ストレスの発生、ストレスとコーピング、心理状態の評価方法、第4回課題発表に関する説明	田中 真琴, 川上 明希				
4	10/26	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	自己の癒し	課題に関するグループワーク及び発表	田中 真琴, 川上 明希				
5	11/2	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	体験としての病(1)	がんに罹患した人々とその家族への支援	山崎 智子				
6	11/9	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	体験としての病(2)	病気という体験① 病気を抱えること、「いのち」、セルフ・ヘルプグループ	井上 千恵美 田中 真琴, 川上 明希				
7	11/16	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	体験としての病(3)	病気という体験② がん患者とその家族を中心に、病気の受容、病と共に生きるということ	濫谷 裕 田中 真琴, 川上 明希				
8	11/30	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	他者への癒し	課題に関するグループワーク及び発表 授業のまとめ	田中 真琴, 川上 明希				
授業方法 講義、演習										

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

出席・授業への参加状況、グループワークへの参加状況・発表内容、リフレクティブレポート、課題レポートにより評価する。

成績評価の基準

60 点以上であること。

準備学習等についての具体的な指示

患者や家族など援助の必要な対象者の闘病記や手記などを読む、体験談を聞く等対象者の心理に关心をよせることを心がける。

対象の苦痛や苦悩等の体験を理解して支援する姿勢をもって臨んで欲しい。

自分自身の心と身体を学習素材とした体験学習を通じて、自己の内面に生じてくる反応に気づき、“やさしく”受け入れてみることを糸口にして、看護職、医療職に求められる姿勢を築いて欲しい。

参考書

精神看護学／宮本眞巳編集代表,宮本、眞巳,日本精神科看護技術協会:中央法規出版, 2006

「異和感」と援助者アイデンティティ／宮本眞巳著,宮本、眞巳,:日本看護協会出版会, 1995

セルフケアを援助する／宮本眞巳 著,宮本、眞巳, 1947-,:日本看護協会出版会, 1996

生涯人間発達論：人間への深い理解と愛情を育むために／服部祥子著,服部、祥子,:医学書院, 2020

ストレスの心理学：認知的評価と対処の研究／リチャード・S. ラザルス, スーザン・フォルクマン著,Lazarus, Richard S.,Folkman, Susan,本明、寛,春木、豊織田、正美,:実務教育出版, 1991

アイデンティティとライフサイクル／エリク・H・エリクソン著；西平直, 中島由恵訳Erikson, Erik H. (Erik Homberger),西平, 直,中島, 由恵,:誠信書房, 2011

EQ : こころの知能指数／ダニエル・ゴールマン [著]; 土屋京子訳Goleman, Daniel,土屋, 京子,:講談社, 1998

子どもと家族とまわりの世界／D. W. ウィニコット著,猪股丈二／訳Winnicott, Donald:星和書店, 1985

子どもはなぜあそぶの：続・ウィニコット博士の育児講義／D.W.ウィニコット著；猪股丈二訳Winnicott, D. W. (Donald Woods),猪股, 丈二,:星和書店, 1986

* 講義中にも提示する

他科目との関連

基礎看護学、精神看護学、精神看護学演習と関連する。

履修上の注意事項

WebClass の看護心理学のコースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先(メールアドレス)

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3号館17F

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3号館19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00-PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012027											
科目名	小児看護学 I				科目ID	MN-232400-L						
担当教員	岡光 基子, 矢郷 哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]											
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1							
実務経験のある教員による授業	該当する											
英文名:Pediatric Nursing I												
【科目責任者】岡光 基子												
主な講義場所												
Zoom 講義												
授業の目的、概要等												
小児は成長発達する存在であり、大人とは質的に異なる面がある。小児の特徴を生涯発達の視点から理解し、また、学校保健の視点から成長期にある幼児、児童、生徒、学生の健康の保持増進をはかるための、学校教育および学校保健管理活動について、講義、討論、演習などを通して学習する。												
授業の到達目標												
第1回:子ども観の変遷、小児保健統計、ヘルスプロモーションの概念について説明できる												
第2回:乳児期の形態、運動、精神的発達、生活について説明できる												
第3回:幼児期の形態、運動、精神的発達、生活について説明できる												
第4回:学童期の形態、運動、精神的発達、生活について説明できる												
第5回:思春期の形態、運動、精神的発達、生活について説明できる												
第6回:学校保健の目的、対象、内容、方法、学校保健法について説明できる												
第7回:学校保健管理の実際(健康診断・相談、生活・環境管理、学校安全)について説明できる												
第8回:学校給食・栄養教育の意義・目的、食育推進事業の実際について説明できる												
授業計画												
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考					
1	5/21	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	子どもとは、小児の健康	子ども観の変遷 小児保健統計+ヘルスプロモーション	岡光 基子	アクティブラーニング:討論、アクションペーパー					
2	5/21	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	乳児期の成長発達	乳児期の運動・精神的発達と生活の特徴	矢郷 哲志	アクティブラーニング:討論、アクションペーパー					
3	6/4	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	幼児期の成長発達	幼児期の運動・精神的発達と生活の特徴	岡光 基子	アクティブラーニング:討論、アクションペーパー					
4	6/4	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	学童期の成長発達	学童期の運動・精神的発達と生活の特徴	矢郷 哲志	アクティブラーニング:討論、アクションペーパー					
5	6/4	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	思春期の成長発達	思春期の運動・精神的発達と生活の特徴	幸本 敬子	アクティブラーニング:討論、アクションペーパー					
6	6/11	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	学校保健総論	学校保健の目的、対象、内容、方法、学校保健法	小出 由紀子	アクティブラーニング:演習(ロールプレイ)、討論、アクションペーパー					
7	6/11	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	学校保健管理の実際 (1)	健康診断・相談、生活・環境管理、学校安全	小出 由紀子	アクティブラーニング:演習(ロールプレイ)、討論、アクションペーパー					
8	6/11	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	学校保健管理の実際 (2)	学校給食・栄養教育	島崎 聰子	アクティブラーニング:討論、アクションペーパー					
授業内容												
子どもの成長発達の理解、子どもをとりまく環境と生活の理解と支援を学ぶために、また、学校保健の理念と実践、技法を学ぶため、以下の講義内容を編成する。												
講義の他、事例を用いたロールプレイや討論、makiku を用いた演習などアクティブラーニングを行う。講義毎に講義内容に関する質問や疑問、学び、感想などをアクションペーパーに記載してもらい、講義終了後に回収する。												

成績評価の方法

定期試験(70%), 課題レポート(10%), リアクションペーパー(10%), 講義への参加状況(10%)により総合的に評価する。原則として、2/3 以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は、受験資格を失うので注意すること。尚、試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

初回の授業でレポート課題を提示する。教科書を読んで事前学習して講義に臨み、事前課題がある場合にはそれに従うこと。

教科書

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1):小児の発達と看護 第6版／中野綾美編:メディカ出版, 2019

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(2):小児看護技術 第4版／中野 綾美編:メディカ出版, 2019

他科目との関連

「小児看護学Ⅰ」は、各発達段階の形態的、機能的、心理・社会的特徴について学習するため、「解剖学」、「生理学」など他の専門科目と密接な関りを持つ。

履修上の注意事項

WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参考すること。

連絡先(メールアドレス)

岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp 3号館19F

矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3号館18F

オフィスアワー

岡光 基子随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	012028													
科目名	小児看護学演習 I			科目ID	MN-252500-S									
担当教員	岡光 基子, 矢郷 哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]													
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名: Seminar of Pediatric Nursing I														
【科目責任者】岡光 基子														
主な講義場所														
Zoom 講義														
授業の目的、概要等														
多様化しつつある子どもの環境および生活の中で、小児看護は発達と健康を支援するための知識・技術が幅広く求められている。小児特有の疾患を理解し、必要な看護ケアと技術を講義、討論などを通して学習する。														
授業の到達目標														
第1回: 小児看護の特徴、医療システム、病気・入院による子どもと家族の反応について説明できる														
第2回: 小児の神経、運動器疾患の病態と治療について説明できる														
第3回: 小児の内分泌・代謝性疾患の病態と治療について説明できる														
第4回: 小児の外科系疾患の病態と治療について説明できる														
第5回: 小児の肝、消化患、腎疾患の病態と治療について説明できる														
第6回: 小児の循環器疾患、川崎病の病態と治療について説明できる														
第7回: 小児の血液・腫瘍性疾患、アレルギー疾患、免疫疾患の病態と治療について説明できる														
第8回: 小児の呼吸器疾患、感染症の病態と治療、予防接種の要点について説明できる														
第9回: 急性疾患をもつ小児の観察・アセスメント、看護の要点について説明できる														
第10回: 1型糖尿病をもつ小児の生活、看護の要点について説明できる														
第11回: 周手術期にある小児と家族への看護の要点について説明できる														
第12回: 小児がんをもつ小児の生活、看護の要点について説明できる														
第13回: 慢性腎臓病をもつ小児の生活、看護の要点について説明できる														
第14回: 慢性疾患をもつ小児と家族への心理社会的支援について説明できる														
第15回: ターミナル期にある小児の看護の要点について説明できる														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	9/28	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	小児看護の対象 と役割	小児看護とは(小児と医療システム)／小児を取り巻く環境 I :病気・入院による子どもと家族の反応	岡光 基子	アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー							
2	9/28	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	小児疾患論(1)	神経、運動器疾患	荒木 聰	アクティブラーニング:リアクションペーパー							
3	10/5	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	小児疾患論(2)	疾患論:内分泌・代謝性疾患	小野 真	アクティブラーニング:リアクションペーパー							
4	10/5	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	小児疾患論(3)	疾患論:小児外科	岡本 健太郎	アクティブラーニング:リアクションペーパー							
5	10/19	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	小児疾患論(4)	疾患論:腎疾患	宇田川 智宏	アクティブラーニング:リアクションペーパー							
6	10/19	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	小児疾患論(5)	疾患論:循環器、川崎病	細川 奨	アクティブラーニング:リアクションペーパー							
7	10/26	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	小児疾患論(6)	疾患論:血液・腫瘍性疾患、アレルギー、免疫	梶原 道子	アクティブラーニング:リアクションペーパー							
8	10/26	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	小児疾患論(7)	疾患論:呼吸器、感染症、予防接種	細川 奨	アクティブラーニング:リアクションペーパー							

9	11/2	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	急性疾患をもつ 小児の看護(1)	小児の急性期の主要症状と看護	岡光 基子	アクティブラーニング: 討論、リアクションペー パー
10	11/2	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	慢性疾患をもつ 小児の看護(1)	1型糖尿病をもつ小児と家族の看護	矢郷 哲志	アクティブラーニング: 討論、リアクションペー パー
11	11/16	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	急性疾患をもつ 小児の看護(2)	周手術期にある小児と家族の看護 (外科系疾患)	村田 知佐恵	アクティブラーニング: 討論、リアクションペー パー
12	11/17	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	慢性疾患をもつ 小児の看護(2)	小児がんをもつ小児と家族の看護	永吉 美智枝	アクティブラーニング: 討論、リアクションペー パー
13	11/29	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	慢性疾患をもつ 小児の看護(3)	:慢性腎臓病をもつ小児と家族の看 護	矢郷 哲志	アクティブラーニング: 討論、リアクションペー パー
14	11/30	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	慢性疾患をもつ 小児の看護(4)	慢性疾患をもつ小児と家族の心理 社会的支援	村瀬 有紀子	アクティブラーニング: 討論、リアクションペー パー
15	11/30	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	慢性疾患をもつ 小児の看護(5)	ターミナル期にある小児の看護	篠原 美代	アクティブラーニング: 討論、リアクションペー パー

授業内容

小児特有の疾患を理解し、看護実践に必要な知識とスキルを習得するための学習をする。講義に加え、グループディスカッション、imakiku を用いた演習などアクティブラーニングを行う。講義毎に、講義内容に関する質問や疑問、学び、感想などをリアクションペーパーに記載してもらい、講義終了後に回収する。

成績評価の方法

定期試験(70%)、課題レポート(10%)、リアクションペーパー(10%)、授業への参加状況(10%)により総合的に評価する。原則として、2/3 以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は、受験資格を失うので注意すること。尚、試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

講義で扱う範囲について事前に教科書を読んだ上で講義に臨みこと。事前課題がある場合には、それに従うこと。

教科書

«系統看護学講座 専門分野Ⅱ» 小児看護学[2] 小児臨床看護各論（第13版）／奈良間 美保他：医学書院、2015

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1)：小児の発達と看護 第6版／中野綾美編：メディカ出版、2019

他科目との関連

「小児看護学演習Ⅰ」は、「小児看護学Ⅰ」で学んだ健康な小児の理解を基に、小児の疾患、小児看護の各論について学習する。「解剖学」「生理学」「小児看護学Ⅰ」で学習した小児の形態的、機能的、心理・社会的特徴について知識を習得していることが必要である。

履修上の注意事項

WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先(メールアドレス)

岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp 3号館 19F

矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3号館 18F

オフィスアワー

岡光 基子隨時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	012089									
科目名	地域保健看護学 I			科目ID	MN-232900-L					
担当教員	津田 紫緒[TSUDA SHIO]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名:Community Health Nursing I										
【科目責任者】:										
主な講義場所										
Zoom 講義										
授業の目的、概要等										
地域保健看護学 I は、人々の健康課題やそれに関連する生活上の課題を、総合的に達成したり、解決するための基盤となるものである。										
地域看護・公衆衛生看護は、地域の健康課題の把握に基づき、家庭や地域社会で生活する人々を対象とし、健康の保持・増進、疾病の予防、健康回復と悪化の予防、リハビリテーションなど地域における活動の基盤となる。現在行われている地域看護・公衆衛生看護に関する諸制度を、歴史や実際の活動の学習を通して考える。地域の特性を把握した上で、ライフサイクル、健康レベル、疾病のプロセスに合わせたセルフケアに基づく、看護の方法の選択と、諸機関との協働で組織的に展開するための活動を習得する。										
授業の到達目標										
1)「1~8 回」地域看護・公衆衛生看護活動の目的、活動の成立要件、活動のすすめ方の基本的なプロセスを理解する。 2)「1~8 回」ヘルスケアシステムにおける地域看護・公衆衛生看護の機能を理解する。 3)「5,6 回」地域看護・公衆衛生看護活動の法律・歴史を理解し、今後の活動について考えられる。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	4/13	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学 I (総論)	地域看護・公衆衛生看護の定義と目的、方法	津田 紫緒				
2	4/13	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学 I (総論)	地域看護・公衆衛生看護の定義と目的、方法	津田 紫緒				
3	4/20	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学 I (総論)	地域看護・公衆衛生看護の対象と活動の展開	津田 紫緒				
4	4/20	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学 I (総論)	地域看護・公衆衛生看護の対象と活動の展開	津田 紫緒				
5	5/11	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学 I (総論)	地域保健の法律と地域看護・公衆衛生看護活動の歴史	森田 久美子				
6	5/11	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学 I (総論)	地域保健の法律と地域看護・公衆衛生看護活動の歴史	森田 久美子				
7	5/25	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学 I (総論)	地域保健・福祉行政と看護活動の展開	津田 紫緒、 鹿島田 祐子				
8	5/25	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学 I (総論)	地域看護・公衆衛生看護活動の実際	津田 紫緒、 鹿島田 祐子				
成績評価の方法										
定期試験、レポート										
準備学習等についての具体的な指示										
授業内容の理解を深めるため、次の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて資料などを用いて振り返ることが望ましい。										
教科書										
公衆衛生看護学／上野昌江、和泉京子編.上野、昌江和泉、京子.:中央法規出版、2016										
(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第1巻 地域看護学概論／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社、2007										
(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第3巻 ヘルスプロモーションの展開／清水洋子他監修:丸善出版株式会社、2007										
(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション/統・地域看護活動とヘルスプロモーション／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社、2014										

参考書

国民衛生の動向 2018/2019 2018年 08月号 [雑誌]: 厚生の指標 増刊／厚生労働統計協会／編集: 厚生労働統計協会, 2018-08
最新公衆衛生看護学 第2版 2016年版 総論／宮崎美砂子、北山三津子、春山早苗、田村須賀子 編: 日本看護協会出版会, 2016
新版 保健師業務要覧 第3版 2018年版／井伊久美子、荒木田美香子、松本珠実、堀井とよみ、村嶋幸代、平野かよ子 編集: 日本看護協会出版会, 2018
実践ヘルスプロモーション:precede-proceed モデルによる企画と評価／ローレンス・W.グリーン、マーシャル・W.クロイター 著、神馬征峰 訳: 医学書院, 2005
標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論: 医学書院, 2015
最新保健学講座1 公衆衛生看護学概論／金川克子 編: メディカルフレンド社, 2015
衛生行政大要 改訂第24版: 日本公衆衛生協会, 2016
地域看護学／福島道子 編: オーム社, 2007

他科目との関連

地域保健看護学は、基礎看護学や臨床看護学の各科目との関連領域でもあり両者の相違や関連も明らかにする。

履修上の注意事項

本教科は、講義のみではなく、課題について考えるディスカッション、グループワーク等で構成される。学生間の積極的な意見交換を期待する。

連絡先(メールアドレス)

津田 紫緒:3号館19階地域保健看護学研究室2 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

電話:03-5803-5350

時間割番号	012029													
科目名	在宅看護学 I			科目ID	MN-232600-L									
担当教員	福井 小紀子[FUKUI Sakiko]													
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Home Care Nursing I														
【科目責任者】福井 小紀子														
主な講義場所														
Zoom にて														
授業の目的、概要等														
保健医療福祉の中での在宅看護、特に訪問看護の役割機能を学ぶとともに、制度の中で展開される看護実践について理解する。														
授業の到達目標														
この科目では、保健医療福祉の領域、特に地域で生活する人々、自宅で療養生活を送る人々に対して、実際の看護提供の仕組みを理解した上で、看護の役割と実際について説明できることが求められる。														
なお、授業に臨むにあたっては、当該日に扱う対象の特徴等について、既習科目的資料やテキストを用いて復習しておくことが求められる。														
教科書「関連図で理解する在宅看護過程」の第 1 章「在宅看護の学び方」で示される社会の変化と在宅看護、在宅看護を学ぶ 3 つの視点」に示される基本的な内容については理解していることが求められる。厚生労働省の「見える化」システム、日本医師会の地域医療情報システム等を用いて地域における保健医療福祉の現状を把握しておくことが望ましい。														
① 在宅ケアを支える保険医療福祉の仕組みについて説明できる。 ② 訪問看護を必要とする人々の特徴を説明できる。 ③ 療養者とともに生活する家族の特徴を知り、支援の在り方について説明できる。 ④ 慢性疾患療養者の特徴を知り、在宅での看護の役割を説明できる。 ⑤ 高齢療養者の特徴を知り、在宅での看護の役割を説明できる。 ⑥ 終末期にある在宅療養者の特徴を知り、在宅での看護の視点を説明できる。 ⑦ 精神疾患療養者への生活支援を知り、在宅での看護の実際を説明できる。 ⑧ 管理者の視点から、在宅看護に必要な支援を挙げることができる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	9/27	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学 I	在宅看護学総論 在宅ケアのしくみ	福井 小紀子	同期型 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
2	10/4	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学 I	訪問看護の特徴 ケアの実際	福井 小紀子	同期型 グループワーク 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
3	10/18	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学 I	在宅ケアにおける 家族支援	山崎 智子	同期型 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
4	10/25	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学 I	訪問看護の実際 慢性疾患療養者	福井 小紀子	同期型 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
5	11/1	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学 I	訪問看護の実際 高齢療養者	福井 小紀子	同期型 グループワーク 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
6	11/8	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学 I	訪問看護の実際 終末期療養者	福井 小紀子	同期型 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
7	11/15	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学 I	訪問看護の実際 精神疾患療養者	中野 真樹子	同期型 グループワーク 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
8	11/22	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学 I	訪問看護の実際 管理者の視点から	福井 小紀子	同期型 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							

授業方法

授業は以下のように行う。

- 1) 授業には、授業明細に示された範囲について事前に予習をしてから臨むことが必要である。
- 2) 授業中の小テスト：授業明細に示された予習範囲についての適宜簡単な選択式の小テストを行う。
- 3) 講義：講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。基本的なことで、教科書を見れば簡単にわかるようなことは自習に任せせる。必要に応じてグループディスカッションを取り入れ、理解を深める。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass にあげておくので授業前に必ず目を通しておく。
- 4) リアクションペーパー：Webclass に提示する項目に、授業終了後回答、送信してもらう。講義への関心、講義内容の理解については、講義内容の改善に役立てる。また、学んだことの概要や、講義への感想・意見を整理することは、復習や自己の課題を見出す助けとなる。

授業内容

授業内容な授業スケジュールに示してある。

各回の授業では、授業内容の解説、討議、リアクションペーパーで示された内容についての質疑応答を行う。

成績評価の方法

在宅看護学 I は、以下の 3 つの項目で評価を行う。なお、重要項目のうち、専門分野では英単語を用いることが想定されるものについては、英文による問題もありうる。

- 1) 授業中の小テスト: 30%; 各コマで行われる小テストの結果の合計による。
- 2) 定期試験: 50%; 全体で 6 割以上の得点を必須とする。授業全般のうち、重要事項について知識と応用を問う問題を出題する。試験は、授業中に示した症例または同レベル程度のものを理解し、説明できることが必要となる。
- 3) 授業中の討議後に課される課題: 20%; グループで討議した内容について、グループごとに課題を提出する。グループメンバー全員で確認のうえで提出されたものとする。提示された締め切り日までに提出すること。締め切りを過ぎた場合には未提出扱いとする。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60 点未満: 不合格、60–69 点: 可、70–79 点: 良、80–89 点: 優、90 点: 秀)により評価を行う。小テスト、試験問題、課題は、授業の達成目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

なお、リアクションペーパーにおいて、授業で提供した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。欠席については、減点の対象になることがある。

準備学習等についての具体的な指示

達成目標や授業内容の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業に臨むことが求められる。WebClass にあらかじめ授業資料や課題、学習に必要情報をアップロードするので、各自ダウンロード等し、講義までに目を通しておくこと。

授業前に習得が必要な課題については、事前課題として提示するため、WebClass の該当項目を定期的に確認すること。課題に取り組んでいる際に生じた疑問については、自身の見解を整理し、解決すべき点を明確にして授業に参加すること。

試験の受験資格

次のすべてが、後期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。

授業日程の3分の2以上の出席が認められた者に試験受験資格を与える。授業参加状況は、リアクションペーパーに記載された内容で確認する。授業内容の計 8 回の授業に参加し、授業内で実施される小テスト、課される課題を提示された期限までに提出すること。

なお、本授業は Zoom での実施のため、出席は講義の最初から最後まで参加しているログが確認できた場合とする。

特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、授業に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに授業が始まる前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、急の場合には電話でもよいが、その後にメールはすること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合には、その限りではない。

これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情等に応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

在宅看護過程：関連図で理解する／正野逸子、本田彰子編著, 正野, 逸子, 本田, 彰子, : メディカルフレンド社, 2018

参考書

在宅看護論／河原加代子著者代表；秋山正子 [ほか執筆], 河原, 加代子, 秋山, 正子, 小倉, 朗子, 乙坂, 佳代, : 医学書院, 2017

写真でわかる訪問看護アドバンス：訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修, 押川, 真喜子, : インターメディカ, 2020

他科目との関連

3年次に学習する在宅看護学 II、在宅看護学演習、在宅看護学実習の基礎となる科目であるので、2年次に履修および単位取得していくことが進級に必要である。

連絡先(メールアドレス) 福井 小紀子 fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー 福井 小紀子 毎週水曜日 AM10:00–12:00 3号館 19階福井教授室

第3学年

2021年度時間割(看護学専攻:第3学年)

(前期)

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
3/31 水															
4/1 木															
2 金															

①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/5 月															
6 火				母性看護学 I (1)	同期型 (zoom)		成人看護学演習(1)	同期型 (zoom)		成人看護学演習(2)	同期型 (zoom)				
7 水	Global Nursing Communication II (1)	同期型 (zoom)		Global Nursing Communication II (2)	同期型 (zoom)										
8 木	小兒看護学 II (1)	同期型 (zoom)		小兒看護学演習 II (1)	同期型 (zoom)		母性看護学演習(1)	同期型 (zoom)		母性看護学演習(2)	非同期型 (webclass)		母性看護学 I (2)	同期型 (zoom)	
9 金	[自]実践看護英語 I (1)	同期型 (zoom)					地域精神看護学(1)	非同期型 (webclass)		地域精神看護学(2)	非同期型 (webclass)				

②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/12 月	老年看護学(1)	同期型 (zoom)		老年看護学(2)	同期型 (zoom)		精神看護学演習(1)	非同期型 (webclass)		精神看護学演習(2)	登校(面接授業)	講義室1			
13 火	母性看護学 I (3)	同期型 (zoom)		母性看護学 II (1)	同期型 (zoom)		老年看護学演習(1)	同期型 (zoom)		老年看護学演習(2)	同期型 (zoom)		老年看護学演習(3)	同期型 (zoom)	
14 水	[自]実践看護英語 II (2)	同期型 (zoom)		Global Nursing Communication II (3)	同期型 (zoom)										
15 木				移動時間			小兒看護学演習 II (2)	同期型 (zoom)		小兒看護学演習 II (3)	同期型 (zoom)		小兒看護学演習 II (4)	同期型 (zoom)	
16 金				地域保健看護学 II (1)	同期型 (zoom)		地域保健看護学 II (2)	同期型 (zoom)		地域精神看護学(3)	同期型 (zoom)				

4/16(金)18時～(zoom)

[自]国際保健福祉Cオリエンテーション(自由参加)

③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/19 月	老年看護学(3)	同期型 (zoom)		老年看護学(4)	同期型 (zoom)		精神看護学演習(3)	非同期型 (webclass)		[選]リハビリテーション看護学(1)	同期型 (zoom)				
20 火	母性看護学 II (2)	同期型 (zoom)		母性看護学 III (1)	同期型 (zoom)		成人看護学演習(3)	同期型 (zoom)		成人看護学演習(4)	同期型 (zoom)				
21 水	[自]実践看護英語 II (3)	同期型 (zoom)		Global Nursing Communication II (4)	同期型 (zoom)		成人看護学 III (1)	同期型 (zoom)							
22 木	小兒看護学 II (2)	同期型 (zoom)		小兒看護学 II (3)	同期型 (zoom)		母性看護学 I (4)	同期型 (zoom)		母性看護学 III (2)	同期型 (zoom)		母性看護学 III (3)	同期型 (zoom)	
23 金							地域精神看護学(4)	同期型 (zoom)		母性看護学 II (3)	同期型 (zoom)		母性看護学演習(3)	同期型 (zoom)	

④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
4/26 月	老年看護学(5)	同期型 (zoom)		老年看護学(6)	同期型 (zoom)		精神看護学演習(4)	非同期型 (webclass)		[選]リハビリテーション看護学(2)	同期型 (zoom)				
27 火	母性看護学 II (4)	同期型 (zoom)		母性看護学 III (4)	同期型 (zoom)		老年看護学演習(4)	同期型 (zoom)		老年看護学演習(5)	同期型 (zoom)		老年看護学演習(6)	同期型 (zoom)	
28 水				Global Nursing Communication II (5)	同期型 (zoom)										
29 木	昭和の日														
30 金															

⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/3 月	憲法記念日														
4 火	みどりの日														
5 水	こどもの日														
6 木							小兒看護学 II (4)	同期型 (zoom)		小兒看護学 II (5)	同期型 (zoom)		小兒看護学 II (6)	同期型 (zoom)	
7 金	在宅看護学 II (1)	同期型 (zoom)		在宅看護学 II (2)	同期型 (zoom)		在宅看護学演習(1)	同期型 (zoom)		在宅看護学演習(2)	同期型 (zoom)		[自]実践看護英語 II (4)	同期型 (zoom)	

2021年度時間割(看護学専攻:第3学年)

⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/10 月	老年看護学(7) 同期型(zoom)		老年看護学(8) 同期型(zoom)		精神看護学演習(5) [選]リハビリテーション看護学(3)		[選]リハビリテーション看護学(3)	同期型(zoom)		母性看護学演習(4) 同期型(zoom)		同期型(zoom)		実習室2?	
11 火	母性看護学 II(5) 同期型(zoom)		母性看護学 II(6) 同期型(zoom)		老年看護学演習(7) 同期型(zoom)		老年看護学演習(8) 同期型(zoom)		老年看護学演習(9) 同期型(zoom)						
12 水	[自]実践看護英語 II(5) 同期型(zoom)		Global Nursing Communication II(6) 同期型(zoom)								[自]実践看護英語 II(6) 同期型(zoom)				
13 木	成人看護学 III(2) 同期型(zoom)		成人看護学 III(3) 同期型(zoom)		母性看護学 II(7) 同期型(zoom)		母性看護学 III(5) 同期型(zoom)		母性看護学 III(6) 同期型(zoom)						
14 金	地域保健看護学 II(3) 同期型(zoom)		地域保健看護学 II(4) 同期型(zoom)					地域精神看護学(5) 同期型(zoom)		地域精神看護学(6) 同期型(zoom)					

⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/17 月	老年看護学(9) 同期型(zoom)		老年看護学(10) 同期型(zoom)		精神看護学演習(6) [選]リハビリテーション看護学(4)		[選]リハビリテーション看護学(4)	同期型(zoom)							
18 火	母性看護学 II(8) 同期型(zoom)		母性看護学演習(5) 同期型(zoom)		老年看護学演習(10) 同期型(zoom)		老年看護学演習(11) 同期型(zoom)		老年看護学演習(12) 同期型(zoom)						
19 水	[自]実践看護英語 II(7) 同期型(zoom)		Global Nursing Communication II(7) 同期型(zoom)					Global Nursing Communication II(8) 同期型(zoom)							
20 木			移動時間		小児看護学演習 II(5) 登校(面接授業)	実習室2	小児看護学演習 II(6) 登校(面接授業)	実習室2	小児看護学演習 II(7) 登校(面接授業)	実習室2					
21 金	地域保健看護学 II(5) 同期型(zoom)		地域保健看護学 II(6) 同期型(zoom)		在宅看護学演習(3) 同期型(zoom)		在宅看護学演習(4) 同期型(zoom)		在宅看護学演習(7) 同期型(zoom)						

⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/24 月	老年看護学(11) 同期型(zoom)		老年看護学(12) 同期型(zoom)		精神看護学演習(7) [選]リハビリテーション看護学(5)		[選]リハビリテーション看護学(5)	同期型(zoom)							
25 火	母性看護学 III(7) 同期型(zoom)		母性看護学 I(5) 同期型(zoom)		成人看護学演習(5) 同期型(zoom)		成人看護学演習(6) 同期型(zoom)		成人看護学演習(7) 同期型(zoom)						
26 水	[自]実践看護英語 II(8) 同期型(zoom)		Global Nursing Communication II(9) 同期型(zoom)												
27 木			成人看護学 III(4) 同期型(zoom)		母性看護学演習(6) 同期型(zoom)		母性看護学演習(7) 同期型(zoom)		老年看護学演習(13) 同期型(zoom)						
28 金	地域保健看護学 II(7) 同期型(zoom)		地域保健看護学 II(8) 同期型(zoom)		地域精神看護学(8) 同期型(zoom)		在宅看護学演習(5) 同期型(zoom)		在宅看護学演習(6) 同期型(zoom)						

⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10		講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
5/31 月	老年看護学(13) 同期型(zoom)		老年看護学(14) 同期型(zoom)		精神看護学演習(8) [選]リハビリテーション看護学(6)		[選]リハビリテーション看護学(6)	同期型(zoom)							
6/1 火	母性看護学 I(6) 同期型(zoom)		母性看護学 I(7) 同期型(zoom)		移動時間			老年看護学演習(14) 登校(面接授業)	実習室1,2,3,4	老年看護学演習(15) 登校(面接授業)	実習室1,2,3,4				
2 水	[自]実践看護英語 II(9) 同期型(zoom)		Global Nursing Communication II(10) 同期型(zoom)		移動時間			母性看護学演習(8) 登校(面接授業)	実習室1&2&3&4	母性看護学演習(9) 登校(面接授業)	実習室1&2&3&4				
3 木			成人看護学 III(5) 同期型(zoom)		小児看護学 II(7) 同期型(zoom)		小児看護学 II(8) 同期型(zoom)		小児看護学演習 II(8) 同期型(zoom)						
4 金			在宅看護学演習(7) 登校(面接授業)	実習室2,4	在宅看護学演習(8) 登校(面接授業)	実習室2,4	在宅看護学演習(9) 登校(面接授業)	実習室2,4							

⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/7 月	老年看護学(15) 同期型(zoom)		老年看護学(16) 同期型(zoom)		精神看護学演習(9) [選]リハビリテーション看護学(7)		[選]リハビリテーション看護学(7)	同期型(zoom)		[選]リハビリテーション看護学(8)					
8 火			成人看護学 III(6) 同期型(zoom)		移動時間			母性看護学演習(10) 登校(面接授業)	実習室1&2&講義室	母性看護学演習(11) 登校(面接授業)	実習室1&2&講義室				
9 水	[自・2]実践看護英語 II(10) 同期型(zoom)		Global Nursing Communication II(11) 同期型(zoom)		疫学(1) 同期型(zoom)		疫学(2) 同期型(zoom)								
10 木	母性看護学演習(12) 登校(面接授業)	実習室1&2&講義室	母性看護学演習(13) 登校(面接授業)	【仮】B肝1回目接種(12:30迄)				成人看護学演習(8) 同期型(zoom)		成人看護学演習(9) 同期型(zoom)					
11 金	在宅看護学 II(3) 同期型(zoom)		在宅看護学 II(4) 同期型(zoom)		在宅看護学演習(10) 同期型(zoom)		在宅看護学演習(11) 同期型(zoom)								

2021年度時間割(看護学専攻:第3学年)

⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/14 月	老年看護学(17)	同期型 (zoom)		老年看護学(18)	同期型 (zoom)		精神看護学演習(10)	非同期型 (webclass)		精神看護学演習(11)	同期型 (zoom)				
15 火	母性看護学 I (8)	同期型 (zoom)		母性看護学 III (8)	同期型 (zoom)		成人看護学演習(10)	同期型 (zoom)		成人看護学演習(11)	同期型 (zoom)				
16 水	成人看護学 III (7)	同期型 (zoom)		Global Nursing Communication II (12)	同期型 (zoom)		疫学(3)	同期型 (zoom)		疫学(4)	同期型 (zoom)				
17 木	疫学(5)	同期型 (zoom)		疫学(6)	同期型 (zoom)		小兒看護学演習 II (9)	同期型 (zoom)		小兒看護学演習 II (10)	同期型 (zoom)		小兒看護学演習 II (9)	同期型 (zoom)	
18 金	在宅看護学演習(12)	登校(面接授業)	実習室2, 4	在宅看護学演習(13)	登校(面接授業)	実習室2, 4	在宅看護学演習(14)	登校(面接授業)	実習室2, 4	在宅看護学演習(15)	登校(面接授業)	実習室2, 4			

⑫	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/21 月	老年看護学(19)	同期型 (zoom)		老年看護学(20)	同期型 (zoom)		移動時間			精神看護学演習(12)	登校(面接授業)	講義室1	精神看護学演習(13)	登校(面接授業)	講義室1
22 火	疫学(7)	同期型 (zoom)		疫学(8)	同期型 (zoom)		成人看護学演習(12)	同期型 (zoom)		成人看護学演習(13)	同期型 (zoom)				
23 水	Global Nursing Communication II (13)	同期型 (zoom)		Global Nursing Communication II (14)	同期型 (zoom)		成人看護学 III (8)	同期型 (zoom)		小兒看護学演習 II (12)	同期型 (zoom)				
24 木	小兒看護学演習 II (13)	登校(面接授業)	実習室2	小兒看護学演習 II (14)	登校(面接授業)	実習室2	移動時間								
25 金	在宅看護学 II (5)	同期型 (zoom)		在宅看護学 II (6)	同期型 (zoom)		在宅看護学 II (7)	同期型 (zoom)		在宅看護学 II (8)	同期型 (zoom)				

⑬	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
6/28 月	老年看護学(21)	同期型 (zoom)		老年看護学(22)	同期型 (zoom)		精神看護学演習(14)	同期型 (zoom)		精神看護学演習(15)	同期型 (zoom)				
29 火	小兒看護学演習 II (15)	未定	講義室2	保育園実習オリエンテーション(各園)											
30 水				Global Nursing Communication II (15)	同期型 (zoom)										
7/1 木							母性看護学演習(14)	同期型 (zoom)	実習室2	母性看護学演習(15)	同期型 (zoom)	実習室2	母性看護学演習(16)	同期型 (zoom)	実習室2
2 金	保育園実習オリエンテーション(各園)														

⑭	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/5 月	老年看護学(23)	同期型 (zoom)		老年看護学(24)	同期型 (zoom)		精神看護学演習(16)	同期型 (zoom)							
6 火				移動時間			成人看護学演習(14)	登校(面接授業)	實習室1,2,3,4	成人看護学演習(15)	登校(面接授業)	實習室1,2,3,4	成人看護学演習(16)	登校(面接授業)	實習室1,2,3,4
7 水															
8 木	前期定期試験														
9 金	前期定期試験														

⑮															
7/12 月	前期定期試験														
13 火	前期定期試験														
14 水	前期定期試験														
15 木	前期定期試験														
16 金	前期定期試験														

【TOEFL/ITP】
7月の定期試験時に実施
Global Nursing Communication II (16)
Global Nursing Communication II (17)

2021年度時間割(看護学専攻:第3学年)

①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
7/19 月															
20 火															
21 水															
22 木	海の日														
23 金	スポーツの日														

①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
26 月															
27 火															
28 水															
29 木															
30 金															

夏季休業 7/26(月)～

オープンキャンパス(予定)

2021年度時間割(看護学専攻:第3学年)

後期

	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/6 月															
7 火															
8 水															
9 木															
10 金															
①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/13 月	小児看護学実習オリエンテーション	登校(面接授業)	2												
14 火															
15 水															
16 木															
17 金															
②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/20 月	敬老の日														
21 火															
22 水														登校(面接授業)	2
23 木	秋分の日														
24 金															
③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
9/27 月	小児看護学実習オリエンテーション	登校(面接授業)	2												
28 火															
29 水															
30 木															
10/1 金															
④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/4 月															
5 火															
6 水	卒業論文 I (1) 同期型(zoom)			卒業論文 I (2) 同期型(zoom)											
7 木															
8 金															
⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/11 月															
12 火	創立記念行事														
13 水	卒業論文 I (3) 同期型(zoom)			卒業論文 I (4) 同期型(zoom)									海外研修報告会		
14 木															
15 金															

2021年度時間割(看護学専攻:第3学年)

⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/18 月															
19 火															
20 水				卒業論文 I (5) <small>同期型 (zoom)</small>											
21 木															
22 金															
⑦	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
10/25 月															
26 火															
27 水				卒業論文 I (6) <small>同期型 (zoom)</small>											
28 木															
29 金															
⑧	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/1 月															
2 火															
3 水	文化の日														
4 木															
5 金															
⑨	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/8 月															
9 火															
10 水															
11 木															
12 金															
⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/15 月															
16 火															
17 水	卒業論文 I (7) <small>同期型 (zoom)</small>			卒業論文 I (8) <small>同期型 (zoom)</small>											
18 木															
19 金															
⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/22 月															
23 火	勤労感謝の日														
24 水															セミナー室4
25 木															
26 金															

2021年度時間割(看護学専攻:第3学年)

②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
11/29 月															
30 火															
12/1 水															
2 木															
3 金															
⑩	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/6 月	小児看護学実習オリエンテーション			登校(面接授業)	2										
7 火															
8 水															
9 木															
10 金															
⑪	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/13 月															
14 火															
15 水	卒業論文 I (11) 同期型(zoom)			卒業論文 I (12) 同期型(zoom)				学内進路説明会						(自)Learning Medical English(2) 同期型(zoom)	
16 木															
17 金															
⑯	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
12/20 月															
21 火															
22 水															
23 木															
24 金															
冬季休業 12/27(月)～															
①	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/3 月															
4 火															
5 水	卒業論文 I (13) 同期型(zoom)			卒業論文 I (14) 同期型(zoom)											
6 木															
7 金															
②	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/10 月	成人の日														
11 火															
12 水				卒業論文 I (15) 非同期型(webclass)											
13 木															
14 金															

2021年度時間割(看護学専攻:第3学年)

③	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/17 月															
18 火															
19 水				卒業論文 I (16)	非同期型 (webclass)										
20 木															
21 金															
④	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/24 月															
25 火															
26 水															
27 木															
28 金															
⑤	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
1/31 月															
2/1 火															
2 水															
3 木															
4 金															
⑥	8:50～10:20	授業形態	講義室	10:30～12:00	授業形態	講義室	13:00～14:30	授業形態	講義室	14:40～16:10	授業形態	講義室	16:20～17:50	授業形態	講義室
2/7 月								在宅看護学実習報告会				在宅看護学実習報告会			
8 火															
9 水															
10 木															
11 金															

春季休業 2/14(月)～

時間割番号	012031																	
科目名	疫学				科目ID	MN-330100-L												
担当教員	緒方 泰子, 横山 徹爾[OGATA YASUKO, Tetsuji Yokoyama]																	
開講時期	2021 年度前期	対象年次		3	単位数	1												
実務経験のある教員による授業	該当する																	
英文名:Epidemiology																		
【科目責任者】看護学専攻主任 緒方 泰子																		
授業の目的、概要等																		
疫学は、人間集団を対象にして、疾病、異常、障害、さらに、健康の頻度(率)の分布を記述し、これらの状態を規定している因子を研究する学問である。一言でいうと、集団レベルで、原因不明の疾病の原因を追求する学問である。																		
授業の到達目標																		
1.疫学の概要と、有病率・罹患率・死亡率等の疾病頻度の指標を説明できる。(総論 1) 2.記述疫学の方法と長所・短所、用いる指標、証拠能力について説明できる。(総論 1) 3.症例・対照研究、コホート研究、介入研究の方法と長所・短所、用いる指標、証拠能力について説明できる。(総論 2,3) 4.観察研究における交絡の意味と、因果関係に関する Hill の判断基準を説明できる。(総論 4) 5.循環器疾患の動向とリスク因子について説明できる。(各論 1) 6.がんの動向とリスク因子について説明できる。(各論 2) 7.環境が健康に与える影響を疫学的に考察できる。(各論 3) 8.健康課題解決のための疫学研究を提案できる。(演習)																		
授業計画																		
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考											
1	6/9	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	総論 1	疫学の概要、疾病頻度の測定	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む											
2	6/9	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	総論 2	記述疫学、横断研究、生態学的研究	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む											
3	6/16	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	総論 3	症例・対照研究、コホート研究、介入研究	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む											
4	6/16	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	総論 4	因果関係の推理、交絡変数の調整	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む											
5	6/17	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	各論 1	循環器疾患の疫学	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む											
6	6/17	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	各論 2	がんの疫学	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む											
7	6/22	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	各論 3	環境問題と疫学	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む											
8	6/22	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	演習	健康問題の解決	横山 徹爾	リアルタイム投票ツールやグループディスカッションを用いて例題に取り組む											
授業方法																		
同期型の遠隔講義とする。講義とグループワーク演習。zoom のブレイクアウトセッションを用いて、講義時は学生間でのディスカッションを随时行い、グループワーク演習時は各グループで疫学研究計画を立案する。																		
授業内容																		
総論では、疫学の原理と方法に関する基礎的知識を学習する。各論では、わが国における生活習慣病対策や疫学研究等を材料にして、疫学方法論の知識を深める。演習では、具体的な事例を題材にして、健康問題の発見、当該健康問題の原因追及、予防対策の樹立、予防対策の実施、予防対策の評価をシミュレーションし、疫学の応用あるいは公衆衛生活動のあり方を学習する。																		
成績評価の方法																		
筆記試験8割(80 点満点)、グループワーク演習の課題レポート2割(20 点満点)により評価する。																		
成績評価の基準																		
筆記試験、グループワーク演習の課題レポートで採点し、60 点以上(C:60-69 点, B:70-79 点, A:80-89 点, A+:90 点以上)を合格とする。																		

準備学習等についての具体的な指示

循環器疾患、がん、感染症、その他一般的な疾患の定義、症状、診断、治療、予防の概要を知っておくことが大切である。統計学の入門レベル、例えば、平均値、標準偏差、平均値の差の検定、率の差の検定、相関係数の算出とその意義ぐらいを習得しておくことは必須である。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に2/3以上以上出席していること。

zoomでの出席は、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合とする。

教科書

疫学入門演習：原理と方法／田中平三著、南山堂、1998

参考書

はじめて学ぶやさしい疫学(改訂第3版)／日本疫学会監修、南江堂、2018

空間疫学への招待：疾病地図と疾病集積性を中心として／丹後俊郎、横山徹爾、高橋邦彦著、朝倉書店、2007

他科目との関連

衛生学・公衆衛生学の基礎的学問である。保健統計学は、疫学的研究の手段として利用される。疫学の考え方、疫学で使われる手法は卒業論文、学位論文などの研究にも密接に結びついている。

履修上の注意事項

教科書は必携

備考

2020年度の授業評価では特に改善が必要な点はなかったが、例年の通り、例題を用いて理解を深められるよう工夫した講義を行う。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館19階

オフィスアワー

緒方 泰子オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012032A											
科目名	Global Nursing Communication II			科目ID	MN-310300-L							
担当教員	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH, MARIA GIANINA MAYO, ウルフ 友子[KONDO AKIKO, JANELLE RENEE MOROSS, Warren Ashley Robert, Warren L Elizabeth, MAYO MARIA GIANINA, WOLFE Tomoko]											
開講時期	2021 年度前期		対象年次	3	単位数	1						
実務経験のある教員による授業	該当する											
主な講義場所												
遠隔授業(同期型), Zoom ID/Passcode はクラスによって違います。(WebClass 参照)												
授業の目的、概要等												
医療ケアや患者とのコミュニケーションに関連する英語を学ぶ。さらに、患者-看護師のロールプレイを行い、15 回目の口述試験の準備を行う。												
学生の英語運用能力(前年度の TOEFL スコア)により 3 クラス作成し、少人数制で行う。ネイティブの英語教員が概念を紹介し、小グループでのディスカッションに参加する。												
ネイティブの英語教員による英語の授業により英語力のみならず異文化感受性能力の変化を向上させる。												
授業の到達目標												
英語で病院の部署や専門分野について説明し、患者から病状について情報収集し、治療や処置について説明できる(3 つのクラスによりレベルが異なる)。												
授業計画												
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員						
1	4/7	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)		Hospital Departments/ Medical Specialties (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH						
2	4/7	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)		Giving directions in the hospital (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, ASHTON STEVEN GEORGE, MARIA GIANINA MAYO						
3	4/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)		Symptoms (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH						
4	4/21	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)		Injuries (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, MARIA GIANINA MAYO						
5	4/28	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)		Hospitalization/ Medical Interview (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH						
6	5/12	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)		Vital Signs (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH						
7	5/19	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)		Tests: Blood/ Imaging (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, ウルフ 友子, MARIA GIANINA MAYO						

8	5/19	14:40–16:10	遠隔授業 (同期型)		Preoperative Instructions/ Care (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	
9	5/26	10:30–12:00	遠隔授業 (同期型)		Pain Scale/ Types of Pain (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テスト (WebClass に有る)
10	6/2	10:30–12:00	遠隔授業 (同期型)		Postoperative Instructions/ Care (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テスト (WebClass に有る)
11	6/9	10:30–12:00	遠隔授業 (同期型)		Mobility: ambulating, transferring patient, ex., bed to chair, etc. (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テスト (WebClass に有る)
12	6/16	10:30–12:00	遠隔授業 (同期型)		Medications (WebClass に資料 がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テスト (WebClass に有る)
13	6/23	08:50–10:20	遠隔授業 (同期型)		Activities of Daily Life (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	小テスト (WebClass に有る)
14	6/23	10:30–12:00	遠隔授業 (同期型)		Discharge Instructions (WebClass に資料がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	
15	6/30	10:30–12:00	遠隔授業 (同期型)	期末テス ト Oral examinati on	口頭試問と作文 (WebClass に 説明がある)	近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	
16	7/9	10:30–12:00	遠隔授業 (同期型)	TOEFL 受 験		近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	
17	7/9	13:00–14:30	遠隔授業 (同期型)	TOEFL 受 験		近藤 晓子, JANELLE RENEE MOROSS, WARREN ASHLEY ROBERT, WARREN L ELIZABETH	

授業方法

前週の復習、オンラインによる小テスト(WebClass)、事前学習の確認、ディスカッション、ロールプレイ

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

Vocabulary test

Class participation

Final exam: oral and essay

TOEFL

成績評価の基準

Vocabulary test: 20%

Class participation: 30%

Final exam: oral and essay 35%

TOEFL: 15%

準備学習等についての具体的な指示

毎回課題の事前学習をして質問に対する答え考え、その内容及び講義資料を持参すること。ロールプレイの準備もしてくること。

試験の受験資格

口頭試問と作文、後期の最後のレッスンに行います。

教科書

WebClass 参照

他科目との関連

事前学習は必ず実施してくること。指定された記事を読んでディスカッションの準備をして授業に参加する。講義の最初に WebClass 上で単語テストを行うので事前学習する。小テストは授業開始時の 10 分間で行う。受験は 1 回のみであり、遅刻厳禁。5 分前には ZOOM にログインすること。ネイティブの英語教員による英語の授業により異文化感受性能力を向上させることを目標とするため、授業の初回及び最終日に異文化感受性能力に関する調査を実施するが、その回答内容は成績とは無関係である。

備考

昨年度のアンケートコメントをもとに、3 段階のズームクラスを開催します。インストラクターは学生により多くの注意を向けることができ、グループとペアの練習パートナーはズームによって自動化され、毎週変更されます。

連絡先(メールアドレス)

近藤 晓子:akondo.ind@tmd.ac.jp

JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 晓子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

JANELLE RENEE MOROSS:毎週金曜日 PM 12:00-14:00 1 号館—4 階 教授室

時間割番号	012033																		
科目名	卒業論文Ⅰ				科目ID	MN-330400-L													
担当教員	近藤 晓子[KONDO AKIKO]																		
開講時期	2021年度後期	対象年次	3	単位数	1														
実務経験のある教員による授業	該当する																		
英文名: Thesis I																			
【科目責任者】近藤曉子																			
主な講義場所																			
ZOOM																			
授業の目的、概要等																			
研究の基礎知識、文献の読み方・まとめ方、研究計画書の書き方の基本について学ぶ。データベースを使用して実際文献検索を行い、4年次の卒業論文Ⅱに向けた準備を行う。文献のクリティックを通して論文の内容をうのみにするのではなく、批判的に読む訓練を行う。英語の論文を読むことで英語論文に慣れ、日本国内のことのみならず、世界的に視野を広げることを目指す。4年生の卒業論文発表会に参加することで、1年後の目標を明確にする。																			
授業の到達目標																			
1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得 日本語の論文のみならず、英語の論文を読むことで視野を広げ、英語論文に慣れる(7、8、13-16回)。																			
2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成 看護・保健専門職における研究の意義と必要性を理解する。看護の質の向上のためにはどのような研究が必要か考えることができる(1-5,9-12回)。																			
論文のクリティックのグループワークを通して、自分の意見を述べ、他の学生の意見を取り入れ協力することで、全体としてより完成度の高いアウトカム(クリティックのまとめ)を導くことができる(8回)。																			
3. 問題提起・解決能力の修得 看護実践としてルンチで行われていることに対し、その意義やエビデンスに基づく看護実践であるか考え、先行研究からの情報も踏まえ、看護研究テーマとして取り上げることができる。																			
原著論文のクリティックを行うことができる(6-8回)。																			
4. 自己学習能力・創造性の形成 他の課題や実習期間なども考慮して時間管理し、授業に臨むことができる(1-16回)。																			
4年次の卒業論文の進め方を理解し、研究テーマを絞り、テーマに沿った方法を検討するプロセスを理解することができる。																			
研究計画書の書き方を理解する(13回)。																			
研究を行いたい分野を決め、関連する文献のまとめができる(14-16回)。																			
5. 国際性の形成 日本国内のことのみならず、英語論文も読んで世界的にどのような先行研究が行われ、どのような看護研究が必要かを考えることができる(1-16回)。																			
授業計画																			
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考												
1	10/6	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	看護研究の基礎知識	看護研究とは何か 看護研究の種類、方法の特徴	近藤 晓子													
2	10/6	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	看護研究の基礎知識	文献検索の意義と方法 PubMed CINAHLでの検索方法	近藤 晓子、 滝川 穂積	文献検索演習												
3	10/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	看護研究の基礎知識	質的研究	近藤 晓子													
4	10/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	看護研究の基礎知識	研究の倫理	小笠 由香													
5	10/20	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	看護研究の基礎知識	量的研究	近藤 晓子													
6	10/27	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	文献の読み方	クリティックの方法	近藤 晓子													
7	11/17	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	論文講読	英語原著論文講読	近藤 晓子	事前学習したことをグループで確認する。												

8	11/17	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	論文講読	英語原著論文	近藤 晓子	グループでまとめたことを発表する。
9	12/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	卒論発表会聴講	卒論発表会聴講	近藤 晓子	
10	12/8	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	卒論発表会聴講	卒論発表会聴講	近藤 晓子	
11-12	12/15	08:50-12:00	遠隔授業(同期型)	卒業論文Ⅱのオリエンテーション	卒業論文Ⅱのオリエンテーション		
13	1/5	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	研究計画書	研究計画書の書き方	近藤 晓子	
14	1/5	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	文献研究の例	文献研究の例	近藤 晓子	
15	1/12	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	文献検索	図書館で各自行う	近藤 晓子	各自文献検索の上最終課題の研究計画書を作成する。
16	1/19	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	文献検索	図書館で各自行う	近藤 晓子	各自文献検索の上最終課題の研究計画書を作成する。

授業方法

講義、原著論文講読、文献検索演習、4年生の卒論発表会への参加も含む。

講義は教員が一方的に話すのではなく、適宜学生に質問する。この回答内容により評価は行わないで、積極的に自分の意見を述べるようにすること。自発的な発言者がない場合は名簿からランダムに指名する。

講義の際、卒業生が卒業論文をもとに雑誌に発表した論文(日本語・英語)を例として取り上げながら、論文の読み解き方、研究テーマの絞り方、研究計画書の書き方、論文の書き方を学ぶ。

12月8日は4年生の卒業論文発表会に出席し、1年後に自分が発表することを想定し、目標を明確にする。

その日に学んだこと、印象に残ったことを記述し、WebClassに翌日24時までに入力する。授業開始時の出欠確認と感想の提出を持ってその日の出席とする。

12月15日は4年生の卒業論文Ⅱの分野を決める方法についてのオリエンテーションを行う。卒論Ⅰの出席としてカウントする。必ず出席すること。

授業内容 看護研究の基本、文献の読み方、研究計画書の書き方、文献検索

成績評価の方法

参加度・学習態度 30%、文献クリティック 30%、最終課題 40%

1) 参加度・学習態度 30%:出席状況、授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は2回で1回の欠席とする。ネット環境によりZOOMのカメラをオフにすることははある程度認めるが、講義中に問い合わせた際返答がない場合は減点する。

2) 文献クリティック(英語1文献) 30%:7、8回で行った英語論文のクリティックについて、グループワークおよび講義内での解説を聞いた上で理解したことを各自まとめて提出する。(提出期限 1月7日24時 課題提出遅れ(1日につき-1点))

3) 最終課題40%:「自分の興味のあるテーマに関する研究領域で明らかになっていることと明らかになっていないことをまとめ、研究テーマを絞る」指定の書式に記入する。(提出期限:2月10日24時 課題提出遅れ(1日につき-1点))

成績評価の基準

出席日数が3分の2以上あることを前提とした上で、上記合計点が60点以上の場合合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

実習中の講義であるが、時間管理を行い、事前学習・事後学習を行うこと。

試験の受験資格 試験は行わない。

教科書

黒田裕子の看護研究 Step by Step 第4版 医学書院 2012 ISBN:9784260015967

看護研究サポートブック第4版 足立はるゑ著 MC メディカ出版 2017 ISBN:978-4-8404-6126-9

主に上記2つのテキストを使用して講義資料を作成する。一括購入とはしないが、必要に応じて各自購入すること。

参考書

看護研究サポートブック : ワークシートで研究計画書がラクラク完成!／足立はるゑ著:メディカ出版, 2017

よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 : 看護研究のエキスパートをめざして／グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江 編著:医歯薬出版, 2007

よくわかる看護研究の進め方・まとめ方 : 量的研究のエキスパートをめざして／横山美江 編:医歯薬出版, 2011

黒田裕子の看護研究 Step by Step／黒田裕子 著, 黒田, 裕子, 1954-, 医学書院, 2017

履修上の注意事項

ZOOMでの接続は時間がかかる場合があるので、5分前には行うこと。やむを得ず欠席する場合は教員に連絡すること。

備考

実習時期がグループによって違うということで、最終課題の提出期限を昨年より数日延長した。

購入を勧めている教科書があまり活用されていないようなので、一齊購入ではなく、各自必要に応じて購入してもらうこととする。

連絡先(メールアドレス)

近藤 晓子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 晓子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3号館18階)

時間割番号	012081													
科目名	Learning Medical English			科目ID	MN-492500-L									
担当教員	沢辺 元司[SAWABE MOTOJI]													
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2~4	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
Learning Medical English														
【科目責任者】沢辺 元司														
授業の目的、概要等														
現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は世界を舞台にして、活躍することが期待されている。そのためには、単なる英語の会話能力や一般的なプレゼン能力やディスカッション能力だけでなく、医学英語を熟知する必要がある。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。														
授業の到達目標														
本科目の到達目標は解剖、病理、生理、症候学や様々な分野の医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員								
1	12/3	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第2章 心血管疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
2	12/15	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第3章 呼吸器疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
3	12/20	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第4章 神経疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
4	12/20	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第5章 胃腸疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
5	12/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第6・7章 筋肉骨格疾患、血液疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
6	12/22	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第8・9章 免疫疾患、内分泌疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
7	1/5	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第 10・11 章 腎疾患、皮膚疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
8	1/5	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第 12 章 生殖器疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
授業方法 zoom による講義形式(同期型)														
成績評価の方法														
講義参加状況、小試験の成績、課題の準備状況、最終試験の成績を総合的に判断する														
準備学習等についての具体的な指示														
毎回、授業前に、教科書の章を和文翻訳し予習すること。また授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。														
教科書														
Pathophysiology Made Incredibly Visual (Incredibly Easy! Series®)／Capriotti T.: Lippincott Williams & Wilkins, 2016 上記教科書の Kindle 版は内容が少し異なるので、印刷版を購入してください。														
講義に間に合わない場合は図書館から図書を借用してコピーして一時的に使用して下さい														
参考書 特に指定しない。														
他科目との関連														
解剖学、病理学、生理学および他の英語関連の科目と関連する。														
履修上の注意事項														
3回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。本科目で用いる教科書(約5,000円)はビジュアルで平易な英語を用いて書かれている。楽しみながら学習しましょう。														
参照ホームページ 教科書のリンクです														
連絡先(メールアドレス)														
沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370														
オフィスアワー														
沢辺 元司オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること														
湯島キャンパス 3号館 16 階														

時間割番号	012087																		
科目名	実践看護英語Ⅱ				科目ID	MN-392900-L													
担当教員	近藤 晓子[KONDO AKIKO]																		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1														
実務経験のある教員による授業	該当する																		
実践看護英語Ⅰ																			
【科目責任者】近藤暁子																			
主な講義場所																			
ZOOM																			
授業の目的、概要等																			
異文化や看護、健康に関連する概念について英語で学ぶ。様々な文化についての記事を読み、米国の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。オンライン学習システムを使用して米国の学生と交流する。日本文化以外を持つ対象とディスカッションや共同プロジェクトの課題を実施する。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。																			
授業の到達目標																			
1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得 テーマとして取り上げた「レジリエンスの概念と健康について」理解し、看護への応用について考察できる。																			
2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成 文化の異なるワシントン大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点について類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。																			
3. 問題提起・解決能力の修得 ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。																			
4. 自己学習能力・創造性の形成 ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。レジリエンスの概念を看護実践にどのように取り入れるか自分の意見を述べることができる。																			
5. 国際性の形成 ワシントン大学の学生及び留学生と建設的なディスカッションおよび共同作業をすることで、英語でのコミュニケーションに慣れ、躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。																			
授業計画																			
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考												
1	4/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Introduction & Orientation 新津先生の米国での活動 (RN, NPについて)の講演 課題: Padlet: Introduction	近藤 晓子, 新津 晃右													
2	4/14	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	International students' presentation about their culture	近藤 晓子	ディスカッショ												
3	4/21	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Students' presentation about Japanese culture	近藤 晓子	プレゼンテーション												
4	5/7	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Nursing in Literature	Jonathan Corliss	ディスカッショ												
5	5/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Religion & Spirituality ワシントン大学の学生とbreakout room でのディスカッション	近藤 晓子, 新津 晃右	ディスカッショ												
6	5/12	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Nursing in Film	Jonathan Corliss	ディスカッショ												
7	5/19	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Culture and Resilience ワシントン大学の学生とbreakout room でのディスカッション	近藤 晓子, 新津 晃右	ディスカッショ												
8	5/26	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Final project presentation1 ワシントン大学の学生との共同プロジェクトの発表	近藤 晓子, 新津 晃右	プレゼンテーション												
9	6/2	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Final project presentation2 ワシントン大学の学生との共同プロジェクトの発表	近藤 晓子, 新津 晃右	プレゼンテーション												

10	6/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Nursing and health systems in Hong Kong	近藤 晓子, VICO Chi ang	
----	-----	-------------	---------------	-------	---	---------------------------	--

授業方法

講義と演習、基本的にすべて英語で実施する。

2コマワシントン大学の学生と共有する。その他ワシントン大学の学生とオンラインでのディスカッションを行う。

授業内容

- 1) 講義と演習、基本的にすべて英語で実施する。
- 2) ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする(2-4,6コマ)。
- 3) 香港の教員の講義およびディスカッションを行う(10コマ)
- 4) 5コマはワシントン大学の Collaborative Online International Learning (COIL)と共同で行う(1, 5, 7-9コマ)。そのうちの4コマはワシントン大学の学生とZOOMで中継して共有し、指定されたテーマでディスカッションし、最終共同プロジェクトの準備を行う(5, 7コマ)。最後の2コマはワシントン大学の学生と共同ホームページプロジェクトの発表を行う(8-9コマ)。

成績評価の方法

全体的参加度:40%(出席状況、授業中の積極的な発言)

COIL 参加度:30%

Final project: 40%

準備学習等についての具体的な指示

原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed/Margaret M. Andrews & Joycean S. Boyle:LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書

Margaret M. Andrews, Joycean S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer

他科目との関連

国際保健看護学

履修上の注意事項

履修要件: TOEFL450 点以上

連絡先(メールアドレス)

近藤 晓子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 晓子オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3号館 18階)

時間割番号	012083																	
科目名	国際保健福祉 C				科目ID	MN-392800-Z												
担当教員	緒方 泰子[OGATA YASUKO]																	
開講時期	2021 年度通年	対象年次		3	単位数	1												
実務経験のある教員による授業	該当する																	
英文名 : Global Health and welfare C																		
【科目責任者】看護学専攻主任 緒方泰子																		
主な講義場所																		
海外短期研修プログラム 研修機関先 ・ セイナヨキ応用科学大(フィンランド共和国) ・ ラオス保健科学大学(ラオス人民民主共和国) ・ ワシントン州(米国) 等																		
授業の目的、概要等																		
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。																		
授業の到達目標																		
1)研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。 2)1)で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。 2)海外研修報告会において、1)で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。																		
授業計画																		
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考											
1	4/16	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	緒方 泰子	質問は適宜受け付ける。											
2	10/13	16:20-17:50	未定	国際保健福祉	海外研修報告会	緒方 泰子	日時は未定である。											
授業方法																		
事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加(プレゼンテーションの実施等) オリエンテーションは Zoom で行う。 今年度の詳細は未定である。10 月以降に海外渡航の許可がおりプログラムが決定し次第の派遣となる。																		
授業内容																		
諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等																		
成績評価の方法																		
・ 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況 ・ 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況 ・ 研修報告会における発表状況 ・ 研修報告書																		
成績評価の基準																		
事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。																		
準備学習等についての具体的な指示																		
・ 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること ・ グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験すること ・ 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること ・ 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること																		

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。

参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。

海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

今年度の詳細は未定である。4月のオリエンテーションに参加すること。

他科目との関連

国際保健福祉 B, 国際保健福祉 C, 国際保健福祉 D, 国際保健看護学

履修上の注意事項

- ・ 4月に開催される合同オリエンテーションに参加すること
- ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと
- ・ Global Communication Workshop (GCW)へ参加していることが必須である
- ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと
- ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い

- ・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること
保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他
 - ・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
- ・ 2020年度の授業評価を踏まえ、2021年度は、状況が許す限り海外での研修が実現するよう調整する。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館19階

オフィスアワー

緒方 泰子オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012034									
科目名	成人看護学Ⅲ			科目ID	MN-330500-L					
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名:Adult Health Nursing III										
【科目責任者】田中 真琴										
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)										
授業の目的、概要等 成人看護学を取り巻く最近注目されている話題についての概要を講義やグループ討論等を通して学ぶ。これにより国内外での社会の動きに目を向ける意識をより高めることと、社会的ニーズの変化に対応すべく看護の役割を果たしている第一線の看護の専門家の努力や開拓の困難さを学ぶ。										
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・各話題について、注目される社会的背景や概要を理解する。 ・各話題についての開拓者としての努力や困難さを理解し、質疑ができる。 										
1回目:専門職としての看護の発展について理解する。 2回目:NP、看護管理者の活動の実際を理解する。 3回目:CNS の活動の実際を理解する。 4回目:臨床研究を支えるリサーチナースの役割(国内外の動向)を理解する。 5回目:チーム医療における看護の役割を理解する。 6回目:看護過程の発表・討論の準備ができる。 7回目:エイズ治療の現状を踏まえ、コーディネータや看護の役割を理解する。 8回目:高度先進・先端医療における看護の役割を理解する。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	4/21	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	専門職としての発展	専門職集団としての発展、専門職者としての成長について	田中 真琴				
2	5/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	NP および看護管理者としての活動	アメリカでの Advanced nurse および本邦での看護管理者としての取り組み	鈴木 美穂				
3	5/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	CNS の活動	CNS(Clinical Nurse Specialist)の役割と活動内容	荒井 知子				
4	5/27	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	リサーチナースの役割	臨床研究を支えるリサーチナースの役割(国内外の動向)	藤原 紀子				
5	6/3	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	チーム医療	クリティカルケア看護におけるチーム医療	古厩 智美				
6	6/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	事例発表準備		田中 真琴、 川上 明希、 川本 祐子				
7	6/16	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	HIV/AIDS コーディネーターナースの役割	めざましく発展するエイズ治療の現状をふまえた HIV/AIDS 患者の看護ケア	杉野 祐子				
8	6/23	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	先端医療と看護の役割	高度医療・先端医療に果たす看護の役割	山中 源治				
授業内容 各講義は、5~10分間の質疑応答時間を設けることがあるので、積極的な質疑を行うこと。										
授業日程、内容は変更することがある。										
成績評価の方法 授業への出席・参加状況およびレポートにより評価する。レポートについては、授業内で提示する。										
準備学習等についての具体的な指示 事前に各話題についての知識をまとめておく。 事前課題がある場合は提出すること。										

教科書

各担当者の指定による。

他科目との関連

成人看護学Ⅰ, Ⅱを習得しておくこと。

履修上の注意事項

医療関係の時事的話題をとりあげた新聞やテレビ番組からも情報を得ることも心がけること。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3号館19F

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3号館17F

川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3号館19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00～PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012035													
科目名	成人看護学演習			科目ID	MN-350600-S									
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名: Seminar of Adult Health Nursing														
【科目責任者】田中 真琴														
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)、看護学実習室(3号館17階)														
授業の目的、概要等 成人看護学の一部として3年次に、既習の病態および成人看護学の講義内容と関連づけて、成人期にあり、急性、慢性に経過する健康障害を有する人々に適用される看護の問題解決の思考過程および手技的技術を、患者体験を含めて段階的に修得する。														
授業の到達目標 2年での学習を基礎に、上記内容を習得し、臨地実習が円滑に展開できるようにする。 1~2回目: 成人患者の看護過程の方法を理解し、事例についてグループ討論ができる。 3~5回目: 体液管理の基礎と合併症予防の方法を理解し、実践できる。1例目の看護過程のグループ討論ができる。 6~8回目: 手術患者・重症患者の観察と報告方法を理解し、基礎的な技術を実践できる。1例目の事例に関してグループ討論ができる。 9~10回目: 1例目の看護過程のまとめを発表し討論できる。2例目の事例に関してグループ討論ができる。 11~13回目: 創傷ケアと基本的な術後援助について理解し、基礎的な技術を実践できるようになる。2例目の看護過程をグループで討論できる。 14~16回目: 回復促進・悪化予防のケアについて理解し、基礎的な技術を実践できる。2例目の看護過程をグループで討論し、まとめることができる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員								
1-2	4/6	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	看護過程概論	オリエンテーション、成人患者の看護過程の具体的方法論、成人期にある事例について、看護アセスメント・看護計画立案	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子								
3-4	4/20	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	技術演習・看護過程演習①	体液管理の基礎、術前呼吸訓練、血糖管理	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子								
5-7	5/25	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	技術演習・看護過程演習②	手術患者・重症患者の観察と合併症予防	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子								
8-9	6/10	14:40-17:50	遠隔授業(同期型)	事例発表	フィードバック 2事例目説明	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 青木 春恵								
10-11	6/15	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	技術演習・看護過程演習③	創傷ケア・術後離床に対するケア	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子								
12-13	6/22	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	技術演習・看護過程演習④	吸引、経管栄養に対するケア	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子								
14-16	7/6	13:00-17:50	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	実技演習		田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 青木 春恵								
授業内容 授業日程、内容は変更することがある。														
成績評価の方法 授業への出席・参加状況および学期末筆記試験(N3前期)、演習に臨む身だしなみや態度、レポートや看護過程などの記録物により評価する。 なお、筆記試験の一部に英語の問題を出題する。														

準備学習等についての具体的な指示

事前学習の資料を配布するので学習して演習を受けること。

参考書

術中/術後の生体反応と急性期看護／竹内登美子編著,竹内, 登美子,:医歯薬出版, 2019

周術期の臨床判断を磨く：手術侵襲と生体反応から導く看護／鎌倉やよい, 深田順子 著,:医学書院, 2008

臨床病態学：看護のための／浅野嘉延, 吉山直樹編,浅野, 嘉延吉山, 直樹,:南山堂, 2020

周手術期看護論(第3版)／雄西智恵美, 秋元典子 編集,:ヌーベルヒロカワ, 2014

臨床外科看護総論(第11版)／矢永勝彦, 高橋則子 編:医学書院, 2017

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論(第15版)／小松浩子他:医学書院, 2018

テーマによる参考図書の紹介

他科目との関連

基礎看護学に引き続き、他の発達段階にある人々に対する看護技術および問題解決過程の基本となり、臨地実習(成人看護学実習)を円滑に行う上で必須の科目であるので、積極的に正確に学ぶ態度が必要である。

履修上の注意事項

技術演習に関しては、学内での演習であるが、臨地実習と同じ心構えで臨み、服装、態度には充分注意すること。事前学習ならびに復習を心がけること。

時間割番号	012036							
科目名	成人看護学実習		科目ID	MN-370700-E				
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO YUKO]							
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数				
実務経験のある教員による授業	該当する							
英文名: Clinical Practice of Adult Health Nursing I								
【科目責任者】田中 真琴								
授業の目的、概要等								
さまざまな健康段階にある成人・老年期の入院患者を1名以上受け持ち、その疾病・治療経過を踏まえながら患者の全人的理解に努め、既習の知識・技術の統合あるいは新たな学習により、必要な看護を指導者とともに実践し、評価することを学ぶ。								
授業の到達目標								
1) 患者の健康・機能障害を理解し、援助する。 (1) 健康・機能障害の原因・誘因を理解する。 (2) 患者の自覚症状・他覚症状を把握する。 (3) 健康状態を系統的に観察する。 (4) 患者の望む療養生活や治療法の選択を理解し、適切な援助をする。 (5) 行われる検査・治療・処置の目的と内容を理解する。 (6) 患者が検査・治療・処置を適切に受けられるように援助する。								
2) 生命が脅かされている場合には、生命維持・回復のための看護活動ができる。								
3) 異常の予防・早期発見・機能回復のための援助をする。 (1) 予測される悪化因子を指摘する。 (2) 悪化の徵候を早期に発見し、予防的な看護活動を行う。 (3) 機能回復のための適切な看護活動を行う。								
4) 健康・機能障害に伴う日常生活上の制限に対し、援助を行う。 (1) 患者・家族が機能障害をどのように受けとめているかを把握する。 (2) 日常生活上の制限を身体的・心理的・社会的側面に沿って理解する。 (3) 日常生活上の制限をできるだけ軽減するように援助する。 (4) 患者の症状、苦痛を和らげるような援助を行う。 (5) 患者の心理的・社会的问题を把握する。 (6) 患者の心理的・社会的问题の解決への援助をする。 (7) 自己管理を阻害する因子を指摘する。 (8) 自己管理ができるように援助する。 (9) 患者に必要な社会的資源を列挙する。 (10) 日常生活の制約上の家族の心理的・社会的問題を把握する。 (11) 家族の心理的・社会的問題の解決への援助をする。								
5) リハビリテーション期における援助を行う。 (1) リハビリテーション訓練が円滑に受けられるように援助する。 (2) 病棟内の日常生活でリハビリテーション訓練内容や成果を活用した援助をする。								
6) 在宅療養・社会復帰に向けての援助を行う。 (1) 患者に適した退院後の日常生活目標を設定する。 (2) 退院後の生活目標に向けて、適切な援助を行う。								
7) 医療チームにおける看護師の役割を理解する。								

(1)医師、その他の関係職種の役割を理解する。

(2)チームにおける看護師の役割を理解する。

8)以上に関して患者個別の問題を看護過程を用いて実践する。

(1)情報収集する。

(2)収集した情報を分析、統合し、看護診断する。

(3)具体的な目標を設定する。

(4)目標達成のための看護活動を計画する。

(5)計画した看護活動を実践する。

(6)展開した看護過程を評価する。

9)看護専門職としてふさわしい態度を身につける。

(1)看護技術の一般的手順と原則をふまえ、患者の個別性を加味し、実施においては十分な復習と準備を行う。

(2)患者の援助においては常に安全と安楽を考慮する。

(3)患者の持てる力を生かした援助方法を考える。

(4)情報収集を看護援助に生かすとともに、看護援助をしながら情報収集をする。

(5)援助を提供する側・される側の視点から、のぞましい手順や方法を考え、実践する。

(6)グループメンバー間で互いに協調しながら実習に臨む。

(7)看護とは何かを考え、学究的態度(文献活用・事例検討)で実習する。

(8)丁寧で親切な接遇を心がける。

(9)連絡・報告には責任をもつ。

(10)受け持ち看護師や指導者に相談し、助言やコメントを積極的に得ようと努める。

(11)看護援助の実践に先立ち、患者の了解ならびに受け持ち看護師との連絡・調整を行う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/27	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子
2	9/28	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子
3	9/30	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子
4	10/1	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子
5	10/4	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子
6	10/5	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子
7	10/7	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子
8	10/8	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子
9	10/11	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子
10	10/12	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子
11	10/14	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子
12	10/15	08:00-17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴、川上 明希、川本 祐子

37	1/14	08:00~17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
38	1/17	08:00~17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
39	1/18	08:00~17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
40	1/20	08:00~17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
41	1/21	08:00~17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
42	1/24	08:00~17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
43	1/25	08:00~17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
44	1/27	08:00~17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子
45	1/28	08:00~17:00	その他(保・先端侵襲 緩和ケア看護学分野)	成人看護学実習	詳細については実習要項 参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

実習への出席状況、実習に臨む態度、身だしなみおよび記録物により評価する。

準備学習等についての具体的な指示

看護実践に必要な基礎技術を復習すること(実習室での練習日を設ける)。

看護過程や実習病棟の疾患と看護については特に復習してのぞむこと。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3号館19F

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3号館17F

川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3号館19F

オフィスアワー

田中 真琴:月曜～金曜 AM9:00~PM18:00

不在時間、対応出来ない時間もあるため、質問や相談時は、事前連絡をすることが望ましい

時間割番号	012037																		
科目名	地域精神看護学				科目ID	MN-330800-L													
担当教員	高野 歩, 栗林 一人[TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto]																		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1														
実務経験のある教員による授業	該当する																		
英文名:Community Psychiatric Nursing																			
【科目責任者】高野 歩																			
主な講義場所																			
第1、2回:Webclass 上での動画講義(非同期型)																			
第3~8回:Zoom 講義(同期型)																			
授業の目的、概要等																			
様々な精神的健康問題に関する社会状況と支援方法について理解する。地域で生活する精神障害を有する人の健康や生活の質の向上を支援するために必要な社会資源に関する基礎知識を習得する。精神保健医療福祉システムの中で看護職が担う役割について考察する。																			
授業の到達目標																			
・地域精神保健福祉の状況や地域で生活する精神障害者に対する具体的な支援方法について説明できる。																			
・リカバリーを促進する支援のあり方について説明できる。																			
1回目:地域精神保健をめぐる社会状況や精神障害者の地域生活について理解を深め、退院促進や地域定着支援について説明できる。																			
2回目:地域における精神障害者への多職種連携による支援の実際と、看護師が行う支援と役割について説明できる。																			
3回目:リカバリーとスティグマに関する理念や課題について理解し、リカバリー志向の支援について説明できる。																			
4回目:地域で暮らす精神障害者に対する保健師の支援について説明できる。																			
5回目:災害時のメンタルヘルスと支援について理解を深め、支援の方法について説明できる。																			
6回目:精神科デイケアにおける援助、就労支援、様々な社会資源について説明できる。																			
7回目:アディクションや自傷について理解を深め、実際の支援について説明できる。																			
8回目:精神科訪問看護、精神科アウトリーチについて理解し、看護師の役割や支援内容について説明できる。																			
授業計画																			
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考												
1	4/9	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	地域精神保健看護 精神障害者が地域で暮らすこと	地域精神保健看護とは、退院促進、地域移行、地域定着支援、精神障害と生活障害、自立支援をめぐる課題	高野 歩, 栗林 一人	確認テスト、リフレクティブレポートの提出												
2	4/9	14:40-16:10	遠隔授業 (非同期型)	精神障害者への地域支援	精神障害者への地域での相談支援事業、地域活動支援センターでの事業、就労継続支援事業、グループホーム	高野 歩, 栗林 一人	確認テスト、リフレクティブレポートの提出												
3	4/16	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	リカバリーとスティグマ	リカバリーの考え方、スティグマの構造、アンチスティグマ	松長 麻美, 高野 歩, 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出												
4	4/23	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	精神保健福祉をめぐる社会状況と看護職による精神障害者への地域支援	保健所・市区町村における精神保健看護、地域精神保健のシステムと地域資源	陣立 良太, 高野 歩, 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出												
5	5/14	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	災害時のメンタルヘルス	災害時のメンタルヘルス支援、Psychological First Aid	宮本 有紀, 高野 歩, 栗林 一人	授業中の小テスト、グループワーク、リフレクティブレポートの提出												
6	5/14	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	社会復帰支援	社会資源、精神科デイケアの理念と活動、就労支援	金子 慶史, 高野 歩, 栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出												

7	5/21	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	アディクションの理 解と支援	アディクションの要因、支援の実際(治 療プログラム、自助グループなど)	松本 俊彦、 高野 歩、 栗林 一人	授業中の小テスト、 リフレクティブレポ ートの提出
8	5/28	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	精神科アウトリーチ による支援の実際	精神科訪問看護、精神科アウトリーチ における看護師の支援の実際と役割	木戸 芳史、 高野 歩、 栗林 一人	授業中の小テスト、 リフレクティブレポ ートの提出

授業方法

授業は以下の方法で行う。

- 1.講義：講義は、Webclass 上での動画講義(非同期型)もしくはZoomによるオンライン講義(同期型)とする。様々な精神的健康問題に関する内容をオムニバス形式で取り上げる。講義資料は、講義前にWebclassにて配布するので、各自手元に用意すること。
- 2.授業中のグループワーク：実践的な内容について、グループワークを行うことがある。
- 3.授業中の小テスト：講義内容に関連した知識の確認を小テスト形式(Zoom の投票機能)で行うことがある。
- 4.確認テスト：Webclass 上での動画講義受講後、Webclass 上で確認テストを実施する。
- 5.リフレクティブレポート：各回の授業終了後、授業で学んだことや感想、質問等を WebClass の指定の場所に提出すること。質問に対しては、次回の授業で説明するか、WebClass にて回答を掲示する。

授業中、教員と学生との間でのディスカッション、グループワーク、小テストにより、アクティブラーニングを実施する。

授業内容

別表参照

成績評価の方法

次の 3 つの方法により評価する。

- 1.筆記試験(60%)：授業で学習した重要な事項について選択式問題形式で出題する。授業で取り上げた内容に関する過去の看護師国家試験問題についても、出題範囲に含まれる。筆記試験の成績は、例えば筆記試験(100 点満点)の結果が 70 点である場合、その得点の 60%である、 $60\% \times 70$ 点 = 42 点が成績となる。
- 2.授業への参加状況(20%)：出席、確認テスト、グループワーク参加状況、授業中の質問等により総合的に評価する。地域精神看護学の成績の 20%を授業への参加状況により評価する。
- 3.リフレクティブレポート(20%)：レポート提出状況、レポートの内容により評価する。地域精神看護学の成績の 20%をリフレクティブレポートにより評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。なお、授業中およびリフレクティブレポートでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

教科書の該当箇所について予習をして臨むこと。既習の関連する他科目(主に精神看護学)の授業を復習しておくこと。精神障害を有する人の理解を深めるために、体験記を読んでおくことを奨励する。

試験の受験資格

授業の出席(2/3 以上とする。WebClass 上での動画講義受講状況および確認テスト、また Zoom ログイン状況から講義を最初から最後まで参加していることを確認する)、リフレクティブレポートの提出(2/3 以上)を必要とする。

教科書

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2017

参考書

授業内で適宜提示する。

他科目との関連

精神看護学で学習した精神疾患の症状や治療方法に関する知識を基に、地域で生活する精神障害者の支援のあり方について学ぶ。また、実際の支援計画の立案や実践については、精神看護学演習、精神看護学実習と関連する。

履修上の注意事項

WebClass の地域精神看護学のコースに適宜資料をアップするので参照すること。 講義中にスクリーンの撮影をするのを禁止する。講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

学生の予習・復習の時間を考慮し、講義資料を Webclass 上にアップする。

連絡先(メールアドレス)

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp

栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3号館 18階精神保健看護学分野研究室2)。

栗林 一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3号館 15階精神保健看護学研究室)

時間割番号	012038													
科目名	精神看護学演習			科目ID	MN-350900-S									
担当教員	高野 歩, 栗林 一人[TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Psychiatric Nursing Seminar														
【科目責任者】高野 歩														
主な講義場所														
非同期型講義、Zoom による同期型講義														
対面の場合は、保健衛生学科講義室、実習室														
授業の目的、概要等														
演習を通じて精神看護の実践に必要な援助の理論と方法を習得する。精神障害を有する人における精神疾患と生活障害との関連について、セルフケアモデルやストレングスモデルによりアセスメントし、必要な看護援助を考案する。援助的な対人関係を構築する技術を身につけ、精神障害を有する人の回復、成長、自立を支援するための知識と技術を身につける。グループワークを通して、他者と協働して学習する能力を養う。														
授業の到達目標														
・セルフケアモデル・ストレングスモデルに基づき、精神疾患を有する患者の状態をアセスメントできる。														
・精神疾患を有する人に対する看護援助の方法を理解し、看護計画を立案できる。														
・援助的対人関係とは何か理解し、患者・看護師関係を評価する方法を説明できる。														
・認知行動療法の理論を理解し、基本的な技法の一部を実践できる。														
1回目：精神看護の目的と機能について理解を深め、生物・心理・社会モデルに基づくアセスメント方法を説明することができる。														
2回目：精神障害を有する人の体験談を聞き、精神障害を抱えて生きることについて理解を深め、リカバリー指向の支援のあり方について説明することができる。														
3～5回目：精神障害の病態や症状（幻覚・妄想、抑うつ・躁状態、不安、心的外傷、物質依存・行動嗜癖、自傷・自殺）に応じた看護について理解を深め、必要な看護援助方法について説明できる。														
6回目：精神看護における援助関係構築やコミュニケーション技法に関する理論を理解し、自分自身のコミュニケーションスタイルについて振り返り、コミュニケーションを看護実践に活かす方法を説明することができる。														
7回目：セルフケアモデルに基づくアセスメントや支援について理解し、実践できる。援助的な対人関係について理解し、患者・看護師関係や援助プロセスの評価ができる。														
8～11回、14～15回目：模擬事例（統合失調症、うつ病、アルコール使用障害）を用いて、看護援助に必要な情報を収集できる。生物・心理・社会モデルやセルフケアモデルに基づき患者の状態をアセスメントし、看護計画を立案できる。														
12・13回：認知行動療法の理論を理解し、基本的な技法の一部を実践できる。														
16回目：精神看護における看護過程展開について理解を深め、精神看護学実習に必要な知識と技術を整理することができる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	4/12	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	精神看護の目的と機能	精神的健康の維持と増進、精神看護の役割と機能、生物・心理・社会モデル、精神保健医療福祉の現状と課題	高野 歩, 栗林 一人	確認テスト、リフレクティブレポートの提出							
2	4/12	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	精神障害と共に生きる	リカバリー指向の支援、ピアサポート	高野 歩, 栗林 一人	グループワーク、リフレクティブレポートの提出							
3	4/19	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	病態や症状に応じた看護(1)	幻覚・妄想状態の理解と看護、自閉・意欲低下・認知機能障害の理解と看護	高野 歩, 栗林 一人	確認テスト、リフレクティブレポートの提出							
4	4/26	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	病態や症状に応じた看護(2)	抑うつ・躁状態の理解と看護、不安や心的外傷の理解と看護	高野 歩, 栗林 一人	確認テスト、リフレクティブレポートの提出							

5	5/10	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	病態や症状に応じた看護(3)	物質依存・行動嗜癖の理解と看護、自傷・自殺に対する看護	高野 歩、栗林 一人	確認テスト、リフレクティブレポートの提出
6	5/17	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	援助的な対人関係の構築	患者・看護師関係とコミュニケーション、異和感の対自化、プロセスレコードの活用	高野 歩、栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
7	5/24	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	セルフケアモデルに基づく看護	セルフケアモデルに基づくアクセスメント、ストレンジングスモデルの理解と活用	高野 歩、栗林 一人	授業中の小テスト、リフレクティブレポートの提出
8	5/31	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	模擬事例を用いた看護過程の演習(1)	ペーパーペイシエントを用いた看護展開演習のオリエンテーション	高野 歩、栗林 一人	リフレクティブレポートの提出
9	6/7	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	模擬事例を用いた看護過程の演習(2)	精神看護における情報収集とアセスメント（自己学習、Zoomでの質問受付）	高野 歩、栗林 一人	リフレクティブレポートの提出
10	6/14	13:00-14:30	遠隔授業 (非同期型)	模擬事例を用いた看護過程の演習(3)	看護計画の立案（自己学習、Zoomでの質問受付）	高野 歩、栗林 一人	リフレクティブレポートの提出
11	6/14	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	模擬事例を用いた看護過程の演習(4)	事例演習の情報共有、相互レクチャーの準備	高野 歩、栗林 一人	グループワーク、リフレクティブレポートの提出
12	6/21	14:40-16:10	保健衛生 学科講義 室1	認知行動療法の基礎と実践(1)	認知行動療法の理論	菊池 安希子、高野 歩、栗林 一人	グループワーク、リフレクティブレポートの提出
13	6/21	16:20-17:50	保健衛生 学科講義 室1	認知行動療法の基礎と実践(2)	認知行動療法の基本的手法の理解と実践	菊池 安希子、高野 歩、栗林 一人	グループワーク、リフレクティブレポートの提出
14	6/28	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	模擬事例を用いた看護過程の演習(5)	事例演習相互レクチャー、質疑応答	高野 歩、栗林 一人	グループワーク、リフレクティブレポートの提出
15	6/28	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	模擬事例を用いた看護過程の演習(6)	事例演習相互レクチャー、質疑応答	高野 歩、栗林 一人	グループワーク、リフレクティブレポートの提出
16	7/5	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	演習のまとめ、実習オリエンテーション	事例演習のまとめ、精神看護学実習のオリエンテーション	高野 歩、栗林 一人	

授業方法

授業は以下の方法で行う。

1. 講義：動画や資料を用いた非同期型講義、Zoomによる同期型講義、対面での演習により実施する。講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。教科書に記載してある基本的な内容は自己学習とする。講義資料は、講義前にWebclassにて配布するので、各自ダウンロードして準備しておくこと。

2. グループワーク：実践的な内容について、グループワークを行う。グループワークを実施する前に個人で課題に取り組み、グループワークでは課題の共有、ディスカッション、発表、質疑応答を行う。

3. 授業中や授業後的小テスト：講義内容に関連した知識の確認をWebClassやZoomの投票機能等で行うことがある。

4. リフレクティブレポート：各回の授業終了後、授業で学んだことや感想、質問等をWebClassの指定の場所に提出すること。質問に対しては、次回の授業で説明するか、WebClassにて回答を掲示する。

授業中、教員と学生との間でのディスカッション、グループワーク、小テストにより、アクティブラーニングを実施する。

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

次の3つの方法により評価する。

1.グループワーク参加状況・発表内容(60%)：グループワークでの貢献、発表内容、質疑応答の内容により総合的に評価する。精神看護学演習の成績の60%をグループワーク参加状況・発表内容により評価する。

2.授業への参加状況(20%)：出席、確認テスト、授業中の質問等により総合的に評価する。精神看護学演習の成績の20%を授業への参加状況により評価する。

3.リフレクティブレポート(20%)：レポート提出状況、レポートの内容により評価する。精神看護学演習の成績の20%をリフレクティブレポートにより評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100点満点中60点以上を合格とする。なお、授業中およびリフレクティブレポートでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

教科書の該当箇所について予習をして臨むこと。関連する他科目(主に精神看護学、地域精神看護学)の授業を復習しておくこと。

試験の受験資格

授業の出席(2/3以上とする。WebClass 上での動画講義受講状況および確認テスト、対面授業での出席状況、また Zoom ログイン状況から講義を最初から最後まで参加していることを確認する)、リフレクティブレポートの提出(2/3以上)を必要とする。

教科書

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2017

参考書

萱間真美「リカバリー・退院支援・地域連携のためのストレングスモデル実践活用術」医学書院、2016

宮本真巳「援助技法としてのプロセスレコード」精神看護出版、2003

長谷川 雅美「自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード 第2版」日総研出版、2017

宇佐美しおり「オレムのセルフケアモデル—事例を用いた看護過程の展開 第2版」ヌーベルヒロカワ、2003

他科目との関連

精神看護学で学習した精神疾患の症状や治療方法に関する知識を基に、精神症状のアセスメント、看護計画の立案方法について学ぶ。

履修上の注意事項

WebClass の精神看護学演習のコースに適宜資料をアップするので参照すること。 講義中にスクリーンの撮影をするのを禁止する。講義動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

学生の進行・理解状況に応じてグループワークの時間を設定し、学生間で十分なディスカッションができるようにする。

連絡先(メールアドレス)

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp

栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3号館18階精神保健看護学分野研究室2)。

栗林 一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3号館15階精神保健看護学研究室)

時間割番号	012039				
科目名	精神看護学実習			科目ID	MN-371000-E
担当教員	高野 歩, 栗林 一人[TAKANO Ayumi, KURIBAYASHI Kazuto]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Psychiatric and Mental Health Nursing

【科目責任者】高野 歩

授業の目的、概要等

精神障害者に対する理解を深め、自己理解および対人関係を構築、発展させるプロセスを通して、精神看護実践の基本的能力を修得する。地域施設において、地域で生活する精神障害者の社会参加の実態にふれることを通じて、精神障害と生活状況との関連についての理解を深めながら、精神障害者の地域生活支援の方法について学ぶ。また、精神障害者の地域生活の質の向上と社会参加の支援に向けて看護師が担うべき役割について学修する。

授業の到達目標

- 1)患者の発病までの経過や現在の状態について、生物学的・心理学的・社会学的側面から理解し、精神状態がセルフケア行動に及ぼす影響をアセスメントすることができる。
- 2)患者のリカバリー(自己実現に向けた生き方)およびストレングスへの理解を深め、患者の地域における自立と社会参加についての視点を看護計画に反映することができる。
- 3)患者一看護師(学生)関係の構築を図り、看護計画を立案、必要な看護援助の実施・評価・修正を行うことができる。
- 4)患者との間で体験した対人関係についてプロセスレコードで振り返りを行い、自己の対人関係の特徴を知り、自分自身の言動が患者に及ぼす影響について認識を深め、自己の持味を生かしながら援助的な対人関係の構築を図ることができる。
- 5)患者への病棟での支援と地域での支援を関連させて考え、様々な社会資源や、支援者の役割について理解を深めることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/11	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
2	10/12	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
3	10/14	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
4	10/15	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
5	10/18	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
6	10/19	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
7	10/21	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
8	10/22	08:30-16:00	保健衛生学科講義室 2	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
9	10/25	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
10	10/26	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
11	10/28	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
12	10/29	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
13	11/1	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩,	カンファレンス実施

			健看護学分野)			栗林 一人	
14	11/2	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
15	11/4	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
16	11/5	08:30-16:00	保健衛生学科講義 室2	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
17	11/22	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
18	11/26	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
19	11/29	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
20	11/30	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
21	12/1	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
22	12/2	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
23	12/3	08:30-16:00	保健衛生学科講義 室2	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
24	1/24	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
25	1/25	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
26	1/27	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
27	1/28	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
28	1/31	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
29	2/1	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
30	2/3	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施
31	2/4	08:30-16:00	大学院特別講義室 その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	高野 歩, 栗林 一人	カンファレンス実施

授業方法

実習は以下の方法で行う。

- 精神科病棟において入院されている患者 1 名を受け持ち、関わりを発展させるとともに、患者の状態のアセスメント、看護計画の立案、実施、評価、修正を行う。
 - 患者との体験を振り返り、自己理解、患者理解を深めるため、「プロセスレコード」を用い、看護場面の再構成を行う。
 - 地域施設において、地域で生活する精神障害者やスタッフと関わり、地域生活や社会参加の実態にふれる。
 - 毎日、実習指導者、教員、学生が参加するカンファレンスを行い、実習で学んだこと、疑問などについて他者と討論、共有、検討し、理解を深める。
 - 各クールの実習最終日は、学内にて、実習全体の振り返り、学びの共有を行う。
- 実習中、カンファレンスにおいて、学びの共有、ディスカッションを行い、学生間の相互作用、実習指導者及び教員・学生間でのアクティブラーニングを実施する。

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

次の3つの方法により評価する。

1.実習への出席状況・参加態度(20%)：出席、日々の具体的な活動状況、カンファレンスへの参加状況等により評価する。精神看護学実習の成績の20%を実習への出席状況・参加態度により評価する。

2.実習への取り組み(60%)：患者との関係性の構築、患者理解及び患者の状態のアセスメント、看護計画の立案・実施・評価、プロセスレコードを用いての自己理解、実習目標への到達度、学生の自己評価により評価する。精神看護学実習の成績の60%を実習への取り組みにより評価する。

3.記録物・レポート(20%)：記録提出状況、記録の内容により評価する。精神看護学実習の成績の20%を記録物・レポートにより評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100点満点中60点以上を合格とする。なお、実習中、受け持ち患者の疾患等について事前課題(レポート)への追記などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

事前課題(レポート)を課す。課題の内容、提出方法は教員の指示に従うこと。

試験の受験資格

単位認定に必要な出席時間は、実習時間(祝日は含まない)の3/4以上とする。

教科書

武井麻子他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1][2]」医学書院、2017

参考書

長谷川雅美編集「自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード プロセスレコードが書ける、読める、評価できる本」日総研出版、2001

萱間 真美著「リカバリ・退院支援・地域連携のための ストレングスモデル実践活用術」医学書院、2016

他科目との関連

精神看護学、地域精神看護学、精神看護学演習と関連する。

履修上の注意事項

- 1)個人情報の管理に留意し、実習で知り得た患者の情報を無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディアに発信してはならない。個人を特定されうる個人情報は、記録やメモ帳に記載しないこと。メモ帳は紛失しないように注意、工夫すること。
- 2)やむを得ず遅刻や欠席をしなくてはならないことが予めわかっている場合は、前日までに連絡すること。遅刻・欠席の連絡が当日の朝になる場合は、担当教員の携帯電話およびメールアドレスに連絡すること。

備考

- 1)実習指導者と連携を取りつつ、学生の学習状況に応じてさらに効果的な実習が行えるよう実施していく。
- 2)祝日や学内行事に伴い実習日程が変更になることがある。実習オリエンテーションで正式な日程を伝える。

連絡先(メールアドレス)

高野 歩:ayumi-takano.pn@tmd.ac.jp

栗林 一人:kazuto-kuribayashi.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高野 歩:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3号館18階精神保健看護学分野研究室2)。

栗林 一人:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3号館15階精神保健看護学研究室)

時間割番号	012040									
科目名	小児看護学Ⅱ			科目ID	MN-331100-L					
担当教員	岡光 基子, 矢郷 哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名:Pediatric Nursing II										
【科目責任者】岡光 基子										
主な講義場所										
保健衛生学講義室2(3号館8階), オンライン(ZOOM)										
授業の目的、概要等										
小児看護学の実践に必要な基礎的知識, アセスメント技術, さらには, 小児を取り巻く保健・医療・福祉の最新の動向に触れながら, 様々な健康問題や障害をもつ小児と, きょうだい児を含めたその家族を理解し, 求められる看護支援について考察する。										
なお, この授業は小児看護学演習Ⅱと組み合わせて行う。										
授業の到達目標										
第1回: 小児及び家族のアセスメントの方法, ツール, 留意点について説明できる										
第2回: アタッチメント、ポンディング、親子の発達課題について理解し、親子の関係性をアセスメントする方法を説明できる										
第3回: 小児の発達アセスメントの方法を理解し、シミュレートすることができる										
第4回: 障害をもつ小児と家族の生活と看護の要点について説明できる										
第5回: 疾患をもつ小児の家族およびきょうだい児への看護の要点について説明できる										
第6回: 虐待の予防と発見における看護師の役割と看護の要点について説明できる										
第7回: 退院支援、小児科外来における看護師の役割と看護の要点について説明できる										
第8回: 心疾患をもつ小児と家族への看護の要点について説明できる										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	4/8	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	小児のアセスメント(1)	小児の観察技術, アセスメントツールの活用	岡光 基子				
2	4/22	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	小児のアセスメント(3)	親子の関係性のアセスメント: アタッチメント、ポンディング、親子の相互作用のスキル、親子の発達課題	矢郷 哲志				
3	4/22	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	小児のアセスメント(2)	子どもの発達のアセスメント	藤本 昌樹				
4	5/6	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	健康障害をもつ子ども・家族への看護(1)	障がいをもつ小児の在宅における看護	鈴木 征吾				
5	5/6	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	健康障害をもつ子ども・家族への看護(3)	健康障害をもつ子どもの家族およびきょうだい児への支援	熊谷 祐美				
6	5/6	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	健康障害をもつ子ども・家族への看護(5)	子どもの虐待: 虐待の予防と発見	岡光 基子				
7	6/3	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	健康障害をもつ子ども・家族への看護(4)	退院支援及び小児科外来における子どもと家族への看護	矢郷 哲志				
8	6/3	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	健康障害をもつ子ども・家族への看護(2)	先天性心疾患をもつ小児と家族の看護	権守 礼美				
授業内容										
「小児看護学Ⅰ」、「小児看護学演習Ⅰ」において学習した小児看護の実践に必要な基本的知識、技術の上に積み重ねる構成で、小児看護実践に必要な知識及び最新の小児看護学の動向を学習する事を目的としている。演習、グループ・ワークを中心とした小児看護学演習Ⅱと組み合わせて、自ら学び、実践に活用できる技能を習得する。講義の他、グループディスカッション、imakiku を用いた演習などアクティブラーニングを行う。講義毎に、講義内容に関する質問や疑問、学び、感想などをアクションペーパーに記載してもらい、講義終了後に回収する。										
成績評価の方法										
定期試験(70%), 課題レポート(10%), リアクションペーパー(10%), 授業への参加状況(10%)により総合的に評価する。原則として、2/3 以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は、受験資格を失うので注意すること。尚、試験の一部に英語の問題を出題する。										

成績評価の基準

上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

教科書を読んで事前学習して臨み、事前課題がある場合にはそれに従うこと。

教科書

『系統看護学講座 専門分野Ⅱ』 小児看護学[2] 小児臨床看護各論（第13版）／奈良間 美保他：医学書院、2015

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1)：小児の発達と看護 第6版／中野 綾美他：メディカ出版、2019

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(2)：小児看護技術 第4版／中野 綾美他：メディカ出版、2019

2年時に購入済みのものを使用する。

参考書

廣瀬たい子 編著：看護のための乳幼児精神保健（金剛出版）

他科目との関連

「小児看護学Ⅱ」は、「小児間看護学Ⅰ」、「小児看護学演習Ⅰ」、「小児看護学演習Ⅱ」、「在宅看護学Ⅰ」などの他の専門科目と密接な関連がある。

備考

WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先(メールアドレス)

岡光 基子：motoko.cfn@tmd.ac.jp 3号館19F

矢郷 哲志：sycfn@tmd.ac.jp 3号館18F

オフィスアワー

岡光 基子：随時（必ず事前に連絡を入れること）

時間割番号	012041													
科目名	小児看護学演習Ⅱ				科目ID	MN-351200-S								
担当教員	岡光 基子, 矢郷 哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名: Seminar of Pediatric Nursing II														
【科目責任者】岡光 基子														
主な講義場所														
保健衛生学講義室2(3号館8階), 看護学実習室2(3号館17階)														
授業の目的、概要等														
基本的な小児看護学技術の習得を図る。また、小児の成長発達を踏まえて、日常生活援助の要点や遊びの意義などについて理解を深める。さらに、グループワークを通して、主な小児疾患の病態生理を理解し、健康障害を持つ小児とその家族の身体的・精神的・社会的变化を多用な視点から捉えながら、求められる看護を考察することで、小児看護学領域における看護の思考過程を学習する。														
なお、この授業は小児看護学Ⅱと組み合わせて行う。														
授業の到達目標														
第1回: 子どもの生活と医療の環境を考え、子どもの安全と療養環境について説明できる。														
第2~4回: 日常生活における子どもと家族への支援(抱っこ、食事、更衣、排泄、清潔等)に関する知識を理解し、基本的手技を正しく行うことができる。														
第5~7回: 検査や処置に関する看護技術とケア(身体計測、バイタルサイン測定など)に関する知識を理解し、基本的手技を正しく行うことができる。														
第8~11回: 事例に基づいて、疾患の病態生理、治療、検査、処置、成長発達、看護技術及び留意点を理解し、看護過程を展開することができる。														
第12回: グループワークを通して学習した内容を適切な方法で発表し、質疑応答・ディスカッションを通して理解を深めることができる。														
第13~14回: 検査や処置に関する看護技術とケア(呼吸管理など)に関する知識を理解し、基本的手技を正しく行うことができる。														
第15回: 保育園実習の目的、目標、スケジュール、注意事項について説明できる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	4/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	子どもの安全と療養環境	子どもの生活と医療の環境を考える	矢郷 哲志	アクティブラーニング: 討論、グループワーク、リアクションペーパー							
2~4	4/15	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	日常生活における子どもと家族への支援	抱っこ、食事、更衣、排泄、清潔など	岡光 基子、 矢郷 哲志	事前事後課題 アクティブラーニング: 演習							
5~7	5/20	13:00-17:50	看護学実習室2	検査や処置に関する看護技術とケア(1)	身体計測、バイタルサイン測定、輸液管理など	岡光 基子、 矢郷 哲志	事前事後課題 アクティブラーニング: 演習							
8	6/3	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	ペーパーペーチェント	オリエンテーション	梶原 道子、 矢郷 哲志、 岡光 基子	アクティブラーニング: TBL							
9~11	6/17	13:00-17:50	遠隔授業(同期型)	ペーパーペーチェント	グループワーク(関連図、看護計画の立案)	岡光 基子、 矢郷 哲志	アクティブラーニング: TBL							
12	6/23	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	ペーパーペーチェント	グループワーク(発表)	岡光 基子、 矢郷 哲志	アクティブラーニング: TBL							
13~14	6/24	08:50-12:00	看護学実習室2	検査や処置に関する看護技術とケア(1)	呼吸管理など	岡光 基子、 矢郷 哲志	事前事後課題 アクティブラーニング: 演習							
15	6/29	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	保育園実習オリエンテーション	保育園実習に関するオリエンテーション	岡光 基子、 矢郷 哲志								

授業内容

チーム基盤型学習(TBL)を用いて子どもの生活と看護について考え、学習する。技術演習は、小児の特性や看護技術に関する事前課題の内容を踏まえて実施するため、事前学習と事前課題の提出が必須である。小児特有の疾患を持つ事例を用いたグループワークを通して、成長発達、疾患の病態生理、家族背景などを学習、アセスメントし、看護過程を展開しながら、看護計画を立案する。各グループの学習成果を発表し、ディスカッションする。

成績評価の方法

定期試験(50%)、事前課題・発表資料・発表内容(10%)、出席・演習への参加態度(40%)により総合的に評価する。原則として、2/3以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は、受験資格を失うので注意すること。尚、試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

教科書を読んで事前学習をして課題に臨みこと。事前事後課題が提示された場合には、それに従うこと。

教科書

『系統看護学講座 専門分野Ⅱ』 小児看護学[2] 小児臨床看護各論（第13版）／奈良間 美保他：医学書院、2015

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1)：小児の発達と看護 第6版／中野 綾美他：メディカ出版、2019

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(2)：小児看護技術 第4版／中野 綾美他：メディカ出版、2019

演習に必要な資料は開講時に配布する。

教科書は、2年時に購入済みのものを使用する。

参考書

開講時に参考文献リストを配布する。

他科目との関連

「小児看護学演習Ⅱ」は、これまでの小児看護学の学習を統合して、実技および看護過程を展開して小児看護学実習で活用できる知識と技術を整理する科目であるため、「小児看護学Ⅰ」、「小児看護学演習Ⅰ」、「小児看護学Ⅱ」で学んだ知識の応用と実践が必要となる。

履修上の注意事項

技術演習に関しては、臨地実習と同じ心構えで臨み、服装、態度には充分留意すること。演習、グループワークを基本とした授業なので、自己学習・出席・演習に臨む態度を重視する。WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参照すること。

連絡先(メールアドレス)

岡光 基子:motoko.cfn@tdm.ac.jp 3号館19F

矢郷 哲志:syccfn@tdm.ac.jp 3号館18F

オフィスアワー

岡光 基子:随时(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	012042									
科目名	小児看護学実習			科目ID	MN-371300-E					
担当教員	岡光 基子, 矢郷 哲志[OKAMITSU MOTOKO, YAGOU Satoshi]									
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	2					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名:Practice of Pediatric Nursing										
【科目責任者】岡光 基子										
授業の目的、概要等										
小児と家族に対する実際のケアを通して、発達する小児の特徴を理解する。また、健康障害をもつ小児を全人的に理解する。さらに、対象とその家族の必要としている援助は何かを理解し、小児看護を実践するための基礎的能力と技術・態度を養う。										
授業の到達目標										
本実習は、小児看護学学内実習と保育園実習、および病棟での臨床実習から構成される。										
(1) 小児看護学学内実習										
目的:小児看護に必要なスキルを習得する。										
目標:										
1) 小児看護に必要な技術を習得する。										
2) 小児、特に言葉を持たない発達段階における子どもとのコミュニケーション方法を理解し、習得する。										
(2) 臨地実習(保育園実習)										
目的:健康な小児の日常生活行動を実際の保育活動を通して学び、成長・発達の特徴を把握する。										
目標:										
1) 子どもの成長・発達、および生活を理解する。										
2) 子どもと家族の支援に必要な基本的な観察技術を習得する。										
3) 小児の生活における保健行動、健康管理の概要を知る。										
(3) 臨床実習(病棟実習)										
目的:疾病あるいは障害を持つ小児に接する体験を通して、小児の特徴を理解し、小児とその家族の必要としている援助を考え、実施する。										
目標:										
1) 疾病、あるいは健康障害をもつ小児およびその家族との治療的関係のあり方を学ぶ。										
2) 健康障害が、小児およびその家族に及ぼす影響を理解する。										
3) 健康障害をもつ小児と家族への看護のために、対象を理解し、必要な援助を行う能力を養う。										
4) 小児をとりまく医療、保健、福祉の連携の中で小児看護の役割を理解する。										
(4) 学生に期待するもの										
1) 既習の学習を統合して、実際の場面で遭遇する問題・課題に積極的に取り組む。										
2) 実習期間中、各自の学習目標を明確にし、それに向かって意欲的に取り組む。										
3) 小児のケアに際しては特に安全に対する配慮を行う。										
4) 実習期間中は自己の健康管理に注意する。										
5) 感染源とならないために、抗体価検査を必ず受けること。また必要に応じて予防接種を受ける等の対策が推奨される。										
6) スタッフの一員であり、かつ学習する者としての自覚と責任をもって行動する。										

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	7/20	08:30-17:00	その他(保・小児・家族 発達看護学分野)	小児看護学実習	保育園実習 詳細については実習要項 参照	岡光 基子, 矢郷 哲志
2	7/21	08:30-17:00	その他(保・小児・家族 発達看護学分野)	小児看護学実習	保育園実習 詳細については実習要項 参照	岡光 基子, 矢郷 哲志

27	1/31	08:00-16:00	その他(保・小児・家族 発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子、矢郷 哲志
28	2/1	08:00-16:00	その他(保・小児・家族 発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子、矢郷 哲志
29	2/2	08:00-16:00	その他(保・小児・家族 発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子、矢郷 哲志
30	2/3	08:00-16:00	その他(保・小児・家族 発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子、矢郷 哲志
31	2/11	08:00-16:00	その他(保・小児・家族 発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	岡光 基子、矢郷 哲志

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

病棟実習及び保育園実習における出席状況、実習に臨む態度、実習及び記録の内容、課題レポート等により総合的に評価する。必要出席日数は本学試験規則に準じる。

準備学習等についての具体的な指示

実習オリエンテーション時に課題を提示する。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先(メールアドレス)

岡光 基子:motoko.cfn@tmd.ac.jp 3号館 19F

矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3号館 18F

オフィスアワー

岡光 基子随時(必ず事前に連絡を入れること)

時間割番号	012043							
科目名	母性看護学 I			科目ID	MN-331400-L			
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子[OKUBO NORIKO, MISUMI JYUNKO, HIROYAMA NATSUKO]							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1			
実務経験のある教員による授業	該当する							
英文名	Maternal and Infant Nursing I							
【科目責任者】	大久保功子							
主な講義場所	保健衛生学講義室2(3号館8階) ZOOM の場合はこの限りではない。							
授業の目的・概要等	この科目では、母性看護学の概論を学習する。母性看護学は、人間の健康を性と生殖の側面から考え、看護が必要な状況や支援方法を理解する科目である。ここでは性と生殖に関わる健康課題について、個人、家族、集団、地域社会に対する看護展開、多様な文化背景や価値観に考慮した看護展開を考える視点を養う。							
授業の到達目標	母性看護学の中心的な概念であるリプロダクティブヘルス／ライツの考え方を理解する。それをもとに、母性看護学のケア対象を、様々な側面から捉え、身体的・心理的・社会的特徴を理解し、健康の保持増進に向けた看護の基本的な考え方や理論を理解する。 リプロダクティブヘルス／ライツの概念の発祥と日本の女性の状況について説明できる(①)。 DV や性暴力などによって起こりうる健康問題と急性期対応について理解できる(③⑧)。 女性の生殖に関わる身体の機能と周産期の変化について説明できる(②)。 現在の生殖補助医療に関する医療の基礎について説明できる(④)。 LGBTI の基礎知識について説明できる。また医療の課題について考えることができる(⑥⑦)。 異常のある児の家族に対する看護ケアの根拠について説明できる(⑤)。							
授業計画								
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	
1	4/6	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学 I	解剖学テストの日程案内 母性看護学オリエンテーション リプロダクティブヘルス に関するディスカッション	大久保 功子, 三隅 順子		
2	4/8	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	母性看護学 I	女性生殖機能	石川 智則	対面でできない場合は ZOOM(同期)	
3	4/13	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学 I	不妊・出生前診断	辰巳 嵩征	対面でできない場合は ZOOM(同期)	
4	4/22	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	母性看護学 I	性感染症・性暴力被害者の看護	三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期) 視聴覚教材使用、アクティブラーニング、レスポンスペーパー	
5	5/25	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学 I	異常のある児と家族の看護	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング	
6	6/1	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学 I	セクシュアル・マイノリティー と医療	笠原 士織 三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期) 視聴覚教材使用 ディスカッション レシポンスペーパー	
7	6/1	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学 I	セクシュアル・マイノリティー と医療	三隅 順子, 笠原 士織	対面でできない場合は ZOOM(同期) 視聴覚教材使用 ディスカッション レシポンスペーパー	
8	6/15	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学 I	DV 被害者の急性期看護	三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期) 視聴覚教材使用、アクティブラーニング、レスポンスペーパー	

授業方法
講義、反転授業
授業内容
周産期女性の身体のみならず社会的な背景などについて広く課題を考えられるようなテーマで講義を行う。
成績評価の方法
学期末テストの成績を9割、その他レスポンスペーパーの提出及び講義への出席率を1割とし、総合的に評価する。全提出物が期限内に提出され内容も関連したことが書かれていればテストの点に10点加算される。欠席1回につき-5点減点、遅刻早退は交通機関の遅延などがない限り1回につき-3点減点。90点以上でA+, 80点以上A, 70点以上B, 60点以上Cとする。 試験内容は、講義で話した内容および、該当する教科書の範囲から学期末テストでは、母性看護の領域でよく用いられる専門用語に関しては、英語での出題もあるので学習しておくこと。
成績評価の基準
60点以上で合格とする。 90点以上でA+, 80点以上A, 70点以上B, 60点以上Cとする。
準備学習等についての具体的な指示
リプロダクティブヘルスにかかわる社会的な時事等をとらえておくこと。また、各講義の基礎的な内容についてはテキストで予習をしておくこと。 またレポート課題などは事前に提示するので、各自関連する文献等の収集をすること。文献検索方法については、1年次の看護の統合と実践Ⅰで学ぶ機会が準備されているので、利用できる知識にしておくことが望まれる。その他、図書館オリエンテーションなども利用し、検索の経験を積んでおくこと。
試験の受験資格
2/3の出席をしていること。ZOOMにおいては指定された時間のアクセスの記録および画面で顔が写っていることを条件とする。
教科書
母性看護実践の基本／横尾京子、中込さと子 編：メディカ出版、2019 母性看護学／大平光子、齋藤いずみ、定方美恵子、長谷川ともみ、三隅順子 編集：南江堂、2019 母性看護学／大平光子、井上尚美、大月恵理子、佐々木くみ子、林ひろみ 編集：南江堂、2019 フォレンジック看護 性暴力被害者支援の基本から実践まで／加納尚美、李節子、家吉望み：医歯薬出版、2016 ・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①、メディカ出版、2019. ・前原澄子：新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ、中央法規、2011. ・前原澄子：新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ、中央法規、2011. ・我妻堯：リプロダクティブヘルス、南江堂、2002. ・砂川秀樹、RYOJI：カミングアウト・レターズ、太郎次郎社エディタス、2007. ・長沖暁子：AIDで生まれるということ、萬書房、2014.
参考書
リプロダクティブヘルス：グローバルな視点から性の健康をみつめる／我妻堯 著：南江堂、2002 女性の看護学：母性の健康から女性の健康へ／吉沢豊予子、鈴木幸子 編著：メデカルフレンド社、2000 カミングアウト・レターズ：子どもと親、生徒と教師の往復書簡／Ryoji, 砂川秀樹 編：太郎次郎社エディタス、2007 AIDで生まれるということ：精子提供で生まれた子どもたちの声／非配偶者間人工授精で生まれた人の自助グループ、長沖暁子 編著：萬書房、2014 母と子のアタッチメント：心の安全基地／ボウルビィ 著、二木武 監訳：医歯薬出版、1993 ウェルネスからみた母性看護学過程+病態関連図／佐世正勝：医学書院、2012
他科目との関連
この授業は、母性看護学Ⅱ、Ⅲ、母性看護学演習の基礎となる内容である。
履修上の注意事項
専門的な知識、対応経験のある講師が講義に来る。欠席すると再度聴講することは難しい。授業のテーマに対して積極的に質問をし、自分の看護に対する考え方の基盤作りに努めるとともに、対象理解に必要な材料を批判的に見る習慣をつけてほしい。
備考
個人情報の保護については、自分自身のみならず、患者情報、講義で利用した写真等も含め十分に配慮すること。
参照ホームページ
WebClass の母性看護学コースで適宜 up する。

連絡先(メールアドレス)

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後

後期(臨地実習期間):毎週水曜日午後(会議時除く)

アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。

場所／3号館 17階リプロ3研

時間割番号	012044																																																																														
科目名	母性看護学Ⅱ				科目ID	MN-331500-L																																																																									
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子[OKUBO NORIKO, MISUMI JYUNKO, HIROYAMA NATSUKO]																																																																														
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1																																																																										
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																														
英文名	Maternal and Infant Nursing II																																																																														
【科目責任者】	大久保功子																																																																														
主な講義場所	保健衛生学講義室2(3号館8階) ZOOM ではこの限りではない。																																																																														
授業の目的、概要等	母性看護学は、人間の健康を性と生殖の側面から考え、看護が必要な状況や支援方法を理解する科目である。ここでは主に、妊娠・分娩・産褥期の生理的な変化の過程とそこから逸脱した状況に関する病態生理、診断、治療、そして新生児の胎外生活への適応過程とその時期に生じやすい異常の早期発見と予防、ならびに診療の補助に関する基本的な知識を習得する。																																																																														
授業の到達目標	母性看護学の対象、特に妊娠・分娩・産褥期と新生児の身体的特徴を理解し、健康の保持増進、正常からの逸脱の予防と早期発見、適切な看護を提供するために必要な医学的知識を習得する。 妊娠期、分娩時の異常とアセスメント項目を説明できる(②④)。 胎児・胎盤の異常とアセスメント項目を説明できる(①)。 母乳栄養(褥婦の進行性変化)のメカニズムについて説明できる(③)。 新生児の適応、異常とアセスメント項目について説明できる(⑤⑦⑧)。 褥婦の異常とアセスメント項目を説明できる(⑥)。																																																																														
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>4/13</td><td>10:30-12:00</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅱ</td><td>胎児・胎盤系の生理・機能</td><td>大久保 功子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング</td></tr> <tr> <td>2</td><td>4/20</td><td>08:50-10:20</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅱ</td><td>異常妊娠</td><td>齊藤 和毅</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期)</td></tr> <tr> <td>3</td><td>4/23</td><td>14:40-16:10</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅱ</td><td>母乳栄養</td><td>井村 真澄</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング</td></tr> <tr> <td>4</td><td>4/27</td><td>08:50-10:20</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅱ</td><td>異常分娩</td><td>宮坂 尚幸</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期)</td></tr> <tr> <td>5</td><td>5/11</td><td>08:50-10:20</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅱ</td><td>新生児の生理・適応</td><td>大久保 功子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング</td></tr> <tr> <td>6</td><td>5/11</td><td>10:30-12:00</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅱ</td><td>産褥期の観察とアセスメント</td><td>三隅 順子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) 事前課題を伴うグループワーク</td></tr> <tr> <td>7</td><td>5/13</td><td>13:00-14:30</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅱ</td><td>新生児の異常</td><td>大久保 功子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング</td></tr> <tr> <td>8</td><td>5/18</td><td>08:50-10:20</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅱ</td><td>新生児の観察とアセスメント</td><td>大久保 功子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング</td></tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	4/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	胎児・胎盤系の生理・機能	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング	2	4/20	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	異常妊娠	齊藤 和毅	対面でできない場合は ZOOM(同期)	3	4/23	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	母乳栄養	井村 真澄	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング	4	4/27	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	異常分娩	宮坂 尚幸	対面でできない場合は ZOOM(同期)	5	5/11	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	新生児の生理・適応	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング	6	5/11	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	産褥期の観察とアセスメント	三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期) 事前課題を伴うグループワーク	7	5/13	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	新生児の異常	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング	8	5/18	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	新生児の観察とアセスメント	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																								
1	4/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	胎児・胎盤系の生理・機能	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング																																																																								
2	4/20	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	異常妊娠	齊藤 和毅	対面でできない場合は ZOOM(同期)																																																																								
3	4/23	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	母乳栄養	井村 真澄	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング																																																																								
4	4/27	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	異常分娩	宮坂 尚幸	対面でできない場合は ZOOM(同期)																																																																								
5	5/11	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	新生児の生理・適応	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング																																																																								
6	5/11	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	産褥期の観察とアセスメント	三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期) 事前課題を伴うグループワーク																																																																								
7	5/13	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	新生児の異常	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング																																																																								
8	5/18	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅱ	新生児の観察とアセスメント	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング																																																																								
授業方法	講義、反転授業																																																																														
成績評価の方法	解剖テスト 3割、学期末試験 7割、出席率(遅刻欠席減点方式)から総合的に評価する。母性看護学の領域でよく用いられる専門用語に関しては、テストに出題されるので学習しておくこと。解剖テストに関しては、2 年修了後の春休みに課題が出されるのでその範囲の自習を怠らないこと。																																																																														
	欠席1回につき-5点減点、遅刻早退は交通機関の遅延などがない限り1回につき-3点減点。90点以上でA+, 80点以上A, 70点以上B, 60点以上Cとする。																																																																														

成績評価の基準

60点以上を合格とする。

90点以上でA+, 80点以上A, 70点以上B, 60点以上Cとする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期ににかかわる医学的な基礎知識を習得するために、各講義に関連した解剖学、生理学などの基礎医学のテキストを用い予習をしておくこと。

その上で、周産期特有の生理・異常を学ぶことができれば理解は深まる。また医学に関しては、常に新しい情報を得ておかなければ、その看護を考える上でも支障があるので、各自関連する文献等の収集を継続すること。文献検索方法については、1年次の看護の統合と実践Ⅰで学ぶ機会が準備されているので、利用できる知識にしておくことが望まれる。その他、図書館オリエンテーションなども利用し、検索の経験を積んでおくこと。

試験の受験資格

2/3の出席をしていること。

ZOOM講義でも同様であるが、ネットにアクセスし、画面に顔を出していることが条件となる。

教科書

母性看護実践の基本／横尾京子、中込さと子 編：メディカ出版、2019

母性看護学／大平光子、齋藤いづみ、定方美恵子、長谷川ともみ、三隅順子 編集：南江堂、2019

母性看護学／大平光子、井上尚美、大月恵理子、佐々木くみ子、林ひろみ 編集：南江堂、2019

：社

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①、メディカ出版、2019。

・前原澄子：新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ、中央法規、2011。

・前原澄子：新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ、中央法規、2011。

・大鷹美子監訳：ウイリアムス臨床産科マニュアル、株式会社メジカルビュー社、2009

参考書

ウイリアムス臨床産科マニュアル／大鷹美子 監訳：メジカルビュー社、2019

母と子のアタッチメント：心の安全基地／ボウルビィ 著、二木武 監訳：医歯薬出版、1993

みえる生命誕生：受胎・妊娠・出産／池ノ上克、前原澄子 監訳SARAH BREWER, SHAONI BHATTACHARYA, JUSTINE DAVIES, SHEENA MEREDITH, PENNY PRESTON 著：南江堂、2013

ウェルネスからみた母性看護学過程+病態関連図／佐世正勝：医学書院、2016

その他、講義の進行の伴い、参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は、母性看護学演習と同時に受講することを前提として計画され、後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。この科目及び母性看護学演習の単位を取得していない場合、母性看護学実習には参加できない。

履修上の注意事項

二年次に学習した専門基礎科目の内容の復習をしてから受講して欲しい。3年になって2回目の講義で解剖学テストを行う。

備考

個人情報の保護については、自分自身のことのみならず、患者情報、講義で使用した写真などについても十分配慮すること。

参照ホームページ

WebClass の母性看護学のコースに適宜資料をアップする。

連絡先(メールアドレス)

大久保 功子kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館19F

三隅 順子j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子：前期：毎週火曜日午後

後期（臨地実習期間）：毎週水曜日午後（会議時除く）

アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。

場所／3号館17階リプロ3研

時間割番号	012045																																																																														
科目名	母性看護学Ⅲ				科目ID	MN-331600-L																																																																									
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子[OKUBO NORIKO, MISUMI JYUNKO, HIROYAMA NATSUKO]																																																																														
開講時期	2021 年度前期	対象年次		3	単位数	1																																																																									
実務経験のある教員による授業	該当する																																																																														
英文名	Maternal and Infant NursingⅢ																																																																														
【科目責任者】	大久保功子																																																																														
主な講義場所	保健衛生学講義室2(3号館8階)																																																																														
授業の目的、概要等	<p>母性看護学は、人間の健康を性と生殖の側面から考え、看護的な援助が必要な状況や援助方法を理解する科目である。ここでは主に、妊娠・分娩・育児期の女性と新生児期のこども、および家族の看護課題と看護援助に関する基本的な知識を習得する。</p>																																																																														
授業の到達目標	<p>妊娠、分娩、産褥期の女性と新生児に対する看護の基本的な考え方を理解する。さらに、看護計画の立案、実施・評価を行うための基本的な知識を習得し、健康状態のアセスメントが行えることを目標とする。</p> <p>妊娠期の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(①②③)。</p> <p>分娩期の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(④)。</p> <p>新生児の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(⑤⑦)。</p> <p>産褥期の予防的な看護ケアについて根拠とともに説明できる(⑥⑧)。</p>																																																																														
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>授業内容</th><th>担当教員</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>4/20</td><td>10:30-12:00</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅲ</td><td>妊娠期の看護①</td><td>大久保 功子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング</td></tr> <tr> <td>2</td><td>4/22</td><td>14:40-16:10</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅲ</td><td>妊娠期の看護②</td><td>大久保 功子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング</td></tr> <tr> <td>3</td><td>4/22</td><td>16:20-17:50</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅲ</td><td>妊娠期の看護③</td><td>大久保 功子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング</td></tr> <tr> <td>4</td><td>4/27</td><td>10:30-12:00</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅲ</td><td>産婦の看護ケア</td><td>三隅 順子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) グループワーク、講義</td></tr> <tr> <td>5</td><td>5/13</td><td>14:40-16:10</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅲ</td><td>NICU の看護</td><td>大久保 功子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング</td></tr> <tr> <td>6</td><td>5/13</td><td>16:20-17:50</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅲ</td><td>褥婦の看護ケア</td><td>三隅 順子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) 視聴覚教材使用、アクティブラーニング、グループディスカッション</td></tr> <tr> <td>7</td><td>5/25</td><td>08:50-10:20</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅲ</td><td>新生児の看護ケア</td><td>大久保 功子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング</td></tr> <tr> <td>8</td><td>6/15</td><td>10:30-12:00</td><td>遠隔授業 (同期型)</td><td>母性看護学Ⅲ</td><td>産後の女性への退院支援</td><td>三隅 順子</td><td>対面でできない場合は ZOOM(同期) 視聴覚教材使用、事例検討</td></tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	4/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護①	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング	2	4/22	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護②	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング	3	4/22	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護③	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング	4	4/27	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	産婦の看護ケア	三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期) グループワーク、講義	5	5/13	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	NICU の看護	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング	6	5/13	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	褥婦の看護ケア	三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期) 視聴覚教材使用、アクティブラーニング、グループディスカッション	7	5/25	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	新生児の看護ケア	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング	8	6/15	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	産後の女性への退院支援	三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期) 視聴覚教材使用、事例検討
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																																																								
1	4/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護①	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング																																																																								
2	4/22	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護②	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング																																																																								
3	4/22	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護③	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング																																																																								
4	4/27	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	産婦の看護ケア	三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期) グループワーク、講義																																																																								
5	5/13	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	NICU の看護	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング																																																																								
6	5/13	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	褥婦の看護ケア	三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期) 視聴覚教材使用、アクティブラーニング、グループディスカッション																																																																								
7	5/25	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	新生児の看護ケア	大久保 功子	対面でできない場合は ZOOM(同期) アクティブラーニング																																																																								
8	6/15	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護学Ⅲ	産後の女性への退院支援	三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期) 視聴覚教材使用、事例検討																																																																								
授業方法	講義、反転授業																																																																														
成績評価の方法	学期末試験で9割、グループディスカッションへの参加の程度および退院支援案の内容で1割、他出席率(減点方式)から総合的に評価する。また、母性看護の領域でよく用いられる専門用語に関しては、英語での出題もあるので学習しておくこと。																																																																														
	全提出物が期限内に提出され内容も関連したことが書かれていればテストの点に10点加算される。欠席1回につき-5点減点、遅刻早退は交通機関の遅延などがない限り1回につき-3点減点。																																																																														
成績評価の基準	<p>60点以上を合格とする。</p> <p>90点以上でA+, 80点以上 A, 70点以上 B, 60点以上 Cとする。</p>																																																																														

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。また、この科目的基盤として、基礎看護学や成人看護学で学んだ看護過程の展開や関連図についての知識が必要である。再度、その点について復習をしておくこと。また、関連する臨床のガイドラインなどにも目を通しておくことが望ましい。

試験の受験資格

2／3 の出席をしていること。

教科書

母性看護実践の基本／横尾京子, 中込さと子 編: メディカ出版, 2019

母性看護学／大平光子, 井上尚美, 大月恵理子, 佐々木くみ子, 林ひろみ 編集: 南江堂, 2019

エビデンスをもとに答える妊産婦・授乳婦の疑問 92／堀内成子総編集 ; 飯田真理子 [ほか] 分担編集, 堀内, 成子, 飯田, 真理子, 中村, 幸代, 永森, 久美子, 八重, ゆかり, 南江堂, 2015

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2012.

・前原澄子: 新看護観察のキーポイントシリーズ 母性 I, 中央法規, 2011.

・前原澄子: 新看護観察のキーポイントシリーズ 母性 II, 中央法規, 2011.

・Karen M Stolte, 小西恵美子・太田勝正訳: 健康増進のためのウェルネス看護診断, 南江堂

・本庄英雄, 宮中史子: 周産期エキスピートナーシング 改訂第2版, 南江堂, 2003.

・マレー・エンキン, 他: 妊娠・出産ケアガイド, 医学書院, 1999.

・平山宗宏: 母子健康・栄養ハンドブック, 医師薬出版, 2000.

・堀内成子: 産褥・退院支援ガイドブック, ペリニタルケア 2003年夏季増刊, メディカ出版, 2003.

・北川真理子, 内山和美: 今日の助産 改訂第2版, 南江堂, 2009.

参考書

健康増進のためのウェルネス看護診断／Karen M. Stolte [著] 小西恵美子, 太田勝正 共訳: 南江堂, 1997

周産期エキスピートナーシング／本庄英雄, 宮中史子 編: 南江堂, 2003

妊娠・出産ケアガイド : 安全で有効な産科管理／マレー・エンキン [ほか]著, 北井啓勝 監訳: 医学書院エムワイダブリュー, 1997

今日の助産 : マタニティサイクルの助産診断・実践過程／北川真理子, 内山和美編集, 北川, 真理子, 内山, 和美, 生田, 克夫: 南江堂, 2019

ウェルネスからみた母性看護学過程+病態関連図／佐世正勝: 医学書院, 2016

その他, 講義の進行の伴い, 参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は、母性看護学演習と同時に受講することを前提として計画され、後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。他の看護専門科目で学習した看護理論、看護過程の考え方などを十分理解した上で参加していただきたい。

履修上の注意事項

講義では、学生に問題を投げかけ、学生がそれについて意見を出し合う時間を多く持つ予定である。自分の意見を積極的に述べ、他者に論理的に説明する能力を高める努力をしてほしい。

備考

個人情報の保護については、自分自身のみならず、患者情報、講義で用いた写真などに関して十分配慮すること。

参照ホームページ

WebClass の母性看護学のコースに適宜資料をアップする。

連絡先(メールアドレス)

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子: 前期: 毎週火曜日午後

後期(臨地実習期間) : 毎週水曜日午後(会議時除く)

アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。

場所／3号館 17階リプロ3研

時間割番号	012046										
科目名	母性看護学演習				科目ID	MN-351700-S					
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子[OKUBO NORIKO, MISUMI JYUNKO, HIROYAMA NATSUKO]										
開講時期	2021 年度前期	対象年次		3	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する										
英文名	Seminar of Maternal and Infant Nursing										
【科目責任者】	大久保功子										
主な講義場所	<p>保健衛生学講義室2(3号館8階)、看護学実習室2(3号館17階)ほか 対面不可の状況の場合は ZOOM で同期とする。 ただし、対面でないと出来ない演習も含まれているため、その場合は延期となる可能性もある。</p>										
授業の目的、概要等	<p>この科目では、母性看護学で学んだ基礎知識を、実際の看護展開に活用できるよう、複数の周産期の女性事例に関する看護計画立案を通して母性看護学領域に特有の看護の思考過程を習得する。また、母性看護学領域に特有の援助技術を実習室における技術演習、ロールプレイを通して習得する。</p>										
授業の到達目標	<p>母性看護学で学習した知識を基礎として、母子の健康をアセスメントし看護援助の計画・立案が行え、母性看護学の対象と看護援助の特徴をふまえた看護技術を習得し、母性看護学実習を行う上で必要な看護実践能力を養うことを目標とする。</p> <p>母性看護学 I II IIIで学んだことを活かし、ペーパークライエントのアセスメントができる。</p> <p>母性看護学 I II IIIで学んだことを活かし、ペーパークライエントに対する看護計画ができる。</p> <p>アセスメント手技の実演ができる。</p> <p>ケアの手技の実演ができる。</p> <p>模擬クライエントに対する退院支援(保健指導)の実演ができる。</p>										
授業計画											
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考				
1	4/8	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	母性看護 学演習	妊娠褥婦ケア:食事 アセスメント	大久保 功子, 三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期)とする。ペアで看護師-患者ロールプレイにより相互に食事内容の情報収集。 ZOOM の場合、ブレイクアウトでペアで情報収集を行う。				
2	4/8	14:40-16:10	遠隔授業 (非同期型)	母性看護 学演習	妊娠褥婦ケア:食事 アセスメント	大久保 功子, 三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期)とする。ペアで看護師-患者ロールプレイにより相互に食事内容の情報収集。				
3	4/23	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	母性看護 学演習	授乳に関する援助	井村 真澄	対面でできない場合は ZOOM(同期)とする。 クイズへの参加、風船を用いた演習				
4	5/10	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	母性看護 学演習	模擬分娩見学	三隅 順子, 河合 蘭, 中根 直子, 中山 富子	対面でできない場合は ZOOM(同期)とする。 その場合、視聴覚教材使用 事前課題あり、臨床スタッフとディスカッション				
5	5/18	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	母性看護 学演習	産褥事例の看護計 画立案 発表準備 (グループワーク)	三隅 順子	対面でできない場合は ZOOM(同期)とする。グループワーク				
6-7	5/27	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	母性看護 学演習	産褥事例看護過程 の展開 看護計画 グループ発表	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子	対面でできない場合は ZOOM(同期)とする。 発表				
8-9	6/2	14:40-17:50	看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	母性看護 学演習	技術テストにむけ ての技術練習:妊 産婦・褥婦・新生児/	三隅 順子, 廣山 奈津子	対面で行う。場合によって、感染防止のた め小グループに分け集合とする可能性も あり。				

					妊産婦へのフットケア		
10-11	6/8	14:40-17:50	看護学実習室1、 看護学実習室2、 保健衛生学科 講義室1	母性看護 学演習	技術テスト:妊産婦 観察、新生児観察、 褥婦観察 技術演 習:沐浴	三隅 順子、 大久保 功子、 廣山 奈津子	対面で1対1でのテストを行う。各自の試験 は1日2種目とし、個々の試験時間5分前 までに会場前集合し、終わり次第解散とす る。沐浴は14人で実施。FS要。
12-13	6/10	08:50-12:00	看護学実習室1、 看護学実習室2、 保健衛生学科 講義室1	母性看護 学演習	技術テスト:妊産婦 観察、新生児観察、 褥婦観察 技術演 習:沐浴	三隅 順子、 大久保 功子、 廣山 奈津子	同上
14	7/1	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	母性看護 学演習	褥婦の退院に向け た退院支援:ロール プレイ	三隅 順子、 大久保 功子、 廣山 奈津子、 館ヶ澤 寿香	対面でできない場合はZOOM(同期)とす る。 支援案に基づきパンフレットなどを準 備し褥婦役の学生に指導を行う。グループ ごとのブレイクアウト内で実施、スーパー バイザーも各グループに同席する。
15	7/1	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	母性看護 学演習	褥婦の退院に向け た退院支援:ロール プレイ	三隅 順子、 大久保 功子、 廣山 奈津子、 館ヶ澤 寿香	対面でできない場合はZOOM(同期)とす る。 支援案に基づきパンフレットなどを準 備し褥婦役の学生に指導を行う。グループ ごとのブレイクアウト内で実施、スーパー バイザーも各グループに同席する。
16	7/1	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	母性看護 学演習	実習オリエンテー ション 各病棟から	大久保 功子、 三隅 順子、 廣山 奈津子、 瀬戸 愛	対面でできない場合はZOOM(同期)とす る。

授業方法

グループワーク、グループ発表、技術テスト、ロールプレイなど

授業内容

実習に出て用いる思考および技術の基礎の練習。テストに向けての練習は WebClass にアップした技術デモの視聴や実習室での実演で準備すること。

成績評価の方法

レポート、技術テスト、ロールプレイから総合的に評価する。出席を重視する。全出席の場合は加点、欠席は減点対象となる。

・レポート点【10%】: 表紙がついているか、見出しが適切か、段落ごとに1マス下げてあるか、適切な文献で根拠を押さえているか、自分の意見・考察が述べられているか、それらの区別がつくように書いているか、指定文字数にほぼ達しているか、文献を複数用いているか、文献リストの書き方が正しいかなどで評価する。

・技術演習テスト【45%】(妊産婦15人、褥婦15人、新生児15人): 各項目とも合否どちらかとする。Web Class に up する映像を視聴し、事前練習してテストに臨むこと。特別な事情がない限り、視聴履歴がないことも減点対象とする。

・看護過程 & ロールプレイ【40%】: 準備/発表内容/態度、看護過程記録の期限内提出と内容で評価する。

成績評価の基準

総合で 60 点以上であること。

90 点以上で A+, 80 点以上 A, 70 点以上 B, 60 点以上 C とする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはテキストで予習をしておくこと。

基礎看護学や成人看護学で学ぶ看護過程や関連図については習得されていることが前提なので復習をしておくこと。臨床の状況について引きつけて考えるためには、母性衛生、助産学会誌などの学術誌、およびペリネイタルケアや助産雑誌などの専門誌のための月刊誌などの内容に日常的にアクセスしておくことが望ましい。

教科書

母性看護技術 = Practice to maternal nursing／荒木奈緒、中込さと子、小林康江編、荒木、奈緒、中込、さと子、小林、康江、メディカ出版、2019

母性看護学Ⅱ：マタニティサイクル：母と子そして家族へのよりよい看護実践／大平光子〔ほか〕編集、大平、光子、井上、尚美、大月、恵理子、佐々木、くみ子、林、ひろみ、南江堂、2018

食品成分表／香川 明夫 監修,香川 明夫,:女子栄養大学出版部, 2020

エビデンスをもとに答える妊産婦・授乳婦の疑問 92／堀内成子 総編集,飯田真理子, 中村幸代, 永森久美子, 八重ゆかり 分担編集,堀内,成子, 1955-,飯田, 真理子,中村, 幸代,永森, 久美子,:南江堂, 2015

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性 I , 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性 II , 中央法規, 2011.

・横尾京子, 中込さと子:ナーシング・グラフィカ 31 母性看護学—母性看護技術, メディカ出版, 2007.

・WHO, (戸田律子訳):WHOの59カ条 お産のケア実践ガイド, 農文協, 1997.

・Doenges,M.E.&Moorhouse,M.F.(柴山森二郎監訳):看護診断にもとづく母性・新生児看護ケアプラン, 医学書院, 1998.

・ Karen M Stolte,(小西恵美子・太田勝正訳):健康増進のためのウェルネス看護診断, 南江堂

・ 松原まなみ, 山西みな子:母乳育児の看護学 考え方とケアの実際, メディカ出版, 2003.

・ 鈴木幸子, 吉沢豊予子:新版 マタニティアセスメントガイド, 新興交易医書出版部, 2003.

・ 末原紀美代:正常産のケア指針, MCメディカ出版, 2002.

・ 進 純郎:周産期の臨床手技106, MCメディカ出版, 2002.

・ 堀内成子:産褥・退院支援ガイドブック, MCメディカ出版, 2003.

・ 長谷川充子:周産期の保健指導とケアQ&A, MCメディカ出版, 2003.

・ レズリー・ページ:新助産学, メディカ出版, 2002.

参考書

WHOの59カ条お産のケア実践ガイド／WHO／[編],戸田律子／訳:農山漁村文化協会, 1999

出産革命のヒロインたち : アメリカのお産が変わったとき／マーコット・エドワーズ, メアリー・ウォルドルフ 著,河合蘭 訳:メディカ出版, 1997

母乳育児の看護学 : 考え方とケアの実際／松原まなみ, 山西みな子 著,:メディカ出版, 2003

母乳育児支援スタンダード／日本ラクテーション・コンサルタント協会 編集:医学書院, 2012

マタニティアセスメントガイド = Maternity Assessment Guide／吉沢豊予子, 鈴木幸子 編著,:真興交易医書出版部, 2012

写真でわかる助産技術 : 妊産婦の主体性を大切にしたケア、安全で母子に優しい助産のわざ／平澤美恵子, 村上睦子 監修,:インターメディカ, 2012

カラー写真で学ぶ周産期の看護技術／櫛引美代子 著,:医歯薬出版, 2007

カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術／櫛引美代子 著,:医歯薬出版, 2006

母性／前原澄子 編:中央法規出版, 2011

母性／前原澄子 編:中央法規出版, 2011

佐世正勝,石村由利子:ウェルネスからみた母性看護過程十病態関連図, 医学書院, 2016.

他科目との関連

この科目は、母性看護学と同時に受講することを前提として計画され、後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識と基礎技術を習得するための科目である。他の看護専門科目で習得した看護技術を母性看護学のケアの特徴に沿って活用していくため、既習の知識・技術を十分理解した上で参加していただきたい。また、この科目は、母性看護学実習に参加するための取得必須科目である。

履修上の注意事項

演習は身体を使って練習することがメインであるため、欠席すると同じレベルの補習はできないので注意していただきたい。

備考

個人情報保護法および専門職としての守秘義務等に鑑み、自分が知り得た情報の扱いには気をつけること。

参照ホームページ

WebClass の母性看護学演習のコースに適宜資料をアップする。

Youtube にも下記について up している。

赤ちゃんの沐浴(1か月まで):<https://www.youtube.com/watch?v=T2P9cS1M9ds>

赤ちゃんのおむつ換え:<https://www.youtube.com/watch?v=Nham8QzkuXY>

赤ちゃんの全身観察:https://www.youtube.com/watch?v=IwotWI6_gFo&t=2s

連絡先(メールアドレス)

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後

後期(臨地実習期間) : 毎週水曜日午後(会議時除く)

アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。

場所／3号館 17階リプロ3研

時間割番号	012047				
科目名	母性看護学実習			科目 ID	MN-371800-E
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子[OKUBO NORIKO, MISUMI JYUNKO, HIROYAMA NATSUKE]				
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				
英文名	Practice of Maternal and Infant Nursing				
【科目責任者】	大久保功子				
主な講義場所	看護学実習室2(3号館17階)、附属病院、賛育会病院ほか				
授業の目的、概要等	この科目では、母性看護学で学んだ基礎知識を、実際の看護展開に活用できるよう、周産期の女性に関する看護計画立案と実践を通して母性看護学領域に特有の看護の思考過程および基礎技術を習得する。				
授業の到達目標	母性看護学で学習した知識を基礎として、母子の健康をアセスメントし看護援助の計画・立案が行え、母性看護学の対象と看護援助の特徴をふまえた看護技術を習得し、母性看護学実習を行う上で必要な看護実践能力を養うことを目標とする。				
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容
1	9/27	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション
2	9/28	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
3	9/30	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
4	10/1	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
5	10/4	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
6	10/5	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
7	10/7	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
8	10/8	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
9	10/11	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション
10	10/12	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
11	10/14	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
12	10/15	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
13	10/18	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
14	10/19	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習
15	10/21	08:00-17:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	母性看護学実習	産科領域での看護実習

授業方法
病院での受持に対する看護過程の展開実習および見学実習。
授業内容
受持への看護過程を展開し、指導者とともに看護を提供する。
成績評価の方法
実習初日技術テスト4種目中3種目不合格であった場合は、患者の安全が担保できないため、その時点で落第とする。 病棟に出てからの評価は以下の通りである。 臨床での思考、態度、技術の側面から総合的に評価する。
A. 看護の思考過程 40% 情報収集、アセスメント、看護問題・課題の抽出、目標、具体策の設定、看護計画の評価などを実習記録と実習内容からそれぞれ5段階で評価する。
B. 看護技術 25% 観察技術、援助技術などを実習内容からそれぞれ5段階で評価する。
C. 実習態度・意欲 35% 積極性、責任感、チームワーク、社会性など専門職としての態度、行動をそれぞれ5段階で評価し、ABCの合計をもって総合評価する。
出席を重視する。技術テストをクリアしていた場合でも、3/4以上の出席がなければ落第とする。
成績評価の基準
90点以上でA+、80点以上A、70点以上B、60点以上Cとする。
準備学習等についての具体的な指示
周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはテキストで予習しておくこと。 基礎看護学や成人看護学で学ぶ看護過程や関連図については習得されていることが前提なので復習をしておくこと。臨床の状況について引きつけて考えるためには、母性衛生、助産学会誌などの学術誌、およびペリネイタルケアや助産雑誌などの専門誌のための月刊誌などの内容に日常的にアクセスしておくことが望ましい。
試験の受験資格
母性看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、演習を修了していること。
モジュールの単位判定
3/4の出席があること。
教科書
母性看護技術 = Practice to maternal nursing／荒木奈緒、中込さと子、小林康江編、荒木、奈緒、中込、さと子、小林、康江、メディカ出版、2019 母性／前原澄子 編、前原、澄子、1936-2019、中央法規出版、2011 母性Ⅱ／前原澄子 編、中央法規出版、2011 エビデンスをもとに答える妊娠婦・授乳婦の疑問92／堀内成子 総編集、飯田真理子、中村幸代、永森久美子、八重ゆかり 分担編集、堀内、成子、1955-、飯田、真理子、中村、幸代、永森、久美子、南江堂、2015 ・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①、メディカ出版、2019. ・前原澄子：新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ、中央法規、2011. ・前原澄子：新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ、中央法規、2011. ・横尾京子、中込さと子：ナーシング・グラフィカ31 母性看護学—母性看護技術、メディカ出版、2007. ・WHO（戸田律子訳）：WHOの59力条 お産のケア実践ガイド、農文協、1997. ・北山真理子ら：今日の助産、南江堂、2013. ・Doenges,M.E.& Moorhouse,M.F.（柴山森二郎監訳）：看護診断にもとづく母性・新生児看護ケアプラン、医学書院、1998. ・Karen M Stolte、小西恵美子・太田勝正訳：健康増進のためのウェルネス看護診断、南江堂 ・松原まなみ、山西みな子：母乳育児の看護学 考え方とケアの実際、メディカ出版、2003. ・鈴木幸子、吉沢豊予子：新版 マタニティアセスメントガイド、新興交易医書出版部、2016. ・末原紀美代：正常産のケア指針、MCメディカ出版、2002. ・進 純郎：周産期の臨床手技106、MCメディカ出版、2002. ・堀内成子：産褥・退院支援ガイドブック、MCメディカ出版、2003. ・長谷川充子：周産期の保健指導とケアQ&A、MCメディカ出版、2003.
参考書

WHOの59カ条お産のケア実践ガイド／WHO／[編]戸田律子／訳：農山漁村文化協会, 1999
ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図／佐世正勝, 石村由利子編, 佐世, 正勝, 石村, 由利子, 医学書院, 2016
母乳育児の看護学：考え方とケアの実際／松原まなみ, 山西みな子 著, メディカ出版, 2003
母乳育児支援スタンダード 2版／日本ラクテーション・コンサルタント協会編, 日本ラクテーション・コンサルタント協会, 医学書院, 2015
マタニティアセスメントガイド／吉沢豊予子, 鈴木幸子編著, 吉沢, 豊予子, 鈴木, 幸子, 真興交易医書出版部, 2019
写真でわかる助産技術：妊娠婦の主体性を大切にしたケア、安全で母子に優しい助産のわざ／平澤美恵子, 村上睦子 監修, インターメディカ, 2012
その他、演習の進行に伴い参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は、母性看護学と一緒に受講することを前提として計画され、後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識と基礎技術を習得するための科目である。他の看護専門科目で習得した看護技術を母性看護学のケアの特徴に沿って活用していくため、既習の知識・技術を十分理解した上で参加していただきたい。また、この科目は、母性看護学実習に参加するための取得必須科目である。

履修上の注意事項

演習が主体であるため、欠席すると補習はできないので注意してほしい。

備考

個人情報の保護については、患者情報の記録への取り扱いに注意し病棟外での会話を慎むこと、また患者のみならず自分自身の情報についても安全のために注意して扱うこと。

参照ホームページ

赤ちゃんの沐浴(1か月まで)：<https://www.youtube.com/watch?v=T2P9cS1M9ds>

赤ちゃんのおむつ換え：<https://www.youtube.com/watch?v=Nham8QzkuXY>

赤ちゃんの全身観察：https://www.youtube.com/watch?v=IwotWl6_gFo&t=2s

連絡先(メールアドレス)

大久保 功子:kouko.rhn@tmd.ac.jp 3号館 19F

三隅 順子:j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後

後期(臨地実習期間):毎週水曜日午後(会議時除く)

アポイントを取っていただければ、前期に関してはこの限りではありません。

場所／3号館 17階リプロ3研

時間割番号	012048									
科目名	老年看護学			科目ID	MN-331900-L					
担当教員	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江[OGATA YASUKO, SASAKI Miki, YUMOTO YOSHIE]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	3					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名: Gerontological Nursing										
【科目責任者】緒方泰子										
主な講義場所										
・遠隔授業(同期型)										
・対面の場合は、保健衛生学講義室2(3号館8階)ほか										
授業の目的、概要等										
高齢者の心身・社会経済的な変化に関する理解を基盤として、老年期に発症しやすい健康障害・機能障害とそれに対する基本的な支援技術を習得する。老年看護学の背景となる日本社会における保健・医療・福祉の動向を知り、医療チームの一員として多角的な視野をもって看護を提供するための基本的な態度を養う。										
授業の到達目標										
1) 高齢者の健康障害とそれに伴う諸問題、およびそれに対する基本的な支援について理解し説明できる。										
2) 高齢者と家族に対する看護援助の基本を理解し説明できる。										
3) 高齢者の健康状態を維持するための保健・福祉・医療の活動、看護の役割について理解し説明できる。										
4) 多くの人生経験をつんだ高齢者を尊重する態度示すことができる。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	4/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢者を理解するための基本的概念について学ぶ。 高齢者の視点を理解し、看護の基本姿勢を養う。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
2	4/12	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する (1)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
3	4/19	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢者ケアにおけるリスク管理	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
4	4/19	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	薬物動態・静態の加齢変化と高齢者に与薬する薬物の特徴、薬剤管理の基本的知識について学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹 湯本 淑江				
5	4/26	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する (2)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
6	4/26	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する (3)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
7	5/10	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する (4)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
8	5/10	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(1)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
9	5/17	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する (5)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
10	5/17	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	退院支援、地域と病院の連携、看護の継続などの実態及びこれらに関する高齢者における課題について学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹 湯本 淑江 乙坂 佳代				
11	5/24	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ(1)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
12	5/24	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	特別養護老人ホームなど、医療機関以外での看護師の役割について学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹 湯本 淑江 川崎 千鶴子				
13	5/31	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ(2)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				

14	5/31	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢者をケアする介護職と看護職の連携のあり方を学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江 望月 太敦
15	6/7	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢者・ケアに関する課題とケアの基本を学ぶ(3)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹
16	6/7	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢者看護における倫理的シレンマとそれに対する意思決定プロセスを学ぶ。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹, 長尾 祥子
17	6/14	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢者・ケアに関する課題とケアの基本を学ぶ(4)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹
18	6/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	認知症の病態および症状とその基本的支援方法を学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江 村山 紀子
19	6/21	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(2)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹
20	6/21	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	老年症候群・高齢者の転倒やせん妄の実際と予防ケア、身体抑制の方法や身体抑制回避・解除に向けた取り組みについて学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江 和田 奈美子
21	6/28	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢者と終末期について学ぶ。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹
22	6/28	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(3)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹
23	7/5	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(4)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹
24	7/5	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(5)。	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹

授業方法

講義・グループワーク・プレゼンテーション・モデルケースを使用しての看護展開

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況

※出席とは同期型授業への参加をさす。

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

※原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

※授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加度合い。

3)期末テスト

※テキストや配布資料等に記載された英語(単語や文章)をそのまま試験に引用することもあるため、よく理解しておく必要がある。

成績評価の基準

1)出席状況(30%)

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度(30%)

3)期末テスト(40%)

準備学習等についての具体的な指示

- ・授業中に提示された課題について、グループ毎に取り組み(グループワーク)、学習成果を発表する機会を設けている。
- ・課題についての事前準備学習(情報収集、資料作成など)が必要となる。課題には、老年医学等の英文の専門書を用いて行うものも含まれる。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に3／4以上出席していること。

教科書

最新老年看護学／水野敏子 [ほか] 編水野 敏子,高山 成子,三重野 英子,會田 信子,水谷 信子,: 日本看護協会出版会, 2020

参考書

実践高齢者のフィジカルアセスメント：手技と事例で学ぶ：老化を理解して、異常を見逃さない！：オールカラー：病院・在宅・訪問で使える／角濱春美 著,大西基喜 医学監修,: メディカ出版, 2017

Ham's primary care geriatrics : a case-based approach/[edited by] Richard J. Ham ... [et al.].Ham, Richard J.,Sloane, Philip D.,Warshaw, Gregg A.,Potter, Jane F.,Flaherty, Ellen,:Elsevier/Saunders, 2014
生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図／山田律子, 萩野悦子, 内ヶ島伸也, 井出訓 編集:医学書院, 2016
根拠と事故防止からみた老年看護技術／亀井智子 編集:医学書院, 2016
認知症ケアガイドブック = GUIDEBOOK FOR DEMENTIA CARE／日本看護協会 編集:日本看護協会,:照林社, 2016
老年看護学技術：最後までその人らしく生きることを支援する／真田弘美, 正木治恵編集真田, 弘美,正木, 治恵,:南江堂, 2020

他科目との関連

対象別看護として高齢者を対象としているため、病態学、生理学などの基礎的な医学知識や基礎・成人看護学における内容をふまえながら、高齢者の特徴等にもとづく看護学の授業を展開する。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。 5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

備考

- ・授業内では、グループワークを実施し、その実施結果のプレゼンテーションを行う。積極的に参加すること。
- ・オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

2020 年度の授業評価を踏まえ、遠隔授業を受けやすい環境調整を行う(ハウリング防止等)。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館19階

オフィスアワー

緒方 泰子オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012049									
科目名	老年看護学演習			科目ID	MN-352000-S					
担当教員	佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江[SASAKI Miki, OGATA YASUKO, YUMOTO YOSHIE]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名: Seminar of Gerontological Nursing										
【科目責任者】佐々木美樹										
主な講義場所										
・遠隔授業(同期型)										
・対面の場合は、保健衛生学講義室2(3号館8階)、看護学実習室1・2(3号館 17 階)ほか										
授業の目的、概要等										
高齢社会を迎える老年看護における独自の看護の役割と機能を果たすため、身体的・精神的・社会的な看護ケアの専門的な知識や技術が求められている。特に、老年期の特徴を踏まえて高齢者の心身の健康状態を適切にアセスメントし、必要な看護やケアを提供することは、看護職者の役割として重要である。老年看護学の実践に必要な基礎的なアセスメントの知識・技術について、演習を通じて習得する。また、患者の立場を経験することを通じて、対象の立場に立った看護やケアを提供していく重要な視点について学ぶ。										
授業の到達目標										
1)老年期にある対象の健康障害・機能障害をアセスメントするための基本技術を習得する。										
2)老年期にある対象の身体的・精神的・社会的側面の知識に基づき、1)の基本技術を実施できる。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	4/13	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	フィジカルアセスメントとは何か 査定の基本技術・生活状況・精神状態(認知機能・うつ)	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
2	4/13	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	感染予防対策(手指衛生等)	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
3	4/13	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	頭頸部(頭髪・頭蓋・目・耳・鼻・口)のアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江				
4	4/27	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	腹部のアセスメント	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
5	4/27	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	摂食・嚥下機能のアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江 雨宮 輝美				
6	4/27	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	呼吸器のアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江				
7	5/11	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	胸部(心臓)のアセスメント	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
8	5/11	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	神経系のアセスメント	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
9	5/11	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	患者のニーズのアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 落合 祐子				
10	5/18	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	認知症のケア	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹 藤原 麻由礼				
11	5/18	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	筋骨格系のアセスメント	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
12	5/18	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	フィジカルアセスメント総括1	湯本 淑江 緒方 泰子, 佐々木 美樹				
13	5/27	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	皮膚のアセスメント	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
14	6/1	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	老年看護学演習	フィジカルアセスメント総括2 (1)	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
15	6/1	16:20-17:50	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	老年看護学演習	フィジカルアセスメント総括2 (2)	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
授業方法										
グループワーク、プレゼンテーション、演習 (老年期にある対象を理解した上で、看護援助の知識に基づいた技術をグループワークや演習から養う。)										

成績評価の方法

以下の項目により評価を行う。

1)出席状況

※出席とは同期型授業または対面授業への参加をさす。

2)授業への参加態度

※原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

3)技術チェックへの準備状況(ポイントを口頭で説明しながら実施できること)

4)課題レポート

※テキストや配布資料で掲載された英語(単語、英文)を授業中に用いることがあるため、よく理解をしておくこと。

成績評価の基準

1)出席状況(20%)

2)授業への参加態度(20%)

3)技術チェック(10%)

4)課題レポート(50%)

準備学習等についての具体的な指示

1)講義・演習内容について、テキストの当該個所を事前学習しておくこと。テキストに掲載されていない講義内容は授業中に資料として配布するが、関連する内容について他の書籍等で確認しておくとなおよい。

2)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。

3)演習着については、随時指定する。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に3／4以上出席していること。

教科書

フィジカルアセスメント完全ガイド = Physical Assessment Ultimate Guide／藤崎郁 執筆,伴信太郎 医学監修・実技指導,学研メディカル秀潤社, 2017

参考書

実践高齢者のフィジカルアセスメント：手技と事例で学ぶ：老化を理解して、異常を見逃さない！：オールカラー：病院・在宅・訪問で使える／角濱春美 著,大西基喜 医学監修,メディカ出版, 2017

根拠と事故防止からみた老年看護技術／亀井智子 編集:医学書院, 2016

生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図／山田律子, 萩野悦子, 内ヶ島伸也, 井出訓 編集:医学書院, 2016

他科目との関連

老年看護学をふまえて、演習を行う。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)原則として欠席は認めない 4)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

備考

・「フィジカルアセスメント総括2」は、対面で行う可能性がある。

・授業内では、グループワークを実施し、その結果のプレゼンテーションを行うこともある。積極的に参加すること。

・オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

・2020 年度の授業評価結果を踏まえ、引き続き、遠隔授業環境を調整し(ハウリングの防止等)、自宅でも実技演習が行えるよう工夫する(物品の事前配布等)。

連絡先(メールアドレス)

佐々木 美樹:m-sasaki.gh@tdm.ac.jp

オフィスアワー

佐々木 美樹:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとったうえで訪問してください。

連絡先メール:m-sasaki.gh@tdm.ac.jp

時間割番号	012050									
科目名	リハビリテーション看護学			科目ID	MN-392100-L					
担当教員	佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江[SASAKI Miki, OGATA YASUKO, YUMOTO YOSHIE]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名 : Rehabilitation Nursing										
【科目責任者】佐々木美樹										
主な講義場所										
・遠隔授業(同期型)										
・対面の場合は、保健衛生学講義室2(3号館8階)ほか										
授業の目的、概要等										
リハビリテーションに関する概念や理論、リハビリテーションに関わる多職種の役割・機能・具体的活動について学ぶとともに、リハビリテーションにおける多職種連携や看護の役割について理解する。更に、リハビリテーションに関する基本的な技術や看護について講義・演習等を通して修得する。										
授業の到達目標										
1)リハビリテーション看護学の位置づけを明確にするとともに、リハビリテーションの概念を人間の基本的生活を保障するための人権思想や、ノーマライゼーション、QOLの観点から説明できる。										
2)リハビリテーション看護の概念、対象、方法を学び、リハビリテーションチームにおける看護、他の専門職種の役割・機能と連携によるチームアプローチを理解する。										
3)リハビリテーション分野における活動、作業療法、言語療法等の基本を理解し説明できる。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	4/19	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	リハビリテーション医学 総論	リハビリテーション医学総論、運動器・脳血管疾患のリハビリテーション、廃用症候群	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹, 酒井 朋子				
2	4/26	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	リハビリテーションにおける多職種連携	リハビリテーションにおける多職種連携、実際の活動例	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江 大川 智恵子				
3	5/10	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	リハビリテーションにおける職種:言語聴覚士	言語療法とは何か、言語聴覚士の役割・機能、言語障害の種類と評価法、言語訓練(失語症、構音障害)	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江 泉田 陸				
4	5/17	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	リハビリテーション看護の実際(2)	摂食嚥下障害におけるリハビリテーション看護	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江 仙 みづえ				
5	5/24	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	リハビリテーション看護の実際(1)	脊椎損傷を持つ患者へのリハビリテーション看護	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江 室岡 陽子				
6	5/31	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	リハビリテーションにおける職種:理学療法士	理学療法とは何か、理学療法の役割・機能、機能障害における評価法、機能回復訓練と補助具による支援	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江 岡安 健				
7	6/7	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	リハビリテーションにおける職種:作業療法士	作業療法とは何か、作業療法士の役割・機能、作業療法の種類と評価法、作業療法訓練	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹, 新田 淳子				
8	6/7	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	リハビリテーションにおける多職種連携と看護の役割	高齢者へのリハビリテーション看護・多職種連携	緒方 泰子, 湯本 淑江 佐々木 美樹				
授業方法										
講義・演習、グループワーク、プレゼンテーションなど										
成績評価の方法										
以下の項目により評価を行う。										
1)出席状況・授業への参加態度										
※出席とは同期型授業、または対面への授業への参加をさす。										
※原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。										

<p>2)授業ごとのミニレポート ※授業ごとの内容のポイントをレポートにして提出する。</p> <p>3)授業に関連した課題レポート ※課題レポートは、講義内容に関連した分野の研究論文(英文)をもとに作成する。研究論文(英文)は後日提示する。</p>
成績評価の基準
1)出席状況・授業への参加態度(30%)
2)授業ごとのミニレポート(30%)
3)授業に関連した課題レポート(40%)
準備学習等についての具体的な指示
講義内容について予習をしておくこと。テーマごとに専門の講師が講義を行う予定なので、基礎知識があると質問がしやすいという利点がある。 また後期の老年看護学実習においてリハビリテーションが必要な患者を受け持つ機会もあるため、実習の前にリハビリテーションの知識を深めておくことでより良い実習に向けた準備となる。
試験の受験資格
本学試験規則に準じ、授業に3／4以上出席していること。
参考書
リハビリテーション看護(改訂第3版)：障害のある人の可能性とともに歩む／酒井 郁子 編集,金城 利雄 編集,深堀 浩樹 編集,酒井 郁子,金城 利雄,深堀 浩樹,:南江堂, 2021-01-19
他科目との関連
解剖学、生理学、疾病論などの医学知識、基礎看護学、ライフサイクル別看護学、在宅ケア論、地域看護学系の教科目のみならず、社会福祉学、保健医療制度論などの分野と関係づけていくことが必要である。後期の臨地実習でリハビリテーション病院を希望する者は、この科目を履修すること。病院の受け入れ人数には上限がある。ただし、今年度は、感染拡大の影響を受け、病院の受け入れ中止の可能性もある。
履修上の注意事項
1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)実技を学ぶ際の服装については隨時指示する。 5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。
備考
・授業内では、グループワークを実施し、その結果のプレゼンテーションを行う。積極的に参加すること。 ・オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。 ・2020年度の授業評価では改善が必要な点はなかったが、グループワーク等のアクティブラーニングに加え、疑問点等への丁寧な対応を継続する。
連絡先(メールアドレス)
佐々木 美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp
オフィスアワー
佐々木 美樹オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとったうえで訪問してください。 連絡先メール:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp

時間割番号	012051									
科目名	老年看護学実習			科目ID	MN-372200-E					
担当教員	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江[OGATA YASUKO, SASAKI Miki, YUMOTO YOSHIE]									
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	3					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名: Gerontological Nursing Practicum										
【科目責任者】緒方泰子										
授業の目的、概要等										
老年期にある人と家族の特徴を理解し、対象の個別性や状況に応じた看護の必要性を十分に考慮した上で、看護実践を展開する。										
授業の到達目標										
(1)老年期にある人とその家族(以下、対象者とする)の身体的・心理的・社会的側面を統合し、全体像をとらえ、看護過程を展開する。										
1)情報収集										
①対象者の身体的側面の情報を収集する。(健康障害の経過、治療、予後など)										
②対象者の心理的側面の情報を収集する。(生きがいなど対象者が大切にしていることも含める)										
③家族的背景およびソーシャルサポートなどの社会的側面の情報を収集する。										
2)アセスメント										
①対象者の日常生活全般における動作や活動の障害および精神機能のレベルを分析する。										
②対象者の自立と依存のバランスを考え、自己決定やセルフケア能力のレベルを明らかにする。										
③対象者の潜在している能力や機能を的確に判断する。										
④対象者の特徴を統合し、全体像を図示し、説明する。										
⑤看護問題について、個別性を反映した適切な表現で記述する。										
3)計画立案										
①看護問題に対し、長期的・短期的目標を設定する。										
②状況に合わせて、看護上の問題の優先順位をつける。										
③対象者の個別性を考慮し、実施可能な看護援助を記述する。										
④スタッフとの連携を図るため、計画を説明し共有する。										
4)計画の実施										
①対象者の安全・安楽を考慮し、的確な技術で実施する。										
②看護援助に対する対象者の反応に応じて、計画を修正する。										
③実施した看護援助の状況を、スタッフに説明することができる。										
5)評価										
①目標への達成度の評価を記述する。										
②評価に基づき、看護計画を修正する。										
(2)保健・医療・福祉のスタッフの役割・活動内容を理解し、看護の役割、活動内容について考える。										
1)対象者に関する保健・医療・福祉職の活動内容を把握する。										
2)看護と介護を比較し、共通点、相違点を考える。										
3)看護の役割・活動の課題と展望を考える。										
(3)高齢者の専門医療機関(老人病院)や施設の特徴を理解する。										
一般病院と高齢者の専門医療機関や施設について、基本的なシステムの違いを知るとともに、ケアに関連してどのような課題があるのかを整理する。										
*各実習期間を通じて上記目標が達成される										

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	9/27	08:50-17:50	看護学実習室1	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子、湯本 淑江 佐々木 美樹
6-10	9/28	08:50-17:50	その他(保・高齢社会 看護ケア開発学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子、湯本 淑江 佐々木 美樹

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

- 1)出席状況
- 2)実習への取組態度
- 3)看護計画等の記録物の内容
- 4)課題レポート

成績評価の基準

1)出席状況 25% *必要出席日数は本学試験規則に準じ、全実習日数の3/4以上。

2)実習への取組態度 10%

3)看護計画等の記録物の内容 40%

4)課題レポート 25%

上記1)～4)の配分を基本に総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

実習初日の学内演習で、受け持ち患者が概ね決定するため、関連する疾患などを自己学習する必要がある。老年期の患者は疾患が多いため、前期の講義などで疾病、薬剤、検査、アセスメントなどの基礎知識を押さえておくことで、実習が順調に進む。

参考書

ユマニチュード入門／本田美和子、イヴ・ジネスト、ロゼット・マレスコッティ 著、医学書院、2014

図解・症状からみる老いと病気とからだ／高橋龍太郎 著、中央法規出版、2002

高齢者の看護技術：カラー写真で学ぶ／大塚眞理子 編著、医歯薬出版、2012

エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図／阿部俊子 監修、小板橋喜久代、山本則子 編集、中央法規出版、2013

高齢者排尿障害マニュアル：より適切な対応をめざして／老人泌尿器科学会 編、メディカルレビュー社、2002

高齢者介護施設の褥瘡ケアガイドライン／高齢者施設における褥瘡ケアガイドライン作成委員会 編、中央法規出版

整形外科／加藤光宝 編、中央法規出版、2011

高次脳機能障害学／石合純夫 著、医歯薬出版、2012

備考

ツイッター等のソーシャルメディアへの投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

2020 年度の授業評価結果を踏まえ、2021 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館19階

佐々木 美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp

湯本 淑江 yumoto.gh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

佐々木 美樹:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとったうえで訪問してください。

連絡先メール:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp

時間割番号	012053													
科目名	地域保健看護学Ⅱ			科目ID	MN-332400-L									
担当教員	月野木 ルミ, 津田 紫緒[TSUKINOKI Rumi, TSUDA SHIO]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Community Health Nursing II														
【科目責任者】:月野木 ルミ														
主な講義場所														
保健衛生学講義室2(3号館8階)														
授業の目的、概要等														
地域看護・公衆衛生看護の対象を、個人だけではなく家族の枠組みで捉え、その基礎となる家族看護学の理論と実際を学ぶ。														
授業の到達目標														
1)「1~8回」家族看護学の理論と実際の家族への支援について理解する。 2)「1~8回」乳幼児から高齢者までを対象とする地域看護・公衆衛生看護の場面においてみられる多様な家族像を理解し、その家族の健康課題を把握し、看護の支援の方法を理解する。また、家族アセスメントの方法を理解する。 3)「3~8回」家族に対する支援の実際について理解する。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員								
1	4/16	10:30~12:00	遠隔授業 (同期型)	地域保健看護学Ⅱ(家族ケア論)	家族および家族看護学の概念と理論	月野木 ルミ								
2	4/16	13:00~14:30	遠隔授業 (同期型)	地域保健看護学Ⅱ(家族ケア論)	家族および家族看護学の概念と理論	月野木 ルミ, 津田 紫緒								
3	5/14	08:50~10:20	遠隔授業 (同期型)	地域保健看護学Ⅱ(家族ケア論)	家族の健康課題に応じた家族支援	津田 紫緒								
4	5/14	10:30~12:00	遠隔授業 (同期型)	地域保健看護学Ⅱ(家族ケア論)	家族に対する支援の実際	津田 紫緒								
5	5/21	08:50~10:20	遠隔授業 (同期型)	地域保健看護学Ⅱ(家族ケア論)	家族に対する支援の実際	中谷 久恵, 津田 紫緒								
6	5/21	10:30~12:00	遠隔授業 (同期型)	地域保健看護学Ⅱ(家族ケア論)	地域における家族支援の実際1	中谷 久恵, 津田 紫緒								
7	5/28	08:50~10:20	遠隔授業 (同期型)	地域保健看護学Ⅱ(家族ケア論)	家族に対する支援の実際	中谷 久恵, 津田 紫緒								
8	5/28	10:30~12:00	遠隔授業 (同期型)	地域保健看護学Ⅱ(家族ケア論)	地域における家族支援の実際2	月野木 ルミ, 津田 紫緒								
成績評価の方法														
授業の参加態度、授業日毎のレポート等の取り組み状況および課題レポートにより総合的に評価する。														
準備学習等についての具体的な指示														
授業内容の理解を深めるため、次の講義で取り扱う資料(参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。														
教科書														
(DVD)地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション(丸善出版株式会社)														
参考書														
家族看護学:理論と実践／鈴木和子、渡辺裕子 著:日本看護協会出版会, 2012														
家族生活力量モデル:アセスメントスケールの活用法／家族ケア研究会 編著:医学書院, 2002														
家族看護学:理論とアセスメント／Marilyn M. Friedman 著、野嶋佐由美 監訳:へるす出版, 1993														
地域看護学講座2 家族ケア(第2版)／島内節 編:医学書院, 1999														
公衆衛生看護学／上野昌江 和泉京子 編集:中央法規出版, 2016														

他科目との関連

母性看護、小児看護、成人看護、老年看護の発達段階別看護領域すべてに関連するので、これまでの各領域での学習を振り返りつつ、家族看護の視点で統合することが必要である。

履修上の注意事項

本科目は、講義のみではなく、課題について考えるディスカッション、グループワーク等で構成される。学生間の積極的な意見交換を期待する。

連絡先(メールアドレス)

津田 紫緒3号館19階地域保健看護学研究室2 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

電話:03-5803-5350

時間割番号	012054													
科目名	在宅看護学Ⅱ			科目ID	MN-332500-L									
担当教員	福井 小紀子, 野口 麻衣子[FUKUI Sakiko, NOGUCHI Maiko]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Home Care Nursing II														
【科目責任者】福井 小紀子														
主な講義場所														
Zoom にて														
授業の目的、概要等														
在宅看護を支える制度や社会情勢の動向を捉え、施設と地域の連携、看護連携、多職種連携、ケアや病院マネジメントの実際から看護の役割を理解する。														
授業の到達目標														
この科目では、広く保健医療福祉の制度や社会情勢の動向を考慮したうえで、施設と地域の連携、看護職連携、他職種連携等のケアコードイニエートの理論と実践を理解し、看護職の役割と実際を説明できることが求められる。														
なお、授業に臨むにあたっては、当該日に扱う内容に関連していると考える既習科目的資料やテキストを用いて復習しておくことが求められる。さらに、それらについて地域で生活する人々の視点で自身の考えを整理するため、教科書「地域・在宅看護論」および「関連図で理解する在宅看護過程」に目を通して確認しておくことが望ましい。														
<p>① 在宅ケアを支える保険医療福祉の仕組みについて既習の知識から説明できる。</p> <p>② 地域包括ケアシステムの概念を理解し、実際について説明できる。</p> <p>③ 医療保険、介護保険及び公費医療を説明できる。</p> <p>④ 在宅療養者の生活を支える外来看護の役割を知り、看護のあり方を考察し、説明できる。</p> <p>⑤ 在宅療養者の生活を支える入退院支援看護師の役割を知り、看護のあり方を考察し、説明できる。</p> <p>⑥ 地域で生活する人々へのケアを予防的看護の視点から説明できる。</p> <p>⑦ 在宅における家族アセスメントの必要性を知り、家族支援の実際を説明できる。</p> <p>⑧ 在宅看護における倫理的課題とその対応方法を例を挙げて説明できる。</p> <p>⑨ 在宅看護におけるリスクマネジメントの特徴を例を挙げて説明できる。</p>														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	5/7	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学Ⅱ	在宅ケアを支える法制 度・社会のしくみ	福井 小紀子	授業参加状況はリアクションペーパーに記載された内容で確認する。							
2	5/7	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学Ⅱ	ケアマネジメントの理論 と実際	石山 麗子	授業参加状況はリアクションペーパーに記載された内容で確認する。							
3	6/11	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学Ⅱ	訪問看護に関わる介護 保険制度	福井 小紀子	授業参加状況はリアクションペーパーに記載された内容で確認する。							
4	6/11	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学Ⅱ	病院マネジメントから見 た多職種連携	橋口 猛志	授業参加状況はリアクションペーパーに記載された内容で確認する。							
5	6/25	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学Ⅱ	在宅療養支援の実際 外来看護を通して	福井 小紀子	授業参加状況はリアクションペーパーに記載された内容で確認する。							
6	6/25	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学Ⅱ	医療施設等との連携・協 働の実際	福井 小紀子	授業参加状況はリアクションペーパーに記載された内容で確認する。							
7	6/25	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学Ⅱ	演習 看護過程	福井 小紀子	グループワーク 授業参加状況はリアクションペーパーに記載された内容で確認する。							
8	6/25	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	在宅看護学Ⅱ	演習 看護過程	福井 小紀子	グループワーク 課題発表 授業参加状況はリアクションペーパーに記載された内容で確認する。							

授業方法

授業は以下のように行う。

- 1) 授業には、授業明細に示された範囲について事前に予習をしてから臨むことが必要である。
- 2) 授業中の小テスト：授業明細に示された予習範囲についての適宜簡単な選択式の小テストを行う。
- 3) 講義：講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。基本的なことで、教科書を見れば簡単にわかるようなことは自習に任せせる。必要に応じてグループディスカッションを取り入れ、理解を深める。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass にあげておくので授業前に必ず目を通しておく。
- 4) リアクションペーパー：Webclass に提示する項目に、授業終了後回答、送信してもらう。講義への関心、講義内容の理解については、講義内容の改善に役立てる。また、学んだことの概要や、講義への感想・意見を整理することは、復習や自己の課題を見出す助けとなる。

授業内容

授業内容な授業スケジュールに示してある。

各回の授業では、授業内容の解説、討議、リアクションペーパーで示された内容についての質疑応答を行う。

成績評価の方法

在宅看護学Ⅱは、以下の 3 つの項目で評価を行う。なお、重要項目のうち、専門分野では英単語を用いることが想定されるものについては、英文による問題もありうる。

- 1) 授業中の小テスト: 30%; 各コマで行われる小テストの結果の合計による。
- 2) 定期試験: 50%; 全体で 6 割以上の得点を必須とする。授業全般のうち、重要事項について知識と応用を問う問題を出題する。試験は、授業中に示した症例または同レベル程度のものを理解し、説明できることが必要となる。
- 3) 授業中の討議後に課される課題: 20%; グループで討議した内容について、グループごとに課題を提出する。グループメンバー全員で確認のうえで提出されたものとする。提示された締め切り日までに提出すること。締め切りを過ぎた場合には未提出の扱いとする。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60 点未満: 不合格、60–69 点: 可、70–79 点: 良、80–89 点: 優、90 点: 秀)により評価を行う。小テスト、試験問題、課題は、授業の達成目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

なお、リアクションペーパーにおいて、授業で提供した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。欠席については、減点の対象になることがある。

準備学習等についての具体的な指示

達成目標や授業内容の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業に臨むことが求められる。WebClass にあらかじめ授業資料や課題、学習に必要情報をアップロードするので、各自ダウンロード等し、講義までに目を通しておくこと。

授業前に習得が必要な課題については、事前課題として提示するため、WebClass の該当項目を定期的に確認すること。課題に取り組んでいる際に生じた疑問については、自身の見解を整理し、解決すべき点を明確にして授業に参加すること。

介護保険等の法制度に関しては、2 年次「保健医療福祉制度論」の学習内容を振り返り、参考書等の関連資料に目を通しておくこと。

在宅看護過程については、教科書1の第 I・II 章をよく読んでおくこと。

試験の受験資格

次のすべてが、前期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。

授業日程の3分の2以上の出席が認められた者に試験受験資格を与える。授業参加状況は、リアクションペーパーに記載された内容で確認する。授業内容の計 8 回の授業に参加し、授業内で実施される小テスト、課される課題を提示された期限までに提出すること。

なお、本授業は Zoom での実施のため、出席は講義の最初から最後まで参加しているログが確認できた場合とする。

特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、授業に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに授業が始まる前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、急の場合には電話でもよいが、その後にメールはすること。連絡ができないような特別な事情があつたと後で判断された場合には、その限りではない。

これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情等に応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

在宅看護過程：関連図で理解する／正野逸子、本田彰子編著,正野, 逸子,本田, 彰子,: メディカルフレンド社, 2018
: メディカルフレンド社

参考書

在宅看護論／河原加代子著者代表 ; 秋山正子 [ほか執筆], 河原, 加代子, 秋山, 正子, 小倉, 朗子, 乙坂, 佳代, : 医学書院, 2017
写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ! / 押川真喜子監修, 押川, 真喜子, : インターメディカ, 2020
: インターメディカ

他科目との関連

2年次に学習した在宅看護学Ⅰをさらに発展させ、訪問看護における看護過程やケアマネジメントを学ぶことにより、在宅看護学実習での療養者への支援の展開につながる科目である。

連絡先(メールアドレス)

福井 小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井 小紀子 毎週水曜日 AM10:00-12:00 3号館19階福井教授室

時間割番号	012055													
科目名	在宅看護学演習			科目ID	MN-352600-S									
担当教員	福井 小紀子, 野口 麻衣子, 大槻 奈緒子[FUKUI Sakiko, NOGUCHI Maiko, OOTSUKI Naoko]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:seminar of Home Care Nursing														
【科目責任者】福井 小紀子														
主な講義場所														
Zoom にて														
授業の目的、概要等														
療養者の状態が多様化する在宅看護の現状に対応するよう、訪問看護における援助技術、および具体的な看護の展開を学ぶ。														
授業の到達目標														
この科目では、保健医療福祉の領域、特に地域で生活する人々、自宅で療養生活を送る人々への看護で必要とされるフィジカルアセスメント、呼吸管理、コミュニケーション技術、リハビリテーション技術、摂食嚥下、褥瘡等に関する技術の根柢と実際について理解し、個別の状況に合わせたケアの実際と具体的な看護援助の方法を説明できることが求められる。														
なお、授業に臨むにあたっては、当該日に扱う看護技術についての既習科目での資料やテキストを用いて復習しておくことが求められる。さらに、教科書「地域・在宅看護論」および「関連図で理解する在宅看護過程」該当部分に目を通し、看護のポイントを整理しておくことが望ましい。														
<p>① 在宅酸素療法の目的と特徴を知り、管理に必要な基礎知識を提示できる。</p> <p>② 在宅酸素療法の実際を体験することから、苦痛なく酸素療法が継続できるための説明や支援方法を提示できる。</p> <p>③ 在宅療養者の摂食嚥下の援助の目的と特徴を知り、理論と実践を説明できる。</p> <p>④ 在宅における摂食嚥下機能の評価方法と仕組みについて説明できる。</p> <p>⑤ 褥瘡予防の目的と特徴を知り、予防ケアに必要な基礎知識と技術を提示できる。</p> <p>⑥ 褥瘡を発生しやすい療養環境と改善方法を提示できる。</p> <p>⑦ 在宅リハビリテーションの目的と特徴を知り、基礎知識と技術を提示できる。</p> <p>⑧ 難病療養者の呼吸管理の目的と特徴を知り、コミュニケーションの基礎知識と技術を提示できる。</p> <p>⑨ 演習を通じて在宅での援助技術のポイントを整理し説明できる。</p>														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	5/7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	在宅看護 学演習	オリエンテーション・在宅 療養環境のアセスメント	福井 小紀子	授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
2	5/7	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	在宅看護 学演習	看護過程 事例:がん終末 期療養者の看護	内堀 真弓	授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
3-4	5/21	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	在宅看護 学演習	在宅療養者の摂食嚥下の 援助理論と実際	戸原 玄	授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
5-6	5/28	14:40-17:50	遠隔授業 (同期型)	在宅看護 学演習	褥瘡患者の看護の実際	遠藤 貴子	グループワーク 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
7	6/4	10:30-12:00	看護学実習室2, 看護学実習室4	在宅看護 学演習	呼吸器疾患療養者の看護 在宅酸素療法 在宅看護 過程 事例:COPD 療養者 の看護	福井 小紀子	グループワーク 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							
8-9	6/4	13:00-16:10	看護学実習室2, 看護学実習室4	在宅看護 学演習	移動・移乗の援助技術、お よび在宅リハビリテーショ ン	高井 豊	グループワーク 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。							

10-11	6/11	13:00-16:10	遠隔授業 (同期型)	在宅看護 学演習	難病療養者の呼吸管理 (人工呼吸療法)・コミュニケーション方法	中山 優季	グループワーク 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。
12-15	6/18	08:50-16:10	看護学実習室2、 看護学実習室4	在宅看護 学演習	看護過程 ロールプレイ演 習	福井 小紀子	グループワーク 授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。

授業方法

授業は以下のように行う。

- 1) 授業には、授業明細に示された範囲について事前に予習をしてから臨むことが必要である。
- 2) 講義: 演習の前に講義を行う。講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。基本的なことで、教科書を見れば簡単にわかるようなことは自習に任せる。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass にあげておくので授業前に必ず目を通しておく。
- 3) 演習: 数人のグループに分かれて行う。グループメンバー個々が積極的に参加し、役割を遂行できるよう互いに協力し合う。
- 4) アクションペーパー: Webclass に提示する項目に、授業終了後回答、送信してもらう。講義への関心、講義内容の理解については、講義内容の改善に役立てる。また、学んだことの概要や、講義への感想・意見を整理することは、復習や自己の課題を見出す助けとなる。

授業内容

授業内容な授業スケジュールに示してある。

各回の授業では、授業内容の解説、討議、アクションペーパーで示された内容についての質疑応答を行う。

成績評価の方法

成績評価の方法

在宅看護学演習は、以下の 2 つの項目で評価を行う。なお、重要項目のうち、専門分野では英単語を用いることが想定されるものについては、英文による問題もありうる。

- 1) 定期試験: 70%; 全体で 6 割以上の得点を必須とする。授業全般のうち、重要事項について知識と応用を問う問題を出題する。試験は、授業中に示した症例または同レベル程度のものを理解し、説明できることが必要となる。
- 2) 授業中の討議後に課される課題: 30%; グループで討議した内容について、グループごとに課題を提出する。グループメンバー全員で確認のうえで提出されたものとする。提示された締め切り日までに提出すること。締め切りを過ぎた場合には未提出の扱いとする。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60 点未満: 不合格、60-69 点: 可、70-79 点: 良、80-89 点: 優、90 点: 秀)により評価を行う。試験問題、課題は、授業の達成目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

なお、アクションペーパーにおいて、授業で提供した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。欠席については、減点の対象になることがある。

準備学習等についての具体的な指示

達成目標や授業内容の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業に臨むことが求められる。WebClass にあらかじめ授業資料や課題、学習に必要な情報をアップロードするので、各自ダウンロード等し、講義までに目を通しておくこと。

授業前に習得が必要な課題については、事前課題として提示するため、WebClass の該当項目を定期的に確認すること。課題に取り組んでいる際に生じた疑問については、自身の見解を整理し、解決すべき点を明確にして授業に参加すること。

試験の受験資格

次のすべてが、前期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。

授業日程の3分の2以上の出席が認められた者に試験受験資格を与える。授業参加状況は、アクションペーパーに記載された内容で確認する。授業内容の計 15 回の授業に参加し、授業内で実施される小テスト、課される課題を提示された期限までに提出すること。

なお、本授業は Zoom での実施のため、出席は講義の最初から最後まで参加しているログが確認できた場合とする。

特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、授業に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに授業が始まる前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、急の場合には電話でもよいが、その後にメールはすること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合には、その限りではない。

これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情等に応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

在宅看護過程：関連図で理解する／正野逸子、本田彰子編著、正野、逸子、本田、彰子、：メディカルフレンド社、2018

参考書

在宅看護論／河原加代子著者代表；秋山正子 [ほか執筆] 河原, 加代子, 秋山, 正子, 小倉, 朗子, 乙坂, 佳代; 医学書院, 2017
写真でわかる訪問看護アドバンス：訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修, 押川, 真喜子; インターメディカ, 2020

他科目との関連

既習科目はすべて関連するが、特に、在宅看護学Ⅰ、各分野の演習については、本科目の基礎となるものであるため十分に復習し、活用する。

履修上の注意事項

在宅看護学演習はグループで行うことが多いため、出席が必要となる。 授業資料はすべて著作物であるため、著作権の関係上、SNS等での流出等がないよう細心の注意をする。 授業日程等は変更の可能性があるため、WebClass、メール等を確認すること。

連絡先(メールアドレス)

福井 小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井 小紀子:毎週水曜日 AM10:00-12:00 3号館 19階福井教授室

時間割番号	012056									
科目名	在宅看護学実習			科目ID	MN-372700-E					
担当教員	福井 小紀子, 野口 麻衣子, 大槻 奈緒子[FUKUI Sakiko, NOGUCHI Maiko, OOTSUKI Naoko]									
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	2					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名:Practice of Home Care Nursing										
【科目責任者】福井 小紀子										
主な講義場所										
Zoom もしくは教室、配置された実習場										
授業の目的、概要等										
在宅療養者と家族に対する在宅ケアの実際と展開方法を知り、その地域包括ケアシステムにおいて活動する看護職の役割を学ぶ。										
授業の到達目標										
この科目では、地域で生活する人々、自宅で療養生活を送る人々とその家族への在宅ケアの実際と看護展開を学ぶため、3つの場で実習し、看護職の役割を説明できることが求められる。										
なお、実習に臨むにあたっては、既習科目での資料やテキストを用いて知識と看護技術の確認をしておくことが求められる。										
1) 訪問看護実習										
① 訪問看護利用者とその家族の療養上の問題をアセスメントすることができる。										
② 訪問看護利用者と家族に必要な看護を見出し、看護計画を立案できる。										
③ 同行訪問と事例検討により在宅での看護提供の実際を説明することができる。										
④ 在宅療養に必要な社会資源の活用および多職種連携について説明することができる。										
2) 地域包括実習										
① 介護保険制度を含む保険医療福祉制度に関する制度の仕組みを説明することができる。										
② 地域包括支援に関する具体的ケア提供の方法を説明することができる。										
③ 療養者を取り巻く関係施設や各専門職との連携、マネジメントについて説明することができる。										
3) 入退院支援実習										
① 在宅療養を基盤とする療養者の病院入院中の退院に向けての準備の実際を説明できる。										
② 退院時に支援が必要となる療養者の在宅療養上の課題を挙げて説明することができる。										
③ 退院に向けての支援活動に関わる多職種の役割を説明することができる。										
④ 施設間連携、多職種連携における看護職の位置づけ、および療養者支援における看護の役割を理解できる。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容					
1	9/22	08:00-17:00	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学実習才 リエンテーション	詳細については実習要項参照					
2	9/27	08:00-17:00	看護学実習室 3, その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照					
3	9/28	08:00-17:00	看護学実習室 3, その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照					
4	9/30	08:00-17:00	看護学実習室 3, その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照					
5	10/1	08:00-17:00	看護学実習室 3, その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照					
6	10/4	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照					
7	10/5	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照					
8	10/7	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照					
9	10/8	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照					
10	10/11	08:00-17:00	看護学実習室 3, その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照					

43	12/7	08:00-17:00	看護学実習室 4. その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
44	12/9	08:00-17:00	看護学実習室 4. その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
45	12/10	08:00-17:00	看護学実習室 4. その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
46	12/13	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
47	12/14	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
48	12/16	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
49	12/17	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
50	1/11	08:00-17:00	看護学実習室 3. その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
51	1/12	08:00-17:00	看護学実習室 3. その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
52	1/13	08:00-17:00	看護学実習室 3. その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
53	1/14	08:00-17:00	看護学実習室 3. その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
54	1/17	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
55	1/18	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
56	1/20	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
57	1/21	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
58	1/24	08:00-17:00	看護学実習室 3. その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
59	1/25	08:00-17:00	看護学実習室 3. その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
60	1/27	08:00-17:00	看護学実習室 3. その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
61	1/28	08:00-17:00	看護学実習室 3. その他(保・在宅ケア 看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
62	1/31	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
63	2/1	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
64	2/3	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
65	2/4	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子
66	2/7	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学実習報告会	詳細については実習要項参照	福井 小紀子

授業方法

実習は以下のように行う。実習方法の詳細については、実習要項参照のこと。

- 1) 訪問看護実習: 訪問看護ステーションにて 4 日間の実習を行う。実習施設の事例を通して、訪問看護の実際を学ぶ。1例の訪問看護計画を立案する。
- 2) 地域包括実習: 地域包括支援センターにて 2 日間の実習を行う。実習中は、担当者(主任ケアマネジャー、保健師・看護師、社会福祉士等)の活動の見学を通して学ぶ。併設施設での活動についても積極的に見学し、実地指導者と相談の上事業等にも参加する。
- 3) 入退院支援実習: 実地指導者の業務に合わせて、入退院に関する活動を見学する。退院に向けての療養上の課題を見出し、支援計画を立案する。
- 4) カンファレンス等: 実習施設で実施されるミーティングやカンファレンスには接触的に参加する。各実習の最終日には学生主体のカンファレンスを実地指導や、教員参加のもと開催し、自身の学びと意見と述べる。
- 5) 実習記録: 日々の実習目標や学びを記載する記録、看護過程展開に関する記録、レポート等、実習に必要な記録用紙は、あらかじめ Webclass に提示する。実習記録は実習後の評価面接までを期日にすべて提出する。
- 6) 評価面接: 実習終了後、教員との評価面接にて実習全体の振り返りをする。それにより自身の今後の課題を見出す助けとなる。

授業内容

* 詳細については実習要項参照

成績評価の方法

在宅看護学実習は、以下の項目で評価を行う。

出席:4分の3以上の出席が認められた者を評価対象とする。

実習への取り組みの姿勢と態度:20%;日々の実習目標や学びを記した日誌を毎日提出する。提出された内容と実地指導者より得られた情報から評価する。

カンファレンスへの参加状況:20%;カンファレンス開催に向けての準備や当日の発言内容から評価する。

実習記録内容:40%;実習目標に照らし合わせて評価する。

評価面接:20%;自己評価表をもとに、実習全体の振り返りから実習目標の達成状況を評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60点未満:不合格、60-69点:可、70-79点:良、80-89点:優、90点:秀)により評価を行う。実習の達成目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

なお、レポートにおいて、実習で学んだことを中心に、文献等を用いて考察を深め、提供した実習内容以上の学びがあった場合には、最終評価において加点されることがある。欠席については、減点の対象になることがある。

準備学習等についての具体的な指示

在宅看護学Ⅰ、Ⅱ、演習の学習で用いた資料を見直し、保健医療福祉の制度や様々な場で働く看護の役割、看護技術について復習して、実習に臨むことが求められる。看護過程の展開については、授業で用いた資料や教科書に示されていてる事例を用いて、自分で看護過程の展開をし直し、理解が曖昧な部分について確認しておくことが望ましい。WebClass にあらかじめ実習で用いるアセスメント用紙をアップロードするので、有効活用する。

実習室を使用して看護技術の練習を希望する場合は、教員へ申し出ること。

試験の受験資格

在宅看護学実習は、一部 Zoom、その他対面で行われるが、これには必ず出席すること。実習参加状況については、日々提出する日誌にて確認し、提出されない場合には、以後の実習への参加は認めない。

出席は Zoom の場合には、開始時一人ひとり呼名にて確認する。

無断欠席や、無断早退があった場合には、出席の要件を満たさないとみなすことがある。2度までは警告する。特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、実習に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに実習が始まる前までに科目責任者もしくは担当教員にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、急の場合には電話でもよいが、その後にメールはすること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合には、その限りではない。

これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情等に応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

在宅看護過程：関連図で理解する／正野逸子、本田彰子編著,正野、逸子,本田、彰子,:メデカルフレンド社, 2018

参考書

在宅看護論／河原加代子著者代表；秋山正子 [ほか執筆],河原、加代子,秋山、正子,小倉、朗子,乙坂、佳代,:医学書院, 2017

写真でわかる訪問看護アドバンス：訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修,押川、真喜子,:インターメディカ, 2020

履修上の注意事項

宅看護学実習は実地での学びを中心とするため、出席が必要となる。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先(メールアドレス)

福井 小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井 小紀子:毎週水曜日 AM10:00-12:00 3号館 19階福井教授室

第4学年

2021年度時間割(看護学専攻:第4学年)

(前期)		…保健師コースを選択する者のみが履修する科目						…保健師コースを選択しない者が履修する科目							
①	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
3/29 月															
30 火															
31 水															
4/1 木															
2 金															
①	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
4/5 月	総合実習II														
6 火				国際保健看護学(1)	同期型 (zoom)		健康教育学演習(1)	同期型 (zoom) / 非 同期型 (webclass)		健康教育学演習(2)	同期型 (zoom) / 非 同期型 (webclass)				
7 水				卒業論文 II(1)											
8 木				看護の統合 と実践 II(1)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(1)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(2)	同期型 (zoom)				
9 金		[自]実践看護英語 I(1)	同期型 (zoom)												
②	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
4/12 月	総合実習 I・II オリエンテーション			産業保健学(1)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(3)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(4)	同期型 (zoom)				
13 火		国際保健看護学(2)	同期型 (zoom)	国際保健看護学(3)	同期型 (zoom)										
14 水		[自]実践看護英語III(2)	同期型 (zoom)	卒業論文 II(2)			緩和ケア看護学 I(1)	同期型 (zoom)		緩和ケア看護学 I(2)	同期型 (zoom)				
15 木				看護の統合 と実践 II(2)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(1)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(2)	同期型 (zoom)				
16 金							緩和ケア看護学 I(3)	同期型 (zoom)		緩和ケア看護学 I(4)	同期型 (zoom)				
③	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
4/19 月	総合実習II														
20 火		国際保健看護学(4)	同期型 (zoom)	国際保健看護学(5)	同期型 (zoom)										
21 水		[自]実践看護英語III(3)	同期型 (zoom)	卒業論文 II(3)											
22 木							地域保健看護学III(5)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(3)	同期型 (zoom)				
23 金							緩和ケア看護学 I(5)	同期型 (zoom)		緩和ケア看護学 I(6)	同期型 (zoom)				
④	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
4/26 月	総合実習 II 地域保健看護学 実習:足立区オリ 授業予定	産業保健学(2)	同期型 (zoom)	産業保健学(3)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(4)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(5)	同期型 (zoom)				
27 火		登校(面接 授業)	地域保健看護学 実習:足立区オリ 授業予定	登校(面接 授業)			健康教育学演習(3)	同期型 (zoom) / 非 同期型 (webclass)		健康教育学演習(4)	同期型 (zoom) / 非 同期型 (webclass)				
28 水				卒業論文 II(4)			移動時間			学内就職説明会(15時~)	同期型 (zoom)		学内就職説明会(15時~)	同期型 (zoom)	
29 木		昭和の日													
30 金															
⑤	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
5/3 月	憲法記念日														
4 火	みどりの日														
5 水	こどもの日														
6 木	総合実習 II			看護の統合 と実践 II(3)	同期型 (zoom)										
7 金							緩和ケア看護学 I(7)	同期型 (zoom)		緩和ケア看護学 I(8)	同期型 (zoom)		[自]実践看護英語III(4)	同期型 (zoom)	

2021年度時間割(看護学専攻:第4学年)

⑥	5/10 月	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
総合実習Ⅱ	産業保健学(4)	同期型 (zoom)		産業保健学(5)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(6)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(7)	同期型 (zoom)		保健統計学(1)	同期型 (zoom)		
	国際保健看護学(6)	同期型 (zoom)		国際保健看護学(7)	同期型 (zoom)		健康教育学演習(5)	同期型 (zoom) / 非 同期型 (webclass)		健康教育学演習(6)	同期型 (zoom) / 非 同期型 (webclass)					
	[自]実践看護英語III(5)	同期型 (zoom)		卒業論文 II(5)									[自]実践看護英語III(6)	同期型 (zoom)		
	看護の統合 と実践 II(4)	同期型 (zoom)		看護の統合 と実践 II(5)	同期型 (zoom)											
							[選]緩和ケア看 護学 II(1)	同期型 (zoom)		[選]緩和ケア看 護学 II(2)	同期型 (zoom)					
⑦	5/17 月	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
総合実習Ⅱ							地域保健看護学III(8)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(9)	同期型 (zoom)					
	国際保健看護学(8)	同期型 (zoom)		国際保健看護学(9)	同期型 (zoom)		健康教育学演習(7)	同期型 (zoom) / 非 同期型 (webclass)		健康教育学演習(8)	同期型 (zoom) / 非 同期型 (webclass)					
	[自]実践看護英語III(7)	同期型 (zoom)		卒業論文 II(6)												
				看護の統合 と実践 II(6)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(6)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(7)	同期型 (zoom)					
							[選]緩和ケア看 護学 II(3)	同期型 (zoom)		[選]緩和ケア看 護学 II(4)	同期型 (zoom)					
⑧	5/24 月	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
総合実習Ⅱ	保健統計学(2)	同期型 (zoom)		産業保健学(6)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(10)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(11)	同期型 (zoom)					
	国際保健看護学(10)	同期型 (zoom)		国際保健看護学(11)	同期型 (zoom)		健康教育学演習(9)	同期型 (zoom)		健康教育学演習(10)	同期型 (zoom)		健康教育学演習(11)	非同期型 (webclass)		
	[自]実践看護英語III(8)	同期型 (zoom)		卒業論文 II(7)												
	看護の統合 と実践 II(7)	同期型 (zoom)		看護の統合 と実践 II(8)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(8)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(9)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(10)	同期型 (zoom)		
							[選]緩和ケア看 護学 II(5)	同期型 (zoom)		[選]緩和ケア看 護学 II(6)	同期型 (zoom)					
⑨	5/31 月	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
総合実習Ⅱ							地域保健看護学III(12)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(13)	同期型 (zoom)		保健統計学(3)	同期型 (zoom)		
				国際保健看護学(12)	同期型 (zoom)		健康教育学演習(12)	非同期型 (webclass)		健康教育学演習(13)	非同期型 (webclass)		健康教育学演習(14)	非同期型 (webclass)		
	[自]実践看護英語III(9)	同期型 (zoom)		卒業論文 II(8)												
				看護の統合 と実践 II(9)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(14)	同期型 (zoom)		地域保健看護学III(15)	同期型 (zoom)					
							[選]緩和ケア看 護学 II(7)	同期型 (zoom)		[選]緩和ケア看 護学 II(8)	同期型 (zoom)					
⑩	6/7 月	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
総合実習Ⅱ	産業保健学(7)	同期型 (zoom)		産業保健学(8)	同期型 (zoom)		看護の統合 と実践 II (10)	同期型 (zoom)		看護の統合 と実践 II (11)	同期型 (zoom)		保健統計学(4)	同期型 (zoom)		
	国際保健看護学(13)	同期型 (zoom)		国際保健看護学(14)	同期型 (zoom)		健康教育学演習(15)	同期型 (zoom)		健康教育学演習(16)	同期型 (zoom)					
	[自]実践看護英語III(10)	同期型 (zoom)		卒業論文 II(9)												
							地域保健看護学演習(11)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(12)	同期型 (zoom)					
⑪	6/14 月	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
総合実習Ⅱ	保健統計学(5)	同期型 (zoom)		保健統計学(6)	同期型 (zoom)		看護の統合 と実践 II (12)	同期型 (zoom)		看護の統合 と実践 II (13)	同期型 (zoom)		看護の統合 と実践 II (14)	同期型 (zoom)		
				国際保健看護学(15)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(13)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(14)	同期型 (zoom)					
				卒業論文 II(10)												
							地域保健看護学演習(15)	同期型 (zoom)		地域保健看護学演習(16)	同期型 (zoom)					
							地域保健看護学予備日	同期型 (zoom)		地域保健看護学予備日	同期型 (zoom)					

2021年度時間割(看護学専攻:第4学年)

①	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
6/21 月		保健統計学(7) 同期型 (zoom)			保健統計学(8) 同期型 (zoom)			看護の統合 と実践Ⅱ (14)			看護の統合 と実践Ⅱ (15)				
22 火	前期定期試験														
23 水	前期定期試験														
24 木	前期定期試験														
25 金	前期定期試験														
②	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
7/5 月	看護の統合と実践実習(場所: 講義室1、講義室3)														
6 火	看護の統合と実践実習(場所: 講義室1、2)														
7 水	看護の統合と実践実習														
8 木	看護の統合と実践実習(同期型(ZOOM))														
9 金	看護の統合と実践実習(同期型(ZOOM))														
③	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
7/12 月	看護の統合と実践実習(場所: 実習室1~4)														
13 火	看護の統合と実践実習(場所: 実習室1~4)														
14 水	看護の統合と実践実習(場所: 実習室1~4)														
15 木	看護の統合と実践実習(場所: 実習室1~4)														
16 金	看護の統合と実践実習														
④	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
7/19 月															
20 火	看護の統合と実践実習 実習発表会(同期型(ZOOM))												16:10~17:10 総合実習 I オリエンテーション		
21 水	看護の統合と実践実習(同期型(ZOOM))														
22 木	海の日														
23 金	スポーツの日														
26 月															
27 火															
28 水															
29 木	オープンキャンパス(予定)														
30 金															

夏季休業 7/26(月)~

2021年度時間割(看護学専攻:第4学年)

(後期) ※臨地実習の詳細については、別途連絡する。

2021年度時間割(看護学専攻:第4学年)

(7)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
10/18 月	総合実習 II														
19 火															
20 水															
21 木													(自)AI 実践演習(3)	同期型(zoom)	
22 金															
(8)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
10/25 月	総合実習 II														
26 火															
27 水															
28 木															
29 金															
(9)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
11/1 月	総合実習 II														
2 火															
3 水	文化の日														
4 木													(自)AI 実践演習(4)	同期型(zoom)	
5 金															
(10)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
11/8 月	総合実習 II														
9 火															
10 水															
11 木													(自)AI 実践演習(5)	同期型(zoom)	
12 金															
(11)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
11/15 月	総合実習 II														
16 火															
17 水															
18 木															
19 金															
(12)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
11/22 月	総合実習 II														
23 火	勤労感謝の日														
24 水															
25 木													(自)AI 実践演習(6)	同期型(zoom)	
26 金														登校(面接授業)	1,2
(13)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
11/29 月															
30 火															
12/1 水															
2 木													(D) Learning Medical English(1)	同期型(zoom)	
3 金															

2021年度時間割(看護学専攻:第4学年)

(14)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
12/6 月															
7 火															
8 水															
9 木													(自)AI 実践演習(7) 同期型(zoom)		
10 金															

(15)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
12/13 月															
14 火															
15 水													(自)Learning Medical English(2) 同期型(zoom)		
16 木													(自)AI 実践演習(8) 同期型(zoom)		
17 金															

(16)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
12/20 月											(自)Learning Medical English(3) 同期型(zoom)			(自)Learning Medical English(4) 同期型(zoom)	
21 火															
22 水											(自)Learning Medical English(5) 同期型(zoom)			(自)Learning Medical English(6) 同期型(zoom)	
23 木															
24 金															

冬季休業 12/27(月)～

(1)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
1/3 月															
4 火															
5 水											(自)Learning Medical English(7) 同期型(zoom)			(自)Learning Medical English(8) 同期型(zoom)	
6 木															
7 金															

(2)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
1/10 月		成人の日													
11 火															
12 水															
13 木															
14 金															

(3)	8:50~10:20	授業形態	講義室	10:30~12:00	授業形態	講義室	13:00~14:30	授業形態	講義室	14:40~16:10	授業形態	講義室	16:20~17:50	授業形態	講義室
1/17 月															
18 火															
19 水															
20 木															
21 金															

春季休業 1/24(月)～

卒業式 3/25(金)

時間割番号	012058													
科目名	保健統計学				科目ID	MN-430200-L								
担当教員	緒方 泰子, 寺本 妙子[OGATA YASUKO, TERAMOTO TAEKO]													
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Health Statistics														
【科目責任者】緒方 泰子														
授業の目的、概要等														
本科目では保健統計学の基礎を学ぶ。客観的指標であるデータの収集、処理・分析、結果の解釈という一連の流れを理解し、科学的根拠として捉えられる数量的表現の理解を目指す。演習も取り入れ、実際にパソコン上でデータ処理を試みる。														
授業の到達目標														
1回目:記述統計学の基本用語を説明できる。度数分布表、ヒストグラムの作成や統計量(平均値、標準偏差)の算出が適切にできる。 2回目:相関、回帰、確率分布について説明できる。2つの変数について散布図を描き、相関係数と回帰式を算出することができる。 3回目:母集団と標本について説明し、母集団平均を推定することができる。 4回目:統計的仮説検定について説明し、2つの平均値の差の検定(t検定)を適切に実行することができる。 5回目:ノンパラメトリック検定について説明し、クロス集計、及び χ^2 検定を適切に実行することができる。 6回目:分散分析について説明し、一元配置分散分析、及び二元配置分散分析を適切に実行することができる。 7回目:人口動態統計について説明し、人口動態データの分析、及び解釈を適切におこなうことができる。 8回目:量的研究のデザインに適したデータの処理、統計的分析について説明し、結果の解釈を適切におこなうことができる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	5/10	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	保健統計の概要 (I)	尺度、記述統計学(度数分布、代表値、散布度)、データ処理の演習	寺本 妙子	パソコン演習							
2	5/24	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	保健統計の概要 (II)	相関、回帰、確率分布、データ処理の演習	寺本 妙子	パソコン演習							
3	5/31	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	母集団統計値	母集団と標本、母集団平均の推定	寺本 妙子	パソコン演習							
4	6/7	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	仮説検定(I)	統計的仮説検定、平均値の差の検定	寺本 妙子	パソコン演習							
5	6/14	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	仮説検定(II)	ノンパラメトリック検定	寺本 妙子	パソコン演習							
6	6/14	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	分散分析	一元配置分散分析、二元配置分散分析、多重比較	寺本 妙子	パソコン演習							
7	6/21	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	演習(I)	人口統計、データ処理の演習	寺本 妙子	パソコン演習							
8	6/21	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	演習(II)	量的研究のデザイン、データ処理の演習	寺本 妙子	パソコン演習							
授業方法														
同期授業であり、zoomにおいて実施する。知識とスキルに関する情報伝達を講義形式でおこない、その後の演習において、実際にパソコン上でデータの分析を行う。演習および質疑応答も交え、アクティブラーニングを実施する。														
授業内容														
授業は講義と演習を中心に進める。毎回の演習では課題用ワークシートを活用し、パソコンでデータ処理に取り組む(Microsoft Excel 使用)。課題は毎回提出し、到達目標の達成を目指す。														
成績評価の方法														
課題(ワークシート)の提出4割、定期試験6割とする。ワークシートは1回の提出につき5点の配点とする(全回提出で40点となる:5点×8回=40点)。例えば、2回未提出で試験が60点だった場合、課題は30点(5点×6回提出=30点)、試験は36点と換算し(60点×6割=36点)、合計66点となる。														
なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。														
成績評価の基準														
筆記試験、課題(ワークシート)で採点し、60点以上を合格とする。具体的には、次の基準に従う。A+:卓越して到達目標に達している、A:優れて到達目標に達している、B:十分に到達目標に達している、C:概ね到達目標に達している。														
準備学習等についての具体的な指示														
授業内容は、参考書(別記)に基づいて構成されているので、該当箇所を事前学習しておくことを勧める。														

試験の受験資格

試験の受験資格として 2/3 以上の出席を要する。同期型授業(zoom)のため、講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とする。

参考書

やさしい保健統計学 = Health statistics made simple／縣俊彦著.県, 俊彦, :南江堂, 2019

ナースのための統計学／高木廣文 著.高木, 広文, 1950-, :医学書院, 2009

:南江堂

備考

zoom での講義を基にパソコン演習を行う授業であるため、予習復習を行うこと。

2020 年度の授業評価を踏まえ、引き続き練習問題や課題を用いて知識の定着を促す工夫をする。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館 19階

オフィスアワー

緒方 泰子オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012059A							
科目名	国際保健看護学			科目ID	MN-430400-L			
担当教員	近藤 晓子[KONDO AKIKO]							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	2			
実務経験のある教員による授業	該当する							
英文名 : International Health Nursing								
【科目責任者】近藤晓子								
主な講義場所								
ZOOM								
授業の目的、概要等								
諸外国の健康問題の状況と、医療制度や医療・保健・看護制度について講義する。学生同士のディスカッションや情報交換の機会を持つことで国内外の医療/健康問題について考えを深める。模擬患者を想定した留学生と英語でコミュニケーションをとる演習を通して国内の外国人患者への対応方法について学ぶ。								
海外で活動経験のある講師や実際日本の病院で外国人患者の対応を行っている講師の話を聞き、異文化について理解し、異文化を持つ対象に対する対応方法や活動の意義について学ぶ。								
授業の到達目標								
1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得								
諸外国の医療や看護の現状を理解し、各国・地域の歴史・社会システムの変遷との関連から、人々のかかえる健康問題や医療・保健・看護問題の本質は何であるかを考えることができる(1-12, 15回)。								
2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成								
模擬患者を使用して日本語の話せない患者と英語等でコミュニケーションを取り、異文化を持つ対象のニーズを把握する感性を身に付ける(13-14回)。								
日本国内における外国人の医療/健康問題について考えることができる。異文化を持つ患者のアセスメントができる(9, 13-14回)。								
3. 問題提起・解決能力の修得								
我が国の移民や難民の受け入れの状況を知り、どのように対応していくべきか両従事者の立場のみならず一般市民としての対応方法・問題に対する姿勢を身に付ける(8、15)。								
4. 自己学習能力・創造性の形成								
「国際保健看護学」の講義で学んだことを将来どのように生かしていくか、今後の自己課題と達成方法について述べることができる(最終課題)。								
5. 国際性の形成								
異文化や違う価値観を持つ他者とコミュニケーションを取り、正しい・正しくないではなく、違いとして理解し、受け入れができる(1-15回)。								
授業計画								
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	
1	4/6	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	Introduction to Global Health Nursing 国際保健看護学概論	グローバルヘルスと看護	近藤 晓子		
2	4/13	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	開発途上国における健康課題とその背景	低所得国における看護の現状と国際医療協力活動①	駒形 朋子		
3	4/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	開発途上国における健康課題とその背景	低所得国における看護の現状と国際医療協力活動②	森山 潤		
4	4/20	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	先進国の医療・看護	Nursing study in the United States	近藤 晓子		
5	4/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	国際活動	国際機関の活動と国際保健医療協力	中村 桂子		

6	5/11	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化の理解	ウイグル・イスラム文化と必要な医療的配慮	近藤 晓子	アブレズ・レナグリ
7	5/11	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	先進国の医療・看護	米国の教育・保険制度	Ann L Eckhardt, 近藤 晓子	
8	5/18	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	国際協力	政府開発援助(Official Development Assistance;ODA)での国際協力	野口 真貴子	
9	5/18	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	国際協力	日本のODAプロジェクトの実際(母子保健プロジェクト)	野口 真貴子	
10	5/25	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	国内の国際化	本学附属病院の外国人対応について 外国人患者への対応演習説明	近藤 晓子, 岡田 卓也	
11	5/25	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	世界の看護問題	グローバルヘルスと看護について の学習・発表準備	近藤 晓子	グループワーク
12	6/1	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	世界の看護問題	日本語を話せない患者への対応演習	近藤 晓子, 駒形 朋子, 森山 潤	学生によるプレゼンテーション
13	6/8	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	国内の国際化	外国人患者への対応演習	近藤 晓子	模擬患者とのコミュニケーション、アセスメント アシスト: 二見 茜(医歯学総合研究科大学院生)
14	6/8	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	国内の国際化	外国人患者への対応演習	近藤 晓子	模擬患者とのコミュニケーション、アセスメント アシスト: 二見 茜(医歯学総合研究科大学院生)
15	6/15	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	国内の国際 3	世界の人口問題/移民の受け入れについてディスカッション	近藤 晓子	グループディスカッション

授業方法

- 1) 本科目は講義、グループディスカッション、演習を交えて行う。すべて同期型である。
- 2) 本科目はアクティブラーニング方式で行い、講義でも教員が一方的に話すのではなく、学生の発言や意見交換を推奨する。回答内容は評価影響ないので、積極的に自分の意見を述べるようにすること。なお、自発的な発言者がない場合はランダムに指名し、発言を求める。
- 3) 外国人患者への対応演習では、留学生が自身の患者体験事例を作成し、日本語が話せない患者を演じる。学生は英語もしくは留学生の言語、筆談、ジェスチャーなどで工夫しながら、必要な看護援助を考える。
- 4) 興味のあるグローバルヘルス課題ごとに5, 6名でグループ学習を行い、まとめたものを発表する。

毎回授業の後に学生はその日に学んだこと、印象に残ったことや質問等を記述して WebClass から提出する。授業開始時の出欠確認と感想の提出を持って、その日の出席とする。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

- 1) 本科目は講義、グループディスカッション、演習を交えて行う。すべて同期型である。
- 2) 本科目はアクティブラーニング方式で行い、講義でも教員が一方的に話すのではなく、学生の発言や意見交換を推奨する。回答内容は評価影響ないので、積極的に自分の意見を述べるようにすること。なお、自発的な発言者がない場合はランダムに指名し、発言を求めることがある。
- 3) 外国人患者への対応演習では、留学生が自身の患者体験事例を作成し、日本語が話せない患者を演じる。学生は英語もしくは留学生の言語、筆談、ジェスチャーなどで工夫しながら、必要な看護援助を考える。
- 4) 興味のあるグローバルヘルス課題ごとに5, 6名でグループ学習を行い、まとめたものを発表する。

毎回授業の後に学生はその日に学んだこと、印象に残ったことや質問等(日々の感想)を記述して WebClass から提出する。授業開始時の出欠確認と感想の提出を持って、その日の出席とする。

成績評価の基準

参加度(15%)、WHO の役割の日本語訳(10%)、日々の感想 (15%)、模擬患者のアセスメント(25%)、グループヘルスと看護の発表(20%)、最終レポート(15%)

1) 参加度(15%):出席状況、授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は2回で1回の欠席とする。45分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められない。

2) WHO の役割の日本語訳(10%):内容を正確に理解しているか。翻訳された日本語の表現力も評価する。

3) 日々の感想 (15%):その回の目標が達成できているかどうか評価する。

4) 模擬患者のアセスメント(25%):グループごとに患者役の留学生の話を聞き、必要な情報を収集する。1.事前準備・対策、2.情報収集したこと、3.アセスメントと看護ケア、4.演習を通して感じたことや今後の対策についてまとめ、各自提出する。

5) グルーバルヘルスと看護の発表(20%):世界的な健康課題についてグループで1つずつ取り上げ、英語でまとめて発表する。メンバー全員が少なくとも一部は発表すること。個人で評価する。

最終レポート(15%):「国際保健看護学」の講義で学んだことを将来どのように生かしていきたいか、今後の自己課題と達成方法について(A4 1ページ以内にまとめる)。

準備学習等についての具体的な指示

WHO <http://www.who.int/en/> と JICA <https://www.jica.go.jp/> の役割について学習してること。

試験の受験資格

試験は行わない

履修上の注意事項

本科目において異文化感受性能力を向上させることを目標とするため、授業の初回及び最終日に異文化感受性能力に関する調査を実施するが、その回答内容は成績とは無関係である。やむを得ず欠席する場合やネット環境が悪くZOOMに接続できない場合は教員に連絡すること。

備考

演習の進め方が少し難しかったというコメントがあり、今年は模擬患者とのインタビュー前の準備の時間を長めにとる予定である。

連絡先(メールアドレス)

近藤 晓子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 晓子オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3号館18階)

時間割番号	012060							
科目名	産業保健学			科目ID	MN-430500-L			
担当教員	森田 久美子[MORITA KUMIKO]							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	1			
実務経験のある教員による授業	該当する							
英文名:Occupational Health Nursing								
【科目責任者】森田久美子								
主な講義場所								
遠隔授業(同期型)								
授業の目的、概要等	<p>働く人の健康指導と健康管理、並びに職業起因性障害や災害の予防に関する指導と管理のあり方は保健師にとって必須の事項であり、その考え方や実践の方法を身につけることを前提とした産業保健活動の理論を究明する。</p>							
授業の到達目標	<p>産業に関わる看護師・保健師は産業医やコ・メディカルスタッフと協働して、そこに勤務する職業人としての個人に対する健康の保持・増進の支援や集団に対する公衆衛生活動を要求される。そしてその業務の遂行には、保健師としての倫理観と人格が求められ、保健・医療・福祉・文化・行政などの学際的な幅広い知識や技能に基づいた問題解決能力を身につける上での基本的な概念を修得させる必要がある。</p> <p>産業という個々の管理社会とそれを取り囲む外環境とが調和され、社会的に対応できない個人や企業を生ぜしめないような予防的保健活動と健康増進活動の意義を認識させ、自由な発想で個人や社会の痛みを理解でき、望ましい保健分野における社会機構を考えられる基礎学力を身につけることを目標とする。</p> <p><各回の到達目標></p> <p>1回目:産業保健の概要を理解し、現在問題となっていること、改善すべき点について説明できる。</p> <p>2回目:産業保健の理念、歴史、法律について説明できる。</p> <p>3回目:産業看護活動の具体的な内容について説明できる。</p> <p>4~5回目:労働者の心の健康支援について具体例をあげながら説明できる。</p> <p>6回目:労働災害について説明できる。</p> <p>7~8回目:衛生管理、人事労務管理について説明できる。また、事例演習に積極的に参加し、発言できる。</p>							
授業計画								
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	
1	4/12	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	産業保健学	「産業保健学総論」 地域保健における産業保健の位置づけ、現状、最新のトピック等について学ぶ。	森田 久美子	グループディスカッション、グループおよび個人の課題提出	
2	4/26	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	産業保健学	「産業保健・看護の理念と歴史、法律」 産業保健・看護の歴史、産業看護の定義・職務、関連法規、企業に求められる健康管理について学ぶ。	森田 久美子 中野 愛子	グループディスカッション、グループおよび個人の課題提出	
3	4/26	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	産業保健学	「産業看護活動」 産業看護活動の実際、ハラスマント、自殺対策等について学ぶ。	森田 久美子 中野 愛子	グループディスカッション、グループおよび個人の課題提出	
4	5/10	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	産業保健学	「労働者の心の健康支援1」 疲労、職場のストレス、精神疾患と労働災害について学ぶ。	森田 久美子 中野 愛子	グループディスカッション、グループおよび個人の課題提出	
5	5/10	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	産業保健学	「労働者の心の健康支援2」 予防、復職支援、事例学習、諸外国の産業看護活動について学ぶ。	森田 久美子 中野 愛子	グループディスカッション、グループおよび個人の課題提出	

6	5/24	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	産業保健学	「労働災害」職業性疾患、作業関連疾患、労働災害、女性労働者の支援について学ぶ。	森田 久美子	グループディスカッション、グループおよび個人の課題提出
7	6/7	08:50-10:20	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	産業保健学	「衛生管理、人事労務管理1」 関連法令に基づく衛生施策の立て方、人事労務管理の基本的な考え方、人事労務問題への対応について学ぶ。	森田 久美子, 長谷川 梢	グループディスカッション、グループおよび個人の課題提出
8	6/7	10:30-12:00	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	産業保健学	「人事労務管理2」事例演習 (判例検討)	森田 久美子, 長谷川 梢	グループディスカッション、グループおよび個人の課題提出

授業方法

・非同期授業

指示された講義資料・参考資料を閲覧し、指示にあるように課題に回答する。また、WebClass にあるアクションペーパーに毎回記入して提出すること。質問が記入されている場合には個別もしくは全体に対して返答をする。

・同期授業

ZOOM にて実施する。講義では、適宜ブレイクアウトルームに分かれてグループでディスカッションを行う。ディスカッションをもとに内容をまとめ、グループごとに発表をしてもらうので積極的に参加すること。

授業内容

公衆衛生学に裏付けられた個人および集団の健康保持・増進をメインテーマとして、働く人々が快適な職場環境で健康を損なうことなく、仕事を自分に適合させて肉体的・精神的・社会的に良好な状態を維持増進させる上での基礎知識を系統的に付与する。

そのためには、健康な人も健康に障害を持った人も、労働という営みの中で、保健指導を進める上での最重要課題を取り上げて事例を列举しながら、産業保健の理念・歴史・健康管理体制・労働者の実態・労働内容・労働環境・産業疲労・業務上疾病(職業性疾患)・産業災害とその対策や予防方法などについて理解を深める。

成績評価の方法

学期末定期試験 70%、討論課題 10%、講義後レポート 20%などにより評価する。なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。なお、アクションペーパーでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等などで予習をしてくることが望ましい。

試験の受験資格

同期型の授業に2/3以上出席し、かつ講義に関連する課題を全て提出したものに定期試験の受験資格を与える。

なお、特別に勘案すべき事情があり指示を達成できない場合には、その事情とともに締切期日が過ぎる前に科目責任者にメールで連絡すること。なお、緊急の場合には電話で連絡しても良いが、その後メールすること。連絡ができないような特別な事情がある場合にはその限りではない。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどで対応することとする。

参考書

眞野喜洋、遠藤立一(監著):健康管理者のための公衆衛生学、圭文社、東京

眞野喜洋(監著):スタンダード公衆衛生学、文光堂、東京

松田正巳他:対象別地域看護活動、医学書院

平山朝子、宮地文子(編集):産業保健指導論、公衆衛生看護大学体系#6、日本看護協会出版会、東京

(財)厚生統計協会:国民衛生の動向、厚生の指標臨時増刊、(財)厚生統計協会、東京

森 晃爾(編集):産業保健ハンドブック、労働調査会、東京

中央労働災害防止協会:労働衛生のしおり、東京

成人地域看護活動(地域看護学講座 No7)、医学書院

など産業保健に関する書籍はすべて参考となるが、購入の折にはできるだけ新しい数値の乗った統計データを有するものから選ぶこと。

他科目との関連

地域保健看護学とは密接な関係にあり、クロス・オーバーする領域が多い。母性、成人老人、精神の各保健学、看護学とも関連性が高い。基礎学力としての生理学、薬理学、病理学などの知識は講義の理解を深める上で重要である。

履修上の注意事項

産業保健学は他領域とそれぞれ深く係る学際性の高い分野なので、日頃からマスメディアの医療が関与する社会ニュースなどにも関心を持つことが望ましい。

備考

- ・2020年度からの改善点

講義資料は事前に配布することとする。

連絡先(メールアドレス)

森田 久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

森田 久美子:10:00-17:00 3号館 15階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012061																	
科目名	健康教育学演習				科目ID	MN-450600-S												
担当教員	森田 久美子[MORITA KUMIKO]																	
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4		単位数	1												
実務経験のある教員による授業	該当する																	
英文名:Health Education																		
【科目責任者】森田久美子																		
主な講義場所																		
遠隔授業(同期・非同期)																		
授業の目的、概要等																		
健康教育の実践に必要なさまざまな理論・技術について、演習を通じて習得する。																		
授業の到達目標																		
健康教育は、小児から高齢者まで、さまざまな対象に行われるものであり、その手法も教育する場や人数、対象者の理解度により柔軟に対応していく必要がある。そのため、しっかり理論を学んだ上で、グループワーク・デモンストレーションを行い、健康教育の基本的な技術を身につける。																		
<各回の到達目標>																		
1, 2回目:健康教育の目的、対象、手法を理解し説明できる。																		
3-6回目:健康教育において、テーマの選定から計画、実施、評価の一連の流れを理解し説明できる。																		
7, 8回目:健康教育の計画書の立案ができる。																		
9, 10回目:健康教育の理論について理解し、説明できる。																		
11-14回目:健康教育に必要な媒体の考案・作成ができる。																		
15-16回目:設定したテーマにあった健康教育のデモ発表ができる。																		
授業計画																		
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考											
1-2	4/6	13:00-16:10	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	健康教育 学演習	健康教育 総論 構成的工 ンカウンターの体験、講義 動 機づけ面接法 他	森田 久美子	グループディスカッショ ン、グループおよび個人の課題提出											
3-4	4/27	13:00-16:10	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	健康教育 学演習	個人を対象とした健康教育の 実際 ヘルスコミュニケーション、個別指導場面のロールプレ イ、自己課題シートに基づいた 面接、ディスカッション	森田 久美子	グループディスカッショ ン、グループおよび個人の課題提出											
5-6	5/11	13:00-16:10	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	健康教育 学演習	健康教育の理論と展開方法	森田 久美子, 綾部 明江	グループディスカッショ ン、グループおよび個人の課題提出											
7-8	5/18	13:00-16:10	遠隔授業(同期型), 遠隔授業(非同期型)	健康教育 学演習	集団を対象とした健康教育の 実際	森田 久美子	グループディスカッショ ン、グループおよび個人の課題提出											
9-10	5/25	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	健康教育 学演習	健康教育のテーマの決め方、 計画書の作成方法	森田 久美子	グループディスカッショ ン、グループおよび個人の課題提出											
11	5/25	16:20-17:50	遠隔授業(非同期型)	健康教育 学演習	グループワーク① 健康 教育実施のための情報収集、 テーマ設定、計画書の作成	森田 久美子, 津田 紫緒	グループディスカッショ ン、グループおよび個人の課題提出											
12-14	6/1	13:00-17:50	遠隔授業(非同期型)	健康教育 学演習	グループワーク② 健康教 育に必要な媒体の作成、発表 練習	森田 久美子, 津田 紫緒	グループディスカッショ ン、グループおよび個人の課題提出											

15-16	6/8	13:00-16:10	遠隔授業(同期型)	健康教育 学演習	健康教育発表会、まとめ	森田 久美子、 津田 紫緒	グループディスカッショ ン、グループおよび 個人の課題提出
授業方法							
・非同期授業 指示された講義資料・参考資料を閲覧し、指示にあるように課題に回答する。また、WebClass にあるアクションペーパーに毎回記入して提出すること。質問が記入されている場合には個別もしくは全体に対して返答をする。							
・同期授業 ZOOM にて実施する。講義では、適宜ブレイクアウトルームに分かれてグループでディスカッションを行う。ディスカッションをもとに内容をまとめ、グループごとに発表をしてもらうので積極的に参加すること。							
授業内容							
授業スケジュールを参照							
成績評価の方法							
レポート 70%、プレゼンテーション 30%により評価する。							
成績評価の基準							
上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。なお、アクションペーパーでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。							
準備学習等についての具体的な指示							
シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等などで予習をしてくることが望ましい。							
試験の受験資格							
同期型の授業に2/3以上出席し、かつ演習に関連する課題を全て提出したるものに試験(レポート)の受験資格を与える。 なお、特別に勘案すべき事情があり指示を達成できない場合には、その事情とともに締切期日が過ぎる前に科目責任者にメールで連絡をすること。なお、緊急の場合には電話で連絡しても良いが、その後メールすること。連絡ができないような特別な事情がある場合にはその限りではない。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどで対応することとする。							
教科書							
・Educational Video Online 地域看護活動とヘルスプロモーション/ 続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、 2007・2008/2013・2014							
・DVD 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第1巻 公衆衛生看護活動における健康教育、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2013							
参考書							
・松本千明著: 健康行動理論の基礎、医歯薬出版株式会社 ・畠 栄一、土井由利子編: 行動科学 健康づくりのための理論と応用 ・国民衛生の動向 ・佐々木明子、井原一成編: 新体系 看護学全書 健康支援と社会保障制度②公衆衛生学、 メディカルフレンド社							
他科目との関連							
健康教育では、専門的知識を一般の人々にも理解できる内容・言葉に置き換えて教育するので、すでに履修してきた保健・看護の各専門分野の知識をしっかりと習得していることが必要である。また、病院内だけではなく地域で健康教育を行うことが多いので、地域保健看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・演習との関連が強い。保健師コース選択者は健康教育学演習で学んだことを、地域保健看護学実習で実践することもある。							
履修上の注意事項							
演習の課題に主体的に取り組み、発表や討議を通して、学習を深めることを期待する。学生の積極的な参加を望む。							
備考							
・2020年度からの改善点 グループワークの時間が足りないという意見があつたので、今年度はグループワークの時間を長めにとるようにしました。							
連絡先(メールアドレス)							
森田 久美子:morita.phn@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
森田 久美子:10:00-17:00 3号館 15階地域健康増進看護学研究室							

時間割番号	012062											
科目名	卒業論文Ⅱ				科目ID	MN-460700-S						
担当教員	緒方 泰子, 森田 久美子[OGATA YASUKO, MORITA KUMIKO]											
開講時期	2021年度通年	対象年次	4	単位数	2							
実務経験のある教員による授業	該当する											
英文名: Thesis II												
【科目責任者】看護学専攻主任 緒方 泰子 担当教員:看護先進科学専攻教授・准教授・講師・助教全員												
主な講義場所 所属分野の研究室等(配置分野の教員の指示に従う) 所属分野の決定を受けた後、所属分野の教員に研究指導場所等の確認を取ること。												
授業の目的、概要等 選択したテーマに沿って、指導教員から個々に具体的な研究指導を受ける。 指導教員のもとで研究を行い、論文にまとめる。 別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』を参照のこと。												
授業の到達目標 看護・保健に関する研究のプロセスを経験することを通じて、論文の読み方、研究の進め方、論文のまとめ方、発表の仕方等の基本的知識・技術等を習得することを目的とする。												
授業計画												
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考					
1	4/7	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
2	4/14	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
3	4/21	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
4	4/28	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
5	5/12	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
6	5/19	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
7	5/26	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
8	6/2	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
9	6/9	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
10	6/16	10:30-12:00	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
11-15	9/8	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
16-19	9/15	08:50-16:10	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
20-23	9/22	08:50-16:10	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					
24-27	9/29	08:50-16:10	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双方向型の授業形態とする。各分野の方針で進める					

28-32	10/6	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双向型の授業形態とする。各分野の方針で進める
33-36	10/13	08:50-16:10	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双向型の授業形態とする。各分野の方針で進める
37-41	10/20	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双向型の授業形態とする。各分野の方針で進める
42-46	10/27	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双向型の授業形態とする。各分野の方針で進める
47-51	11/10	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双向型の授業形態とする。各分野の方針で進める
52-56	11/17	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双向型の授業形態とする。各分野の方針で進める
57-61	11/24	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双向型の授業形態とする。各分野の方針で進める
62-66	12/1	08:50-17:50	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	緒方 泰子	ゼミ形式など双向型の授業形態とする。各分野の方針で進める
67-71	12/8	08:50-17:50	未定	卒論発表会	卒論発表会	緒方 泰子	
72-75	12/15	08:50-16:10	各研究室	卒論まとめ	卒論まとめ	緒方 泰子	

授業方法

同期授業/非同期授業も含め、所属分野の方針にしたがって研究を行う。ゼミ形式など双向型の授業形態とする。

授業内容

- ・所属分野の教員の指導のもと、学生が主体的に研究活動を行う。
- ・日時：授業開始から卒論発表会までの間の原則水曜日 2 時限。
- ・所属分野毎に定めたスケジュールによる。

成績評価の方法

別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』の評価及び単位認定を参照のこと。

研究指導を担当した各分野長が、研究発表までの過程を評価し、最終的に専攻主任が成績を認定する。

卒業研究論文(本文および抄録)と卒業研究発表で評価する。

1)研究活動への取り組み状況

2)卒業研究論文

・卒業研究論文本文と抄録を提出する。

・形式：別紙(卒業論文フォーム)の規定に従う。

・期限までに提出のない者には単位を認定しない。

3)卒業研究発表

・1人につき発表5分、討論2分程度。

・Power Point を使用した口頭発表を行う。

成績評価の基準

所属分野の指導教員(分野長)が研究発表までの過程(以下1)2)3))を、総合的に評価する。

1)研究活動への取り組み状況

2)卒業研究論文

3)卒業研究発表

※別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』の評価基準を参照のこと。

準備学習等についての具体的な指示

卒業論文Ⅰで学習した研究概説、研究倫理、外国語文献検索方法について復習をしておくこと。

試験の受験資格

試験は実施しない

教科書

特に指定しない。

参考書

APA 論文作成マニュアル／アメリカ心理学会 (APA) 著,前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦 訳:医学書院, 2011

看護研究 : 原理と方法／D.F.ポーリット, C.T.ベック 著,近藤潤子 監訳後藤桂子, 新道幸恵, 松岡恵, 高木廣文, 羽山由美子 訳:医学書院, 2010

大学院のシラバスも参考にすること。

他科目との関連

全ての科目で学んだことを応用するため、全ての科目と関連する。

備考

・保健衛生学科看護学の各分野に配属され、当該分野において、教授・准教授・講師・助教が指導教員(研究指導の責任者)となり、教員全員が指導にあたる。

・指導する学生数は原則として教授4名、准教授3名、講師2名、助教1名とする。

・2020年度の授業評価を踏まえ、状況が許す限り、対面でのゼミを取り入れる等、学生が相談しやすい体制をつくる。不明点等があれば、適宜、配属分野の教員に相談すること。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館 19階

森田 久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

森田 久美子:10:00-17:00 3号館 15階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	014001																	
科目名	AI 実践演習				科目ID													
担当教員	角 勇樹[SUMI YUKI]																	
開講時期	2021 年度通年	対象年次	2~4		単位数	1												
実務経験のある教員による授業	該当する																	
AI 実践演習																		
【科目責任者】角 勇樹																		
主な講義場所																		
ZOOM による同期および非同期を基本とする。演習内容の理解のため少人数での対面指導もありえる。																		
授業の目的、概要等																		
研究や就職のため、AI、python の基本を学び、実践に使えるようになる。																		
授業の到達目標																		
AI、python の基本を学び、自分でプログラミングできるようになる。																		
授業計画																		
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考											
1	9/30	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	IDE(Integrated Development Environment、統合開発環境) の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角 勇樹	電卓の作成											
2	10/7	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	Anaconda のインストール、Python の基礎、Graphical User Interface	IDE(Integrated Development Environment、統合開発環境) の構築、Python 基本的文法、tkinter の使い方	角 勇樹	電卓の作成											
3	10/21	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	画像の扱い方	PIL の使い方	角 勇樹	画像 viewer の作成											
4	11/4	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	行列、表の扱い方	panda を使い Excel とデータのやりとり、numpy の使い方	角 勇樹	Excel 処理自動化											
5	11/11	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	グラフの作り方	matplotlib の使い方	角 勇樹	グラフ作成											
6	11/25	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	AI その 1	NN(neural network)、Deep learning(深層学習)、Fully Connected Layer(全結合層)、Backpropagation(逆誤差伝搬)、誤差関数、データ拡張、k 分割交差検証	角 勇樹	MNIST 実行											
7	12/9	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	AI その 2	畳み込み(convolution neural network)、Max pooling	角 勇樹	MNIST 実行											
8	12/16	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	AI その 3	過学習、Dropout、Batch normalization、残差ネットワーク (Residual network)、転移学習	角 勇樹	Imagenet で転移学習した Xception を実行し物体認識											
授業方法																		
ZOOM による同期および非同期演習を基本とする。演習内容の理解のため少人数での対面指導もありえる。																		
授業内容																		
AI、python の基本を学び、自分でプログラミングを行う。																		
成績評価の方法 演習の参加、演習課題の提出																		
成績評価の基準																		
演習の参加率、演習課題の提出内容																		
準備学習等についての具体的な指示																		
「医療と AI・ビッグデータ入門」(選択科目もあり)を受講していることが望ましい。具体的には個人のコンピューターで Anaconda が実行できるレベルが望ましい。																		

試験の受験資格

演習なので参加している事が必要である。

参考書

授業にて指示する。Webclass などにも up する。

他科目との関連

「医療と AI・ビッグデータ入門」の次のレベル

連絡先(メールアドレス)

角 勇樹:yumi.pulm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

角 勇樹:毎週 月~金 曜日 AM.9:00~PM.17:00 3号館 16階 呼吸器神経系解析学教授室

(来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	012081													
科目名	Learning Medical English			科目ID	MN-492500-L									
担当教員	沢辺 元司[SAWABE MOTOJI]													
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2~4	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
Learning Medical English														
【科目責任者】沢辺 元司														
授業の目的、概要等														
現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は世界を舞台にして、活躍することが期待されている。そのためには、単なる英語の会話能力や一般的なプレゼン能力やディスカッション能力だけでなく、医学英語を熟知する必要がある。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。本科目では全身の主な疾患に関する医学英語を平易な専門書を用いて勉強する。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。														
授業の到達目標														
本科目の到達目標は解剖、病理、生理、症候学や様々な分野の医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員								
1	12/3	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第2章 心血管疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
2	12/15	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第3章 呼吸器疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
3	12/20	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第4章 神経疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
4	12/20	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第5章 胃腸疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
5	12/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第6・7章 筋肉骨格疾患、血液疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
6	12/22	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第8・9章 免疫疾患、内分泌疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
7	1/5	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	第 10・11 章 腎疾患、皮膚疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
8	1/5	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	第 12 章 生殖器疾患	小試験+通読	沢辺 元司								
授業方法 zoom による講義形式(同期型)														
成績評価の方法														
講義参加状況、小試験の成績、課題の準備状況、最終試験の成績を総合的に判断する														
準備学習等についての具体的な指示														
毎回、授業前に、教科書の章を和文翻訳し予習すること。また授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。														
教科書														
Pathophysiology Made Incredibly Visual (Incredibly Easy! Series®)／Capriotti T.: Lippincott Williams & Wilkins, 2016 上記教科書の Kindle 版は内容が少し異なるので、印刷版を購入してください。														
講義に間に合わない場合は図書館から図書を借用してコピーして一時的に使用して下さい														
参考書 特に指定しない。														
他科目との関連														
解剖学、病理学、生理学および他の英語関連の科目と関連する。														
履修上の注意事項														
3回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。本科目で用いる教科書(約5,000円)はビジュアルで平易な英語を用いて書かれている。楽しみながら学習しましょう。														
参照ホームページ 教科書のリンクです														
連絡先(メールアドレス)														
沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 3号館 16F 内線 5370														
オフィスアワー														
沢辺 元司オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること														
湯島キャンパス 3号館 16 階														

時間割番号	012088																		
科目名	実践看護英語Ⅲ				科目ID	MN-492700-L													
担当教員	近藤 晓子[KONDO AKIKO]																		
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	1														
実務経験のある教員による授業	該当する																		
実践看護英語Ⅰ																			
【科目責任者】近藤暁子																			
主な講義場所																			
ZOOM																			
授業の目的、概要等																			
異文化や看護、健康に関連する概念について英語で学ぶ。様々な文化についての記事を読み、米国の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。オンライン学習システムを使用して米国の学生と交流する。日本文化以外を持つ対象とディスカッションや共同プロジェクトの課題を実施する。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。																			
授業の到達目標																			
1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得 テーマとして取り上げた「レジリエンスの概念と健康について」理解し、看護への応用について考察できる。																			
2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成 文化の異なるワシントン大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点について類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。																			
3. 問題提起・解決能力の修得 ディスカッションを通して他者の意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。																			
4. 自己学習能力・創造性の形成 ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。レジリエンスの概念を看護実践にどのように取り入れるか自分の意見を述べることができる。																			
5. 国際性の形成 ワシントン大学の学生及び留学生と建設的なディスカッションおよび共同作業をすることで、英語でのコミュニケーションに慣れ、躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。																			
授業計画																			
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考												
1	4/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Introduction & Orientation 新津先生の米国での活動(RN, NPについて)の講演 課題: Padlet: Introduction	近藤 晓子, 新津 晃右													
2	4/14	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	International students' presentation about their culture	近藤 晓子	ディスカッション												
3	4/21	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Students' presentation about Japanese culture	近藤 晓子	プレゼンテーション												
4	5/7	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Nursing in Literature	Jonathan Corliss	ディスカッション												
5	5/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Religion & Spirituality ワシントン大学の学生と breakout room でのディスカッション	近藤 晓子, 新津 晃右	ディスカッション												
6	5/12	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Nursing in Film	Jonathan Corliss	ディスカッション												
7	5/19	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Culture and Resilience ワシントン大学の学生と breakout room でのディスカッション	近藤 晓子, 新津 晃右	ディスカッション												
8	5/26	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Final project presentation1 ワシントン大学の学生との共同プロジェクトの発表	近藤 晓子, 新津 晃右	プレゼンテーション												

9	6/2	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解 COIL	Final project presentation2 ワシントン大学の 学生との共同プロジェクトの発表	近藤 晓子, 新津 晃右	プレゼンテーション
10	6/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	異文化理解	Nursing and health systems in Hong Kong	近藤 晓子, VICO Chia ng	

授業方法

講義と演習、基本的にすべて英語で実施する。

2コマワシントン大学の学生と共有する。その他ワシントン大学の学生とオンラインでのディスカッションを行う。

授業内容

- 1) 講義と演習、基本的にすべて英語で実施する。
- 2) ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする(2-4,6 コマ)。
- 3) 香港の教員の講義およびディスカッションを行う(10 コマ)
- 4) 5コマはワシントン大学の Collaborative Online International Learning (COIL)と共同で行う(1、5、7-9コマ)。そのうちの4コマはワシントン大学の学生とZOOMで中継して共有し、指定されたテーマでディスカッションし、最終共同プロジェクトの準備を行う(5、7コマ)。最後の2コマはワシントン大学の学生と共同ホームページプロジェクトの発表を行う(8-9 コマ)。

成績評価の方法

全体の参加度:40%(出席状況、授業中の積極的な発言)

COIL 参加度:30%

Final project: 40%

準備学習等についての具体的な指示

原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed/Margaret M. Andrews & Joyceen S. Boyle:LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書

Margaret M. Andrews, Joyceen S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer

他科目との関連

国際保健看護学

履修上の注意事項

履修要件:TOEFL450 点以上

連絡先(メールアドレス)

近藤 晓子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 晓子オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3号館 18階)

時間割番号	012084																		
科目名	国際保健福祉 D				科目 ID	MN-492600-Z													
担当教員	緒方 泰子[OGATA YASUKO]																		
開講時期	2021 年度通年	対象年次	4	単位数	1														
実務経験のある教員による授業	該当する																		
英文名 : Global Health and welfare D																			
【科目責任者】看護学専攻主任 緒方泰子																			
主な講義場所																			
海外短期研修プログラム 研修機関先 ・ セイナヨキ応用科学大(フィンランド共和国) ・ ラオス保健科学大学(ラオス人民民主共和国) ・ ワシントン州(米国) 等																			
授業の目的、概要等																			
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。																			
授業の到達目標																			
1)研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。 2)1)で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。 2)海外研修報告会において、1)で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。																			
授業計画																			
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考												
1	4/16	18:00-19:30	遠隔授業 (同期型)	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	緒方 泰子													
2	10/13	16:20-17:50	未定	国際保健福祉	海外研修報告会	緒方 泰子	日時は未定である。												
授業方法																			
事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加(プレゼンテーションの実施等) オリエンテーションは Zoom で行う。 今年度の詳細は未定である。10 月以降に海外渡航の許可がおりプログラムが決定し次第の派遣となる。																			
授業内容																			
諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・ボランティア活動への参加や、グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等																			
成績評価の方法																			
・ 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況 ・ 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況 ・ 研修報告会における発表状況 ・ 研修報告書																			
成績評価の基準																			
事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5段階評価とする。																			
準備学習等についての具体的な指示																			
・ 渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること ・ グローバル人材育成プログラムにおける海外派遣前教育プログラム(Academic English Summer Course)に必ず参加し、TOEFL を受験すること ・ 学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること ・ 派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること																			

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

主に、海外短期研修プログラムへの参加となる。

参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。

海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

今年度の詳細は未定である。4月のオリエンテーションに参加すること。

他科目との関連

国際保健福祉 B, 国際保健福祉 C, 国際保健福祉 D, 国際保健看護学

履修上の注意事項

- ・ 4月に開催される合同オリエンテーションに参加すること
- ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと
- ・ Global Communication Workshop (GCW)へ参加していることが必須である
- ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと
- ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い

- ・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること
保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他
 - ・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
- ・ 2020年度の授業評価を踏まえ、2021年度は、状況が許す限り海外での研修が実現するよう調整する。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館19階

オフィスアワー

緒方 泰子オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012077									
科目名	地域保健看護学Ⅲ			科目ID	MN-492100-L					
担当教員	月野木 ルミ, 津田 紫緒[TSUKINOKI Rumi, TSUDA SHIO]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	2					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名:Community Health NursingⅢ										
【科目責任者】:月野木 ルミ										
主な講義場所										
保健衛生学講義室4(3号館7階)										
授業の目的、概要等										
地域で生活している人々に対する保健看護活動について学ぶ。成人高齢者と母子・心身障害児及び、感染症・災害・健康危機管理における、地域保健システムとヘルスニーズのアセスメント、保健看護活動の展開方法、評価の視点を学ぶ。										
授業の到達目標										
1)「1~15 回」成人高齢者・母子・心身障害児及び、感染症・災害・健康危機管理における保健看護活動の目的と基盤になる地域保健システムについて理解する。 2)「1回」心身障害児の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。 3)「5,8,9,15 回」地域における成人高齢者・難病者の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。 4)「3,4,6,7 回」地域における母子の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。 5)「10,11 回」地域における感染症に対する保健看護活動の展開方法と評価について理解する。 6)「12,13 回」地域における看護管理活動の展開方法と評価について理解する。 7)「14 回」離島における保健看護活動の展開方法と評価について理解する。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	4/8	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	心身障害児療育と保健指導	野村 政子				
2	4/8	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	高齢者保健看護活動(介護予防、高齢者への虐待予防活動)	月野木 ルミ				
3	4/12	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	母子保健看護活動の目的と保健医療福祉システム	清水 洋子				
4	4/12	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(妊娠婦への保健看護活動)	清水 洋子				
5	4/22	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	成人期の保健福祉施策と保健医療福祉システム	新井 久美子				
6	5/10	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(乳幼児健診、相談、学級)	清水 洋子				
7	5/10	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(ハイリスク母子への活動)	清水 洋子				
8	5/17	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	成人高齢者保健看護活動の展開(健康診査、健康相談)	山口 忍				
9	5/17	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	難病者保健看護活動の展開	小倉 朗子				
10	5/24	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	感染症保健活動の展開(結核、感染症、エイズに対する保健活動の展開)	加藤 たか子、津田 紫緒				
11	5/24	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	感染症保健活動の展開(結核、感染症、エイズに対する保健活動の展開)	加藤 たか子、津田 紫緒				
12	5/31	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	地域における看護管理活動	久保田 米子				
13	5/31	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	地域における看護管理活動	久保田 米子				
14	6/3	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	離島における保健活動の展開	丸山 あかね				
15	6/3	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	災害時・健康危機管理時の保健活動の展開	津田 紫緒				
成績評価の方法										
定期試験、レポート										
準備学習等についての具体的な指示										
授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおき、グループ討議時には、積極的に参加すること。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。										

教科書

公衆衛生看護学 = Public Health Nursing／上野昌江 和泉京子 編集, 上野, 昌江和泉, 京子, : 中央法規出版, 2016

国民衛生の動向 2018/2019 2018年 08月号 (厚生の指標)／一般財団法人 厚生労働統計 協会: 厚生労働統計協会, 2018

Educational Video Online (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第4巻 新潟県中越沖地震にみる災害看護活動／佐々木明子他
監修: 丸善出版株式会社, 2007

Educational Video Online (DVD) 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第1巻 公衆衛生看護活動における健康教育／佐々木明子他
監修: 丸善出版株式会社, 2013

Educational Video Online 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版
株式会社、2007・2008/2013・1014

参考書

最新保健学講座3 公衆衛生看護活動論1 ライフステージの特性と保健活動／金川克子 編: メディカルフレンド社, 2015

最新保健学講座4 公衆衛生看護活動論2 心身の健康問題と保健活動／金川克子 編: メディカルフレンド社, 2015

新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度2 公衆衛生学／佐々木明子、井原一成 編集: メディカルフレンド社, 2016

標準保健師講座2 公衆衛生看護技術／中村裕美子: 医学書院, 2016

新体系 看護学全書 統合分野 看護の統合と実践 災害看護学／辺見弘 監修、小井土雄一、山西文子 編: メディカルフレンド社, 2013

最新 保健学講座7 保健医療福祉行政論／野村陽子 編: メディカルフレンド社, 2015

保健師業務要覧 2018年版／井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠実, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子 編: 井伊, 久美子, 荒木田, 美香子, 松本, 珠実: 日本看護協会出版会, 2018

最新公衆衛生看護学 第3版 2019年版／宮崎美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子 編: 日本看護協会出版会, 2018

他科目との関連

成人看護学, 老年看護学, 母性看護学, 小児看護学, 保健統計学, 関連法規, 保健医療福祉制度論などの科目の応用を必要とする。

履修上の注意事項

関連の科目を十分復習してのぞむこと。

連絡先(メールアドレス)

津田 紫緒3号館19階地域保健看護学研究室2 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

津田 紫緒: アポイントをとった上で随時実施

電話: 03-5803-5350

時間割番号	012078									
科目名	地域保健看護学演習			科目ID	MN-492200-S					
担当教員	月野木 ルミ, 津田 紫緒[TSUKINOKI Rumi, TSUDA SHIO]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名: Seminar of Community Health Nursing										
【科目責任者】:月野木 ルミ										
主な講義場所										
保健衛生学講義室1(3号館18階)										
授業の目的、概要等										
地域保健看護活動の具体的な手法である地区診断と地域の保健福祉資源、家庭訪問・相談、地区組織活動等の活動方法について学ぶ。地域特性の把握、地域のヘルスニーズのアセスメント、計画の立案、活動の展開方法、評価に必要な知識と技術を習得する。										
授業の到達目標										
1~9回目										
1) 地域の人々の生活、地域保健システム、地域の社会資源など地域特性について理解する。										
2) 地域診断の目的と展開方法、評価方法を学ぶ。										
3) 健康相談活動の目的・技法を理解する。										
4) 地区組織活動の目的・展開方法を理解する。										
5) 家庭訪問の実施方法を習得する。										
10回目~14回目										
1) 特定の地域を設定し、グループで地域診断を展開する。										
2) グループで展開した地域診断のプロセス、結果を発表し、討議を通して理解を深める。										
15、16回目										
1) 児童相談所の活動目的、機能、保健師の役割を理解する。										

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	わが国の地域保健看護活動、展開の指針	月野木 ルミ
2	4/15	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域診断の目的、展開方法	月野木 ルミ, 津田 紫緒
3	4/22	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地区活動の展開方法と評価	新井 久美子
4	4/26	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地区組織活動の目的、展開	綾部 明江
5	4/26	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地区組織活動の目的、展開	綾部 明江
6	5/20	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域診断の展開方法と評価演習	津田 紫緒
7	5/20	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域保健看護学実習オリエンテーション 地域診断演習1	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
8	5/27	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	健康相談の目的、方法	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
9	5/27	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	新生児訪問演習	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
10	5/27	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域診断演習2まとめ・グループワーク	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
11	6/10	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域診断演習2まとめ・グループワーク	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
12	6/10	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域診断演習2まとめ・グループワーク	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

13	6/15	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	児童相談センターにおける活動	津田 紫緒
14	6/15	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	児童相談センターにおける活動	津田 紫緒
15	6/17	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域診断演習3 地域診断発表会	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
16	6/17	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学演習	地域診断演習3 地域診断発表会	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

成績評価の方法

レポート, プрезентーション

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いて振り返ることが望ましい。

教科書

公衆衛生看護学 = Public Health Nursing／上野昌江 和泉京子 編集,上野, 昌江和泉, 京子,:中央法規出版, 2016

国民衛生の動向 2018/2019 2018年 08 月号 (厚生の指標)／厚生統計協会 編:厚生労働統計協会, 2018

Educational Video Online (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第2巻 家庭訪問の展開とコミュニケーション技術／錦織正子他監修:丸善出版株式会社, 2007

Educational Video Online (DVD) 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第2巻 公衆衛生看護学活動における健康相談／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2013

Educational Video Online (DVD) 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第3巻 公衆衛生看護学活動における地区組織活動・自主グループ／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2014

教科書6 (DVD) 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第4巻 公衆衛生看護学活動における地域診断、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2014

教科書7 (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2007

教科書8 【教材用】母子健康手帳 はいはい(C) H31年度版、株式会社母子保健事業団、2019

教科書9 (DVD) 新・地域看護活動とヘルスプロモーション 第1巻 地域ケアシステム、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2019

参考書

コミュニティアズパートナー:地域看護学の理論と実際／エリザベス・T. アンダーソン、ジュディス・マクファーレイン 編、金川克子、早川和生 監訳:医学書院, 2007

最新 保健学講座 5 公衆衛生看護管理論／平野かよ子 編:メデカルフレンド社, 2015

地域看護診断／金川克子、田高悦子 編:東京大学出版会, 2011

保健師業務要覧／井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠実, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子 編:井伊, 久美子,荒木田, 美香子,松本, 珠実:日本看護協会出版会, 2018

Community As Partner: Theory And Practice in Nursing(8th Edition)／Elizabeth T. Anderson, Judith McFarlane 著:Wolters Kluwer, 2018

最新保健学講座 別巻1 健康教育論／宮坂忠夫 編:メデカルフレンド社, 2013

他科目との関連

地域保健看護学で学んだ知識を学生各自が総合的に活用する必要がある。また、この科目は地域保健看護学実習を行う上で必須の知識と技術を学ぶための科目である。

履修上の注意事項

演習の課題に主体的に取り組み、発表や討議を通して、学習を深めることを期待する。学生の積極的な参加を望む。

連絡先(メールアドレス)

津田 紫緒3号館19階地域保健看護学研究室2 03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

津田 紫緒:アポイントをとった上で随時実施

電話:03-5803-5350

時間割番号	012079									
科目名	地域保健看護学実習			科目ID	MN-492300-E					
担当教員	月野木 ルミ, 津田 紫緒[TSUKINOKI Rumi, TSUDA SHIO]									
開講時期	2021 年度通年	対象年次	4	単位数	3					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名:Practice of Community Health Nursing										
【科目責任者】:月野木 ルミ										
授業の目的、概要等										
【保健所・保健センター】										
地域保健活動の第一線機関である保健所・保健センターの役割と機能を理解する。また、地域保健看護活動の意義と保健師の役割を理解する。地域特性をふまえて健康問題をとらえることの必要性を理解し、家庭や地域社会で生活する人々に対する保健・医療・福祉活動を学ぶ。また、地域保健における看護管理の機能について理解する。										
さらに、地域保健看護活動の計画・実践・評価の一連の過程を学習し、地域保健看護活動の展開と方法と専門性を理解する。										
【学校】										
学校教育における保健活動の目的と保健教育、保健管理および養護教諭の活動について学ぶ。										
学校保健と地域保健の関係と、看護専門職としての役割について理解を深める。										
【産業】										
企業における産業保健の取り組みならびに保健師の役割と業務について学ぶ。										
産業保健と地域保健の連携と、看護専門職としての役割について理解を深める。										
授業の到達目標										
【保健所・保健センター】										
1) 地域保健活動の実践機関としての保健所の機能と活動の展開法について理解する。										
2) 保健所・保健センター等の保健師の役割を理解する。										
3) 地域診断をもとに、地域特性を反映した地域保健看護活動の計画・実施・評価の方法を理解する。										
4) 個人・家族・集団の健康課題に応じた地域保健看護活動の展開方法と技術を理解する。										
5) 健康教育の実施の方法を理解する。										
6) 住民のニーズに応じた関係機関、他職種との連携・チームワークの方法を理解する。										
7) 地域保健看護活動の今日的動向と法的根拠を理解する。										
8) 地域保健における看護管理の機能について理解する。										
【学校】										
1) 学校教育における保健活動の体系と活動の実際について、理解を深める。										
2) 養護教諭の活動について、理解を深める。										
3) 地域の関係機関との連携について学ぶ。										
【産業】										
1) 企業における保健活動の体系と活動の実際について、理解を深める。										
2) 産業保健師の活動について理解を深める。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	9/10	08:50-10:20	保健衛生学科 講義室 2	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子				
2	9/10	10:30-12:00	保健衛生学科 講義室 2	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子				
3	9/10	13:00-14:30	保健衛生学科 講義室 2	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子				
4	9/10	14:40-16:10	保健衛生学科 講義室 2	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子				
5	9/10	16:20-17:50	保健衛生学科 講義室 2	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子				

					習要項参照	森田 久美子
178	11/18	13:00-14:30		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
179	11/18	14:40-16:10		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
180	11/18	16:20-17:50		地域保健看護学実習	地域保健看護学実習詳細については実習要項参照	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
181	11/19	08:50-10:20	保健衛生学科 講義室1, 保健衛生学科 講義室2	地域保健看護学実習	実習報告会	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
182	11/19	10:30-12:00	保健衛生学科 講義室1, 保健衛生学科 講義室2	地域保健看護学実習	実習報告会	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
183	11/19	13:00-14:30	保健衛生学科 講義室1, 保健衛生学科 講義室2	地域保健看護学実習	実習報告会	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
184	11/19	14:40-16:10	保健衛生学科 講義室1, 保健衛生学科 講義室2	地域保健看護学実習	実習報告会	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子
185	11/19	16:20-17:50	保健衛生学科 講義室1, 保健衛生学科 講義室2	地域保健看護学実習	実習報告会	月野木 ルミ, 津田 紫緒, 森田 久美子

授業内容 詳細については実習要項参照

成績評価の方法

実習内容、実習態度、実習記録、カンファレンスや実習報告会の取り組み状況から総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

実習開始前に地域保健看護関連の本・資料等を熟読し、知識の整理・確認を行い、実習地でのプレゼンテーションやグループ討議に備えること。

教科書

(DVD)新・地域看護活動とヘルスプロモーション 第1巻 地域ケアシステム／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2019

(DVD)新・地域看護活動とヘルスプロモーション 第4巻 学校保健／青柳千春監修:丸善出版株式会社, 2019

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先(メールアドレス)

津田 紫緒3号館19階地域保健看護学研究室2

03-5803-4573 tsuda.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

津田 紫緒:アポイントをとった上で隨時実施

電話:03-5803-5350

時間割番号	012067A					
科目名	緩和ケア看護学 I			科目ID	MN-431000-L	
担当教員	山崎 智子[YAMAZAKI TOMOKO]					
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する					
英文名:Palliative Care I						
【科目責任者】山崎 智子						
主な講義場所						
Zoom での同期授業を実施する。						
授業の目的、概要等						
緩和ケア、終末期ケア(エンドオブライフケア)に関する諸概念・諸理論について学習し、緩和ケア、終末期ケアを必要とする人々への援助方法論を深める。						
授業の到達目標						
1)緩和ケアを必要とする人々と家族の特徴を理解し、QOL の向上を目指した看護についてその理論と実際を理解する。 2)要介護高齢者、難病患者、およびがん患者の症状コントロールや療養の体制作りについて理解し、看取りおよびその後の家族に対する看護を理解する。 3)緩和ケアやチーム医療について理解し、看護師の役割について考察することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	がんの病態・治療について 緩和ケアの概論	がんの発生や広がり、身体への影響、精神への影響について	三宅 智, 山崎 智子
2	4/14	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	緩和ケアを必要とする症状のマネジメントについて	がんによって起きる様々な症状のマネジメントについて 病院・施設でのチーム医療における多職種の役割について	三宅 智, 山崎 智子
3	4/16	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	在宅ホスピスにおける医学的管理	在宅ホスピスについて 在宅で療養するがん患者、非がん患者の医学的管理について	山崎 智子, 平原 佐斗司
4	4/16	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	在宅ホスピスにおける医学的管理	在宅で療養するがん患者、非がん患者の医学的管理について	山崎 智子, 平原 佐斗司
5	4/23	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	在宅ホスピスの緩和ケア —訪問看護の実際—	在宅・施設におけるホスピスケアの実際について	蛭田 みどり, 山崎 智子
6	4/23	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	在宅ホスピスの緩和ケア —訪問看護に実際—	在宅・施設におけるホスピスケアの実際について	蛭田 みどり, 山崎 智子
7	5/7	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	家族ケア・遺族ケア	緩和ケアを受ける人々の家族のケアについて 遺族となった人のケアについて	山崎 智子
8	5/7	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	家族ケア・遺族ケア ケアする人のケア	医療者のグリーフについて	山崎 智子, 本松 裕子
授業方法						
Zoom での同期授業を実施する。						
ブレイクアウトルームを利用したグループディスカッションによりアクティブラーニングを実施する。						
授業内容						
1)病院における緩和ケア がんという病気の心身における影響について、診断期からの緩和ケアについて 2)在宅ホスピスにおける医学的管理の実際 がん患者、非がん患者を対象に 3)在宅ホスピスにおける訪問看護の実際 4)家族・遺族への支援、医療者のグリーフへの支援						
成績評価の方法						
出席、およびレポート						
レポート提出は 7 月 5 日(月)17:00 webclass に提出とする。						

成績評価の基準

3分の2以上の出席、レポートの提出、レポート内容をもって評価する

準備学習等についての具体的な指示

がん看護、緩和ケア、終末期ケア・ターミナルケア・ホスピス・エンドオブライフケア等に関する書籍(手記・概説・実践報告等)を検索し、関心のある本少なくとも1冊は熟読して置くこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席が最低限の資格となる。

教科書

緩和・ターミナルケア看護論 第2版／鈴木志津枝、内布敦子 編鈴木、志津枝内布、敦子, 1955-,; ヌーベルヒロカワ, 2011

参考書

絵でみるターミナルケア：人生の最期を豊かに生き抜く人へのかぎりない援助／佐藤禮子 監修;浅野美知恵 編集佐藤、礼子, 1939-,浅野、美知恵,:学研メディカル秀潤社, 2015
, 2011

他科目との関連

母性看護・小児看護・成人看護・高齢者看護の発達段階別看護領域全てに関連する。3年次までの講義および実習で体験した終末期看護の内容を統合させて学習する。

履修上の注意事項

講義後は自身の学び、これから自身の課題を明確にするため、レフレクションしたことを記述し提出すること。

連絡先(メールアドレス)

山崎 智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp

オフィスアワー

山崎 智子:mail もしくは電話で事前に連絡のこと 3号館18階がんエンドオブライフケア看護学准教授室

時間割番号	012067B									
科目名	緩和ケア看護学Ⅱ			科目ID	MN-491100-L					
担当教員	山崎 智子[YAMAZAKI TOMOKO]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	1					
実務経験のある教員による授業	該当する									
英文名:Palliative Care II										
【科目責任者】山崎 智子										
主な講義場所										
Zoom での同期授業を実施する。										
授業の目的、概要等										
社会においてがんサバイバーを支える支援や家族・遺族の支援の実際について学ぶ エンドオブライフにおけるコミュニケーションについて学ぶ										
授業の到達目標										
1)診断から終末期まで、がんとともに生きる人々の QOL の向上を目指した看護や社会的支援について理解する。 2)がんとともに生きる患者の家族の苦悩を理解し、看取りおよびその後の家族に対する看護を理解する。 3)がんと共に生きる人々と家族の全人的苦痛についての理解を深め、その支援について自らの意見を述べることができる。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	5/14	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	エンドオブライフにある人とのコミュニケーション	「死を前にした人にあなたは何ができますか?」抄読 スピリチュアルケアについて話し合う	山崎 智子				
2	5/14	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	エンドオブライフにある人とのコミュニケーション	「死を前にした人にあなたは何ができますか?」抄読 死を前にした人とのコミュニケーションについて話し合う	山崎 智子				
3	5/21	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	がんと共に生きる人を支える医療・看護 がんサバイバーとその家族の体験から学ぶ	討論・交流 がん体験者とご家族の経験について話を聞き、質問や交流を通して学びを深める	山崎 智子				
4	5/21	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	がんと共に生きる人を支える医療・看護	グループワーク・討論 生きること死ぬことの準備について学ぶ	山崎 智子				
5	5/28	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	がんと共に生きる人を支える医療・看護	がん哲学外来の実践 がん哲学外来創始者の樋野興夫氏から学ぶ 意見交換・討論	山崎 智子				
6	5/28	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	がんと共に生きる人を支える医療・看護	子どものがん教育について 樋野興夫氏から学ぶ 意見交換・討論	山崎 智子				
7	6/4	13:00-14:30	遠隔授業 (同期型)	家族・遺族を支える支援 一家族ケア・グリーフケアの実際一	家族・遺族の体験から学ぶ ~ご遺族のお話しを伺う~	山崎 智子				
8	6/4	14:40-16:10	遠隔授業 (同期型)	家族・遺族を支える支援 一家族ケア・グリーフケアの実際一	家族・遺族の体験から学ぶ 討論 ご遺族と自由なお話し合いを通して遺族の経験と支援について話し合う	山崎 智子				
授業方法										
Zoom での同期授業を実施する。										
グループディスカッションによりアクティブラーニングを実施する。										
授業内容										
1)がん哲学外来の創設者、がん教育のパイオニアとともにがんの患者さん・家族への寄り添い方について話し合い、理解を深める。 2)がんを罹患したご本人・家族の経験、遺族の経験について話を聞き、交流することを通して当事者の経験への理解を深める。 3)エンドオブライフにおけるコミュニケーションについての本を抄読し理解を深める										
成績評価の方法										
出席、および授業への参加状況、レポート										
レポート提出は7月5日(月)17:00 webclass に提出とする。										

成績評価の基準
出席・討議 60%、レポート 40%
準備学習等についての具体的な指示
がん体験者やその家族の経験について手記や研究論文などを1冊(1篇)以上読んでおくこと。
試験の受験資格
3分の2以上の出席を条件とする
教科書
緩和・ターミナルケア看護論：成人看護学／鈴木志津枝、内布敦子 編鈴木、志津枝、内布、敦子、1955-；ヌーヴェルヒロカワ、2011 死を前にした人にあなたは何ができますか？／小澤竹俊著、小澤、竹俊：医学書院、2017
参考書
絵でみるターミナルケア：人生の最期を生き抜く人へのかぎりない援助／佐藤禮子 監修、浅野美知恵 編：学習研究社、2006
他科目との関連
母性看護・小児看護・成人看護・高齢者看護の発達段階別看護領域全てに関連する。3年次までの講義および実習で体験した内容を統合させて学習する。
履修上の注意事項
積極的に講師や学生同士で疑問や考えについて話し合い、理解を深め、自身の課題を見出せるように取り組んで欲しい。
連絡先(メールアドレス)
山崎 智子:tyamazaki.eol@tmd.ac.jp
オフィスアワー
山崎 智子:mail もしくは電話で事前に連絡のこと 3号館18階がんエンドオブライフケア看護学准教授室

時間割番号	012068									
科目名	看護の統合と実践Ⅱ			科目ID	MN-431200-L					
担当教員	佐々木 吉子, 今津 陽子, 緒方 泰子, 柏木 聖代, 野口 綾子[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO, OGATA YASUKO, KASHIWAGI Masayo, NOGUCHI Ayako]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	2					
実務経験のある教員による授業	該当する									
Integration of acquaintances for nursing practice II										
【科目責任者】佐々木吉子										
主な講義場所										
Zoomによる同期型授業 (ネットワーク接続の問題のため、自宅からの参加ができない学生が接続するための講義室については必要に応じ連絡する)										
授業の目的、概要等										
本科目では、看護専門職に必要とされる知識・技術・態度について、3 年次までの学修内容に看護倫理やマネジメント、政策の視点を含めて熟考・統合し、看護観を発展させるとともに、臨床での看護実践能力を向上することを目的とする。そのため、看護倫理、看護マネジメント、医療制度・経済について知識を深めるとともに、保健・医療の現場で遭遇する、個人、集団の心身の危機的状況や、医療事故、災害等に対応するために必要な手技や多職種との連携の仕方について学修する。										
授業では、専門家から講義を受けて知識を深めるとともに、医療チームにおいて多職種と連携しながら看護が果たす役割を探究し、学生自身のキャリアプランを発展させる。										
授業の到達目標										
1)看護倫理、看護マネジメント、医療制度・経済、政策について知識を深め、これらの視点を含めて看護観を発展させ、社会において看護が果たす役割について、自身の考えを表現することができる。 2)医療現場における多職種連携において看護職が担う役割やリーダーシップのあり方について理解することができる。 3)看護専門職に必要とされる知識、技術、態度に関する学修内容を統合し、学生自身のキャリアプランを発展させる。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	4/8	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	オリエンテーション キャリアマネジメント	オリエンテーション／看護職のキャリアマネジメント	佐々木 吉子				
2	4/15	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	チーム医療①	チーム医療とコミュニケーションスキル	今津 陽子				
3	5/6	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	チーム医療②	災害時における保健医療福祉の連携	佐々木 吉子				
4	5/13	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	チーム医療③	患者の栄養管理	今津 陽子				
5	5/13	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	看護組織とマネジメント①	組織文化と職場環境	尾立 篤子				
6	5/20	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	看護に関する政策①	財政と医療: 経済学の視点	佐藤 主光				
7	5/27	08:50-10:20	遠隔授業(同期型)	看護に関する政策②	看護政策の決定過程	柏木 聖代				
8	5/27	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	看護倫理	看護倫理	麻原 きよみ				
9	6/3	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	看護組織とマネジメント②	看護組織におけるマネジメントとマネジャー育成	緒方 泰子				
10	6/7	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	医療・看護の質保証①	病院のクオリティ・マネジメント	森脇 瞳子				
11	6/7	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	医療・看護の質保証②	病院における医療安全	小野 和代				
12	6/14	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	チーム医療④	急性・重症患者ケア	野口 綾子				
13	6/14	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	医療・看護の質保証③	看護研究と看護実践	小笠 由香				
14	6/14	16:20-17:50	遠隔授業(同期型)	看護の統合と実践実習オリエンテーション		佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子				
15	6/21	13:00-14:30	遠隔授業(同期型)	医療・看護の質保証④	ミドルマネジメント(看護師長の役割)の実際	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子				
16	6/21	14:40-16:10	遠隔授業(同期型)	医療・看護の質保証⑤	トップマネジメント(看護部長の役割)の実際	浅香 えみ子				

授業方法
講義、グループディスカッション
授業内容
授業明細の通り
成績評価の方法
講義前の事前課題(20%)、講義後のレスポンスシートの内容(20%)、授業への参加姿勢(20%)およびレポート(40%)にて評価する。 提出物は原則的にWebClassのみで受け付ける。締め切りは以下とする。 事前課題:前回講義日翌日の13:00 レスポンスシート:講義日翌日の13:00 レポート:2021年6月28日(月)13:00 レポート課題は以下を予定する。適切なタイトルをつけ、適切に文献を引用し、レポートとしての体裁を整えること。 講義で学習した内容の中で自分が特に関心を持ったテーマを1つ選び、そのテーマにおける現場で問題・課題となっていることについて、自分の意見を述べた上で文献を用い論じること。さらに、自身が臨床現場で活動する上で求められる能力をどのように修得するか、現時点での具体的なプランを考察すること。(1200字程度)
成績評価の基準
初回授業時に評価基準を提示する。
準備学習等についての具体的な指示
前週の講義時に事前学習の内容について指示を行うため、確認すること。看護・医療に関する制度・政策に関するニュース等の情報収集を積極的に行うこと。授業の進行と合わせて、3年次までの履修科目の知識、技術、態度に関する既習内容について振り返り、本講義の学習内容と結び付けて理解すること。
試験の受験資格
2/3以上の授業への出席
教科書
授業資料の作成に用いた書籍・資料は参考資料として必要に応じて提示する。
他科目との関連
既習の看護の専門科目および看護の統合と実践実習・保健医療福祉制度論との関連が深い。
履修上の注意事項
内容・日時・場所については変更が生じうるので教務係や担当教員からの連絡を確認すること。 講義資料はWebClass「N4 看護の統合と実践Ⅱ 2021」にて講義日前日の正午までには公開するので、講義までに各自で準備しておくこと。
連絡先(メールアドレス)
佐々木 吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp 今津 陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp 3号館18階
オフィスアワー
佐々木 吉子:平日 AM9:30~PM5:30 3号館19階 災害・クリティカルケア看護学分野教授室 今津 陽子:平日 AM10:00~PM5:00 3号館18階 災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

時間割番号	012070									
科目名	看護の統合と実践実習			科目ID	MN-471400-E					
担当教員	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子[SASAKI YOSHIKO, IMAZU YOKO, NOGUCHI Ayako]									
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	3					
実務経験のある教員による授業	該当する									
Practice of integration of acquaintances for Nursing Practice										
【科目責任者】佐々木 吉子										
主な講義場所										
東京医科歯科大学医学部附属病院 病棟、ER センター、外来、3 号館 17 階看護学実習室 1,2,3,4										
授業の目的、概要等										
本科目では、病院機能全体において看護職が果たす役割を総合的な体験・実践を通して理解することを目的とする。そのため、病棟(夜勤を含む)、外来や専門診療部門における看護職の機能や役割について学ぶとともに、医療安全のための行動や、チーム医療における多職種との連携や協働に看護職が果たす役割について、見学、シャドウイング、ミーティングへの参加などを通して理解する。また、既習の知識や技術を基盤として、病棟におけるパートナーシップ・ナーシングや、クリティカルケア部門における重症患者のケアのマネジメント、歯科看護、外来患者の療養生活の支援を経験し、優先性を考慮した多重課題への対応や、チームにおける協働について学ぶ。さらに、災害やグローバル化に伴って生じる諸問題に注目し、看護職として果たすべき役割について理解するとともに、シミュレーションを通して、必要な知識とスキルを修得する。以上を通して、現場の看護職に求められる知識・技術・態度についてあらためて考察し、自らの課題を見出し、総合的な看護実践能力を高める。										
授業の到達目標										
1)病棟(夜勤を含む)、外来や専門診療部門における看護職の役割について理解し、説明することができる。 2)病院組織における、医療安全のための行動や、チーム医療における多職種との連携や協働に看護職が果たす役割について理解し、説明することができる。 3)既習の知識や技術を基盤として、病棟におけるパートナーシップ・ナーシングや、クリティカルケア部門での重症患者のケア・マネジメント、歯科看護、外来患者の療養生活 の支援について見学、または一部経験することを通して、優先性を考慮した多重課題への対応やチームにおける協働について学び、これらの要点について説明することができる。 4)災害やグローバル化に伴って生じる諸問題について、病院での備えや実践内容を理解し、有事に看護職として果たすべき役割について検討し、シミュレーションを通して対応に必要な知識とスキルを修得することができる。 5)まとめの会において各自の学びを共有し、病院機能全体における看護職の多様な役割や、現場の看護職に求められる知識・技術・態度についてあらためて考察し、自らの課題を述べることができる。										
授業計画										
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員				
1	6/14	16:20-17:50	遠隔授業 (同期型)	実習オリエンテーション	実習オリエンテーション	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子				
2	6/29	08:50-10:20		チーム医療 入門	他学科・他大学学生とのグループワーク	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子				
3	6/30	08:00-17:00		チーム医療 入門	他学科・他大学学生とのグループワーク	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子				
4	7/1	08:00-17:00	保健衛生学科講義室 1, 保健衛生学科講義室 3	医療安全実習	チームビルディング演習、KYT、プレゼンテーション	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子				
5	7/2	08:00-17:00	保健衛生学科講義室 1, 保健衛生学科講義室 3	看護の統合 と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子				
6	7/5	08:00-17:00	保健衛生学科講義室 1, 保健衛生学科講義室 2	看護の統合 と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子				
7	7/6	08:00-17:00	保健衛生学科講義室 1, 保健衛生学科講義室 2	看護の統合 と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 綾子				

8	7/7	08:00-17:00	看護学実習室3	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 紗子
9	7/8	08:00-17:00	遠隔授業 (同期型)	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 紗子
10	7/9	08:00-17:00	遠隔授業 (同期型)	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 紗子
11	7/12	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 紗子
12	7/13	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 紗子
13	7/14	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 紗子
14	7/15	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・災害看護実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 紗子
15	7/16	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室2	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・災害看護実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 紗子
16	7/20	08:00-16:00	遠隔授業 (同期型)	看護の統合と実践実習	看護管理実習・夜勤実習・多重課題実習・在宅療養支援実習・災害看護実習・歯学部実習・クリティカル看護実習・課題学習日のいづれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 紗子
17	7/21	08:00-17:00	遠隔授業 (同期型)	実習発表会	グループワーク、プレゼンテーション	佐々木 吉子, 今津 陽子, 野口 紗子

授業方法

講義、演習(学内、実習施設(医学部附属病院))、実習施設の見学、シャドーイング、グループディスカッション

授業内容

1.チーム医療入門

他学部・他学科学生と合同で事例を用いた演習を中心とした学習を行なう。

2.医療安全実習

病院組織における医療安全のための行動の理解のために、附属病院の医療安全担当看護師による実践的な講義・演習と病棟における見学実習を行なう。

3.看護管理実習

- 1) 病棟の特徴と看護師長と日勤帯リーダーのコミュニケーションについてオリエンテーションを受ける。
- 2) 日勤帯のリーダーのシャドウイングを行なう。

4.多重課題実習

多重課題への対応を安全に効果的に行うために、パートナーシップ・ナーシングなどの看護体制の見学や複数の患者を受け持つスタッフナースのシャドウイングを通して学ぶ。

5.夜勤実習

- 1) 夜勤帯の看護師のシャドウイングを行なう。
- 2) 1)のシャドウイングから交代制勤務に従事する上での体調の管理方法を実践・考察する。

6.在宅療養支援実習

外来患者が在宅で療養生活を送るうえで必要な支援について、化学療法室、糖尿病足外来、血液浄化療法部の看護師のシャドウイングを通して学ぶ。

7.クリティカルケア実習(ERセンター、学内シミュレーション)

クリティカルな状況におけるシミュレーション実習とICU、ERセンターにおける見学実習を行う。

8.災害看護実習

災害発生時の看護に関する実践的な講義・演習(シミュレーション教育を含む)と医学部附属病院における見学実習を行なう。

9.歯科看護実習

口腔外科病棟、口腔外科外来にてスタッフナースのシャドウイングを行う。

10.実習報告会

看護の統合と実践実習における学習内容を学生・教員・実習指導者・看護管理者に対して発表する。

成績評価の方法

本実習は複数の内容によって構成されるため、以下のように内容を分割した上で成績を評価する。

①チーム医療入門・医療安全実習・看護管理実習・多重課題実習・夜勤実習・在宅療養支援実習・クリティカルケア実習・災害看護実習・歯科看護実習(90%)

②実習発表会での発表とディスカッション(10%)

①については、事前課題(30%)、プレゼンテーション(実習報告会／20%)、参加姿勢(10%)、最終レポート(40%)で評価する。

②についてはグループワークへの参加状況・態度(5%)、プレゼンテーションへの参加状況・態度(5%)で評価する。

成績評価の基準

成績評価の割合については、上記成績評価の方法に従う。

準備学習等についての具体的な指示

看護の統合と実践実習の詳細は6月14日5限の看護の統合と実践実習オリエンテーション時に、実習要項を用いて説明する。

オリエンテーションへの出席を実習参加の要件とする。

教科書

授業資料の作成に用いた書籍・資料は参考資料として必要に応じて提示する。

他科目との関連

本科目は統合科目として位置づけられており、既習のすべての科目と関連がある。その中でも、看護の統合と実践Ⅱとの関連が深い。

備考

* 内容については実習協力施設等の都合により変更される可能性がある。

* 詳細については実習要項参照のこと。

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先(メールアドレス)

佐々木 吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp

今津 陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp 3号館18階

オフィスアワー

佐々木 吉子:平日 AM.9:30~PM.5:30 3号館19階 災害・クリティカルケア看護学分野教授室

今津 陽子:平日 AM.10:00~PM.5:00 3号館18階 災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

時間割番号	012091							
科目名	総合実習 I		科目ID	MN-492800-E				
担当教員	近藤 晓子[KONDO AKIKO]							
開講時期	2021 年度通年	対象年次	4	単位数 2				
実務経験のある教員による授業	該当する							
英文名:Comprehensive Practicum I								
【科目責任者】近藤晓子								
主な講義場所	東京医科歯科大学医学部附属病院							
授業の目的、概要等	4 年間で学習した知識と技術を統合し、複雑な社会的背景を持ち、様々な病状・病期にある患者、あるいは異文化を持つ複数の患者に対し、主体的に看護実践できる力を高める。また、看護の統合と実践実習で学習した多職種との連携、医療安全、管理的、国際的な視点を踏まえ、チーム医療の中での看護師の役割を実践の中で学ぶ。							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 患者を複数受け持ち、患者の健康障害、その治療や看護を理解できる。 発達段階、心理的、社会的、文化的背景を踏まえ、患者を全人的に理解できる。 看護過程に沿って情報を系統的に収集、整理し、個別性に応じたケアの方向性を明らかにし、患者の安全・安楽を考慮し主体的に看護実践を行える。 患者・家族を中心とした保健医療福祉チームにおける多職種の連携を理解し、看護計画に組み込むことができる。 患者の権利擁護、意思決定を支える重要性を理解し、倫理的な行動がとれる。 複数の患者に対し優先順位を考慮しつつ同時に応対できる。 ペアの学生と情報を共有して協力し、チームとして看護援助を展開することができる。 自身の看護実践を振り返り、その評価を行うことができる。 							
授業方法	詳細については実習要項参照。							
授業内容	各病棟において、学生 2 名で患者 2 名を受け持つ複数受け持ち実習を行い、優先順位を考慮しながら、基本的に既にある看護計画に沿って実践する。実践の中で新たな計画や計画の変更などがあれば提案する。比較的複雑な背景のある患者を受け持つ。 多職種と連携したチームでの医療を学ぶため、地域連携センター、緩和ケア病棟、専門外来(コンチネンスケア)または多職種連携チーム(NST、リエゾン、WOC、排尿ケアチーム)に同行し、シャドウイングを行う。 国際実習ではペーパーペイントを使用した事例検討や学生同士のロールプレイにより、外国人患者への対応方法を学ぶ。緩和ケア実習では、事例検討、学生同士のロールプレイにより全人的苦痛を持つ人への向き合い方を学ぶ。							
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 実践内容 多職種連携に関する事前学習 10% 国際実習、緩和ケア実習 10% 専門部門でのシャドウイング実習 10% 病棟実習 60% 最終レポート 10% 							
準備学習等についての具体的な指示	実習のオリエンテーションを 7 月 20 日(水)16 時 10 分～17 時 10 分、講義室 2 にて実施する。必ず出席すること。							
試験の受験資格	<ol style="list-style-type: none"> 単位認定は、原則として実習時間の 4 分の 3 以上の出席を最低限の条件とする。 (上記条件においては、対象となる実習時間は課題学習日を除いた 8 日間とし、6 日以上の出席が必要である) 遅刻および早退は、時間の長さにかかわらず原則として 2 回で 1 日の欠席とする。 							
連絡先(メールアドレス)	近藤 晓子:akondo.ind@tmd.ac.jp							
オフィスアワー	近藤 晓子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。 国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)							

時間割番号	012092													
科目名	総合実習Ⅱ			科目ID	MN-492900-E									
担当教員	緒方 泰子[OGATA YASUKO]													
開講時期	2021年度通年	対象年次	4	単位数	1									
実務経験のある教員による授業	該当する													
英文名:Comprehensive Practicum II														
【科目責任者】看護学専攻主任 緒方 泰子														
【担当教員】看護学専攻全教員 教授・准教授・講師・助教														
主な講義場所 保健衛生学講義室1(3号館18階)、講義室2(3号館8階)、看護実習室1・2(3号館17階)、医学部附属病院、学外施設等。														
詳細については、別途実習要項が提示される。														
授業の目的、概要等 目的:配置された各専門分野において、既存の知識・技術を統合し、専門分野における看護実践能力を高める力を培う。														
概要:各専門分野で、卒業論文Ⅱの取り組みと連動させるなどして、実践的・発展的な実習を行う。教員と双方向にコミュニケーションを取り進めていく。														
授業の到達目標 配属された各専門分野において、以下のうち一つに該当する実習を行うことで、各自の目標を達成することができる。														
1. 実践的な実習:卒業論文Ⅱの取り組みと関連する場等において、これまでの自己の看護実践上の強みや課題を踏まえ、以下の①～⑤の能力を高めて統合する臨地実習を行う。 1) 全人的に対象をとらえる基本的能力を修得する。 2) ヒューマンケアを提供するために必要な基本的能力を修得する。 3) 根拠に基づく看護を展開するために必要な基本的能力を修得する。 4) 健康課題に対応した看護を展開できる基本的能力を修得する。 5) 環境とチームとの関係の中で看護を実践する能力を修得する。														
2. 発展的な実習:各専門分野に特有の場に赴き、看護専門職や、対象者ならびに対象者に関連する人々との相互作用を通して、以下の①～④の能力や態度を高めて発展させる臨地実習を行う。 1) 生涯専門職として研鑽を継続していくための基本的態度を鍛成する。 2) 学生自身がさらに深めていきたいテーマを見出し、自立的に取り組んでいくための基本的能力を修得する。 3) 看護専門職の専門性を発展させていくために基盤となる視点をもち、実践力を研鑽していく姿勢を涵養する。 4) 実践と研究との関係を見出し、研究的な視点をもって実践を俯瞰する基本的能力を修得する。														
授業計画														
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考							
1	4/12	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	総合実習Ⅱ	オリエンテーション	緒方 泰子								
2-6	4/14	08:50-17:50	各研究室	総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	緒方 泰子	能動的・主体的に実習に取り組むこと。							
7-10	5/12	10:30-17:50	各研究室	総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	緒方 泰子	能動的・主体的に実習に取り組むこと。							
11-15	6/2	08:50-17:50	各研究室	総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	緒方 泰子	能動的・主体的に実習に取り組むこと。							
16-20	10/6	08:50-17:50	各研究室	総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	緒方 泰子	能動的・主体的に実習に取り組むこと。							
21-25	11/10	08:50-17:50	各研究室	総合実習Ⅱ	担当教員の指示による	緒方 泰子	能動的・主体的に実習に取り組むこと。							
授業方法 実習期間は、4月～11月の期間に、各分野が設定した任意の5日間とする。指定された場所で臨地実習を通じたアクティブラーニングを実施する。														
授業内容 担当教員の指示による。 各実習の詳細については、別途実習要項が提示される。														

成績評価の方法
期間中3／4以上の出席がない場合には、単位認定できない。
成績評価の基準
実習への出席および実習への取り組み、記録物、レポートなどにより総合的に評価する。
準備学習等についての具体的な指示
これまでの講義および実習内容を復習の上臨むこと。また、実習施設は医療の場であるため、看護学を学ぶ学生としての節度ある態度で実習に臨むこと。
試験の受験資格
試験は実施しない
教科書
各分野の指示に従う。
参考書
各分野の指示に従う。
他科目との関連
これまでに学んだことを応用するため、全ての科目と関連する。
履修上の注意事項
・各実習の詳細については、別途実習要項が提示される。　・授業日時・内容(順序等)は変更することがある。　・成績は、各分野において評価し専攻主任が認定する。
備考
1)実習中に得た患者の情報は、絶対に電子メールやWebサイト、SNSなどでインターネット上に発信しない。 2)SNSを通じて患者から連絡があった場合はすぐに返信せずに、担当教員へ報告し対応の指示を受ける。
2020年度の授業評価では特に改善が必要な点はなかったが、2021年度は状況が許す限り、臨地で実習ができるよう調整する。
連絡先(メールアドレス)
緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3号館19階
オフィスアワー
緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

学生周知事項

学 生 周 知 事 項

1 連絡・通知

すべての告示、通知、連絡（試験関係、休講、講義室変更、奨学金関係、健康診断、授業料の納付、呼び出し等）は、Web Class（電子掲示板）により行います。

新たに掲示があった場合はメーリングリストで周知するので、1日に1回はメールを確認するように心がけ、見落として不利益を被らないよう十分注意してください。

2 電話等による学生の呼び出し等

電話等による学生の呼び出しは、緊急かつ重大な場合を除いて一切行わないので、各関係者に説明しておいて下さい。

3 学生証

学生証は、本学の学生である旨を証明するものです。

入学時に交付したものを**4年間使用します**ので、紛失・破損等のないよう大切に取り扱って下さい。

また、定期試験受験時、通学定期券の購入時等に提示を求められたときに提示できるよう、常に携帯するようにして下さい。

(1) 再交付

学生証を紛失又は破損等した場合は、速やかに学務企画課（1号館西1階）に申し出て、再交付の手続きをとって下さい。

再交付には費用がかかりますので注意してください。また再交付まで約1ヶ月近くかかります。

(2) 返却

卒業、退学、除籍、又は有効期間が経過した場合は、速やかに学生証を学務企画課に返却して下さい。なお、返却できない場合は費用を負担することになります。

4 証明書等

証明書等は、保健衛生教務係にて発行するものと、自動発行機にて発行するものがあります。

(1) 保健衛生教務係(受付時間:8:30~17:15)

次に掲げるものは、保健衛生教務係で発行しますので証明書交付願を提出して下さい。
(交付は、原則として、提出のあった日の明後日となります。)

①成績証明書

②調査書

③英文の在学証明書(交付に1週間程度要します。)

④通学証明書(交通機関から請求された場合に限る。)

バス及び鉄道の通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅又は大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入して下さい。

⑤実習用定期

卒業研究等により本学以外の地に通学する場合は、実習用定期の発行が可能な為、必要が生じた者は、保健衛生教務係に申し出てください。

なお、鉄道会社の許可を受けるまでに**1ヶ月程度要します**ので留意してください。(例:4月から必要な場合は、2月中に手続きをとること。)

※その他:上記以外の証明書等については、個々に保健衛生教務係に相談して下さい。

(2) 自動発行機(利用時間:月～金 8:30～21:00)

在学証明書・卒業見込み証明書(第4学年在籍者のみ)は、学生談話室(5号館4階)に設置されている[自動発行機]にて発行します。

(問い合わせ先)学務企画課企画調査係(03-5803-5074)

5 学生旅客運賃割引証(学割証)

(1) 学生が課外活動又は帰省などでJR線を利用する場合、乗車区間が片道100kmを超えるときに旅客運賃の割引(2割)を受けることができるものです。

この制度は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので、計画的に使用すること。(年間使用限度:10枚／人)

(2) 次に掲げる行為があったときは、普通運賃の2倍の追徴金を取られるばかりでなく、本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので、乱用又は不正に使用することのないよう注意して下さい。

①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき

②名義人が乗車券を購入し、これを他人に使用させたとき

③使用有効期間を経過したものを使用したとき

(3) 学割証は、学生談話室(5号館4階)に設置されている「自動発行機」にて発行します。

(利用時間:8:30～21:00)

(問い合わせ先)学生支援事務室 学生支援総括係(03-5803-5077)

6 住所・氏名等の変更

本人又は保証人の住所・本籍又は氏名等(電話番号を含む。)に変更が生じた場合は、速やかに保健衛生教務係に申し出て所定の手続きをとって下さい。

この手続きを怠った場合、大学から本人又は保証人に緊急に連絡する必要が生じても連絡が取れないので注意して下さい。

7 休学、復学、退学、欠席

(1) 休学

病気その他の事由により、引き続き3ヶ月以上休学する場合は、「休学願」を保健衛生教務係に提出し、学長の許可を受けて下さい。(病気の場合は、医師の診断書を添付して下さい。)

なお、休学にあたっては、事前に「学年担当教員」又は「グループ担当教員」と面談し、**休学事由及び休学によって生じる修学上の諸問題等**について十分相談して下さい。

また、休学を許可される期間は、**在学期間内通算して2年を超えることができません。**(特別の事情があると学長が認めたときは、更に1年以内の休学を許可することができますので、事前に保健衛生教務係に相談してください。)

(2) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中又は満了時に復学を希望する場合は、復学願(保証人連署)を保健衛生教務係に提出し、学長の許可を受けて下さい。(病気を事由に休学した場合は、医師の診断書と保健管理センター発行の復学に関する意見書を添付して下さい。)

(3) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願(保証人連署)を保健衛生教務係に提出し、学長の許可を受けて下さい。

なお、退学するにあたっては、事前に学年担当教員、グループ担当教員と面談し、退学事由等について十分相談して下さい。

(4) 授業の欠席

病気その他特別な事情により授業を欠席する(した)場合は、欠席届を保健衛生教務係に提出して下さい。(病気の場合は、「診断書」を添付して下さい。)

8 ロッカーの貸与

各人にロッカー(学部在籍中は、同じロッカーを使用)を貸与します。

私物は講義室等に置かず、全てロッカーに保管して下さい。

教室及びロッカー室内での盗難が多発しているので、貴重品等の管理は厳重にして下さい。

また、各人の責による備品等の破損については、各人の負担により現状に復して下さい。

9 授業中(大学行事、課外授業を含む。)の本人及び賠償責任が伴う事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」(学研災)及び「医学生教育研究賠償責任保険」(医学賠)の対象となります。

(詳細は「学生生活の手引」参照)

なお、針刺し事故(B型・C型肝炎)が起った場合は、職員健康管理室安全衛生係(5号館:03-5803-4619)へ連絡のうえ指示を受けた後、保健衛生教務係に事故報告書を提出して下さい。

ただし、他人に対する針刺し事故については上記の「医学賠」保険の対象となります。

10 遺失物及び拾得物

学内での遺失物又は拾得物の届出は以下のとおりとなります。

- ・遺失または拾得した建物の防災センターまたは守衛所

11 その他

(1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管していますので、責任者は適宜確認して下さい。なお、個人宛の郵便物等は、特別の場合を除き大学に配達されることがないようお願いします。

(2) 事務上の窓口

① 教務事務………医学部保健衛生教務係(3号館6階:03-5803-5119)

② 授業料の納入………財務部財務企画課資金管理係(1号館西3階:03-5803-5042)

③ 奨学金・授業料免除………学生支援事務室 学生支援総括係

(5号館3階:03-5803-5077)

④ 針刺し事故………職員健康管理室安全衛生係(5号館3階:03-5803-4619)

台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業、試験の休講措置等について

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講、試験の延長を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載します。

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前6時30分までに公示する。
- ・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前10時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR及び大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前6時30分までに公示する。
- ・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前10時までに公示する。

URL

<http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

諸 様 式

1 証明書交付願 (自動発行機にて発行しているものを除く。)

証明書は、原則として請求日の明後日以降発行する。(英文によるものを除く。)

2 住所・本籍地変更届

変更したことを証明する書類が必要です。(運転免許証、戸籍抄本等)

3 改姓届(戸籍抄本添付)

4 保証人変更届

5 学生証(身分証明証)紛失、盗難、破損届 兼 再発行申請書

学生証の再発行を申請する時に、学務企画課企画調査係に提出

6 授業欠席届(病気の場合は「診断書」を添付)

病気その他特別な事情により授業を欠席する場合に提出

7 再試験申請書(未提出者は、権利を喪失するので必ず提出すること。)

定期試験不合格者は、原則再試験実施日の7日前までに教務係に提出

8 再試験欠席届

病気その他特別な事情により再試験を欠席した場合に提出

9 追試験申請書(未提出者は、権利を喪失するので必ず提出すること。)

病気、他やむを得ない理由により定期試験を欠席した者は、原則当該定期試験終了後5日以内に教務係に提出

10 休学願

グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談(押印)を受けてから提出

(緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可)

11 休学期間延長願

グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談(押印)を受けてから提出

(緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可)

12 復学願

グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談(押印)を受けてから提出

(緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可)

13 退学願

グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談(押印)を受けてから提出

(緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可)

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係長	係員
専	専				

証明書交付願

(西暦) 年 月 日

医学部長 殿

- 医学部医学科 第 学年
 医学部保健衛生学科 第 学年
 (□看護学専攻 □検査技術学専攻)
 医学部医学科専攻生 (講座)
 医学部保健衛生学科専攻生
 (学専攻)
 学籍番号

氏名 _____

(Name)

生年月日 (西暦) 年 月 日 生

(Date of Birth)

下記により証明書（和文・英文）の交付をお願いいたします。

(If you need English writing certificate, please feel free to ask the Educational Affairs Section.)

記

証明書の種類	枚数	※証明書番号	請求理由及び提出先
1. 成績証明書 巻封(□希望 □不要)			(請求理由)
2. 卒業見込証明書 (M6・N4・MT4のみ発行)			
3. 在学証明書 (英文のみ)			(提出先)
4. 在学期間証明 (専攻生のみ)			
5. 終了証明書 (専攻生のみ)			
6.			
7.			(備考)

注) 1. 「※証明書番号」欄は記入しないこと。

2. 英文証明書を依頼する場合は、氏名欄にローマ字表記を合わせて記入すること。
3. 受取の際本人確認のために学生証（身分証明書）を提示していただきます。
代理で受け取る場合は必ず委任状を持参してください。
4. 成績証明書の巻封を希望する場合はその旨お申し出ください。

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係長	係員
専	専				

住所・本籍地変更届

(西暦) 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

医学部医学科 第 学年
 医学部保健衛生学科 第 学年
 (看護学専攻 検査技術学専攻)
 学籍番号

氏名 _____

このたび、下記のとおり変更しましたのでお届けいたします。

記

変更者	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 保証人 (保証人氏名 : _____ 続柄 : _____)
□ 住 所	〒 <input type="text" value="_____"/> - <input type="text" value="_____"/> TEL. _____
□ 本籍地	_____

注) 変更該当箇所の□をチェックしてください。

注) 提出の際は、変更内容の分かる書類(運転免許証・住民票・

戸籍謄本・外国人登録証等)を提示してください。

教務システム	債権変更	学籍簿	名簿
_____	_____	_____	_____

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係長	係員
専	専				

改姓届

(西暦) 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

医学部医学科 第 学年

医学部保健衛生学科 第 学年

(看護学専攻 検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--

氏名 _____

このたび、下記のとおり改姓しましたのでお届けいたします。

記

(フリガナ) 旧姓		(フリガナ) 新姓	
(改姓理由)			

注) 戸籍抄本又は謄本を添付すること。

教務システム	債権変更	学籍簿	台帳	名簿

医学部長	事務部長	事務長	事務主事	係長	係員
専	専				

保 証 人 変 更 届

(西暦) 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

医学部医学科 第 学年

医学部保健衛生学科 第 学年

(看護学専攻 検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____ 印

このたび、下記のとおり保証人（正・副）を変更しましたのでお届けいたします。

記

(フリガナ) 氏 名			学生との関係							
	印	職 業								
	年 月 日生	本 籍 地								
住 所	〒 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> - <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>								TEL.	_____

注) 氏名欄に押印してください。

債権変更	学籍簿

年　月　日

保証人（住所）変更届出

経理責任者

国立大学法人 東京医科歯科大学財務施設部長 殿

平成 ____ 年度入学 第 ____ 学年

学部名

学科名

研究科名

専攻名 _____

附属学校名 _____

学籍番号 第 _____ 号

氏 名 _____ 印 ㊞

保証人氏名

連帯保証人（父母等）住所に変更がありましたのでお届けします。

変更前	
-----	--

変更後	〒 _____ TEL _____ (_____) _____
-----	--------------------------------------

連帯保証人を変更しましたのでお届けします。

変更前	
-----	--

変更後	上記の者の授業料債務について本人と連帯して、履行の責を負うことを保証します。 連帯保証人 フリガナ 氏名 _____ 印 ㊞ (学生との関係: _____) 住 所 〒 _____ TEL _____ (_____) _____
-----	--

(該当する項目の□に、√してください。)

事務部長	課長	副課長	専門職員	係長	係員
専	専				

学生証（身分証明書）紛失、盜難、破損届

兼 再発行申請書

年 月 日

国立大学法人東京医科歯科大学長 殿

年度入学 第 学年

学部(学部 学科 専攻)
 修士課程 博士課程
 博士(前期)課程 博士(後期)課程
(分野)
 その他()

学籍番号 第 号

氏 名 (自署)

生年月日 年 月 日 生

下記のとおり、学生証（身分証明書）を（紛失しました・盗難に遭いました・破損しました）ので、届け出るとともに、再発行を申請（します。しません。）

なお、学生証（身分証明書）が見つかったときは、直ちに申し出ます。

記

理由・紛失状況等

• 紛失(盜難)日時: 年 月 日 時 分 頃

・警察への届出日等： 年 月 日 (警察署)

- 再発行手数料
- 本人負担
- 免除

財務企画課確認欄

※ 必要事項を記入のうえ、財務企画課収入管理係で再発行にかかる手数料 1,500 円を支払うこと。
なお、既納の手数料は、いかなる理由があっても返還しません。

医学部長	学科長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係長	係員
							

授業欠席届

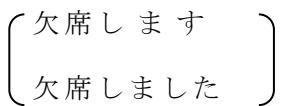
(西暦) 年 月 日

医学部長 殿

- 医学部医学科 第 学年
 医学部保健衛生学科 第 学年
 (□看護学専攻 □検査技術学専攻)

学籍番号 

氏名 _____

下記のとおり、授業を  のでお届けいたします。

記

1. 欠席期間 自 (西暦) 年 月 日

至 (西暦) 年 月 日

2. 欠席理由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

医学部長	学 科 長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係 長	係 員
							

再 試 験 申 請 書

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

医学部医学科 第 学年

医学部保健衛生学科 第 学年

(看護学専攻 検査技術学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

下記科目について、再試験の申請をしますのでよろしくお願ひいたします。

記

申請科目名	担当教員名	申請科目名	担当教員名
1 .		6 .	
2 .		7 .	
3 .		8 .	
4 .		9 .	
5 .		10.	

医学部長	学科長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係長	係員
(専)	(専)	(専)	(専)				

再 試 験 欠 席 届

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

医学部医学科 第 学年

医学部保健衛生学科 第 学年

(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

氏 名 _____

下記のとおり再試験を欠席しましたのでお届けいたします。

記

1. 試験科目名 : _____ (教員名 : _____)

(西暦) 年 月 日 施行

2. 欠席理由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

医学部長	学科長	専攻主任	事務部長	事務長	事務主事	係長	係員
							

追 試 験 申 請 書

(西暦) 年 月 日

医 学 部 長 殿

医学部医学科 第 学年

医学部保健衛生学科 第 学年

(看護学専攻 検査技術学専攻)

学籍番号 

氏 名 _____

下記のとおり定期試験を欠席しましたので、追試験を施行してくださいますようお願いいたします。

記

1. 試験科目名 : _____ (教員名 :)

(西暦) 年 月 日 施行

2. 欠席理由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

休 学 願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年

(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)

本人氏名

参照用

下記のとおり休学したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学理由

2. 休学期間 自 年 月 日
至 年 月 日 (ヶ月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒	□□□ - □□□	TEL.	_____
保証人	〒	□□□ - □□□	TEL.	_____

- 注) 1. 休学理由は、裏面にできるだけ具体的に記入してください。
2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

休学期間延長願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年

(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)

本人氏名 _____

保証人氏名 _____

下記のとおり休学期間を延長したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

参照用

1. 休学期間延長理由

2. 休学延长期間

年 月 日 ~ 年 月 日までのところ
年 月 日 ~ 年 月 日まで延長(ケ月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒	_____ - _____	TEL.	_____
保証人	〒	_____ - _____	TEL.	_____

注) 1. 休学理由は、裏面にできるだけ具体的に記入してください。

2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

経理課出納掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

復 学 願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印



科 第 学年

(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)

本人氏名 _____

保証人氏名 _____

下記のとおり休学しておりましたが、 年 月 日付けで復学したいので、
ご許可くださいますようお願ひいたします。

記

1. 休学理由

2. 休学許可期間
自 年 月 日
至 年 月 日

注)病気を理由として休学した場合は、医師の診断書を添付してください。

退 学 願

年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

科 第 学年
学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)

本人氏名 _____

(フリガナ)

保証人氏名 _____

下記のとおり退学したいので、ご許可くださいますようお願ひいたします。

記

1. 退学理由

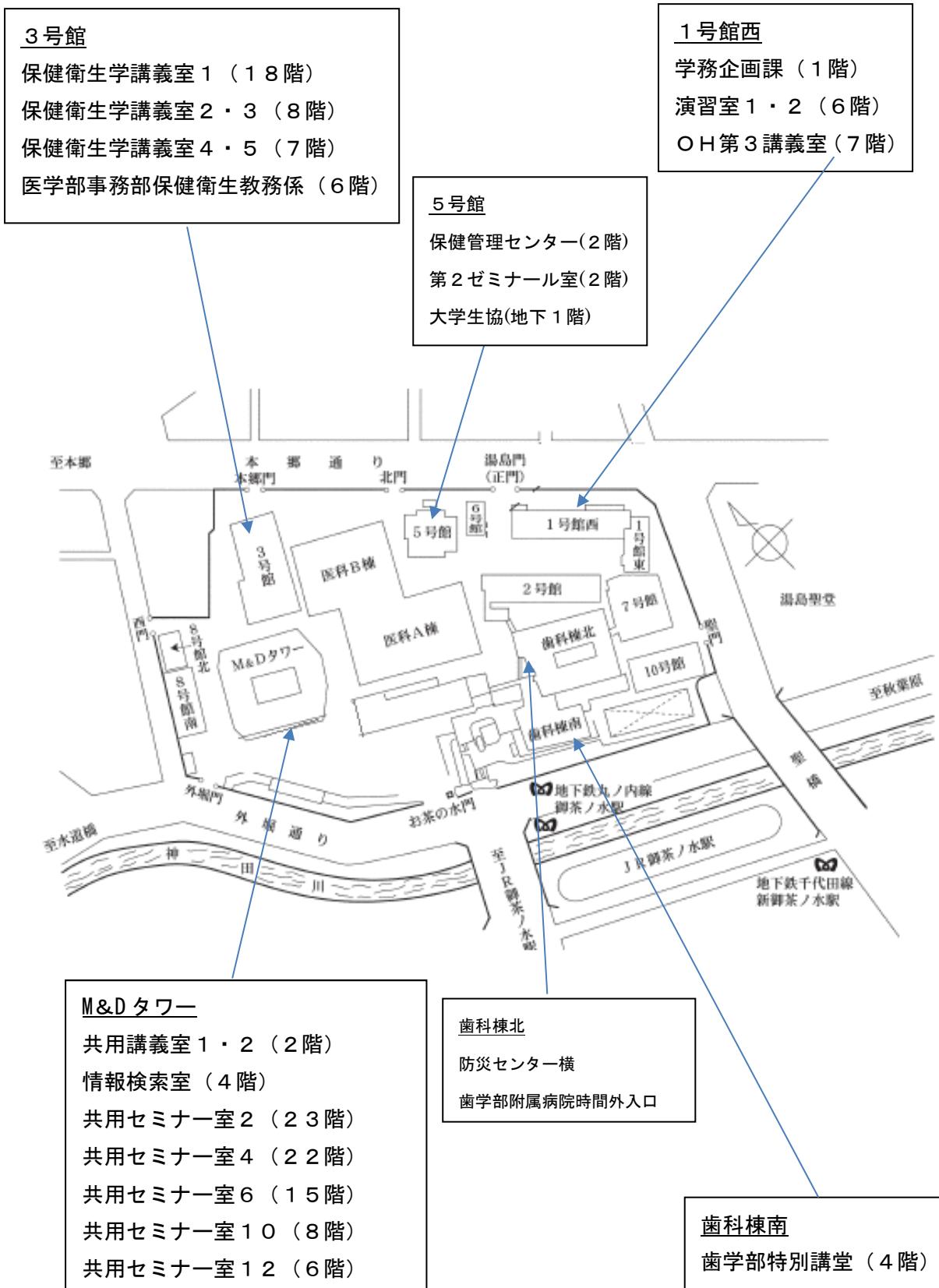
2. 退学日 年 月 日付

注) 退学理由は、裏面にできるだけ具体的に記入してください。

経理課出納掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

講義室一覽

講義室等一覧



参 考

東京医科歯科大学学則

平成16年4月1日
規程第4号

第1章 総則

第1条 本学は、医学及び歯学の理論並びに応用を教授研究し、併せて人格の陶冶をなすものである。

2 各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、当該学科において別に定める。

第2条 本学に、国立大学法人東京医科歯科大学組織運営規程（平成16年規程第1号。以下「組織運営規程」という。）の定めるところにより、次の学部及び学科を置く。

医学部 医学科
保健衛生学科
歯学部 歯学科
口腔保健学科

- 2 医学部保健衛生学科に、看護学専攻及び検査技術学専攻を置く。
- 3 歯学部口腔保健学科に、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻を置く。
- 4 本学に、組織運営規程の定めるところにより、教養部を置く。

第3条 医学部医学科及び歯学部歯学科の修業年限は6年、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の修業年限は4年とする。

第4条 学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科・専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
医学部	医学科	85	人 5(2年次編入)	人 535
	保健衛生学科	55		220
	看護学専攻	35		140
	検査技術学専攻			
歯学部	歯学科	53		318
	口腔保健学科			
	口腔保健衛生学専攻	22		88
	口腔保健工学専攻	10	5(2年次編入)	55

第2章 授業科目

第5条 削除

第6条 本学の授業科目は、全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）と専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）とする。

- 2 全学共通科目は教養部において、専門科目は各学部において行う。
- 3 全学共通科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。
- 4 専門科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。

第3章 学年、学期及び休業日

第7条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8条 学年を分けて、次の学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

第9条 授業を行わない日（以下「休業日」という。）は次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 本学創立記念日 10月12日
 - (4) 春季休業
 - (5) 夏季休業
 - (6) 冬季休業
- 2 前項の規定にかかわらず、教育上必要がある場合には、休業日に授業を行うことができる。
 - 3 第1項第4号から第6号の期間は、各学部において別に定める。
 - 4 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第4章 入学、休学、転学、留学、退学及び除籍

第10条 入学の時期は、学年の始期とする。

第11条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同省令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に定める大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

第12条 大学医学部医学科の卒業者で歯学部歯学科に、大学歯学部歯学科の卒業者で医学部医学科に編入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学の許可をすることがある。

第13条 大学医学部医学科の学生で医学部医学科に、大学歯学部歯学科の学生で歯学部歯学科に、大学（短期大学並びに外国の大学及び短期大学を含む。）の学生で医学部保健衛生学科又は歯学部口腔保健学科に転入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学を許可することがある。

第14条 医学部医学科の2年次に編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者（医学を履修する課程を卒業した者を除く。）
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（学校教育における15年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得したと大学において認めた者を含む。）

第15条 削除

第16条 医学部保健衛生学科の2年次に編入学することができる者は、四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修しており、かつ、協定大学の学部に2年次以上在学した者で、選考の上、入学を許可する。

第17条 削除

第18条 削除

第18条の2 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の2年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

- (1) 高等専門学校又は短期大学を卒業した者
- (2) 大学を卒業した者
- (3) 歯科技工士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第19条 本学学生で退学した者が再び入学を請うときは、欠員がある場合に限り、選考の上、原学年以下に入学を許可することがある。

2 前項に規定するもののほか、第25条の規定による休学者が退学（休学期間満了のため学部を退学した者をいう。）し、本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、原学科の原学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

3 前2項に規定するもののほか、第31条の2の規定による退学者が本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、退学時の在籍学科の在籍学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

第20条 編入学、転入学及び再入学により入学し、その後所定の年限在学した者は、第3条に規定する年限を在学したものとみなす。

第21条 本学に入学を志願する者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

第22条 入学志願者については、学長が当該学部教授会及び教養部教授会の意見を聴いて選考を行う。

2 前項に規定するもののほか、入学者の選考に関し必要な事項は別に定める。

第23条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、定められた期日までに本学の学生としての本分を守る旨、誓約書に署名し、その他所定の書類を提出するとともに、入学料を納付するものとする。ただし、第45条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請し受理された者にあっては、当該免除又は徴収猶予を許可し又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。

2 学長は、前項の手続を完了した者に入学を許可する。

3 学長は、入学（再入学及び転入学等を含む。）を許可した者に対し、学生証を交付するものとする。

4 前項に規定するもののほか、学生証に関し必要な事項は別に定める。

第24条 学生は、病気、留学その他の事由により引き続き3月以上休学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第25条 本学医学部医学科又は歯学部歯学科に4年以上在学した者が引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に在学するために休学しようとするときは、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第26条 前2条の規定による休学者で、休学期間に中にその事由が消滅したときは、所定の手続きにより、復学の許可を学長に願い出ることができる。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第27条 休学期間は、通算して2年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに1年以内の休学を許可することができる。

2 大学院医歯学総合研究科博士課程に在学する者の第24条の規定による休学期間及び第25条の規定による休学期間は、第1項の規定にかかわらず、通算して3年を超えることができない。ただし、特別の事由があるときは、学長は当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、さらに1年以内の休学を許可することができる。

3 休学した期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

第28条 学長は、学生が病気その他の事由により修学が不適当と認められるときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、休学を命ずることがある。

第29条 学生は、学長の許可なくして、他の大学、本学の他の学科又は専攻に入学を志願するこ

とはできない。

第30条 学生が転学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

2 前項の許可を与えたときは、退学とする。

第30条の2 本学の学生が学修のため外国の大学等（外国の学校教育制度に位置づけられた教育施設で学位授与権を有するもの又はこれに相当する教育研究機関で、かつ本学と学生交流協定を締結した又は事前の協議をおこなったものをいう。）に留学を願い出たときは、それが教育上有益と認められた場合において許可することがある。

2 前項の規定による許可は、当該学部教授会の意見を聴いて、学長が決定する。

3 前項の許可を得て留学する期間は、原則1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、さらに1年を限度として留学期間の延長を認めることがある。

4 第3項の許可を受けて留学した期間は、第3条に規定する修業年限及び第32条に規定する在学年限に算入する。ただし、第24条の規定により許可された留学（以下「休学留学」という。）については、この限りではない。

5 留学を許可された学生は、休学留学の場合を除き、留学期間中においても本学の授業料を納付しなければならない。

6 留学を許可された学生において、次の各号の一に該当したときには、本学と外国の大学等との協議に基づき、教授会等の意見を聴いて学長が留学を取り消すことができる。

(1) 外国の大学等が所在する国の情勢や自然災害等により、学修が困難であると認められるとき。

(2) 留学生として、外国の大学等の規則に違反し、又はその本分に反する行為が認められるとき。

(3) その他留学の趣旨に反する行為があると認められるとき。

7 留学に関する必要な事項は、別に定める。

第31条 学生が病気その他の事由で退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出てその許可を受けるものとする。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、その可否を決定するものとする。

第31条の2 四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修している者が協定大学に編入学するために退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。この場合、学長は当該学部教授会に意見を聴いて、その可否を決定するものとする。

第32条 医学部医学科及び歯学部歯学科の学生は10年を、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の学生は8年を超えて在学することができない。

2 編入学、転入学及び再入学により入学した者の在学年限は、各学部において定める。

第33条 学長は、学生が次の各号の一に該当するときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、除籍する。

(1) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(2) その他病気等の事由により、成業の見込みがないと認められる者

(3) 在学期間が第32条に定める在学年限を超える場合に退学の意思を示さないとき。

- (4) 第24条、第25条又は第28条により休学し、第27条に定める期間内に復学又は退学の意思を示さないとき。
 - (5) 死亡又は行方不明となったとき。
 - (6) 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかったもの又は半額免除を許可されたものが、納付すべき入学料を免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して14日以内に納付しないとき。
 - (7) 入学料の徴収猶予の申請をした者で、徴収猶予を許可されなかった者が、納付すべき入学料を徴収猶予の不許可を告知した日から起算して14日以内に納付しないとき。
 - (8) 入学料の徴収猶予を許可された者が、納付期限までに入学料を納付しないとき。
 - (9) 授業料を所定の期日までに納入しない者で、督促を受け、なおかつ納入を怠るとき。
- 2 前項第6号は、第45条第3項の規定により徴収猶予の申請をした者には適用しない。

第5章 教育課程、履修方法及び単位等

第34条 本学は、各学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を自ら開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

2 教育課程の編成に当たっては、本学は、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

第34条の2 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成するものとする。

2 前項の授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

3 文部科学大臣の別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

4 第2項の授業を、外国において履修させることができる。また前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

5 卒業に必要な修得すべき単位数のうち、前2項の規定による方法で履修し修得した単位数は、60単位を超えないものとする。ただし、卒業要件となる単位数が124単位を超える学科にあっては、その超える単位数を60単位に加えて卒業要件として認定することができる。

第34条の3 本学において必要と認めるときは、学校教育法第105条に規定する本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成するものとする。

2 前項に定めるもののほか、特別の課程の編成に関し必要な事項は、別に定める。

第34条の4 学生が授業科目を履修し、試験に合格したときは、所定の単位を与える。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を評価して試験によらずに単位を与えることができる。

第35条 前条に定める他、履修及び学習の評価方法については、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

第36条 1単位の授業科目を、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、1単位当たりの授業時間を次の基準により、各学部及び教養部の教授会の意見を聴いて学長が定める。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間の範囲
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の範囲

第36条の2 一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、三十五週にわたることを原則とする。

第36条の3 各授業科目の授業は、十週又は十五週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合には、この限りでない。

第36条の4 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

第36条の5 各授業科目の評価は、A+、A、B、C、D、Fに分け、A+、A、B、Cを合格とし、D、Fを不合格とする。

2 学修の評価に関し必要な事項は別に定める。

3 学生は、学修の評価に対し不服があるときは、所定の手続きにより異議を申し立てることができる。

第36条の6 本学大学院に進学を志望する学生に対し、所属する学部の長が教育上有益と認めるときは、学生が進学する研究科の長の許可を得て、当該研究科の授業を履修することができる。

2 前項に定めるもののほか、本学大学院の授業科目の履修に関し必要な事項は、別に定める。

第37条 本学の教育上有益と認めるときは、本学に入学（編入学、転入学等を除く。）する前の大学（短期大学を含む。）において修得した単位（大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第31条第1項及び第2項の規定する科目等履修生及び特別の課程（履修証明プログラム）履修生として修得した単位を含む。）は合計30単位を限度として、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし、第3条に定める修業年限を短縮することはできない。

2 前項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。

第38条 本学の教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により修得したとみなすことのできる単位数は、前条第1項及び同条第4項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を限度とする。

- 3 第1項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。
- 4 第1項の規定は、第30条の2により学生が外国の大学等に留学する場合、休学留学の場合、外国の大学等が行なう通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び学生が外国の大学等の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合においても準用する。

第6章 卒業及び学位

第39条 卒業の認定は、第3条に定める年限を在学し、かつ、第6条第3項及び第4項に定める授業科目を、医学部医学科においては209単位以上、歯学部歯学科においては220単位以上、医学部保健衛生学科看護学専攻においては124単位以上、医学部保健衛生学科検査技術学専攻においては134単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻においては128単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻においては126単位以上を修得した者に対し、当該学部教授会の意見を聴いて学長が行う。

第40条 前条による卒業者には、次の区分により学士の学位を授与する。

学 部	学科・専攻	学 位
医 学 部	医学科	学士（医 学）
	保健衛生学科	
	看護学専攻	学士（看 護 学）
	検査技術学専攻	学士（保 健 学）
歯 学 部	歯学科	学士（歯 学）
	口腔保健学科	学士（口腔保健学）

第7章 検定料、入学料及び授業料

第41条 授業料、入学料及び検定料の額については、別に定める。

第42条 入学志願者は、出願と同時に検定料を納付しなければならない。

第43条 授業料の額は、別に定めるところによるものとし、年額の2分の1ずつを次の2期に分けて納付しなければならない。

- | | |
|----|----------|
| 前期 | 5月31日まで |
| 後期 | 11月30日まで |
- 2 前項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期に係る授業料を徴収するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて徴収するものとする。
 - 3 入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については、第1項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可するときに徴収するものとする。
 - 4 第1項の授業料納入の告知・督促は、所定の場所（医学部掲示板・歯学部掲示板・教養部掲示板）に掲示するものとする。

- 第44条 既納料金は、如何なる理由があっても返還しない。
- 2 第42条の規定に基づき徴収した検定料について、第1段階目の選抜で不合格となった者から返還の申出があったときは、前項の規定にかかわらず、第2段階目の選抜に係る額に相当する額を返還する。
- 3 前条第3項の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退した場合には、第1項の規定にかかわらず、納付した者の申出により当該授業料に相当する額を返還する。
- 4 前条第2項及び第3項の規定に基づき授業料を納付した者が、後期分授業料の徴収時期以前に休学又は退学した場合には、第1項の規定にかかわらず、後期分の授業料に相当する額を返還する。
- 5 学生又は学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が風水害等の災害を受ける等やむを得ない事情があると学長が認めた場合には、授業料、入学科料及び検定料について、第1項の規定にかかわらず、返還することができる。

- 第45条 本学に入学前1年以内において、入学する者の学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学科料の納付が著しく困難であると認められる者及び当該者に準ずる者であって、学長が相当と認める事由がある者については、本人の申請により、入学科料の全額又は半額を免除することができる。
- 2 本学に入学する者であって、経済的理由によって納付期限までに入学科料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに入学科料の納付が困難であると認められる者及びその他やむを得ない事情があると認められる者については、本人の申請により、入学科料の徴収猶予をすることがある。
- 3 入学科料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかつた者又は半額免除を許可された者のうち、前項該当する者は、免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して14日以内に徴収猶予の申請をすることができる。
- 4 前3項の取扱いについては、別に定める。

第46条 停学に処せられた者の授業料は徴収するものとする。

第47条 行方不明、その他やむを得ない事情がある者の授業料は本人又は保証人の申請により徴収を猶予することがある。

第48条 死亡又は行方不明のため除籍され、或は授業料の未納を理由として退学を命ぜられた者の未納の授業料は全額を免除することができる。

- 第49条 授業料の納付期限以前に休学又は退学の許可を受けた者の授業料の全額又はその一部を免除することができる。
- 2 前項の取扱については別に定める。
- 3 各学期の中途中で復学する者のその期の授業料は、復学当月から当該学期末までの月割計算により復学の際徴収する。

第50条 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び学生又は学生の学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難と認められる者については、本人の申請により授業料の全額若しくはその一部を免除又は徴収猶予することがある。

2 前項の取扱いについては別に定める。

第51条 削除

第52条 削除

第8章 大学院

第53条 本学に、組織運営規程の定めるところにより、大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

第9章 外国人留学生

第54条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生については、別に定める。

第10章 科目等履修生、聴講生、特別聴講学生及び短期交流学生

第55条 本学の学生以外の者で、本学が開設する一又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 前項により入学した者には、第34条の規定を準用し、単位を与える。

3 その他科目等履修生については、別に定める。

第56条 特定の授業科目について聴講を志願する者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生については、別に定める。

第57条 他の大学の学部学生で、当該大学との協定に基づき、本学が開設する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。

2 特別聴講学生については、別に定める。

第57条の2 本学以外の国内外の教育施設に学生として在学中である者で、本学の教員から特定の事項について、指導又は助言を受け本学で研究又は研修等を行うことを志願するものがあるときは、短期交流学生として受入を許可することがある。

2 短期交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 懲 戒

第58条 学長は、学生が本学の諸規則に違反し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、当該学部教授会の意見を聴いて（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）、これを懲戒する。

2 懲戒は、退学、停学、訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学内の秩序を著しく乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

第12章 寄宿舎

第59条 本学に寄宿舎を置く。

2 寄宿舎に関する規定は、別に定める。

附 則

1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

2 第4条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成16年度から平成18年度までの3年次編入学員及び収容定員は、次のとおりとする。

区分	年度 平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度
3年次編入学定員	—	—	10
収容定員	25	50	85

3 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学び編入学する者の教育課程の履修については、この学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

4 この学則の施行前に廃止前の東京医科歯科大学学則（昭和27年学規第1号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この学則の相当規定によりなされた手續その他の行為とみなす。

附 則（平成17年3月23日規程第2号）

1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。

2 平成17年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成17年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成18年3月28日規程第1号）

1 この学則は平成18年4月1日から施行する。

2 平成18年3月31日において現に本学に在学する者（以下在学者といふ。）及び平成18年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の第39条、別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による

附 則（平成19年3月29日規程第3号）

1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成19年3月31日において現に本学に在学する者（平成18年度に入学した者を除く。以下「在学者」といふ。）及び平成19年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年1月16日規程第1号）

1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の平成20年度から平成22年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科・専攻	収容定員		
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
医学部保健衛生学科			
看護学専攻	215	210	215
検査技術学専攻	135	130	135
歯学部口腔保健学科	118	116	118

附 則（平成20年3月26日規程第5号）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年4月1日において現に本学に在学する者（平成18年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び20年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年1月8日規程第1号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 この学則改正前に、本学に4年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、平成21年4月1日より休学を願い出ている者については、改正後の東京医科歯科大学学則第25条の2の規程を適用する
- 3 この学則の施行の際限に本学に4年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、退学した者が再び入学を志願する場合の取扱いは、なお従前の例による。
- 4 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年3月19日規程第3号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成21年度から平成25年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収容定員				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
医学部医学科	480	490	500	510	520

- 3 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成21年4月1日以降に歯学部口腔保健学科に3年次編入学する者については、改正後の別表（2）の規定を適用する。

附 則（平成21年12月18日規程第9号）

この規程は、平成22年1月1日から施行する。

附 則（平成22年3月30日規程第3号）

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成22年度から平成26年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収容定員				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
医学部医学科	500	520	540	560	580

- 3 平成22年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月4日規程第1号）

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成23年度から平成27年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度	収容定員

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
区分	収容定員	525	550	575	600	615

3 改正後の第4条の規定にかかわらず、歯学部歯学科の平成23年度から平成27年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分	年度	収容定員				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収容定員		358	346	334	322	320

4 改正後の第4条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成23年度から平成25年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
		区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
口腔保健衛生学専攻	収容定員		115	110	105
口腔保健工学専攻	2年次編入定員			5	5
	収容定員	10	25	40	

附 則（平成23年6月30日規程第6号）

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月30日規程第3号）

1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。

2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成24年度から平成27年度までの編入学定員等は、次のとおりとする。

区分	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
編入学定員	5（2年次編入） 5（3年次編入）	5（2年次編入） 5（3年次編入）	5（2年次編入） 5（3年次編入）	5（2年次編入） 5（3年次編入）	5（2年次編入） 5（3年次編入）
収容定員	555	580	605	620	

3 平成24年度においては、改正後の第14条の「2年次」は「3年次及び2年次」と読み替えるものとする。

附 則（平成24年9月28日規程第8号）

この学則は、平成24年10月1日から施行する。

附 則（平成25年3月12日規程第2号）

1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成25年度から平成29年度までの収容定員は、次のとおりとする。

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収容定員		581	607	623	629	630

附 則（平成27年3月30日規則第51号）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規程第4号）

この内規は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年5月11日規程第7号）

この学則は、平成28年5月11日から施行し、平成28年5月1日から適用する。

附 則（平成28年12月12日規程第11号）

この学則は、平成28年12月12日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月31日規程第1号）

この学則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年5月1日規程第1号）

1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。

2 平成30年3月31日において現に本学に在籍する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和2年3月31日規程第2号）

1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。

2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の令和2年度から令和8年度までの入学定員等は、「地域の医師確保等の観点からの令和2年度医学部入学定員の増加について（令和元年9月2日付け元文科高第391号・医政医発0902第3号文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」に基づき、次のとおりとする。

年度 区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入学定員	100	100	85	85	85
編入学定員	5	5	5	5	5
収容定員	630	629	613	597	581

年度 区分	令和7年度	令和8年度
入学定員	85	85
編入学定員	5	5
収容定員	565	550

附 則（令和2年11月10日規程第9号）

1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。

2 改正後の第4条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の令和3年度の収容定員は、次のとおりとする。

年度 区分	令和3年度
収容定員	94

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ

（平成20年2月8日
申合せ）

1. 目的

この申合せは、東京医科歯科大学学則（以下「学則」という。）第58条の規定に基づく学生の懲戒に関し、基本的な考え方、手続、標準その他の必要な事項を定めることにより、その適正及び公正を図ることを目的とする。

2. 基本的な考え方

- (1) 学生に対する懲戒は、大学の規律、秩序を維持し、教育目的を達成するため、一定の事由の発生を要件として、学生に対して制裁を課すものである。
- (2) 懲戒は、懲戒対象行為の態様、結果、影響等を総合的に検討し、教育的配慮を加えたうえで行うものとする。
- (3) 懲戒の取扱いについては、刑事訴追の有無を処分決定の絶対的な基準とはしないものとする。

3. 懲戒の種類

懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

(1) 退学

退学は、学生の身分を失わせることである。

(2) 停学

- ① 停学は、一定の期間登校を禁止することである。
- ② 停学は、無期停学及び有期停学とする。
- ③ 有期停学の期間は6か月未満とする。
- ④ 停学期間は、在学年限に含め、修業年限には含めないものとする。ただし、短期間（1か月以内）の場合には、在学年限及び修業年限に含めることができる。
- ⑤ 無期停学は、原則として6か月を経過した後でなければ解除することができない。
- ⑥ 停学期間には、学則第9条の「休業日」を含むものとする。

(3) 訓告

訓告は、懲戒対象行為について、注意を与え、将来にわたってそのようなことがないように戒めることである。

4. 謹慎

学生の当該行為が懲戒に該当することが明白であり、かつ、停学以上の懲戒がなされることが確実である場合は、部局長（医学部長、歯学部長又は教養部長をいう。以下同じ。）は、当該学生に懲戒決定前に謹慎を命ずることができる。この場合、謹慎の期間は特に定めないが、この間は当該学生の登校を禁止する。

なお、謹慎の期間はその全部又は一部を停学期間に通算することができる。

5. 停学期間中の措置

- (1) 停学期間中の学生に対して当該部局は、面談等により、更正に向けた指導を適宜行うものとする。
- (2) 前項に規定する面談等は、必要に応じカウンセラー等の専門家の協力を得て行うことができるものとする。
- (3) 停学期間中の休学の願い出は、受理しないものとする。

6. 懲戒の手続

(1) 調査委員会の設置

①学部長は、懲戒に相当すると思われる学生の行為（以下「事案」という。）を知ったときは、直ちに学長に報告するとともに、当該学生が所属する学部教授会の議を経て、当該学部教授会の構成員で組織する調査委員会を設置するものとする。

なお、調査委員会には、事案により当該学部教授会の構成員以外の者を加えることができる。

②調査委員会は、当該事案について、調査及び事実の確認を行い、懲戒に関する事実認定の報告書（様式1）を作成するものとする。

(2) 事情聴取等

①調査委員会は、調査に当たり当該学生に対し事情聴取を行うものとする。ただし、学生が心身の故障、身柄の拘束、その他の事由により直接事情聴取を受けることができないときは、これに替えて文書による質問、照会等により事情聴取ができる。

②調査委員会は、事情聴取に際し、当該学生に口頭又は文書により弁明する機会を与えるものとする。

(3) 調査等の結果の報告

調査委員会は、懲戒に関する事実認定の報告書を学部長に提出するものとする。

(4) 教授会審議

学部長は、調査委員会の報告に基づき、当該学部教授会において、懲戒の要否及び種類・程度を審議し、その結果を学長に報告するものとする。

(5) 懲戒の決定

学長は、学部長の報告に基づき、懲戒の要否及び種類・程度を決定するものとする。

(6) 懲戒通知書の交付等

学部長は、学長の命により当該学生に対し懲戒通知書（様式2）を交付するものとする。

(7) 懲戒処分の告知及び告示

学長は、懲戒処分を決定したときは、通知書の交付をもって当該学生及び保証人に告知し、教育研究評議会に報告し、当該学生の所属、懲戒の種類及び事由を告示する。

(8) 懲戒に関する記録

懲戒処分を行ったときは、学籍簿の「特記事項」に記載するものとする。

(9) 退学願いの不受理

学部長は、懲戒の手続中の学生から自主退学の願い出があった場合は、これを受理しないものとする。

(10) その他

二つ以上の部局に関わる事案があるときは、当該部局長は相互に連絡協議するものとする。

7. 不服が申立てられた場合の手続

- (1) 懲戒を受けた学生は、その処分について、事実誤認、新事実の発見、処分の種類または内容等について異議がある場合には、懲戒通知書を受領した日の翌日から起算して14日以内

に、学長に対し書面をもって不服申立てをすることができる。ただし、不服申立てにより懲戒の効力は停止しない。

- (2) 学長は懲戒を受けた学生から不服申立てがあった場合には、学部長に再審議を行わせることができる。
- (3) 学部長は、当該学部教授会に再審議をする旨を報告の上、新たな構成員で組織される調査委員会に再調査等を行わせるものとする。
- (4) 学長は、再調査等の結果に基づく処分内容を当該学生に通知しなければならない。

8. 無期停学の解除

- (1) 学部長は、無期停学処分を受けた学生について、指導教員等と協議し、その反省の程度及び学習意欲等を総合的に判断して、その処分を解除することが適当であると思われるときは、当該学部教授会の議を経て、学長に申出るものとする。
- (2) 学長は、学部長の申出に基づき、無期停学の解除を決定するものとする。
- (3) 学部長は、学長の命により当該学生に対し停学解除通知書（様式3）を交付するものとする。

9. 試験の無効等

- (1) 試験の無効

試験における不正行為を行った学生が受験した当該科目の試験は無効とする。

- (2) 停学期間中の受験及び履修手続

停学期間中の受験は認めない。ただし、履修手続きは可能とする。

10. 懲戒の標準は、別表のとおりとする。

11. 科目等履修生等の懲戒

この申合せの規定は、学則第10章及び第12章に規定する科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生並びに大学院研究生の懲戒について準用する。

12. 大学院学生の懲戒

大学院学生の懲戒については、この申合せの規定を準用する。この場合において、以下のように字句を読み替えるものとする。

- (1) 「学部教授会」を「研究科運営委員会等」
- (2) 「学部長」、「部局長（医学部長、歯学部長、教養部長をいう。以下同じ。）」及び部局長を「研究科長等」
- (3) 「試験」を「試験（単位認定を目的とした定期試験をいう。）」
- (4) 様式2中、「東京医科歯科大学学則第58条」を「東京医科歯科大学大学院学則第60条の規定により準用する東京医科歯科大学学則第58条」

なお、この申合せにおける「大学院学生」には、大学院学則（平成16年4月1日規程第5号）第12章から第14章までに規定する聴講生、特別聴講学生及び特別研究学生、科目等履修生を含むものとする。」

13. 守秘義務

学生の懲戒等に関する事項に関わった職員は、事実上知りえた情報を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

14. この申合せの改廃は、学生支援・保健管理機構運営委員会において行う。

附 則

この申合せは、平成20年2月8日から施行する。

附 則（平成24年2月24日制定）

1 この申合せは、平成24年4月1日から施行する。

2 この申合せの施行日において本学に専攻生として在籍する者の取扱いについては、平成24年9月30日まで、なお従前の例による。

附 則（平成28年10月21日制定）

この申合せは、平成28年10月21日から施行する。

附 則（平成30年2月20日制定）

この申合せは、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成30年12月13日制定）

この申合せは、平成30年12月13日から施行し、平成30年11月30日から適用する。

別表

懲戒の標準

- ・懲戒対象行為の標準的な例及び懲戒の種類は次の表のとおりとする。

懲戒対象行為の標準的な例	懲戒の種類
1. 試験における不正行為 (1) 代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合 (2) 許可されていないノート及び参考書等を参照した場合 (3) 答案を交換した場合 (4) その他、試験において不正行為を行った場合	退学 停学 停学 停学又は訓告
2. その他の懲戒対象行為 (1) 殺人、傷害、強盗、放火、誘拐、窃盗、痴漢等の犯罪 ① 殺人、傷害、強盗、強姦、放火、誘拐等の犯罪を行った場合 ② 窃盗、詐欺、恐喝等の犯罪を行った場合 ③ 痴漢（のぞき見、盗撮等を含む）を行った場合	退学 退学又は停学 停学又は訓告
(2) 交通事故・交通法規違反 ① 人身事故を伴う交通事故を起こした場合であって、次のいずれかに該当する場合であること （ア）ひき逃げ行為をしたとき （イ）その原因行為が飲酒運転、無免許運転、暴走運転等悪質なとき （ウ）被害者を死に至らしめたとき（過失がない場合を除く） ② 飲酒運転、無免許運転、暴走運転等の重大な交通法規違反を犯した場合	退学又は停学 退学、停学又は訓告
(3) ハラスメント等行為 性的関係の強要、飲酒の強要、いじめや嫌がらせ、ストーカー行為を行った場合	退学、停学又は訓告
(4) 社会的モラルを問われる行為 ① 未成年者の飲酒 ② 未成年者に飲酒を勧めた場合・容認した場合 ③ 喧嘩、酩酊、喧騒等により、警察等に通報されるなど迷惑をかける行為 ④ その他本学の名誉・信用を失墜させる行為	停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告 停学又は訓告
(5) 薬物犯罪 違法薬物の売買又はその仲介、違法薬物の自己使用等を行った場合	退学又は停学
(6) 個人情報の漏えい 授業又は実習・研修等で知り得た、教職員、学生及び患者の個人情報を漏らした場合 ① 情報の漏えいが故意の場合 ② 情報の漏えいが過失の場合	退学又は停学 停学又は訓告
(7) コンピュータ等の不正行為コンピュータ及びコンピュータネットワークの不正使用等並びにこれらを利用した不正行為	退学、停学又は訓告
(8) 本学の教育・研究活動を妨げる不正行為 ① 研究成果作成の際に論文やデータの捏造を行った場合 ② 剥窃を行った場合 ③ 知的財産を喪失させる行為又は妨げる行為を行った場合	退学、停学又は訓告 停学又は訓告 退学又は停学

④ 学生の学修、研究及び正当な活動並びに教職員の業務を暴力、威力等の不当な手段によって妨害した場合	退学又は停学
---	--------

3. 再犯学生の懲戒

過去に懲戒を受けた学生が、再び懲戒対象行為を行った場合は、より「悪質性」が高いものとみなし、各標準を超える重い懲戒を行うことがある。

備考

- ・「標準的な例」に掲げられていない行為についても、懲戒の対象となる場合がある。
- ・「懲戒の種類」に掲げられていない種類の懲戒が課せられる場合もある。

様式 1

年 月 日

懲戒に関する事実認定の報告書

1. 対象学生 · 学部（研究科） 学科（専攻） 課程・コース・学籍番号
· 氏名 年 月 日生

· 入学年月 年 月

· 現住所 電話番号

2. 事件の経緯・概要

3. 学生の弁明

4. 審議経緯

5. その他参考資料等

記載要領

- 2は、事件の経緯、概要、大学側の対応、事実の確認等について年月日順に記載する。
- 3は、当該学生が行った弁明について、日時、場所、証拠、証人、補佐人の有無、内容等を記載する。
- 5は、他の必要事項又は参考資料があれば記載又は添付する。

様式 2

懲戒通知書

学部名 学籍番号 氏名

東京医科歯科大学学則第 58 条の規定により、下記のとおり懲戒する。

記

1. 懲戒の種類
2. 停学の期間（停学の場合）
3. 処分理由

交付日付 年 月 日

東京医科歯科大学長

印

この処分についての不服申立ては、東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ 6. により、この説明を受領した日の翌日から起算して 14 日以内に、学長に対し書面をもってすることができる。

様式 3

停学解除通知書

学部名 _____ 学籍番号 _____ 氏名 _____

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せ 7 の規定により、

年 月 日 付けで停学を解除する。

年 月 日

東京医科歯科大学長

印

様式 4

告 示

東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申合せに基づき、次のとおり懲戒処分を行った。

1. 懲戒処分となった学生の学部等

(学部の場合は学科まで記載。大学院の場合は専攻まで記載。)

2. 処分内容

(退学の場合)

退 学

(停学の場合)

停 学 (有期停学の場合は期間)

(例: 年 月 日 ~ 年 月 日)

(訓告の場合)

訓 告

3. 処分理由

年 月 日

国立大学法人
東京医科歯科大学長

印

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

〔平成22年3月30日
規則第41号〕

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
- (2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

- (1) 学習目標を十分に満たすこと
- (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われな

ければ所定の単位を修得することができない。

5 学習の評価は、別表2とのおりとする。

6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。

7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

2 医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずる。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。

3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。

4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。

5 平成22年3月31日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1(3)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1(7)を適用する。

(平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置)

3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1(7)は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○			
	医療リーダーシップ特論2	1		○			
	医療リーダーシップ特論3	1		○			
	医療リーダーシップ特論4	1			○ (※2)	○ (※2)	
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)		
	国際教養特論1	1	○	○			
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)	
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)	
計		8					

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則 (平成27年3月10日規則第16号)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成27年3月10日規則第17号)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成27年6月1日規則第140号)

(施行期日等)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1(4)の

「

包括臨床実習	41								○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」は、

「

包括臨床実習	43									○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」と、

「

長寿口腔健康科学 コース	2			○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 6										

」は、

「

長寿口腔健康科学 コース		2		○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 8										

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

授業科目	3年		4年		5年		6年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と 細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						
研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスター ンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning	Medical	English				○	○	○	
----------	---------	---------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉I、国際保健福祉II及び国際保健福祉III

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（I）、短期海外研修（II）、短期海外研修（III）及びLearning Medical English

- 3 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語								○	
--------	--	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2） 実践看護英語I、実践看護英語II及び実践看護英語III

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
(在学する者等に関する経過措置)
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
別表1（1） 研究実践プログラムI、研究実践プログラムII、研究実践プログラムIII、
研究実践プログラムIV及び研究実践プログラムV

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
(在学する者等に関する経過措置)
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

別表1（1）医学科 省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目	単位数			履修学年				備 考
	必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学 I	2		○				
	解剖学 II	1			○			
	生理学	3			○			
	生化学	2			○			
	薬理学 I	1			○			
	薬理学 II	1			○			
	病理学	1			○			
	微生物学	1			○			
	栄養学	1			○			
	疫学	1				○		
	病態学	5			○			
	英文講読 I	1			○			
	英文講読 II	1				○		
専門共通分野	専門基礎合同演習	1			○			
	保健統計学	1					○	
	医療情報学	1			○			
	国際保健看護学	2					○	
	産業保健学	1					○	
	保健医療福祉制度論	2			○			
	健康教育学演習	1					○	
	卒業論文 I	1				○		
	卒業論文 II	2					○	
Learning Medical English			1		○	○	○	

	実践看護英語 I		1		○			
	実践看護英語 II		1			○		
	実践看護英語 III		1				○	
	国際保健福祉 I		1		○			
	国際保健福祉 II		1			○		
	国際保健福祉 III		1				○	
基礎看護学	基礎看護学 I	1		○				
	基礎看護学 II	1			○			
	基礎看護学 III	1			○			
基礎看護学演習	基礎看護学演習 I	2			○			
	基礎看護学演習 II	1			○			
	基礎看護学実習 I	1		○				
	基礎看護学実習 II	2			○			
成人看護学	成人看護学 I	2			○			
	成人看護学 II	2			○			
	成人看護学 III	1				○		
	成人看護学演習	1				○		
	成人看護学実習	3				○		
精神看護学	精神看護学	2			○			
	地域精神看護学	1				○		
	精神看護学演習	1				○		
	精神看護学実習	2				○		
	看護心理学※3		1	○	○			
小児看護学	小児看護学 I	1			○			
	小児看護学 II	1				○		
	小児看護学演習 I	1			○			
	小児看護学演習 II	1				○		
	小児看護学実習	2				○		
母性看護	母性看護学 I	1				○		
	母性看護学 II	1				○		

	母性看護学Ⅲ	1					○		
	母性看護学演習	1					○		
	母性看護学実習	2					○		
老年看護学	老年看護学	3					○		
	老年看護学演習	1					○		
	リハビリテーション看護学※3		1				○		
	老年看護学実習	3					○		
地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
	地域保健看護学Ⅱ	1					○		
	地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
	地域保健看護学演習※1		1					○	
	地域保健看護学実習※1		3					○	
在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
	在宅看護学Ⅱ	1					○		
	在宅看護学演習	1					○		
	緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
	緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
	在宅看護学実習	2					○		
看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
	看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
	看護の統合と実践実習	3						○	
総合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
	総合実習Ⅱ※2		1						○
計		91	12	7					

・ 保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義（I）	2			○				
	人体構造学講義（II）	1				○			
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3			○				
	生化学実習	1			○				
	分析化学検査学講義（I）	3			○				
	分析化学検査学講義（II）	4				○			
	分析化学検査学実習	4				○			
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義（I）	2			○				
	医用システム情報学講義（II）	1				○			
	医用システム情報学実習（I）	1			○				
	医用システム情報学実習（II）	1				○			
	生理検査学講義（I）	3			○				
	生理検査学講義（II）	3				○			
	生理検査学実習（I）	1			○				
	生理検査学実習（II）	2				○			
病因・病態学系	病原体検査学講義（I）	1			○				
	病原体検査学講義（II）	4				○			
	病原体検査学実習（I）	1			○				
	病原体検査学実習（II）	2				○			
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	2				○			
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	2					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習（I）	1				○			
	医学情報処理演習（II）	1						○	
	公衆衛生学講義	2				○			

	公衆衛生学実習	1			○			
	医療概論・関係法規	1			○			
総合分野	臨床病態学（Ⅰ）	2			○			
	臨床病態学（Ⅱ）	2					○	
	先端医療技術論	1		○				
	総合講義	3				○		
	臨地実習	7				○		
	卒業研究	10				○		
	神経科学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	遺伝学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2		○	○	○	○は履修対象学年
	分子生物学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1			○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目				○	○	○	○は履修対象学年
外国語	薬理学		2		○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅰ）		1		○			○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅱ）		1			○		○は履修対象学年
	短期海外研修（Ⅲ）		1				○	○は履修対象学年
	Global Communication (I)	2			○			
	Global Communication (II)	2				○		
	Learning Medical English		1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences (I)		1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences (II)		1		○	○	○	○は履修対象学年
	計	97	10	6				

(選択科目の履修)

- 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。
- 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は

一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみなすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。

3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。

(自由科目の履修)

4 自由科目は卒業要件には含まれない。

(4) 歯学科～(6) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

(7) 全学科共通自由科目

選択科目	授業科目	単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表3

(1) 医学科省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1) 第1学年の専門科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。

(2) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。

(3) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

(3) 歯学科～(5) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
- (2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

- (1) 学習目標を十分に満たすこと
- (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
- 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1(3)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1(7)を適用する。

（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1(7)は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○			
	医療リーダーシップ特論2	1		○			
	医療リーダーシップ特論3	1		○			
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ ※2)	
	医療リーダーシップ特論5	1			○ ※1)		
	国際教養特論1	1	○	○			
	国際教養特論2	1		○	○	○ ※2)	
	国際教養特論3	1		○	○	○ ※2)	
計		8					

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

- 2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

「

包括臨床実習	41											○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」は、

「

包括臨床実習	43											○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」と、

「

長寿口腔健康科学 コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 6												

」は、

「

長寿口腔健康科学 コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 8												

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

- 3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

授業科目	3年		4年		5年		6年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と 細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						

研究体験実習			○				
臨床情報処理						○	
包括臨床実習						○	○
デンタルエクスター ンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
(在学する者等に関する経過措置)
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉I、国際保健福祉II及び国際保健福祉III

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（I）、短期海外研修（II）、短期海外研修（III）及びLearning Medical English

- 3 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語								○	
--------	--	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語I、実践看護英語II及び実践看護英語III

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）研究実践プログラムI、研究実践プログラムII、研究実践プログラムIII、

研究実践プログラムIV及び研究実践プログラムV

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3）短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）

生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）医学科省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目	単位数			履修学年				備 考
	必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学 I	2		○				
	解剖学 II	1			○			
	生理学	3			○			
	生化学	2			○			
	薬理学 I	1			○			
	薬理学 II	1			○			
	病理学	1			○			
	微生物学	1			○			
	栄養学	1			○			
	疫学	1				○		
	病態学	5			○			
	英文講読 I	1			○			
	英文講読 II	1				○		
専門共通分野	専門基礎合同演習	1			○			
	保健統計学	1					○	
	医療情報学	1			○			
	国際保健看護学	2					○	
	産業保健学	1					○	
	保健医療福祉制度論	2			○			
	健康教育学演習	1					○	
	卒業論文 I	1				○		
	卒業論文 II	2					○	
Learning Medical English			1		○	○	○	

	実践看護英語 I		1		○			
	実践看護英語 II		1			○		
	実践看護英語 III		1				○	
	国際保健福祉 A		1	○				
	国際保健福祉 B		1		○			
	国際保健福祉 C		1			○		
	国際保健福祉 D		1				○	
基礎 看護学	基礎看護学 I	1		○				
	基礎看護学 II	1			○			
	基礎看護学 III	1			○			
専門 領域別分野	基礎看護学演習 I	2			○			
	基礎看護学演習 II	1			○			
	基礎看護学実習 I	1		○				
	基礎看護学実習 II	2			○			
成人 看護学	成人看護学 I	2			○			
	成人看護学 II	2			○			
	成人看護学 III	1				○		
	成人看護学演習	1				○		
	成人看護学実習	3				○		
精神 看護学	精神看護学	2			○			
	地域精神看護学	1				○		
	精神看護学演習	1				○		
	精神看護学実習	2				○		
	看護心理学※3		1	○	○			
小児 看護学	小児看護学 I	1			○			
	小児看護学 II	1				○		
	小児看護学演習 I	1			○			
	小児看護学演習 II	1				○		
	小児看護学実習	2				○		
母	母性看護学 I	1				○		

	母性看護学Ⅱ	1				○		
	母性看護学Ⅲ	1				○		
	母性看護学演習	1				○		
	母性看護学実習	2				○		
老年看護学	老年看護学	3				○		
	老年看護学演習	1				○		
	リハビリテーション看護学※3		1			○		
	老年看護学実習	3				○		
地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1			○			
	地域保健看護学Ⅱ	1				○		
	地域保健看護学Ⅲ※1		2				○	
	地域保健看護学演習※1		1				○	
	地域保健看護学実習※1		3				○	
在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1			○			
	在宅看護学Ⅱ	1				○		
	在宅看護学演習	1				○		
	緩和ケア看護学Ⅰ	1				○		
	緩和ケア看護学Ⅱ※3		1				○	
	在宅看護学実習	2				○		
看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2		○				
	看護の統合と実践Ⅱ	2					○	
	看護の統合と実践実習	3					○	
総合実習	総合実習Ⅰ※2		2				○	
	総合実習Ⅱ※2		1					○
計		91	12	8				

- ・ 保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	3				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	3					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義(Ⅰ)	2				○			
	医用システム情報学講義(Ⅱ)	1					○		
	医用システム情報学実習(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学実習(Ⅱ)	1					○		
	生理検査学講義(Ⅰ)	3				○			
	生理検査学講義(Ⅱ)	2				○			
	生理検査学講義(Ⅲ)	2					○		
	生理検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅱ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅲ)	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義(Ⅰ)	1			○				
	病原体検査学講義(Ⅱ)	3					○		
	病原体検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	病原体検査学実習(Ⅱ)	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	3					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習(Ⅰ)	1				○			
	医学情報処理演習(Ⅱ)	1					○		

公衆衛生学講義	2					○	
公衆衛生学実習	1					○	
医療概論・関係法規	1					○	
総合分野	臨床病態学（I）	2			○		
	臨床病態学（II）	2				○	
	先端医療技術論	1		○			
	総合講義	3				○	
	臨地実習	7			○		
	卒業研究（I）	2			○		
	卒業研究（II）	8				○	
	神経科学		1		○	○	○
	遺伝学		1		○	○	○
	生体医工学		2		○		
	分子生物学		1		○	○	○
	心臓生理学		1		○	○	○
	電子顕微鏡学		1		○	○	○
	アドバンスド生理機能検査学		1			○	○
四大学連合複合領域コース開講科目	薬理学		2		○	○	○
	短期海外研修A			1	○		
	短期海外研修B			1		○	
	短期海外研修C			1		○	
	短期海外研修D			1			○
外国語	Global Communication（I）	2			○		
	Global Communication（II）	2				○	
	Learning Medical English		1		○	○	○
	English for Health Care Sciences（I）		1		○	○	○
	English for Health Care Sciences（II）		1		○	○	○

(選択科目の履修)

- 卒業要件として選択科目の中から 6 単位以上を修得しなければならない。
 - 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4 単位を上限として単位を修得したものとみ

なすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。

3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。

(自由科目的履修)

4 自由科目は卒業要件には含まれない。

(4) 歯学科～(6) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）

(7) 全学科共通自由科目

選択科目	授業科目	単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	

当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表3 (1) 医学科省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1)	<p>(看護学専攻) 第1学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。</p> <p>(検査技術学専攻) 第1学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。</p>
(2)	<p>(看護学専攻) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。</p> <p>(検査技術学専攻) 第1学年の専門科目及び第2学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第3学年に進級することはできない。</p>
(3)	<p>(看護学専攻) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。</p> <p>(検査技術学専攻) 第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。</p>

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修をする。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

(3) 歯学科～(5) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
- (2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

- (1) 学習目標を十分に満たすこと
- (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
- 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1(3)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1(7)を適用する。

（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1(7)は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○			
	医療リーダーシップ特論2	1		○			
	医療リーダーシップ特論3	1		○			
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (*2)	
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (*1)		
	国際教養特論1	1	○	○			
	国際教養特論2	1		○	○	○ (*2)	
	国際教養特論3	1		○	○	○ (*2)	
計		8					

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

- 2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

「

包括臨床実習	41											○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」は、

「

包括臨床実習	43											○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」と、

「

長寿口腔健康科学 コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 6												

」は、

「

長寿口腔健康科学 コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 8												

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

- 3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

授業科目	3年		4年		5年		6年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と 細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						

研究体験実習			○				
臨床情報処理						○	
包括臨床実習						○	○
デンタルエクスター ンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
(在学する者等に関する経過措置)
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉I、国際保健福祉II及び国際保健福祉III

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（I）、短期海外研修（II）、短期海外研修（III）及びLearning Medical English

- 3 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語								○	
--------	--	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語I、実践看護英語II及び実践看護英語III

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）研究実践プログラムI、研究実践プログラムII、研究実践プログラムIII、

研究実践プログラムIV及び研究実践プログラムV

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3）短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）

生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）医学科省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目	単位数			履修学年				備 考
	必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学 I	2		○				
	解剖学 II	1			○			
	生理学	3			○			
	生化学	2			○			
	薬理学 I	1			○			
	薬理学 II	1			○			
	病理学	1			○			
	微生物学	1			○			
	栄養学	1			○			
	疫学	1				○		
	病態学	5			○			
	英文講読 I	1			○			
	英文講読 II	1				○		
専門共通分野	専門基礎合同演習	1			○			
	保健統計学	1					○	
	医療情報学	1			○			
	国際保健看護学	2					○	
	産業保健学	1					○	
	保健医療福祉制度論	2			○			
	健康教育学演習	1					○	
	卒業論文 I	1				○		
	卒業論文 II	2					○	
Learning Medical English			1		○	○	○	

	実践看護英語 I		1		○			
	実践看護英語 II		1			○		
	実践看護英語 III		1				○	
	国際保健福祉 A		1	○				
	国際保健福祉 B		1		○			
	国際保健福祉 C		1			○		
	国際保健福祉 D		1				○	
基礎 看護学	基礎看護学 I	1		○				
	基礎看護学 II	1			○			
	基礎看護学 III	1			○			
成人 看護学	基礎看護学演習 I	2			○			
	基礎看護学演習 II	1			○			
	基礎看護学実習 I	1		○				
	基礎看護学実習 II	2			○			
専門 領域別分野	成人看護学 I	2			○			
	成人看護学 II	2			○			
	成人看護学 III	1				○		
	成人看護学演習	1				○		
	成人看護学実習	3				○		
精神 看護学	精神看護学	2			○			
	地域精神看護学	1				○		
	精神看護学演習	1				○		
	精神看護学実習	2				○		
	看護心理学※3		1	○	○			
小児 看護学	小児看護学 I	1			○			
	小児看護学 II	1				○		
	小児看護学演習 I	1			○			
	小児看護学演習 II	1				○		
	小児看護学実習	2				○		
母	母性看護学 I	1				○		

	母性看護学Ⅱ	1				○		
	母性看護学Ⅲ	1				○		
	母性看護学演習	1				○		
	母性看護学実習	2				○		
老年看護学	老年看護学	3				○		
	老年看護学演習	1				○		
	リハビリテーション看護学※3		1			○		
	老年看護学実習	3				○		
地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1			○			
	地域保健看護学Ⅱ	1				○		
	地域保健看護学Ⅲ※1		2				○	
	地域保健看護学演習※1		1				○	
	地域保健看護学実習※1		3				○	
在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1			○			
	在宅看護学Ⅱ	1				○		
	在宅看護学演習	1				○		
	緩和ケア看護学Ⅰ	1				○		
	緩和ケア看護学Ⅱ※3		1				○	
	在宅看護学実習	2				○		
看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2		○				
	看護の統合と実践Ⅱ	2					○	
	看護の統合と実践実習	3					○	
総合実習	総合実習Ⅰ※2		2				○	
	総合実習Ⅱ※2		1					○
計		91	12	8				

- ・ 保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	3				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	3					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義(Ⅰ)	2				○			
	医用システム情報学講義(Ⅱ)	1					○		
	医用システム情報学実習(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学実習(Ⅱ)	1					○		
	生理検査学講義(Ⅰ)	3				○			
	生理検査学講義(Ⅱ)	2				○			
	生理検査学講義(Ⅲ)	2					○		
	生理検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅱ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅲ)	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義(Ⅰ)	1			○				
	病原体検査学講義(Ⅱ)	3					○		
	病原体検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	病原体検査学実習(Ⅱ)	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	3					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習(Ⅰ)	1				○			
	医学情報処理演習(Ⅱ)	1					○		

	公衆衛生学講義	2				○	
	公衆衛生学実習	1				○	
	医療概論・関係法規	1				○	
総合分野	臨床病態学（I）	2			○		
	臨床病態学（II）	2				○	
	先端医療技術論	1		○			
	総合講義	3				○	
	臨地実習	7			○		
	卒業研究（I）	2			○		
	卒業研究（II）	8				○	
	神経科学		1		○	○	○
	遺伝学		1		○	○	○
	生体医工学		2			○	
	分子生物学		1		○	○	○
	心臓生理学		1		○	○	○
	電子顕微鏡学		1		○	○	○
	アドバンスド生理機能検査学		1			○	○
外国語	四大学連合複合領域コース開講科目				○	○	○
	薬理学		2		○	○	○
	短期海外研修A		1	○			
	短期海外研修B		1		○		
	短期海外研修C		1			○	
	短期海外研修D		1				○
	Global Communication (I)	2			○		
	Global Communication (II)	2				○	
	Learning Medical English		1		○	○	○
	English for Health Care Sciences (I)		1		○	○	○
	English for Health Care Sciences (II)		1		○	○	○
	計	99	10	7			

(選択科目の履修)

- 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。
- 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみ

なすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。

3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。

(自由科目的履修)

4 自由科目は卒業要件には含まれない。

(4) 歯学科～(6) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）

(7) 全学科共通自由科目

選択科目	授業科目	単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	

当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表3 (1) 医学科省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1)

(看護学専攻) 第1学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。

(検査技術学専攻) 第1学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。

(2)

(看護学専攻) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。

(検査技術学専攻) 第1学年の専門科目及び第2学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第3学年に進級することはできない。

(3)

(看護学専攻) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

(検査技術学専攻) 第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修をする。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

(3) 歯学科～(5) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
- (2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

- (1) 学習目標を十分に満たすこと
- (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
- 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1(3)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1(7)を適用する。

（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1(7)は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○			
	医療リーダーシップ特論2	1		○			
	医療リーダーシップ特論3	1		○			
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (*2)	
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (*1)		
	国際教養特論1	1	○	○			
	国際教養特論2	1		○	○	○ (*2)	
	国際教養特論3	1		○	○	○ (*2)	
計		8					

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

- 2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

「

包括臨床実習	41											○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」は、

「

包括臨床実習	43											○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」と、

「

長寿口腔健康科学 コース	2				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 6												

」は、

「

長寿口腔健康科学 コース		2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 8												

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

- 3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

授業科目	3年		4年		5年		6年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と 細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						

研究体験実習			○				
臨床情報処理						○	
包括臨床実習						○	○
デンタルエクスター ンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
(在学する者等に関する経過措置)
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉I、国際保健福祉II及び国際保健福祉III

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（I）、短期海外研修（II）、短期海外研修（III）及びLearning Medical English

- 3 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語								○	
--------	--	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語I、実践看護英語II及び実践看護英語III

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）研究実践プログラムI、研究実践プログラムII、研究実践プログラムIII、

研究実践プログラムIV及び研究実践プログラムV

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3）短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）

生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）医学科省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目	単位数			履修学年				備 考
	必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学	3		○				
	生理学	3			○			
	生化学	2			○			
	薬理学 I	1			○			
	薬理学 II	1			○			
	病理学	1			○			
	微生物学	1		○				
	栄養学	1			○			
	疫学	1				○		
	病態学	5			○			
	Global Nursing Communication I	1			○			
	Global Nursing Communication II	1				○		
専門共通分野	専門基礎合同演習	1			○			
	保健統計学	1					○	
	医療情報学	1			○			
	国際保健看護学	2					○	
	産業保健学	1					○	
	保健医療福祉制度論	2			○			
	健康教育学演習	1					○	
	卒業論文 I	1				○		
	卒業論文 II	2					○	
Learning Medical English			1		○	○	○	

	実践看護英語 I		1		○			
	実践看護英語 II		1			○		
	実践看護英語 III		1				○	
	国際保健福祉 A		1	○				
	国際保健福祉 B		1		○			
	国際保健福祉 C		1			○		
	国際保健福祉 D		1				○	
基礎看護学	基礎看護学 I	1		○				
	基礎看護学 II	1			○			
	基礎看護学 III	1			○			
成人看護学	基礎看護学演習 I	2			○			
	基礎看護学演習 II	1			○			
	基礎看護学実習 I	1		○				
	基礎看護学実習 II	2			○			
	成人看護学 I	2			○			
専門領域別分野	成人看護学 II	2			○			
	成人看護学 III	1				○		
	成人看護学演習	1				○		
	成人看護学実習	3				○		
	精神看護学	2			○			
精神看護学	地域精神看護学	1				○		
	精神看護学演習	1				○		
	精神看護学実習	2				○		
	看護心理学※3		1	○	○			
小児看護学	小児看護学 I	1			○			
	小児看護学 II	1				○		
	小児看護学演習 I	1			○			
	小児看護学演習 II	1				○		
	小児看護学実習	2				○		
母	母性看護学 I	1				○		

	母性看護学Ⅱ	1					○		
	母性看護学Ⅲ	1					○		
	母性看護学演習	1					○		
	母性看護学実習	2					○		
老年看護学	老年看護学	3					○		
	老年看護学演習	1					○		
	リハビリテーション看護学※3		1				○		
	老年看護学実習	3					○		
地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○			
	地域保健看護学Ⅱ	1					○		
	地域保健看護学Ⅲ※1		2					○	
	地域保健看護学演習※1		1					○	
	地域保健看護学実習※1		3					○	
在宅看護学	在宅看護学Ⅰ	1				○			
	在宅看護学Ⅱ	1					○		
	在宅看護学演習	1					○		
	緩和ケア看護学Ⅰ	1						○	
	緩和ケア看護学Ⅱ※3		1					○	
	在宅看護学実習	2					○		
看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	2			○				
	看護の統合と実践Ⅱ	2						○	
	看護の統合と実践実習	3						○	
総合実習	総合実習Ⅰ※2		2					○	
	総合実習Ⅱ※2		1						○
計		91	12	8					

- ・ 保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	3				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	3					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義(Ⅰ)	2				○			
	医用システム情報学講義(Ⅱ)	1					○		
	医用システム情報学実習(Ⅰ)	1				○			
	医用システム情報学実習(Ⅱ)	1					○		
	生理検査学講義(Ⅰ)	3				○			
	生理検査学講義(Ⅱ)	2				○			
	生理検査学講義(Ⅲ)	2					○		
	生理検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅱ)	1				○			
	生理検査学実習(Ⅲ)	2					○		
病因・病態学系	病原体検査学講義(Ⅰ)	1			○				
	病原体検査学講義(Ⅱ)	3					○		
	病原体検査学実習(Ⅰ)	1				○			
	病原体検査学実習(Ⅱ)	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	3					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
検査管理・社会医学系	検査管理学	1			○				
	医学情報処理演習(Ⅰ)	1				○			
	医学情報処理演習(Ⅱ)	1					○		

	公衆衛生学講義	2					○	
	公衆衛生学実習	1					○	
	医療概論・関係法規	1					○	
総合分野	臨床病態学（I）	2			○			
	臨床病態学（II）	2				○		
	先端医療技術論	1		○				
	総合講義	3					○	
	臨地実習	7			○			
	卒業研究（I）	2			○			
	卒業研究（II）	8				○		
	遺伝学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	生体医工学		2			○		
	分子生物学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	心臓生理学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	電子顕微鏡学		1		○	○	○	○は履修対象学年
	アドバンスド生理機能検査学		1			○	○	○は履修対象学年
	心電図判読		1			○	○	○は履修対象学年
	四大学連合複合領域コース開講科目				○	○	○	○は履修対象学年
外国語	薬理学		2		○	○	○	○は履修対象学年
	短期海外研修A		1	○				
	短期海外研修B		1		○			
	短期海外研修C		1			○		
	短期海外研修D		1				○	
	Global Communication (I)	2			○			
	Global Communication (II)	2				○		
	Learning Medical English		1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences (I)		1		○	○	○	○は履修対象学年
	English for Health Care Sciences (II)		1		○	○	○	○は履修対象学年
	計	99	10	7				

(選択科目の履修)

- 卒業要件として選択科目の中から6単位以上を修得しなければならない。
- 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4単位を上限として単位を修得したものとみ

なすことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。

3 選択科目は、第2、第3学年及び第4学年のいずれかに履修することができるが、第4学年に2単位以上修得しなければならない。

(自由科目的履修)

4 自由科目は卒業要件には含まれない。

(4) 歯学科～(6) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）

(7) 全学科共通自由科目

選択科目	授業科目	単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	

当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表3 (1) 医学科省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1)

(看護学専攻) 第1学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。

(検査技術学専攻) 第1学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。

(2)

(看護学専攻) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。

(検査技術学専攻) 第1学年の専門科目及び第2学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第3学年に進級することはできない。

(3)

(看護学専攻) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

(検査技術学専攻) 第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

(3) 歯学科～(5) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
- (2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

- (1) 学習目標を十分に満たすこと
- (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級等要件)

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修又は単位を修得することができない。

- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
- 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1(3)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1(7)を適用する。

（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）

- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1(7)は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目	単位数	履修対象学年					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○			
	医療リーダーシップ特論2	1		○			
	医療リーダーシップ特論3	1		○			
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ ※2)	
	医療リーダーシップ特論5	1			○ ※1)		
	国際教養特論1	1	○	○			
	国際教養特論2	1		○	○	○ ※2)	
	国際教養特論3	1		○	○	○ ※2)	
計		8					

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

- 2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

「

包括臨床実習	41										○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」は、

「

包括臨床実習	43										○	○	○
--------	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---

」と、

「

長寿口腔健康科学 コース	2			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 6											

」は、

「

長寿口腔健康科学 コース		2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	168	1~ 8											

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

- 3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

授業科目	3年		4年		5年		6年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人体の構造と機能	○	○						
生命の分子的基盤と 細胞の機能	○							
病理		○						
感染と生体防御		○						
生体材料		○						
歯科放射線基礎		○						
歯科医療入門	○							
歯科医療基礎			○					
咬合育成・発達				○				
う蝕と歯髄疾患				○	○			
歯周病					○			
咬合回復				○	○			
顎口腔医療					○	○		
全身と歯科医療					○	○		
臨床体験実習	○	○		○				
学年混合選択セミナー	○		○		○			
課題統合セミナー		○		○	○			
総合課題演習	○	○						

研究体験実習			○				
臨床情報処理						○	
包括臨床実習						○	○
デンタルエクスター ンシップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
(在学する者等に関する経過措置)
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉I、国際保健福祉II及び国際保健福祉III

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（I）、短期海外研修（II）、短期海外研修（III）及びLearning Medical English

- 3 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語								○	
--------	--	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語I、実践看護英語II及び実践看護英語III

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）研究実践プログラムI、研究実践プログラムII、研究実践プログラムIII、

研究実践プログラムIV及び研究実践プログラムV

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3）短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）

生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和元年5月8日規則第55号）

（施行期日等）

1 この規則は、令和元年5月8日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）の次に掲げる科目及び別表3（1）医学科（8）及び注4を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）臨床実習I、臨床実習II

附 則（令和元年5月8日規則第56号）

（施行期日等）

1 この規則は、令和元年5月8日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）

及び（4）並びに別表3（1）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 総合診療・地域医療

別表1（4） 総合診療・地域医療

別表3（1） 総合診療・地域医療

別表3（3） 総合診療・地域医療

附 則（令和2年3月11日規則第49号）

（施行期日等）

1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

2 令和2年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和2年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（1）、（3）及び（4）の次に掲げる科目並びに別表3（1）の（5）、注1及び別表3（3）の（4）、注を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションIII）、社会医学及び行動科学

別表1（3） 神経科学、心電図判読、Learning Medical English

別表1（4） 医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションIII）

3 前項の規定にかかわらず、Learning Medical Englishについては、平成31年4月1日に入学した者のみ改正後の別表1（3）を適用する。

附 則（令和3年1月15日 規則第3号）

1 この規則は、令和3年1月15日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

2 令和2年3月31日において、現に本学に在学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月31日規則第40号）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。ただし、第9条、別表1（4）及び別表3（1）は、令和2年4月1日から適用する。

別表1（1）医学科省略

(2) 保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

授業科目	単位数			履修学年				備 考
	必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学	3		○				
	生理学	3			○			
	生化学	2			○			
	薬理学Ⅰ	1			○			
	薬理学Ⅱ	1			○			
	病理学	1			○			
	微生物学	1		○				
	栄養学	1			○			
	疫学	1				○		
	病態学	5			○			
	Global Nursing Communication I	1			○			
	Global Nursing Communication II	1				○		
	専門基礎合同演習	1			○			
専門共通分野	保健統計学	1					○	
	医療情報学	1			○			
	国際保健看護学	2					○	
	産業保健学	1					○	
	保健医療福祉制度論	2			○			
	健康教育学演習	1					○	
	卒業論文Ⅰ	1				○		
	卒業論文Ⅱ	2					○	
	AI 実践演習		1		○		○	※4
	Learning Medical English		1		○	○	○	※4
	実践看護英語Ⅰ		1		○			
	実践看護英語Ⅱ		1			○		
	実践看護英語Ⅲ		1				○	
	国際保健福祉A		1	○				
	国際保健福祉B		1		○			
	国際保健福祉C		1			○		
	国際保健福祉D		1				○	
基	基礎看護学Ⅰ	1		○				

	基礎看護学Ⅱ	1				○		
	基礎看護学Ⅲ	1				○		
	基礎看護学演習Ⅰ	2				○		
	基礎看護学演習Ⅱ	1				○		
	基礎看護学実習Ⅰ	1			○			
	基礎看護学実習Ⅱ	2				○		
成人看護学	成人看護学Ⅰ	2				○		
	成人看護学Ⅱ	2				○		
	成人看護学Ⅲ	1				○		
	成人看護学演習	1				○		
	成人看護学実習	3				○		
精神看護学	精神看護学	2				○		
	地域精神看護学	1				○		
	精神看護学演習	1				○		
	精神看護学実習	2				○		
	看護心理学※3		1		○	○		※4
専門領域別分野	小児看護学Ⅰ	1				○		
	小児看護学Ⅱ	1				○		
	小児看護学演習Ⅰ	1				○		
	小児看護学演習Ⅱ	1				○		
	小児看護学実習	2				○		
母性看護学	母性看護学Ⅰ	1				○		
	母性看護学Ⅱ	1				○		
	母性看護学Ⅲ	1				○		
	母性看護学演習	1				○		
	母性看護学実習	2				○		
老年看護学	老年看護学	3				○		
	老年看護学演習	1				○		
	リハビリテーション看護学※3		1			○		
	老年看護学実習	3				○		
地域保健看護学	地域保健看護学Ⅰ	1				○		
	地域保健看護学Ⅱ	1				○		
	地域保健看護学Ⅲ※1		2				○	
	地域保健看護学演習※1		1				○	
	地域保健看護学実習※1		3				○	
在宅	在宅看護学Ⅰ	1			○			
	在宅看護学Ⅱ	1				○		

	在宅看護学演習	1					○	
	緩和ケア看護学 I	1						○
	緩和ケア看護学 II※3		1					○
	在宅看護学実習	2					○	
看護の統合と実践	看護の統合と実践 I	2			○			
	看護の統合と実践 II	2						○
	看護の統合と実践実習	3						○
総合実習	総合実習 I※2		2					○
	総合実習 II※2		1					○
計		91	12	9				

- ・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。
- ・※4 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

(3) 保健衛生学科（検査技術学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年（履修対象学年）				備考
		必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
形態・病態制御学系	人体構造学講義	3			○				
	人体構造学実習	1				○			
	病理検査学講義	4				○			
	病理検査学実習	2				○			
	血液検査学講義	2					○		
	血液検査学実習	2					○		
物質・代謝学系	生化学講義	3				○			
	生化学実習	1				○			
	分析化学検査学Ⅰ	2			○				講義・実習
	分析化学検査学Ⅱ	4				○			講義・実習
	分析化学検査学Ⅲ	4					○		講義・実習
機能調節・制御学系	医用システム情報学講義(I)	2				○			
	医用システム情報学講義(II)	1					○		
	医用システム情報学実習(I)	1				○			
	医用システム情報学実習(II)	1					○		
	生理検査学講義(I)	3				○			
	生理検査学講義(II)	2				○			
	生理検査学講義(III)	2					○		
	生理検査学実習(I)	1				○			
	生理検査学実習(II)	1				○			
	生理検査学実習(III)	2					○		
	病原体検査学講義(I)	1			○				
	病原体検査学講義(II)	3				○			
病因・病態学系	病原体検査学実習(I)	1				○			
	病原体検査学実習(II)	2					○		
	免疫検査学講義	4				○			
	免疫検査学実習	2					○		
	遺伝子・染色体検査学講義	2				○			
	遺伝子検査学実習	1					○		
	検査管理	1			○				
	医学情報処理演習(I)	1				○			
検査管理・社会医学系	医学情報処理演習(II)	1					○		
	公衆衛生学講義	2						○	
	公衆衛生学実習	1						○	
	医療概論・関係法規	1						○	
	臨床病態学(I)	2				○			
	臨床病態学(II)	2					○		
総合分野	先端医療技術論	1			○				
	総合講義	3						○	
	臨地実習	7				○			
	卒業研究(I)	2					○		
	卒業研究(II)	8						○	
	遺伝学		1			○	○	○	※
	生体医工学		2				○		

分子生物学		1		○	○	○	※
心臓生理学		1		○	○	○	※
電子顕微鏡学		1		○	○	○	※
アドバンスド生理機能検査学		1			○	○	※
心電図判読		1			○	○	※
AI 実践演習		1		○		○	※
四大学連合複合領域コース開講科目				○	○	○	※
薬理学		2		○	○	○	※
短期海外研修A		1	○				
短期海外研修B		1		○			
短期海外研修C		1			○		
短期海外研修D		1				○	
外国語	Global Communication (I)	2		○			
	Global Communication (II)	2			○		
	Learning Medical English		1	○	○	○	※
	English for Health Care Sciences (I)		1	○	○	○	※
	English for Health Care Sciences (II)		1	○	○	○	※
計		96	12	6			

(選択科目の履修)

- 1 卒業要件として選択科目の中から 6 単位以上を修得しなければならない。第 4 学年ではそのうち 2 単位以上を修得しなければならない。
- 2 四大学連合複合領域コース開講科目は、同コースで開講する授業科目のうち、東京工業大学又は一橋大学が開講する授業科目の単位を修得した場合、4 単位を上限として単位を修得したものとみなす
ことができる。開講科目など詳細は「複合領域コース 履修の手引き」を確認すること。
(自由科目の履修)
- 3 自由科目は卒業要件には含まれない。
※ 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

(4) 歯学科～(6) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

(7) 全学科共通自由科目

選択科目	授業科目	単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○

Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

(8) 医学科地域特別枠推薦入試入学者必修科目省略

別表2

評価基準	評価	単位認定
当該科目的到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
当該科目的到達目標を全て達成した	A	
当該科目的到達目標を概ね達成した	B	
当該科目的到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目的到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1)
(看護学専攻) 第1学年の専門科目のうち、実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。
(検査技術学専攻) 第1学年の専門科目のうち、講義実習科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。
(2)
(看護学専攻) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。
(検査技術学専攻) 第1学年の専門科目及び第2学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは第3学年に進級することはできない。
(3)
(看護学専攻) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。
(検査技術学専攻) 第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

(3) 歯学科～(5) 口腔保健学科（口腔保健工学専攻）省略

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規

平成23年 2月16日
医学部保健衛生学科長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の履修に關し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 科目試験の成績については、授業科目ごとに担当教員が採点し、履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

- 2 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評価は、Fとする。
- 3 第1項及び前項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。
- 4 合否判定の結果について異議がある学生は、掲示後1週間以内に別に定める「成績評価異議申し立て書」を医学部事務部保健衛生教務係に提出することができる。

(仮進級)

第3条 進級要件を満たさない者については、特別な事情がある場合に限り、保健衛生学科教育委員会において協議し、仮進級を認めることができる。

- 2 仮進級者は、翌年度に実施される不合格科目の定期試験を受験し、合格しなければならない。

(G P)

第4条 評価とG Pとの対応は次のとおりとする。

評価	A+	A	B	C	D	F
GP	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

- 2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修科目とし、G P A (Grade Point Average) の計算式には算入しない。
- 3 選択科目及び自由科目のうち、卒業要件に含まない単位のG Pについては、学生の申請があれば、G P Aの計算式に算入しないものとする。
- 4 前項の申請時期は、第4学年の後期履修登録時とし、以降の変更は原則として認めない。

附 則

- 1 この内規は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学医学部に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行する。

2 平成28年3月31において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（平成28年10月12日制定）

この内規は、平成28年11月1日から施行する。

(第2条関係)

平成 年 月 日

成績評価異議申し立て書

学部 _____

学科・専攻 _____

学籍番号 _____

氏名 _____

授業科目名		担当教員	
(問い合わせ内容)			
担当教員への連絡	年	月	日ににて連絡
(教員の回答)	年	月	日
学生への連絡	年	月	日に連絡
担当教員から 教務係への連絡	成績訂正：有(訂正後の成績)・無 年 月 日 氏名		
教務係確認欄	年	月	日

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

2021年度入学者(主に1年生)

授業科目	単位数							備考 (旧カリ対応科目等)
	必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学	3		○				
	生理学	3		○				
	生化学	2		○				
	薬理学 I	1		○				
	薬理学 II	1		○				
	病理学	1		○				
	微生物学	1		○				
	栄養学	1		○				
	疫学	1			○			
	病態学	5		○				
	Global Nursing Communication I	1		○				
	Global Nursing Communication II	1			○			
	専門基礎合同演習	1		○				
専門共通分野	保健統計学	1					○	
	医療情報学	1		○				
	国際保健看護学	2				○		
	産業保健学	1				○		
	保健医療福祉制度論	2		○				
	健康教育学演習	1				○		
	卒業論文 I	1			○			
	卒業論文 II	2				○		
	AI 実践演習		1	○		○		※4
	Learning Medical English		1	○	○	○		※4
	実践看護英語 I		1	○				
	実践看護英語 II		1		○			
	実践看護英語 III		1			○		
	国際保健福祉 A		1	○				
	国際保健福祉 B		1		○			
	国際保健福祉 C		1		○			
	国際保健福祉 D		1			○		
専門領域別	基礎看護学 I	1		○				
	基礎看護学 II	1			○			
	基礎看護学 III	1			○			
	基礎看護学演習 I	2			○			
	基礎看護学演習 II	1			○			
	基礎看護学実習 I	1		○				
	基礎看護学実習 II	2			○			
	成人看護学 I	2			○			
	成人看護学 II	2		○				
	成人看護学 III	1			○			
	成人看護学演習	1			○			
	成人看護学実習	3			○			
	精神看護学	2			○			
	地域精神看護学	1			○			
	精神看護学演習	1			○			
分野	精神看護学実習	2			○			
	看護心理学※3		1	○	○			※4
	小児看護学 I	1			○			
	小児看護学 II	1			○			
	小児看護学演習 I	1		○				
	小児看護学演習 II	1			○			
	小児看護学実習	2			○			
	母性看護学 I	1			○			
	母性看護学 II	1			○			
	母性看護学 III	1			○			
	母性看護学演習	1			○			
	母性看護学実習	2			○			
	老年看護学	3			○			
	老年看護学演習	1			○			
	リハビリテーション看護学※3		1		○			
	老年看護学実習	3			○			
地域保健	地域保健看護学 I	1			○			
	地域保健看護学 II	1			○			
	地域保健看護学 III※1		2				○	
	地域保健看護学演習※1		1				○	
	地域保健看護学実習※1		3				○	
在宅看護学	在宅看護学 I	1			○			
	在宅看護学 II	1				○		
	在宅看護学演習	1				○		
	緩和ケア看護学 I	1					○	
	緩和ケア看護学 II※3		1				○	
	在宅看護学実習	2				○		
実践看護学	看護の統合と実践 I	2		○				
	看護の統合と実践 II	2				○		
	看護の統合と実践実習	3				○		
総合実習	総合実習 I※2		2			○		
	総合実習 II※2		1			○		
計		91	12	9				

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。

保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

・※4 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

2020年度入学者(主に2年生)

授業科目	単位数							備考 (旧カリ対応科目等)
	必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学	3			○			
	生理学	3				○		
	生化学	2				○		
	薬理学 I	1				○		
	薬理学 II	1				○		
	病理学	1				○		
	微生物学	1			○			
	栄養学	1				○		
	疫学	1					○	
	病態学	5				○		
	Global Nursing Communication I	1				○		
	Global Nursing Communication II	1				○		
	専門基礎合同演習	1				○		
専門共通分野	保健統計学	1					○	
	医療情報学	1				○		
	国際保健看護学	2					○	
	産業保健学	1					○	
	保健医療福祉制度論	2				○		
	健康教育学演習	1					○	
	卒業論文 I	1				○		
	卒業論文 II	2					○	
	AI 実践演習		1			○	○	※4
	Learning Medical English		1			○	○	※4
	実践看護英語 I		1			○		
	実践看護英語 II		1				○	
	実践看護英語 III		1				○	
専門領域別	国際保健福祉 A		1			○		
	国際保健福祉 B		1			○		
	国際保健福祉 C		1			○		
	国際保健福祉 D		1				○	
	基礎看護学 I	1			○			
	基礎看護学 II	1				○		
	基礎看護学 III	1				○		
	基礎看護学演習 I	2				○		
	基礎看護学演習 II	1				○		
	基礎看護学実習 I	1			○			
	基礎看護学実習 II	2				○		
	成人看護学 I	2				○		
	成人看護学 II	2				○		
域別	成人看護学 III	1					○	
	成人看護学演習	1					○	
	成人看護学実習	3					○	
	精神看護学	2					○	
	地域精神看護学	1					○	
	精神看護学演習	1					○	
	精神看護学実習	2					○	
	看護心理学※3		1			○	○	※4
	小児看護学 I	1					○	
	小児看護学 II	1					○	
	小児看護学演習 I	1					○	
	小児看護学演習 II	1					○	
	小児看護学実習	2					○	
分野	母性看護学	1					○	
	母性看護学 II	1					○	
	母性看護学 III	1					○	
	母性看護学演習	1					○	
	母性看護学実習	2					○	
	老年看護学	3					○	
	老年看護学演習	1					○	
	リハビリテーション看護学※3		1				○	
	老年看護学実習	3					○	
	地域保健看護学 I	1					○	
	地域保健看護学 II	1					○	
	地域保健看護学 III※1		2					○
	地域保健看護学演習※1		1					○
実践合併	地域保健看護学実習※1		3					○
	在宅看護学 I	1					○	
	在宅看護学 II	1					○	
	在宅看護学演習	1					○	
	緩和ケア看護学 I	1						○
	緩和ケア看護学 II※3		1					○
	在宅看護学実習	2					○	
	看護の統合と実践 I	2				○		
	看護の統合と実践 II	2					○	
	看護の統合と実践実習	3					○	
	総合実習 I※2		2					○
	総合実習 II※2		1					○
	計	91	12	9				

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。

保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

・※4 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成31(2019)年度入学者(主に3年生)

授業科目	単位数							備考 (旧カリ対応科目等)
	必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学	3		○				
	生理学	3		○				
	生化学	2		○				
	薬理学Ⅰ	1		○				
	薬理学Ⅱ	1		○				
	病理学	1		○				
	微生物学	1		○				
	栄養学	1		○				
	疫学	1		○				
	病態学	5		○				
	Global Nursing Communication I	1		○				
	Global Nursing Communication II	1		○				
	専門基礎合同演習	1		○				
専門共通分野	保健統計学	1				○		
	医療情報学	1		○				
	国際保健看護学	2				○		
	産業保健学	1				○		
	保健医療福祉制度論	2		○				
	健康教育学演習	1				○		
	卒業論文Ⅰ	1			○			
	卒業論文Ⅱ	2			○			
	AI 実践演習	1		○	○	○	※4	
	Learning Medical English	1		○	○	○	※4	
	実践看護英語Ⅰ	1		○				
	実践看護英語Ⅱ	1		○				
	実践看護英語Ⅲ	1				○		
専門領域別	国際保健福祉A	1	○					
	国際保健福祉B	1		○				
	国際保健福祉C	1		○				
	国際保健福祉D	1		○				
	基礎看護学Ⅰ	1		○				
	基礎看護学Ⅱ	1		○				
	基礎看護学Ⅲ	1		○				
	基礎看護学演習Ⅰ	2		○				
	基礎看護学演習Ⅱ	1		○				
	基礎看護学実習Ⅰ	1		○				
	基礎看護学実習Ⅱ	2		○				
	成人看護学Ⅰ	2		○				
	成人看護学Ⅱ	2		○				
専門分野	成人看護学Ⅲ	1			○			
	成人看護学演習	1			○			
	成人看護学実習	3			○			
	精神看護学	2			○			
	地域精神看護学	1			○			
	精神看護学演習	1			○			
	精神看護学実習	2			○			
	看護心理学※3	1	○	○			※4	
	小児看護学Ⅰ	1		○				
	小児看護学Ⅱ	1		○				
	小児看護学演習Ⅰ	1		○				
	小児看護学演習Ⅱ	1		○				
	小児看護学実習	2		○				
専門分野	母性看護学Ⅰ	1			○			
	母性看護学Ⅱ	1			○			
	母性看護学Ⅲ	1			○			
	母性看護学演習	1			○			
	母性看護学実習	2			○			
	老年看護学	3				○		
	老年看護学演習	1			○			
	リハビリテーション看護学※3	1			○			
	老年看護学実習	3			○			
	地域保健看護学Ⅰ	1			○			
	地域保健看護学Ⅱ	1			○			
	地域保健看護学Ⅲ※1	2			○			
	地域保健看護学演習※1	1			○			
専門分野	地域保健看護学実習※1	3			○			
	在宅看護学Ⅰ	1				○		
	在宅看護学Ⅱ	1				○		
	在宅看護学演習	1				○		
	緩和ケア看護学Ⅰ	1				○		
	緩和ケア看護学Ⅱ※3	1				○		
	在宅看護学実習	2				○		
	実践看護学と実践Ⅰ	2			○			
	看護の統合と実践Ⅱ	2			○			
	看護の統合と実践実習	3			○			
	総合実習Ⅰ※2	2			○			
	総合実習Ⅱ※2	1			○			
	計	91	12	9				

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。

保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

・※4 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成30(2018)年度入学者(主に4年生)

授業科目	単位数							備考 (旧カリ対応科目等)
	必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学 I	2		○				
	解剖学 II	1		○				
	生理学	3		○				
	生化学	2		○				
	薬理学 I	1		○				
	薬理学 II	1		○				
	病理学	1		○				
	微生物学	1		○				
	栄養学	1		○				
	疫学	1			○			
	病態学	5		○				
	Global Nursing Communication I	1		○				旧: 英文講読 I
	Global Nursing Communication II	1		○				旧: 英文講読 II
	専門基礎合同演習	1		○				
専門共通分野	保健統計学	1			○			
	医療情報学	1		○				
	国際保健看護学	2			○			
	産業保健学	1			○			
	保健医療福祉制度論	2		○				
	健康教育学演習	1			○			
	卒業論文 I	1			○			
	卒業論文 II	2			○			
	AI実践演習	1		○	○			※4
	Learning Medical English	1		○	○			※4
	実践看護英語 I	1		○				
	実践看護英語 II	1			○			
	実践看護英語 III	1			○			
	国際保健福祉 A	1		○				
	国際保健福祉 B	1		○				
	国際保健福祉 C	1			○			
	国際保健福祉 D	1			○			
専門領域別	基礎看護学 I	1		○				
	基礎看護学 II	1		○				
	基礎看護学 III	1		○				
	基礎看護学演習 I	2		○				
	基礎看護学演習 II	1		○				
	基礎看護学実習 I	1		○				
	基礎看護学実習 II	2		○				
	成人看護学 I	2		○				
	成人看護学 II	2		○				
	成人看護学 III	1			○			
	成人看護学演習	1			○			
	成人看護学実習	3		○				
	精神看護学	2		○				
	地域精神看護学	1			○			
	精神看護学演習	1			○			
	精神看護学実習	2		○				
分野	看護心理学※3	1		○	○			※4
	小児看護学 I	1		○				
	小児看護学 II	1			○			
	小児看護学演習 I	1			○			
	小児看護学演習 II	1			○			
	小児看護学実習	2		○				
	母性看護学	1			○			
	母性看護学 II	1			○			
	母性看護学 III	1			○			
	母性看護学演習	1			○			
	母性看護学実習	2		○				
	老年看護学	3			○			
	老年看護学演習	1			○			
	リハビリテーション看護学※3	1			○			
	老年看護学実習	3		○				
合計	地域保健看護学 I	1			○			
	地域保健看護学 II	1			○			
	地域保健看護学 III※1	2				○		
	地域保健看護学演習※1	1				○		
	地域保健看護学実習※1	3				○		
	在宅看護学 I	1			○			
	在宅看護学 II	1				○		
	在宅看護学演習	1				○		
	緩和ケア看護学 I	1				○		
	緩和ケア看護学 II※3	1				○		
	在宅看護学実習	2				○		
	看護の統合と実践 I	2			○			
	看護の統合と実践 II	2				○		
	看護の統合と実践実習	3				○		
	総合実習 I※2	2				○		
	総合実習 II※2	1				○		

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。

保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

・※4 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成29(2017)年度入学者(主に4年生)

授業科目	単位数							備考 (旧カリ対応科目等)
	必修	選択	自由	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学 I	2		○				
	解剖学 II	1		○				
	生理学	3		○				
	生化学	2		○				
	薬理学 I	1		○				
	薬理学 II	1		○				
	病理学	1		○				
	微生物学	1		○				
	栄養学	1		○				
	疫学	1			○			
	病態学	5		○				
	Global Nursing Communication I	1		○				旧:英文講読 I
	Global Nursing Communication II	1		○				旧:英文講読 II
	専門基礎合同演習	1		○				
専門共通分野	保健統計学	1			○			
	医療情報学	1		○				
	国際保健看護学	2			○			
	産業保健学	1			○			
	保健医療福祉制度論	2		○				
	健康教育学演習	1			○			
	卒業論文 I	1			○			
	卒業論文 II	2			○			
	AI実践演習	1		○	○			※4
	Learning Medical English	1		○	○			※4
	実践看護英語 I	1		○				
	実践看護英語 II	1		○				
	実践看護英語 III	1		○				
	国際保健福祉B	1		○				旧:国際保健福祉 I
	国際保健福祉C	1		○				旧:国際保健福祉 II
	国際保健福祉D	1		○				旧:国際保健福祉 III
専門領域別分野	基礎看護学 I	1		○				
	基礎看護学 II	1		○				
	基礎看護学 III	1		○				
	基礎看護学演習 I	2		○				
	基礎看護学演習 II	1		○				
	基礎看護学実習 I	1		○				
	基礎看護学実習 II	2		○				
	成人看護学 I	2		○				
	成人看護学 II	2		○				
	成人看護学 III	1			○			
	成人看護学演習	1		○				
	成人看護学実習	3		○				
	精神看護学	2		○				
	地域精神看護学	1		○				
	精神看護学演習	1		○				
	精神看護学実習	2		○				
分野	看護心理学※3	1		○	○			※4
	小児看護学 I	1		○				
	小児看護学 II	1		○				
	小児看護学演習 I	1		○				
	小児看護学演習 II	1		○				
	小児看護学実習	2		○				
	母性看護学 I	1		○				
	母性看護学 II	1		○				
	母性看護学 III	1		○				
	母性看護学演習	1		○				
	母性看護学実習	2		○				
	老年看護学	3			○			
	老年看護学演習	1		○				
	リハビリテーション看護学※3	1		○				
	老年看護学実習	3		○				
実践看護との合致	地域保健看護学 I	1			○			
	地域保健看護学 II	1			○			
	地域保健看護学 III※1	2			○			
	地域保健看護学演習※1	1			○			
	地域保健看護学実習※1	3			○			
	在宅看護学 I	1			○			
	在宅看護学 II	1			○			
	在宅看護学演習	1			○			
	緩和ケア看護学 I	1			○			
	緩和ケア看護学 II※3	1			○			
	在宅看護学実習	2			○			
	看護の統合と実践 I	2			○			
	看護の統合と実践 II	2			○			
	看護の統合と実践実習	3			○			
	総合実習 I※2	2			○			
	総合実習 II※2	1			○			
計		91	12	8				

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※1の3科目を選択すること。

保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※2の2科目を選択し、※3の3科目の中から1科目選択すること。

・※4 履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

東京医科歯科大学試験規則

平成23年4月1日
規則第1号

(趣旨)

第1条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成16年規則第217号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(試験の種類)

第2条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

(試験の方法)

第3条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

(本試験)

第4条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

(定期試験)

第5条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の3分の2以上履修した者
- (2) 実習 当該授業科目の授業時間数の4分の3以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第3項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

(共用試験)

第6条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（C B T）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（O S C E）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

(追試験)

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかつた者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(再試験)

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(試験の成績)

第9条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。

2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

(成績の報告)

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第11条 試験において不正行為があったときは、学則第58条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成16年規則202号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成16年規則214号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第74号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科試験内規

〔平成23年2月16日
医学部保健衛生学科長制定〕

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年4月1日規則第1号。以下「試験規則」という。）第8条第6項及び第12条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(再試験)

第2条 再試験の時期は、原則として後期終了後の定期試験実施期間後に予め設定した再試験期間内に実施するものとする。ただし、第4学年で履修した科目の再試験は、第4学年の年度末とする。

2 再試験の実施日時は、試験実施日2週間前までに公示する。

3 再試験を受験しようとする者は、所定の受験申請書により原則として試験期日7日前までに医学部長に願い出なければならない。

附 則

1 この内規は、平成23年4月1日から施行する。

2 東京医科歯科大学医学部に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日
制定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA(Grade Point Average)制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成16年制定）、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規（平成23年制定）、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規（平成23年制定）、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規（平成23年制定）、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規（平成23年制定）に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価(A+, A, B, C, D, F)を4から0までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) A+, A, B, C, D, Fによる学習の評価を行わない科目
- (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目
- (3) 卒業要件に含まれない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目（成績表ではGPA除外科目として明示される）
- (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目（シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される）

(学習の評価及びGP)

第3条 学習の評価及びGrade Point(GP)は、次のとおりとする。

評価	GP	評価基準
A+	4.0	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
A	3.5	当該科目の到達目標を全て達成した
B	3.0	当該科目の到達目標を概ね達成した
C	2.0	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
D	1.0	当該科目の到達目標を達成していない
F	0.0	到達目標の達成度を評価できない

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、当該学年に履修した第2条第2項に定めるGPA対象授業科目につい

て、「当該年度のGPA」、「累積GPA」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

* GPAの計算式

当該年度のGPA =

$$\frac{(4 \times A+ + \text{取得単位数} + 3 \cdot 5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{可取得単位数})}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

累 積GPA =

$$\frac{(4 \times A+ + \text{取得単位数} + 3 \cdot 5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{可取得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

2 前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。

3 計算値は小数点第3位を四捨五入とし表記するものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、累積GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附 則

1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。

平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA+、優をA、良をB、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

国立大学法人東京医科歯科大学における授業欠席に関する取扱要項

（令和2年1月30日
制定）

（趣旨）

第1条 この要項は、国立大学法人東京医科歯科大学（以下「本学」という。）における授業欠席に関する取扱いについて必要な事項を定める。

（公欠及びその要件）

第2条 この要項において、公欠とは、本学が認める一定の事由によりやむを得ず正課を欠席した場合、これを出席として取扱うことをいう。

2 本学の学生が、次の各号の事由によりやむを得ず正課を欠席する場合は、これを公欠として取扱う。

- (1) 感染症に罹患した場合
- (2) 親族が死亡した場合
- (3) 裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合
- (4) その他学長が必要と認める場合

（公欠の手続及び様式）

第3条 前条第2項各号による公欠の具体的な基準及び手続については、別表のとおりとする。

2 前条第2項第3号又は第4号により公欠が認められた場合は、欠席届の写を回付する等の方法により授業担当教員にその旨通知することとする。

（公欠とされた学生への配慮義務）

第4条 授業担当教員は、公欠とされた学生に対し、履修上不利とならないよう配慮するものとする。

（公欠期間中の試験の取扱い）

第5条 公欠期間中の試験に関する追試験等の取扱いについては、当該授業科目を開講する学部長又は研究科長の定めるところによる。

（公欠以外の欠席）

第6条 公欠以外の理由により1週間以上欠席する場合は、欠席届を速やかに各学科又は各専攻の教務係へ提出することとする。

附 則

この要項は、令和2年1月30日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

別表（第3条関連）

公欠事由	条件	公欠として認められる期間	手続等
感染症に罹患した場合	学校保健安全法施行規則（昭和33年6月13日文部省令第18号）第18条に規定する感染症に罹患した場合、又は感染しているおそれがある場合	学校保健安全法施行規則（昭和33年6月13日文部省令第18号）第19条に規定する期間	欠席届と証拠となる書類（診断書等）を添付し、担当係へ提出すること。
親族が死亡した場合	配偶者及び1親等、2親等の親族の死亡に伴い必要と認められる葬儀、服喪その他の行事のため授業に出席できなかった場合	親族に応じ次に掲げる連続する暦日数（葬儀のため遠隔の地に赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えた日数）の期間	欠席届と証拠となる書類（会葬礼状等）を添付し、担当係へ提出すること。
		配偶者及び1親等の親族の場合（父母・子）は、死亡した日から起算して連続7日（休日を含む。）	
		2親等（祖父母、兄弟姉妹等）の場合は、死亡した日から起算して連続3日（休日を含む。）	
裁判員制度による裁判員又は裁判員候補者に選任された場合	裁判員又は裁判員候補者としての任務を果たす場合	裁判所へ出頭する日	欠席届と証拠となる書類（裁判所からの通知書等）を添付し、担当係へ提出すること。
その他学長が必要と認める場合	学長が必要と認める場合	学長が必要と認めた期間	欠席届と証拠となる書類（学長が必要と認めたことがわかる書類）を添付し、担当係へ提出すること。

看護学専攻第3学年における臨地実習履修要件

平成23年度以降入学者に適用

平成12年11月 7日
保健衛生学科教育委員会
平成17年 3月15日改正
保健衛生学科教育委員会
平成20年12月24日改正
保健衛生学科教育委員会
平成23年 1月 5日改正
保健衛生学科教育委員会

臨地実習のうち、別表に掲げるものは、病院等において実際の患者に接して行なわれるものであり、あらかじめ、それぞれの実習を行うに十分な基礎知識を持つことが必要であることから、当該臨地実習に関する講義・演習の試験に合格したものでなければ、これを履修することができない。

(別表)

臨地実習名	関連する講義・演習科目名
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰ
成人看護学実習	成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護学演習
精神看護学実習	精神看護学、地域精神看護学、精神看護学演習
小児看護学実習	小児看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学演習Ⅰ・Ⅱ
母性看護学実習	母性看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、母性看護学演習
老年看護学実習	老年看護学、老年看護学演習
在宅看護学実習	在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、在宅看護学演習

医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項

平成11年 7月14日承認
平成12年12月13日改正
保健衛生学科教育委員会
平成14年 2月13日改正
保健衛生学科運営会議
平成27年 3月11日改正
保健衛生学科運営会議
平成29年 2月 8日改正
保健衛生学科運営会議

(趣旨)

- 1 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護学専攻（以下「看護学専攻」という。）における「卒業論文I・II」の実施については、この要項に定めるところによる。

(授業目的)

- 2 看護・保健に関する研究を実践することにより、論文の読み方、研究の進め方、論文のまとめ方、口頭発表の仕方の基本を修得させることを目的とする。

(指導教員)

- 3 指導は、看護先進科学専攻の教授、准教授、講師、及び助教以上（以下「指導教員」という。）が行う。

- 4 一人の指導教員が指導を行う学生数の上限は、原則として次のとおりとする。

- (1) 教授一人に対し 学生4名
(2) 准教授一人に対し学生3名
(3) 講師一人に対し 学生2名

- 5 看護学専攻卒業論文小委員会（以下「委員会」という。）は、学生より提出された研究テーマ等を考慮し、指導教員を決定する。

(卒業論文)

- 6 卒業論文は、別紙により6ページ以内で作成し、提出期限までに指定された場所に提出しなければならない。

(卒業論文発表会)

- 7 口頭発表の場として卒業論文発表会（以下「発表会」という。）を行う。

- 8 発表会は委員会が主催し、卒業論文委員（学生より選出）が開催する。

- 9 発表会の開催日時は、毎年6月末日までに掲示により連絡する。

- 10 発表時間は、1人5分間とし、質疑応答は2分間とする。なお、発表開始から4分経過時及び5分経過時に合図し、発表時間超過者については質疑応答時間で調整する。

- 11 発表会用にスライドを作成する場合は、1枚あたり10行未満の文章で、見やすく作成する。

(評価及び単位認定)

- 12 「卒業論文I・II」の評価及び単位認定は次のとおりとする。

- (1) 「卒業論文I」
指導教員が講義により評価し、科目の責任者が単位認定を行う。
(2) 「卒業論文II」
指導教員が論文及び発表を8:2の比率で評価し、看護学専攻主任が単位認定を行う。

- 13 「卒業論文I・II」の単位は、次に該当する者には認定しない。

- (1) 「卒業論文I」の出席が3分の2に満たない者
(2) 期限提出までに論文を提出できない者
(3) その他、卒論単位認定に支障があると判定された者

(評価基準)

- 14 論文の評価基準は、次のとおりとする。

- (1) 論文に取り組む姿勢
(2) 論文内容

- ① 研究目的
- ② 研究方法
- ③ 論文内容の論理性と明確性
- ④ 考察の論理性と明確性

(実施)

15 この要項は、平成27年度3年次在学者より実施する。

附 則

この要項は平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要項は平成29年4月1日から施行する。

卒 業 論 文 フ ォ 一 ム

1 卒業論文のフォーム

卒業論文のフォームは、以下のとおりとする。

- (1) はじめに
- (2) 方法 ※ 倫理的配慮あるいは倫理的手続きに関する記述を含む
- (3) 結果
- (4) 考察
- (5) 引用文献（参考文献と分けて記載する）

2 引用文献の書き方

書式は、「バンクーバー方式」または「APA方式」に準ずる。

<バンクーバー方式>

- ① 文献については、本文中に文献リスト番号（上付き：例¹⁾）をつけ、表示する。
- ② 文献リストは本文中に引用された順に列記する。
- ③ 文献リストの記述方法
 - 1) 田村園子. 諸外国の看護教育の動向. 国際看護学研究. 2012; 90(9):1456-61.
 - 2) Smidt AC, Lai JS, Cella D, Patel S, Mancini AJ, Chamlin SL. Development and validation of nursing care for adolescents with skin disease. Archives of Dermatology Nursing. 2010; 146(8): 865-9.
- ④ 文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが¹⁰⁾⁻¹²⁾、実施している対象者は多かった。

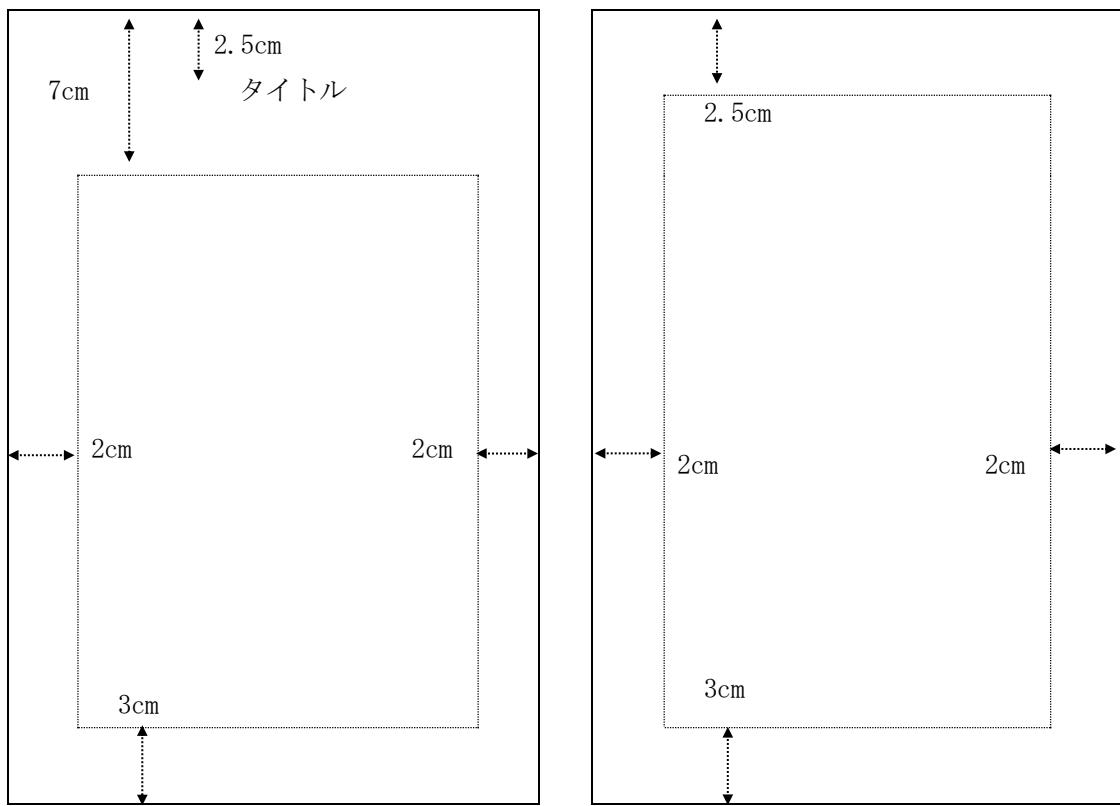
<APA方式>

- ① 文献については、本文中に著者名、発行年次を括弧表示する。
- ② 文献リストは著者名のアルファベット順に列記する。但し、共著者は3名まで表記する。
- ③ 文献リストの記述方法
 - 1) 田村園子 (2012) :諸外国の看護教育の動向, 国際看護学研究, 90(9), 1456-1461.
 - 2) Voos K., Ross G., Ward M., et al. (2011): Effects of implementing family-centered rounds (FCRs) in a neonatal intensive care unit (NICU), J. Matern. Fetal Neonatal Med., 24(11), 1-4.
- ④ 文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが（田村, 2012: Smidt et al., 2010）、実施している対象者は多かった。

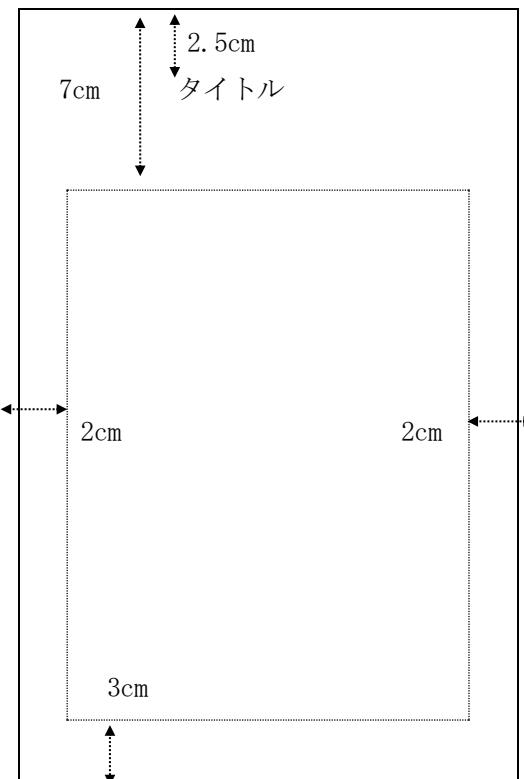
3 卒業論文の書式

- ・ A4用紙に6ページ以内とし、片面に印字する。
- ・ 字の大きさ及びフォントは、10~11ポイントで明朝体とする。ページ設定は2段組とし、文字数：全角46、行数：38、字送り：10.5ポイント、行送り：18ポイントとする。
- ・ 提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は一切認めない。
- ・ 全ページ余白は上2.5cm、下3cm、左右それぞれ2cmとする。
- ・ ただし、1ページ目は上2.5cmからタイトル、その下余白に氏名・指導者名を記載する。
- ・ 本文は7cm下から書き始める。
- ・ 指導教員には大学院生は含まない。



4 卒業論文抄録の書式

- ・ A4用紙に1枚とする。
- ・ 字の大きさ, フォントおよびページ設定は卒業論文に準ずる。
- ・ タイトル, 氏名, 指導教員名を上7cmの余白部分に書き, 以下目的, 方法, 結果, 考察を記載する。
- ・ 提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は一切認めない。



<標題紙見本>
医学部保健衛生学科レポート

学 部 医学部

学 科 保健衛生学科（看護学専攻）

科 目 名 「産業保健学」

標 題 「産業の場における看護職の五管理」

↑

感想の場合は、“感想「○○○○○○○○○○○○○○○○」”と書く。

提出月日 平成〇〇年〇月〇日

専 攻 看護学専攻

学 年 ○学年

学籍番号 ○○○○○○○○

氏 名 山田 花子

山田 花子

産業保健の根幹を成す、産業の場で看護職が行う五管理について、その概要と業務の具体的な事項を述べる。

- ・ 産業の場における看護職の五管理について

1. 産業保健と五管理

2. 作業環境管理

3. 作業管理

4. 健康管理

5. 労働衛生教育

6. 総括管理

7. まとめ

8. 参考文献

——以下省略——

※作成要領

1. レポート本文はワープロ打ちとする。

2. フォーマットは A4 版・MS 明朝体・10.5 サイズとし、横 44 文字、縦 32 行で印字する。

3. すべてのページの 1 行目右上に氏名を記載し、最終行下欄にページ番号を付す。

※レポート本文のページ数、図、表、写真等の使用・貼付等については、担当教員の指示に従う。

4. 表題紙は、別様とする。

5. 書き出しは 2 行目 2 コマ目から始める。

6. 英数文字は半角とする。

6. 最後に引用文献及び参考文献の記載を記載する。

※書式は、「お茶の水醫學雑誌」に準ずる。

<書き方例>

引用文献

論文の場合

1) 宮崎美砂子, 春山早苗 : 最新地域看護学. 各論 2. 日本看護協会出版会 ; 2006 : 81-88.

著書の一部の場合

2) 鈴木太郎, 山田華子 : 糖尿病性神経障害, 小島次郎編 糖尿病, 大学出版, 東京, 1986. pp975-982.